

福地健郎教授 退任記念誌

2012年11月～2025年3月
新潟大学大学院医歯学総合研究科 眼科学分野

Contents

序 章

■御挨拶文～退任記念誌の発刊にあたり～	4
■御略歴	6

第1章 祝 辞

■新潟県眼科医会 会長 吉澤 豊久 先生	8
■川崎医科大学 眼科 教授 三木 淳司 先生	10

第2章 新潟大学医学部眼科学分野業績集（2012年～2024年）

■原著・総説・解説・著書	12
■学会発表	21
■科学研究費獲得実績	60
■学位取得者（2012年以降）	62
■新潟眼科集談会プログラム（第111回～第134回）	64
■雪明・新潟眼科フォーラムプログラム（第1回～第12回）	105

第3章 福地健郎教授業績集

■論文／総説・解説／著書	112
■学会発表／研究発表	139
■科学研究費獲得実績	157
■競争的研究資金	159

第4章 主催学会の記録

- 第31回真鶴セミナー（神経眼科宿泊勉強会）2015年8月29日(土)～8月30日(日).... 162
- 第17回日本ロービジョン学会総会 2016年8月26日(金)～28日(日)..... 162
- 第29回日本緑内障学会 2018年9月14日(金)～16日(日)..... 162
- 第34回日本眼窩疾患シンポジウム 2019年11月9日(土)..... 162
- 第13回日本視野画像学会学術集会 2024年6月1日(土)～6月2日(日)..... 163
- 東日本神経眼科勉強会～第39回真鶴セミナー～ 2024年8月3日(土)～8月4日(日).... 163
- 第129回日本眼科学会総会 2025年4月17日(木)～4月20日(日)..... 163

第5章 記念写真

- 福地健郎教授就任記念祝賀会 166
- 福地健郎教授退任記念祝賀会 168

第6章 歴代総括医長 寄稿文

- 長谷部 日 先生（1992年入局） 172
2011年4月～2014年3月
- 松田 英伸 先生（1998年入局） 175
2014年4月～2017年3月
- 松岡 尚気 先生（1999入局） 177
2017年4月～2019年3月
- 梅野 哲哉 先生（1999年入局） 179
2019年4月～2021年3月
- 張 大行 先生（2006年入局） 182
2021年4月～2022年3月
- 坂上 悠太 先生（2009年入局） 184
2022年4月～2024年3月
- 大湊 純 先生（2009年入局） 188
2024年4月～2025年3月

ご挨拶

～退任記念誌の発刊にあたり～

福地 健郎

はじめに、新潟大学を定年退職するにあたり本退任記念誌の発刊を含め、退職記念事業を滞りなく遂行していただきましたことを、新潟大学眼科同窓会会員、新潟県眼科医会会員並びに新潟大学眼科学分野の皆様に厚く御礼を申し上げます。

さて、私はこの度、令和7年3月31日をもちまして新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野教授を定年退職いたしました。母校の新潟大学医学部医学科を昭和60年3月に卒業し、医員として2年、大学院生として4年、助手として15年、講師として7年そして教授として12年間の永きにわたり、素晴らしい先輩 同輩 後輩の方々に恵まれて大過なく研究 教育 診療に携わることができました。在職中は公私ともに皆様方の温かいご指導とご厚情を賜わりましたことを心より深く感謝申し上げますとともに厚く御礼を申し上げます。

私が新潟大学医学部医学科を卒業し、眼科に入局したのは昭和60年（1985年）で、ちょうど40年が経過しました。眼科入局後の最初の2年間は大学病院での研修でしたが、2年目の後半には澤口昭一先生のご指導のもと、緑内障に関する基礎研究を始め、3年目には大学院に進学しました。当時の主任教授でいらっしゃった岩田和雄先生からいただいた、最初のテーマは緑内障による視神經乳頭、特に篩状板の組織学的、組織科学的变化についてで、「サル実験緑内障眼における視神經篩状板の細胞外マトリックス変化」の論文で学位をいただきました。1991年に大学院を修了、その年の秋に助手に採用していただきました。1992年4月から助手を休職し、シカゴ・イリノイ大学にリサーチフェローとして留学、Beatrice Yue教授のもと、角膜、線維柱帯の眼生化学、分子生物学的研究をさせていただきました。結果として入局して最初の10年で、大学院、留学とも終え、眼科医としてのキャリアの最初は主に基礎研究に費やしました。この時代に私が行っていた基礎研究は、現在に比べれば技術的には容易で、内容としても拙い研究ではありますしが、緑内障によって生ずる視神經障害のメカニズムを考える機会であり、それを通して現象を分析的に観察するトレーニングをすることができたのではないかと思います。その後の臨床と臨床研究に繋がる大変に貴重な経験だったと思います。

緑内障臨床医としての本格的な始動は、1998年に澤口先生が琉球大眼科の教授として転出されたことを機会に、緑内障手術のメインスタッフに加わってからだと思います。そのころは緑内障の診断、治療の両面で、現在につながる大きな変革期と言える時期で、緑内障患者の長期予後を改善するために、手術治療がどのような役割を果たすべきなのか、しばしば議論した他学の先生方は、今でも貴重な緑内障学会の仲間です。キャリアの後半では、教授としての12年を含めて、眼圧や視野の目標を設定して緑内障の治療を行うという考え方、生涯にわたるQOLの維持を目指した緑内障治療という視点などについて学ぶことができました。それらの研究成果については、2020年のコロナ下で行われたオンラインでの第74回臨床眼科学会の特別講演「緑内障からQOLを守るためにストラテジー：EBMからPCMへ」と。2022年に行われた第32回日本緑内障学会での須田記念講演「緑内障の構造から機能へ、そしてQOLへ」で発表させていただく機会を得ることができました。眼科医40年のキャリアを通して、緑内障の基礎研究から治療

研究へ、さらに観察研究へと、とにかく様々な角度から緑内障の臨床と研究に取り組むことができました。結果としてより総合的に緑内障を学び、知ることができたのではないかと思いますし、これは誰にでも経験ができることではなく、その環境を含めて、自身が大変に幸運であったと改めて思います。

また、新潟大学眼科の動向について、私が在籍したこの40年を振り返ってみました。1985年4月の時点の総医局員数43名で、そこに吉澤豊久先生、岡本茂先生、白柏基宏先生、佐藤健二先生、高木峰夫先生、さらに私を加えた6名が入局しました。その後、医局員総数は増え続け、2003年の103名がピークとなりました。当時、新入医局員が年に5～6人は通常で、10人を超すときも何回かありました。たくさんの後輩にあたる医局員、多くの関連病院とともに、研究、臨床を進めていた時代でした。ただ、これは新潟大学に限った現象ではなく、1980年代の後半以降、全国の眼科施設で多くの新入医局員を迎える、臨床に、研究に若い力が次々と育っていった時期であったように思います。そのようなトレンドが急変したのは、2004年の臨床研修制度の開始です。2年の新卒入局者なしを経て、その後の眼科入局者は激減し、私が引き継いだ2013年の医局員数は46名まで減少しました。約10年で半数以下にまで減ったということになります。当時の医局長は、関連病院の減少、外来人員の確保などに多大な労力を費やし、たいへんにご苦労されたことだと思います。私が着任して以降は増減を繰り返し、2024年春の時点の医局員数は46名と、ぴったり維持した形で次の世代にバトンタッチすることができたようです。この間、けっして十分とは言えないまでも、毎年、継続して入局者を迎えることは大変な幸運でした。眼科は臓器としては狭い分野ですが、多種多彩な専門分野があり、それぞれの専門性がきわめて高いという特徴があります。新潟大学のような地域の大学病院には、研究機関として、地域の中隔病院として、いずれも重要で、つまり診療科には専門性と汎用性の両方が要求されるという点は、魅力でもあります。ジレンマでもあります。眼科の研究と診療のバランスをどのように維持していくかは、重要な課題です。特に近年は新潟県内の人口減少、その他の、様々な要因が関わって、私を取り巻く医療事情は日々刻々と変化しています。今後、さらに地域の先生方と綿密に連携して、大学の診療と研究、また地域医療に取り組んで行く必要があると思います。

最後に、新潟大学眼科同窓会と新潟県眼科医会の皆様の永年にわたるご支援に心より感謝申し上げます。さらに学長、医学部長、病院長をはじめ、学内外の諸先生方、関連病院長と関連病院の諸先生方、病院スタッフ、教室の事務局の方々、そして何よりも私を永年にわたって支えてくれた教室員の皆様に心より感謝申し上げます。40年間、ありがとうございました。新潟大学と医学部、眼科学分野の益々の発展と、皆様の益々のご健勝を祈念しております。

履歴

Personal History



新潟大学大学院医歯学総合研究科 眼科学分野 教授

ふくちたけお
福地 健郎

昭和35年2月25日生

学歴

- 1979年4月 新潟大学医学部教養課程入学
1985年3月 新潟大学医学部医学科卒業
1987年4月 新潟大学大学院医学研究科外科系眼科学専攻博士課程入学
1991年3月 同 単位取得し修了、医学博士

職歴

- 1985年5月 新潟大学医学部附属病院眼科・研修医として勤務
1991年4月 新潟大学医学部付属病院・医員として勤務
1991年8月 新潟大学附属病院眼科助手
1992年4月 シカゴ・イリノイ大学へ留学（眼生化学、眼分子生物学）
1994年11月 同 修了、新潟大学医学部附属病院・医員
1994年12月 新潟こばり病院眼科に勤務
1995年8月 新潟大学医学部附属病院眼科・助手に復職
2002年10月 新潟大学医歯学総合病院眼科・助手
2005年4月 新潟大学大学院医歯学総合研究科 講師
2012年11月 新潟大学大学院医歯学総合研究科 教授

賞

罰

- 1992年3月 新潟県眼科医会学術奨励賞
1996年9月 日本緑内障学会学術奨励「須田賞」
2011年8月 新潟県眼科医会学術奨励賞
2020年11月 第74回日本臨床眼科学会特別講演
2022年9月 第33回日本緑内障学会須田記念講演

所属学会・役員

- 日本眼科学会（評議員2017年4月～2023年4月、理事2019年4月～2023年4月、監事2023年4月～2025年4月）
- 日本緑内障学会（評議員2002年4月～2026年3月〔予定〕、理事2014年4月～2026年3月〔予定〕）
- 日本視野画像学会（評議員2016年4月～2026年3月〔予定〕、理事2022年4月～2024年3月、監事2024年4月～2026年3月〔予定〕）
- 日本眼薬理学会
- 日本角膜学会
- 日本眼炎症学会
- 日本眼科AI学会
- 日本眼科手術学会
- 日本近視学会
- 日本ロービジョン学会
- American Academy of Ophthalmology (AAO)
- Association of Research for Vision and Ophthalmology (ARVO)
- World Glaucoma Association (WGA)
- International Ocular Circulation Society (IOCS)

専門医

- 日本眼科学会認定・眼科専門医（1990年）
- 日本眼科学会認定・眼科専門医指導医（2009年）

祝　辞

新潟県眼科医会 会長 吉澤 豊久



福地先生、この度は12年と約4カ月にわたる教授職を無事全うされ、輝かしい業績を残されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

先生との思い出は尽きませんが、少しだけ振り返らせていただきます。1979年4月、福地健郎先生、岡本茂先生、佐藤健二先生、高木峰夫先生、そして私、吉澤豊久の5名は、新潟大学医学部医学科に入学しました。在学中の福地先生は卓球部でご活躍され、文字がとてもお上手だったのが印象的です。1985年3月に卒業した私たちは、東邦大学医学部出身の白柏基宏先生とともに、翌4月、新潟大学眼科学教室に入局しました。

当時の眼科新人教育は、オーベン・ネーベンというマンツーマン方式でした。しかし、私たちの学年は人々に6名と大人数だったため、緑内障、網膜硝子体、角膜感染症、斜視弱視の4つの専門グループを3か月ごとにローテーションするという新しい方法が取られました。

入局したばかりの1985年9月には、新潟大学が主管を務めた臨床眼科学会がありました。県民会館や体育館、ホテルなどを会場に行われ、宿泊施設が足りず、佐渡汽船のフェリーが動員されたこともあります。右も左も分からなかった私たちは、先輩方の指示のもと、夢中で動き回っていたことを覚えています。

1986年のゴールデンウィークには、福地先生、白柏先生と3人で、なぜかグアム島へ旅行に行きました。暑い中テニスをしたり、ディスコで踊ったり、スキーパーリングをしたりと、青春を謳歌した、忘れられない思い出です。

その年の秋には、ローマで第25回国際眼科学会があり、岩田和雄教授をはじめ、阿部春樹先生、澤口昭一先生、佐藤一宣先生、福地先生、そして私が参加しました。学会そっちのけで、ローマ市内はもちろん、フィレンツェやナポリの観光も満喫しました。冬には医局のスキー旅行でも、たびたび一緒にしました。

その後、福地先生は緑内障を専門とすることを決意され、1987年から1991年まで大学院に入り、主に視神経篩状板の形態学的研究に明け暮れていらっしゃいました。1992年5月には、フロリダでのARVO学会でポスター発表をされ、留学先であるシカゴの下見もして、帰国されました。

そして、1992年秋から1994年まで、米国イリノイ大学シカゴ校に留学し、角膜や線維柱帯の生化学・分子生物学的研究に取り組みました。帰国後は助手に就任され、1998年に澤口先生が琉球大学へ転出されてからは、緑内障の手術も本格的に始められました。福地先生が新潟大学の本流である緑内障を、私が支流である網膜硝子体を専門とし、互いに切磋琢磨し、良きライバルとして臨床と研究に励むことができたと思います。

その後、2012年11月16日、福地先生は新潟大学の教授に就任されました。皆さんご存知の通り、診療、教育、研究と、教授としての職務を真摯に、そして立派にやり遂げ、2025年3月末に定年を迎られました。この偉業は、陽子夫人という心強い内助の功があつてこそだと、深く感じています。

しかし、先生の歩みはこれで終わりではありません。2025年4月には、新潟大学眼科の主管としては、41年ぶりのメジャー眼科学会である第129回日本眼科学会総会が東京で行われ、福地先生が総会長を務められました。約10,470名が参加登録し、そのうち約5,800名が東京国際フォーラムにリアルで参加されまし

た。英語によるセッションを増やしたこと、外国人参加者も約300名に増加し、大盛会のうちに終えることができました。

さらに、今後は新潟県にとどまらず、東京都や静岡県でも臨床を行われると伺っております。これからのさらなるご活躍を心より期待しております。

福地先生の益々のご発展とご健勝を祈念して、私からの祝辞とさせていただきます。

福地健郎教授のご退任に寄せて

川崎医科大学 眼科学 教授 三木 淳 司

福地先生、新潟大学眼科学教室主任教授のお勤め、ご苦労様でした。福地先生は教授ご就任以来、多くの入局者の確保、教室員の指導、学生教育、診療・研究に取り組まれ、新大眼科を大いに活性化されたように感じております。また、緑内障学会・視野画像学会の新潟での主催、さらには最近では日本眼科学会総会の主催も成功裏に終えられ、2020年の臨床眼科学会での特別講演のご担当とともに強い印象に残っております。緑内障学会では須田記念講演も講演されました。福地先生が始められた雪明・新潟眼科フォーラムも毎年、いつも素晴らしい演者を全国から集められていました。

福地先生は眼科、特に緑内障分野において、基礎研究から臨床診療・臨床研究まで幅広い活動をされてきた、まさしくall-round playerの眼科医であり、先生のこれまでのご活躍とご功績に心から敬意を表したいと思います。

今後も緑内障を中心とした眼科診療を続けられるとお聞きしております。大学教員の定年でひとまず重責からは解放されると思われますが、いつまでもお元気でご活躍ください。



第2章

新潟大学医学部眼科学分野業績集
(2012年～2024年)

原著・総説・解説・著書

1. 古橋 美帆, 福地 健郎, 市村 美香, 他: 中心角膜厚測定値の測定方法による違いについて. あららしい眼科, 29 (4) : 541-544, 2012.
2. Seki M, Fukuchi T, Ueda J, Suda K, Nakatsue T, Tanaka Y, Togano T, Yamamoto S, Hara H, Abe H.: Nanophthalmos: quantitative analysis of anterior chamber angle configuration before and after cataract surgery. Br J Ophthalmol. 96(8):1108-16. 2012.
3. Yoshino H, Seki M, Ueda J, Yoshino T, Fukuchi T, Abe H.: Fibrin membrane pupillary-block glaucoma after uneventful cataract surgery treated with intracameral tissue plasminogen activator: a case report. BMC Ophthalmol. 20;12:3. 2012.
4. Takano Y, Shi D, Shimizu A, Funayama T, Mashima Y, Yasuda N, Fukuchi T, Abe H, Ideta H, Zheng X, Shiraishi A, Ohashi Y, Nishida K, Nakazawa T, Fuse N.: Association of Toll-like receptor 4 gene polymorphisms in Japanese subjects with primary open-angle, normal-tension, and exfoliation glaucoma. Am J Ophthalmol.;154(5):825-832.e1. 2012.
5. 石井 雅子, 福地 健郎, 張替 涼子, 阿部 春樹: 緑内障患者の読書評価 MNREAD-Jによる検討. 眼科臨床紀要 5 (1) : 14-20, 2012.
6. 末武 亜紀, 福地 健郎, 田中 隆之, 須田 生英子, 中枝 智子, 若井 美喜子, 芳野 高子, 原 浩昭, 田邊 朝子, 梅野 哲哉, 関 正明, 阿部 春樹: Patient-Centered Communication (PCC) Toolとしての緑内障点眼治療アンケート. あららしい眼科 29 (7) : 969-974, 2012.
7. Fukuchi T.: Current trend of glaucoma medication with various eye drops. Nippon Ganka Gakkai Zasshi. 117(10):781-3. 2013.
8. Seki M, Yamamoto S, Abe H, Fukuchi T.: Modified ab externo method for introducing 2 polypropylene loops for scleral suture fixation of intraocular lenses. J Cataract Refract Surg. 39 (9):1291-6. 2013.
9. Shi D, Funayama T, Mashima Y, Takano Y, Shimizu A, Yamamoto K, Mengkegale M, Miyazawa A, Yasuda N, Fukuchi T, Abe H, Ideta H, Nishida K, Nakazawa T, Richards JE, Fuse N.: Association of HK2 and NCK2 with normal tension glaucoma in the Japanese population. PLoS One. 8(1):e54115. 2013.
10. Ishii M, Seki M, Harigai R, Abe H, Fukuchi T.: Reading performance in patients with glaucoma evaluated using the MNREAD charts. Jpn J Ophthalmol. 57(5):471-4. 2013.
11. Yoshino T, Fukuchi T, Togano T, Seki M, Ikegaki H, Abe H.: Eyelid and eyelash changes due to prostaglandin analog therapy in unilateral treatment cases. Jpn J Ophthalmol. 57(2):172-8. 2013.
12. Ishii M, Seki M, Harigai R, Abe H, Fukuchi T.: Comparison between binocular and monocular reading ability and its relation with central visual field sensitivity in glaucoma patients. Nippon Ganka Gakkai Zasshi. 117(11):925-30. 2013.

13. Fukuchi T, Yoshino T, Sawada H, Seki M, Togano T, Tanaka T, Ueda J, Abe H.:The relationship between the mean deviation slope and follow-up intraocular pressure in open-angle glaucoma patients. *J Glaucoma.* 22(9):689-97. 2013.
14. 本間 友里恵, 張替 涼子, 石井 雅子, 阿部 春樹, 福地 健郎:新潟大学ロービジョン外来における緑内障患者の受診状況. *あたらしい眼科*30 (7): 1029-1033, 2013.
15. 坂上 悠太, 福地 健郎, 田中 隆之, 関 正明, 梅野 哲哉, 上田 潤, 阿部 春樹: トラベクレクトミー既往眼の白内障手術後の眼圧経過. *眼科手術*26 (4): 637-642, 2013.
16. 大湊 純, 尾山 徳秀, 張 大行, 江口 功一, 福地 健郎:原発性上皮型眼瞼部悪性腫瘍の切除後の再建術についての検討. *臨床眼科*67 (8): 1295-1298, 2013.
17. 松浦 将人, 石井 雅子, 張替 涼子, 福地 健郎:ロービジョンケアによって就労継続が可能であった原発開放隅角緑内障の1例. *新潟医学会雑誌*127 (8): 427-432, 2013.
18. 石井 雅子, 関 正明, 張替 涼子, 阿部 春樹, 福地 健郎:緑内障患者における両眼視および単眼視での読書能力と中心視野感度の関係. *日本眼科学会雑誌*117 (11): 925-930, 2013.
19. Sawada H, Yoshino T, Fukuchi T, Abe H.:Assessment of the vision-specific quality of life using clustered visual field in glaucoma patients. *J Glaucoma.* 23(2):81-7. 2014.
20. Sakaue Y, Ueda J, Seki M, Tanaka T, Togano T, Yoshino T, Fukuchi T.:Evaluation of the new digital goldmann applanation tonometer for measuring intraocular pressure. *J Ophthalmol.* 2014: 461681. 2014.
21. Igarashi R, Togano T, Sakaue Y, Yoshino T, Ueda J, Fukuchi T.:Effect on intraocular pressure of switching from latanoprost and travoprost monotherapy to timolol fixed combinations in patients with normal-tension glaucoma. *J Ophthalmol.* 2014:720385. 2014.
22. Seki M, Fukuchi T, Yoshino T, Ueda J, Hasebe H, Ueki S, Oyama T, Fukushima A, Abe H.: Secondary glaucoma associated with bilateral complete ring cysts of the ciliary body. *J Glaucoma.* 23(7):477-81. 2014.
23. 寺島 浩子, 長谷部 日, 福島 淳志, 佐々木 亮, 松岡 尚氣, 高田 律子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 福地 健郎:黄斑剥離を伴う裂孔原性網膜剥離の長期視力予後. *眼科手術*27 (1): 112-117, 2014.
24. 石井 雅子, 落合 竣, 松浦 将人, 畑瀬 哲尚, 植木 智志, 羽入 貴子, 福地 健郎:眼科健診から専門医を受診した小児の検討. *眼科臨床紀要*7 (2): 131-135, 2014.
25. Matsuoka N, Hasebe H, Mayama T, Fukuchi T.:Sub-Tenon Injections of Triamcinolone Acetonide Had Limited Effect on Cystoid Macular Edema Secondary to Nanoparticle Albumin-Bound-Paclitaxel(Abraxane). *Case Rep Ophthalmol Med.* 181269. 2015.
26. 今井 和行, 澤田 英子, 福地 健郎:うつむき位超音波生体顕微鏡検査を施行したレーザー虹彩切開術後に角膜内皮細胞が減少しているプラトー虹彩の2症例. *日本眼科学会雑誌*119 (2): 68-76, 2015.

27. 中野 里絵子, 松岡 尚氣, 松田 英伸, 長谷部 日, 酒井 康弘, 福地 健郎: 新潟大学における急性網膜壞死症例の検討. 臨床眼科69 (7) : 981-985, 2015.
28. 中野 英之, 長谷部 日, 松岡 尚氣, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 上田 恵理子, 佐藤 弥生, 福地 健郎: 網膜色素線条に脈絡膜新生血管を合併した家族例. 臨床眼科69 (7) : 1057-1061, 2015.
29. 八百枝 潔, 福島 淳志, 白柏 基宏, 梅野 哲哉, 福地 健郎: 測定環境の変化に伴う原発開放隅角緑内障(広義)患者の眼圧変動. 日本眼科学会雑誌119 (7) : 451-456, 2015.
30. 松岡 尚氣, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎: 抗VEGF薬の硝子体内注射と後部硝子体剥離の発症頻度. 眼科臨床紀要8 (10) : 730-733, 2015.
31. Nishisako M, Meguro A, Nomura E, Yamane T, Takeuchi M, Ota M, Kashiwagi K, Mabuchi F, Iijima H, Kawase K, Yamamoto T, Nakamura M, Negi A, Sagara T, Nishida T, Inatani M, Tanihara H, Aihara M, Araie M, Fukuchi T, Abe H, Higashide T, Sugiyama K, Kanamoto T, Kiuchi Y, Iwase A, Chin S, Ohno S, Inoko H, Mizuki N.: SLC1A1 Gene Variants and Normal Tension Glaucoma: An Association Study. Ophthalmic Genet. 37(2):194-200. 2016
32. Hokari M, Yokoseki A, Arakawa M, Saji E, Yanagawa K, Yanagimura F, Toyoshima Y, Okamoto K, Ueki S, Hatase T, Ohashi R, Fukuchi T, Akazawa K, Yamada M, Kakita A, Takahashi H, Nishizawa M, Kawachi I.: Clinicopathological features in anterior visual pathway in neuromyelitis optica. Ann Neurol. 79(4):605-24. 2016.
33. Yaoeda K, Fukushima A, Shirakashi M, Fukuchi T.: Comparison of intraocular pressure adjusted by central corneal thickness or corneal biomechanical properties as measured in glaucomatous eyes using noncontact tonometers and the Goldmann applanation tonometer. Clin Ophthalmol. 11; 10:829-34. 2016.
34. Kashiwagi K, Aihara M, Inatani M, Iwase A, Kawase K, Sugiyama K, Nakazawa T, Nakamura M, Fukuchi T, Yoshitomi T, Araie M.: Current Status of Glaucoma-related Data Management and Efforts toward Data Standardization. Nippon Ganka Gakkai Zasshi. 120(8):540-7. 2016.
35. Yoshino T, Fukuchi T, Togano T, Sakaue Y, Seki M, Tanaka T, Ueda J.: Rate of progression of total, upper, and lower visual field defects in patients with open-angle glaucoma and high myopia. Jpn J Ophthalmol. 60(2):78-85. 2016.
36. Hasebe H, Matsuoka N, Terashima H, Sasaki R, Ueda E, Fukuchi T.: Restoration of the Ellipsoid Zone and Visual Prognosis at 1 Year after Surgical Macular Hole Closure. J Ophthalmol. 2016: 1769794. 2016.
37. 八百枝 潔, 福島 淳志, 白柏 基宏, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 福地 健郎: 原発開放隅角緑内障眼における中心角膜厚と角膜生体力学的特性による眼圧値の補正. 臨床眼科 70 (3) : 323-329, 2016.
38. 松田 英伸, 酒井 康弘, 上田 恵理子, 福地 健郎: 内眼炎所見を合併した多発性後極部網膜色素上皮症(MPPE)の1例. 臨床眼科70 (5) : 681-687, 2016.
39. 宮本 大輝, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 佐々木 藍季子, 福武 慈, 本間 友里恵,

- 福地 健郎：マイクロチューブシャント（エクスプレス）を用いた濾過手術後の角膜内皮細胞変化. あたらしい眼科33 (11) : 1645-1650, 2016.
40. Aihara M, Adachi M, Matsuo H, Togano T, Fukuchi T, Sasaki N:JAC Study group † . Additive effects and safety of fixed combination therapy with 1% brinzolamide and 0.5% timolol versus 1% dorzolamide and 0.5% timolol in prostaglandin-treated glaucoma patients. *Acta Ophthalmol.* 95(8) : e720-e726. 2017.
 41. Kunitatsu-Sanuki S, Iwase A, Araie M, Aoki Y, Hara T, Fukuchi T, Udagawa S, Ohkubo S, Sugiyama K, Matsumoto C, Nakazawa T, Yamaguchi T, Ono H.:The role of specific visual subfields in collisions with oncoming cars during simulated driving in patients with advanced glaucoma. *Br J Ophthalmol.* 101 (7) :896-901. 2017.
 42. Igarashi R, Ochiai S, Sakaue Y, Suetake A, Iikawa R, Togano T, Miyamoto F, Miyamoto D, Fukuchi T.:Optical coherence tomography angiography of the peripapillary capillaries in primary open-angle and normal-tension glaucoma. *PLoS One.* 15;12(9) :e0184301. 2017.
 43. Murata N, Miyamoto D, Togano T, Fukuchi T.:Evaluating Silent Reading Performance with an Eye Tracking System in Patients with Glaucoma. *PLoS One.* 2017 Jan 17;12(1) :e0170230.
 44. 福武 慶, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 五十嵐 遼子, 長谷部 目, 福地 健郎: Soemmerring輪を伴う続発閉塞隅角症の2例. あたらしい眼科34 (7) : 1054-1059, 2017.
 45. 梅野 哲哉, 平島 みほ, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 飯川 龍, 本間 友里恵, 福地 健郎: Humphrey視野計10-2 プログラム異常点数と黄斑部網膜内層厚セクター判定との相関. あたらしい眼科34 (10) : 1465-1469, 2017.
 46. 本間 友里恵, 梅野 哲哉, 宮本 大輝, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 福地 健郎: 広義・原発開放隅角緑内障眼の中心窓閾値と矯正視力, 傍中心窓視野感度閾値の相関. あたらしい眼科34 (11) : 1617-1621, 2017.
 47. Ominato J, Fukuchi T, Sato A, Yamaguchi N, Kobayashi K, Cho H, Oyama T, Ajioka Y.:The Role of Mutation Rates of GNAQ or GNA11 in Cases of Uveal Melanoma in Japan. *Appl Immunohistochem Mol Morphol.* 26(9) :658-663. 2018.
 48. Udagawa S, Ohkubo S, Iwase A, Susuki Y, Kunitatsu-Sanuki S, Fukuchi T, Matsumoto C, Ohno Y, Ono H, Sugiyama K, Araie M.:The effect of concentric constriction of the visual field to 10 and 15 degrees on simulated motor vehicle accidents. *PLoS One.* 14;13(3) :e0193767. 2018.
 49. Terashima H, Okamoto F, Hasebe H, Matsuoka N, Fukuchi T.:Vitrectomy for Epiretinal Membranes:Ganglion Cell Features Correlate with Visual Function Outcomes. *Ophthalmol Retina.* 2(11) :1152-1162. 2018.
 50. Takagi Y, Santo K, Hashimoto M, Fukuchi T.:Ocular hypotensive effects of prostaglandin analogs in Japanese patients with normal-tension glaucoma:a literature review. *Clin Ophthalmol.* 21;12: 1837-1844. 2018.
 51. Yaoeda K, Fukushima A, Shirakashi M, Miki A, Fukuchi T.:Factors associated with fluctuations in

- repeated measurements of intraocular pressure using the Goldmann applanation tonometer in Japanese patients with primary open-angle glaucoma. Clin Ophthalmol. 17;12:1473-1478. 2018.
52. 福地 健郎：緑内障とquality of vision／quality of life. 日本眼学会雑誌122 : 801-814, 2018.
 53. Chernyshova K, Inoue K, Yamashita SI, Fukuchi T, Kanki T.:Glaucoma-Associated Mutations in the Optineurin Gene Have Limited Impact on Parkin-Dependent Mitophagy. Invest Ophthalmol Vis Sci. 1;60(10) :3625-3635. 2019.
 54. Hiroko Terashima, Hiruma Hasebe, Fumiki Okamoto, Naoki Matsuoka, Yayoi Sato, Takeo Fukuchi:COMBINATION THERAPY OF INTRAVITREAL RANIBIZUMAB AND SUBTHRESHOLD MICROPULSE PHOTOCOAGULATION FOR MACULAR EDEMA SECONDARY TO BRANCH RETINAL VEIN OCCLUSION:6-MONTH RESULT. Retina. 39(7) : 1377-1384. 2019.
 55. Ominato J, Oyama T, Cho H, Shiozaki N, Umez H, Takizawa J, Fukuchi T.:The natural course of IgG4-related ophthalmic disease after debulking surgery:a single-centre retrospective study. BMJ Open Ophthalmol. 9:4(1) :e000295. 2019.
 56. Nakazawa T, Fukuchi T.:What is glaucomatous optic neuropathy? Jpn J Ophthalmol. 64(3) :243-249. 2020.
 57. Igarashi R, Yamashita SI, Yamashita T, Inoue K, Fukuda T, Fukuchi T, Kanki T.:Gemcitabine induces Parkin-independent mitophagy through mitochondrial-resident E3 ligase MUL1-mediated stabilization of PINK1. Sci Rep. 30:10(1) :1465. 2020.
 58. Nakano H, Togano T, Sakaue Y, Suetaka A, Iikawa R, Nakano R, Fukuchi T.:Clinical Features of Patients with Exfoliation Glaucoma Requiring Surgical Intervention. J Ophthalmol. 19:2020: 9423756. 2020.
 59. Igarashi R, Ochiai S, Togano T, Sakaue Y, Suetake A, Iikawa R, Honma Y, Miyamoto D, Fukuchi T.:Foveal Avascular Zone Measurement Via Optical Coherence Tomography Angiography and its Relationship With the Visual Field in Eyes With Open-angle Glaucoma. J Glaucoma. 29(6) :492-497. 2020.
 60. 福地 健郎：緑内障診療におけるイメージングの進歩と今後の展望. 日眼会誌 124 : 529-530, 2020.
 61. 酒井 愛, 中野 里絵子, 松田 英伸, 黒澤 史門, 佐々木 藍季子, 酒井 康弘, 福地 健郎：新潟大学病院における過去12年間の急性網膜壞死症例の検討. 臨床眼科74 (4) : 421-427. 2020
 62. 新家 真, 福地 健郎, 中村 誠, 関弥 卓郎：ブリモニジン/チモロール配合点眼液の原発開放隅角緑内障（広義）および高眼圧症を対象とした第III相臨床試験 チモロールとの比較試験. あたらしい眼科37 (3) : 336-344, 2020.
 63. 新家 真, 福地 健郎, 中村 誠, 関弥 卓郎：ブリモニジン/チモロール配合点眼液の原発開放隅角緑内障（広義）および高眼圧症を対象とした長期投与試験. あたらしい眼科37 (3) : 345-352, 2020.
 64. 吉野 秀昭, 福地 健郎：極低出生体重児の血漿成長因子・サイトカイン濃度の検討. 新潟医学会

雑誌134（1）：19-27, 2020.

65. 吉野 秀昭, 宮島 誠, 坂上 悠太, 福地 健郎: 健診, ドック受診を機会に魚沼基幹病院眼科において緑内障と診断された症例の検討. 新潟医学会雑誌134（3）：91-97, 2020.
66. 田沢 綾子, 植木 智志, 清河 慈, 羽入 貴子, 畑瀬 哲尚, 福地 健郎: 眼球運動制限を伴わない強度近視性内斜視に対して上外直筋結合術を施行し術後約6年間経過観察を行った1例. 神経眼科37（3）：317-321, 2020.
67. 黒澤 史門, 植木 智志, 清河 慈, 畑瀬 哲尚, 福地 健郎: 高血圧性網膜症による乳頭腫脹と鑑別を要した特発性頭蓋内圧亢進症によるうつ血乳頭の1例. 神経眼科37（4）：400-405, 2020.
68. Nakano H, Hasebe H, Murakami K, Cho H, Kondo D, Iino N, Fukuchi T.: Choroid structure analysis following initiation of hemodialysis by using swept-source optical coherence tomography in patients with and without diabetes. PLoS One. 11;15(9):e0239072. 2020.
69. Yoshida H, Terashima H, Ueda E, Hasebe H, Matsuoka N, Nakano H, Fukuchi T.: Relationship between morphological changes in the foveal avascular zone of the epiretinal membrane and postoperative visual function. BMJ Open Ophthalmol. 17;5(1):e000636. 2020.
70. Higashide T, Ohkubo S, Udagawa S, Sugiyama K, Tanihara H, Araie M, Tomita G, Matsumoto C, Fukuchi T, Tomidokoro A, Hangai M, Kawata H, Inai M, Tanaka Y: SVF Prospector Study Group. Spatial and Temporal Relationship between Structural Progression and Disc Hemorrhage in Glaucoma in a 3-Year Prospective Study. Ophthalmol Glaucoma. 21:S2589-4196(20)30220-9. 2020.
71. Shirono Y, Takizawa I, Kasahara T, Maruyama R, Yamana K, Tanikawa T, Hara N, Sakaue Y, Togano T, Nishiyama T, Fukuchi T, Tomita Y.: Intraoperative intraocular pressure changes during robot-assisted radical prostatectomy: associations with perioperative and clinicopathological factors. BMC Urol. 12;20(1):26. 2020.
72. Iikawa R, Togano T, Sakaue Y, Suetake A, Igarashi R, Miyamoto D, Yaoeda K, Seki M, Fukuchi T.: Estimation of the central 10-degree visual field using en-face images obtained by optical coherence tomography. PLoS One. 5;15(3):e0229867. 2020.
73. Ueki S, Suzuki Y, Kiyokawa M, Hanyu T, Fukuchi T.: Hyperopic anisometropia with a shorter axial length ipsilateral to the ptotic eye in children with congenital ptosis. BMC Ophthalmol. 9;21(1):358. 2021.
74. Horiguchi H, Suzuki E, Kubo H, Fujikado T, Asonuma S, Fujimoto C, Tatsumoto M, Fukuchi T, Sakaue Y, Ichimura M, Kurimoto Y, Yamamoto M, Nakadomari S.: Efficient measurements for the dynamic range of human lightness perception. Jpn J Ophthalmol. 65(3):432-438. 2021.
75. Imai K, Sawada H, Hatase T, Fukuchi T.: Iridocorneal contact as a potential cause of corneal decompensation following laser peripheral iridotomy. Jpn J Ophthalmol. 65(4):460-471, 2021.
76. Terashima H, Okamoto F, Hasebe H, Matsuoka N, Ueda E, Yoshida H, Togano T, Fukuchi T.: Evaluation of postoperative visual function based on the preoperative inner layer structure in the epiretinal membrane. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 259(11):3251-3259. 2021.

77. Ueki S, Hatase T, Kiyokawa M, Kawachi I, Saji E, Onodera O, Fukuchi T, Igarashi H.:Visual outcome of aquaporin-4 antibody-positive optic neuritis with maintenance therapy. *Jpn J Ophthalmol.* 65(5):699-703. 2021.
78. Kiyokawa M, Ueki S, Hatase T, Hanyu T, Fukuchi T.:The Prevalence of Brain Abnormalities in Japanese Patients with Optic Nerve Hypoplasia. *Neuroophthalmology.* 45(4):265-270. 2021.
79. Terashima H, Okamoto F, Hasebe H, Ueda E, Yoshida H, Fukuchi T.:Optical coherence tomography angiography and Humphrey field analyser for macular capillary non-perfusion evaluation in branch retinal vein occlusion. *Sci Rep.* 11(1):4583. 2021.
80. 石井 雅子, 間 聰美, 末武 亜紀, 福地 健郎: 2つの視野計による新しい視野障害等級判定 緑内障による検討. *あたらしい眼科*38 (1) : 97-101, 2021.
81. 有松 真央, 芳野 高子, 松田 英伸, 松岡 尚気, 黒澤 史門, 福地 健郎:生来健康な若年者の片眼に発症した内因性細菌性眼内炎の1例. *臨床眼科*75 (3) : 308-312, 2021.
82. 佐藤 伊将, 松田 英伸, 野崎 耀平, 黒澤 史門, 佐々木 藍季子, 福地 健郎:10年後に僚眼に発症しウイルス定量を行った急性網膜壊死の1例. *臨床眼科*75 (4) : 549-554, 2021.
83. 吉田 博光, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 安藤 拓海, 長谷部 日, 福地 健郎:特発性黄斑円孔に対する中心窩温存内境界膜剥離術後の視機能と黄斑形態の評価. *新潟医学会雑誌*135 (1 - 3) : 23-30, 2021.
84. 福地 健郎:緑内障からQOLを守るためのストラテジー. *臨床眼科*75 : 425-434, 2021.
85. Ando T, Seki M, Ueda E, Suetake A, Terashima H, Yoshida H, Hasebe H, Fukuchi T.:A case of bilateral diffuse uveal melanocytic proliferation with secondary angle closure caused by ciliary body thickening. *Am J Ophthalmol Case Rep.* 28:101729. 2022.
86. Suga A, Yoshitake K, Minematsu N, Tsunoda K, Fujinami K, Miyake Y, Kuniyoshi K, Hayashi T, Mizobuchi K, Ueno S, Terasaki H, Kominami T, Nao-I N, Mawatari G, Mizota A, Shinoda K, Kondo M, Kato K, Sekiryu T, Nakamura M, Kusuhara S, Yamamoto H, Yamamoto S, Mochizuki K, Kondo H, Matsushita I, Kameya S, Fukuchi T, Hatase T, Horiguchi M, Shimada Y, Tanikawa A, Yamamoto S, Miura G, Ito N, Murakami A, Fujimaki T, Hotta Y, Tanaka K, Iwata T.:Genetic characterization of 1210 Japanese pedigrees with inherited retinal diseases by whole-exome sequencing. *Hum Mutat.* 43(12):2251-2264. 2022.
87. Ominato J, Oyama T, Cho H, Shiozaki N, Eguchi K, Fukuchi T.:Evaluation ofthe postoperative course of East Asian eyelid reconstruction with free tarsoconjunctival graft transplantation:A Japanese single-centre retrospective study. *JPRAS Open.* 28:33:6-16. 2022.
88. Hanyu T, Ueki S, Hasegawa Y, Kiyokawa M, Fukuchi T.:Posterior microphthalmos with achievement of good visual acuity and disappearance of papillomacularretinal folds:a case report. *BMC Ophthalmol.* 22(1):424. 2022.
89. 安藤 拓海, 上田 恵理子, 渡邊 航太, 寺島 浩子, 吉田 博光, 宮島 誠, 福地 健郎:黄斑円孔網膜剥離に自然発症した上脈絡膜出血の1例. *臨床眼科*76 (6) : 753-758, 2022.

90. 野崎 耀平, 松田 英伸, 黒澤 史門, 福地 健郎: Nocardia arthritidisによる播種性ノカルジア症に合併したと考えられる内因性網膜下膿瘍の1例. 臨床眼科76(9):1233-1239, 2022.
91. 安樂 晶子, 大湊 純, 塩崎 直哉, 張 大行, 福地 健郎, 他: 滴静脈浸潤がみられたぶどう膜悪性黒色腫の2例. 臨床眼科76(9):1279-1285, 2022.
92. 福地 健郎, 相原 一, 稲谷 大, 他: 第1回緑内障診療実態調査アンケート結果・その1, 患者管理と検査の実際. あたらしい眼科 32:103~109, 2022.
93. 垣鍔 陽央, 稲谷 大, 福地 健郎, 他: 第1回緑内障診療実態調査アンケート結果・その2, 手術選択と術後管理. 緑内障 32:110~115, 2022.
94. 飯川 龍, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 福地 健郎: トラベクレクトミー術後3日目に眼内炎を生じた1例. あたらしい眼科 39:529-532, 2022.
95. Igarashi R, Ochiai S, Akagi T, Miyamoto D, Sakaue Y, Iikawa R, Fukuchi T.: Parapapillary choroidal microvasculature dropout in eyes with primary open-angle glaucoma. Sci Rep. 13(1):20601. 2023.
96. Nakano H, Hasebe H, Murakami K, Nakamura Y, Fukuchi T.: CHOROIDAL VASCULAR DENSITY IN DIABETIC RETINOPATHY ASSESSED WITH SWEPT-SOURCE OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY. Retina. 43(1):34-41. 2023.
97. Akagi T, Kato-Takano Y, Miyamoto D, Sakaue Y, Igarashi R, Iikawa R, Arimatsu M, Miyajima M, Togano T, Fukuchi T.: Relationship between Inter-Eye Asymmetries in Corneal Hysteresis and Visual Field Severity in Patients with Primary Open-Angle Glaucoma. J Clin Med. 12(13):4514. 2023.
98. Ueki S, Hasegawa Y, Hatase T, Kiyokawa M, Fukuchi T.: One-year recurrence rate of Graves ophthalmopathy presenting as diplopia in the primary position after varied doses of intravenous methylprednisolone followed by oral prednisolone with dosing based on the magnetic resonance imaging findings. Jpn J Ophthalmol. 67(1):91-96. 2023.
99. 宮本 大輝, 市村 美香, 落合 竣, 赤木 忠道, 福地 健郎: 広義原発開放隅角緑内障患者に対するアイフレイルチェックリストの有用性の検討. 眼科65(6):571-578, 2023.
100. 福地 健郎: 緑内障の構造から機能へ, そしてQOLへ. あたらしい眼科 40:1047-1062, 2023.
101. 井上 賢治, 福地 健郎, 相原 一, 他: 第2回緑内障診療実態調査アンケート結果・その1, 薬物治療. 緑内障 33:75~80, 2023.
102. 奥野 周蔵, 溝上 志朗, 福地 健郎, 他: 第2回緑内障診療実態アンケート結果・その2, アドヒアランス. 緑内障 33:81~87, 2023.
103. Igarashi R, Ochiai S, Akagi T, Miyamoto D, Sakaue Y, Iikawa R, Fukuchi T.: Author Correction: Parapapillary choroidal microvasculature dropout in eyes with primary open-angle glaucoma. Sci Rep. 14(1):4089. 2024.
104. Akagi T, Togano T, Iikawa R, Igarashi R, Arimatsu M, Miyajima M, Sakaue Y, Fukuchi T.: A

- novel bleb revision technique:lining with tenon's patch graft for treatment of large, ischemic, leaking blebs with severe conjunctival scarring after trabeculectomy. Jpn J Ophthalmol. 68(1):32-36. 2024.
105. Wakasugi M, Yokoseki A, Wada M, Yoshino T, Momotsu T, Sato K, Kawashima H, Nakamura K, Fukuchi T, Onodera O, Narita I.:Cataract Surgery and Chronic Kidney Disease:A Hospital-based Prospective Cohort Study. Intern Med. 63(9):1207-1216. 2024.
106. Ichimura M, Ueki S, Fukuchi T.:Test-Retest of the Spot Vision Screener among Children with Ophthalmological Diseases including Strabismus. J Ophthalmol. 2024:2173860. 2024.
107. Arimatsu M, Akagi T, Suetake A, Sakaue Y, Iikawa R, Igarashi R, Togano T, Ando T, Yoshida H, Terashima H, Fukuchi T.:Intrascleral intraocular lens fixation with ab interno trabeculotomy in patients with exfoliation glaucoma with lens subluxation. Jpn J Ophthalmol. 68(3):200-205. 2024.
108. Ando T, Terashima H, Yoshida H, Ueda E, Ochiai S, Fukuchi T.:Relationship between long-term visual function and the ratio of foveal avascular zone area in eyes with macular hole and healthy fellow eyes. [Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 262(8):2403-2410. 2024.
109. 飯川 龍, 赤木 忠道, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 有松 真央, 福地 健郎:線維柱帶切除術周術期における抗菌薬使用および術野洗浄に関する多施設調査. 日本眼科学会雑誌128 (7) : 525-532, 2024.
110. 宮島 誠, 赤木 忠道, 田中 里佳, 田沢 紗子, 鎌田 紗子, 福地 健郎:続発開放隅角緑内障を認めた虹彩分離症の1例. 日本眼科学会雑誌128 (8) : 610-615, 2024.

学会発表

1. Features and Frequency of Inner Retinal Layer Cavitation Associated with Glaucoma.
Tetsuya Togano, Yuta Sakaue, Takayuki Tanaka, Jun Ueda, Takeo Fukuchi
APGC, 2012
2. EVALUATION OF THE NEW DIGITAL GOLDMANN APPLANATION TONOMETER TO MEASURE INTRAOOCULAR PRESSURE.
Yuta Sakaue, Jun Ueda, Masaaki Seki, Takayuki Tanaka, Tetsuya Togano, Takaiko Yoshino, Takeo Fukuchi
APGC, 2012
3. Several reconstructive methods to improve various anophthalmic orbit syndromes.
Tokuhide Oyama, Hiroyuki Cho, Jun Ohminato
APSOPRS, 2012
4. The evaluation of the ocular surface and appearance after reconstruction for the postexcisional primary epithelial malignant eyelid tumors.
Jun Ohminato, Tokuhide Oyama, Hiroyuki Cho
APSOPRS, 2012
5. 新潟大学医歯学総合病院眼科における眼内悪性リンパ腫の治療と予後.
尾山 徳秀, 張 大行, 大湊 純, 江口 功一
第30回日本眼腫瘍学会, 2012
6. 腎細胞癌の外眼筋転移の1例.
張 大行, 大湊 純, 尾山 徳秀, 江口 功一
第30回日本眼腫瘍学会, 2012
7. 緑内障患者の読書能力 -両眼重ね合わせ視野による検討-.
石井 雅子, 福地 健郎, 張替 涼子, 市村 美香, 岩瀬 愛子, 阿部 春樹
第13回日本ロービジョン学会, 2012
8. 緑内障・視神経・緑内障薬物治療のアップデート.
福地 健郎
第116回日本眼科学会総会, 2012
9. ドライビングシミュレーターでの信号・標識見落としと後期緑内障内の視野因子の関連.
福地 健郎, 国松 志保, 中澤 徹, 青木 由紀, 宇田川 さち子, 大久保 真司, 杉山 和久, 岩瀬 愛子, 小野 浩, 新家 真
第32回日本緑内障学会, 2012
10. 緑内障眼における網膜内層空洞化の頻度.
梅野 哲哉, 坂上 悠太, 田中 隆之, 上田 潤, 福地 健郎
第23回日本緑内障学会, 2012

11. 急性原発閉塞隅角症および急性原発閉塞隅角緑内障の患者背景.
坂上 悠太, 福地 健郎, 梅野 哲哉, 田中 隆之, 上田 潤
第23回日本緑内障学会, 2012
12. 加齢黄斑変性症に対するラニビズマブ併用光線力学療法AMDに対するIVR併用PDT.
高田 律子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 松岡 尚気
 - 第51回日本網膜硝子体学会, 2012
13. 裂孔原性網膜剥離に対する術式別の治療成績.
寺島 浩子, 福島 淳志, 長谷部 日, 高田 律子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮,
松岡 尚気
 - 第51回日本網膜硝子体学会, 2012
14. 眼内悪性リンパ腫の黄斑部 SD-OCT 所見.
寺島 浩子, 尾山 徳秀, 長谷部 日, 高田 律子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 宗村 守,
佐々木 亮, 松岡 尚気
 - 第66回日本臨床眼科学会, 2012
15. 原発性上皮型眼瞼部悪性腫瘍の切除後の再建術についての検討.
大湊 純, 尾山 徳秀, 張 大行, 江口 功一
 - 第66回日本臨床眼科学会, 2012
16. 緑内障患者における両眼視および単眼視での読書能力の比較.
石井 雅子, 福地 健郎, 関 正明, 上田 潤, 張替 涼子, 阿部 春樹
 - 第66回日本臨床眼科学会, 2012
17. The Relationship between the Mean Deviation(MD)Slope and Follow-up Intraocular Pressure (IOP) Reduction ratio in Treated Open-angle Glaucoma Patients.
Fukuchi Takeo, Togano Tetsuya, Sakaue Yuta, Yoshino Takaiko, Igarashi Ryoko, Ueda Jun
WGC, 2013
18. 緑内障患者の視野とQuality of Life / Quality of Vision (シンポジウム).
福地 健郎
 - 第33回日本緑内障学会, 2013
19. Swept-source OCTによる緑内障眼の黄斑部網膜神経線維走行の観察.
福地 健郎, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 芳野 高子, 上田 潤, 本間 友里恵,
宮本 大輝
 - 第33回日本緑内障学会, 2013
20. 中心窓閾値低下のある広義POAG眼に対するトラベクレクトミーの効果.
梅野 哲哉, 宮本 大輝, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 上田 潤, 福地 健郎
 - 第33回日本緑内障学会, 2013
21. Ex-PRESSを用いた濾過手術後にデバイス先端の閉塞を来たした一例.
坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 上田 潤, 福地 健郎
 - 第33回日本緑内障学会, 2013

22. 正常眼圧緑内障眼に対するブルスタグランジン関連薬・ β 遮断薬配合点眼薬の眼圧下降効果
 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 芳野 高子, 上田 潤, 福地 健郎
 第33回日本緑内障学会, 2013
23. 広義原発開放隅角緑内障の中心窓閾値と矯正視力の相関
 本間 友里恵, 宮本 大輝, 上田 潤, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 福地 健郎
 第33回日本緑内障学会, 2013
24. One-year results of Intravitreal injection of Ranibizumab for age-related macular degeneration that underwent photodynamic therapy before.
 Naoki Matsuoka, Hiruma Hasebe, Yayoi Sato, Hiroko Terashima, Ryo Sasaki, Takeo Fukuchi
 第52回日本網膜硝子体学会, 2013
25. 緑内障点眼治療患者における角膜上皮障害就学時健診で発見された網膜色素変性症に対するロービジョンケア.
 建見 香夏絵, 松浦 将人, 石井 雅子, 張替 涼子, 福地 健郎
 第13回日本ロービジョン学会学術総会, 2013
26. 眼窩壁骨折に対する固定孔なし吸収性プレート (LactoSorb[®]) の使用経験.
 尾山 徳秀, 大湊 純, 張 大行, 福地 健郎
 第1回日本眼形成外科学会, 2013
27. 眼瞼内容除去術後的人工真皮使用経験.
 大湊 純, 尾山 徳秀, 張 大行, 江口 功一, 福地 健郎
 第1回日本眼形成外科学会, 2013
28. Melanoma associated retinopathyの1例.
 畑瀬 哲尚, 植木 智志, 福地 健郎
 第51回日本神経眼科学会総会, 2013
29. 眼科健診から専門医を受診した小児の検討.
 石井 雅子, 落合 竣, 松浦 将人, 福地 健郎
 第69回日本弱視斜視学会総会, 2013
30. 拡大眼窩腫瘍切除および義眼床再建を行った二次性眼窩Ewing肉腫の1例.
 尾山 徳秀, 張 大行, 大湊 純, 江口 功一, 福地 健郎
 第31回日本癌腫瘍学会, 2013
31. 重粒子線治療後に再発した涙丘部脂腺癌の1例.
 張 大行, 大湊 純, 尾山 徳秀, 江口 功一, 福地 健郎
 第31回日本癌腫瘍学会, 2013
32. 涙嚢周囲IgG 4関連眼疾患の2例.
 大湊 純, 張 大行, 尾山 徳秀, 江口 功一, 福地 健郎
 第31回日本癌腫瘍学会, 2013
33. 糖尿病患者のロービジョンケアの実際－視能訓練士の立場から－.
 石井 雅子

第19回日本糖尿病眼学会総会, 2013

34. 吸引付き眼窩スパートルの作製.

尾山 徳秀, 張 大行, 大湊 純, 鈴木 貴之, 福地 健郎

第28回日本眼窩疾患シンポジウム, 2013

35. Swept-source OCTによる緑内障眼の黄斑部網膜神経線維走行の観察.

福地 健郎, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 芳野 高子, 上田 潤, 本間 友里恵,
宮本 大輝

第33回日本緑内障学会, 2013

36. 中心窩閾値低下のある広義POAG眼に対するトラベクレクトミーの効果.

梅野 哲哉, 宮本 大輝, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 上田 潤, 福地 健郎

第33回日本緑内障学会, 2013

37. Ex-PRESSを用いた濾過手術後にデバイス先端の閉塞を来たした一例.

坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 上田 潤, 福地 健郎

第33回日本緑内障学会, 2013

38. 正常眼圧緑内障眼に対するブルスタグラジン関連薬・ β 遮断薬配合点眼薬の眼圧下降効果.

五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 芳野 高子, 上田 潤, 福地 健郎

第33回日本緑内障学会, 2013

39. 広義原発開放隅角緑内障の中心窩閾値と矯正視力の相関.

本間 友里恵, 宮本 大輝, 上田 潤, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 福地 健郎

第33回日本緑内障学会, 2013

40. 原発閉塞隅角症・緑内障の治療戦略（シンポジウム）.

岡田 守生, 福地 健郎

第36回日本眼科手術学会, 2013

41. 黄斑剥離を伴う裂孔原性網膜剥離の長期視力予後.

寺島 浩子, 福島 淳志, 長谷部 日, 高田 律子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮,

松岡 尚気

第36回日本眼科手術学会, 2013

42. 下斜筋被覆法を用いた義眼台包埋術の有用性.

尾山 徳秀, 大湊 純, 張 大行, 江口 功一

第36回日本眼科手術学会, 2013

43. 高度の上下の涙小管狭窄に対する皮膚側アプローチによる涙小管拡張術.

大湊 純, 尾山 徳秀, 張 大行, 江口 功一

第36回日本眼科手術学会, 2013

44. ドライビングシュミレータでの信号・標識見落としと後期緑内障視野の関連.

福地 健郎, 国松 志保, 宇田川 さち子, 大久保 真司, 岩瀬 愛子, 小野 浩, 青木 由紀,

中澤 徹, 杉山 和久, 新家 真

第67回日本臨床眼科学会, 2013

45. 眼科医として理解しておくべき眼科領域画像診断のコツと落とし穴Vol. 2.
尾山 徳秀, 林 英之, 中尾 雄三, 西川 憲清
第67回日本臨床眼科学会, 2013
46. 腎細胞癌を合併した無色素性脈絡膜悪性黒色腫の一例.
大湊 純
第67回日本臨床眼科学会, 2013
47. Examination of the macular retinal nerve fiber bundles by the Swept-source Optical Coherence Tomography.
Takeo Fukuchi, Tetsuya Togano, Yuta Sakaue, Ryoko Igarashi, Takaiko Yoshino
WOC, 2014
48. Evaluation of retinal changes in idiopathic macular hole using swept-source OCT.
Hiruma Hasebe, Hiroko Terashima, Naoki Matsuoka, Ryo Sasaki, Eriko Ueda
WOC, 2014
49. Long-term results of photodynamic therapy for chronic central serous chorioretinopathy.
Yayoi Sato, Hiruma Hasebe, Ritsuko Takada, Hiroko Terashima, Eriko Ueda, Naoki Matsuoka, Ryo Sasaki, Takeo Fukuchi
WOC, 2014
50. Vision prognosis after intravitreal bevacizumab for treatment of branch retinal vein occlusion.
Hiroko Terashima, Hiruma Hasebe, Takeo Fukuchi
WOC, 2014
51. Effect of Trabeculectomy on POAG eyes with foveal sensitivity loss.
Tetsuya Togano
WOC, 2014
52. The dismasking flap procedure as a cranoorbitofacial approach.
Tokuhide Oyama
WOC, 2014
53. Cystoid macular edema secondary to nanoparticle albumin-bound Paclitaxel(Abraxane) treated with subtenon injections of triamcinolone acetonide.
Naoki Matsuoka, Hiruma Hasebe, Tetsuji Mayama, Takeo Fukuchi
WOC, 2014
54. The evaluation of eyelid reconstructive surgical procedures for primary epithelial malignant eyelid tumors.
Jun Ominato, Tokuhide Oyama, Hiroyuki Cho, Koichi Eguchi, Takeo Fukuchi
WOC, 2014
55. Anisometropia and anisometropic amblyopia ipsilateral to the ptotic eye in congenital ptosis children.
Satoshi Ueki, Yuji Suzuki, Takako Hanyu, Tetsuhisa Hatase, Takeo Fukuchi

第12回国際斜視学会 (ISA2014), 2014

56. Three school children with spasm of the near reflex.

Takako Hanyu, Satoshi Ueki, Tetsuhisa Hatase, Takeo Fukuchi

第12回国際斜視学会 (ISA2014), 2014

57. The influence of peripheral corneal configuration on primary angle closure.

Tetsuya Togano, Daiki Miyamoto, Yuta Sakaue, Miho Hirashima, Takeo Fukuchi

APGC, 2014

58. Pediatric Consultations at the Low Vision Clinic in Niigata University Hospital.

Masako Ishii, Noriaki Murata, Ryoko Harigai, Takeo Fukuchi

第70回日本弱視斜視学会総会 第39回日本小児眼科学会総会 アメリカ小児眼科斜視弱視学会 合
同学会 (Trio学会), 2014

59. 当院における脂腺癌59例の検討.

張 大行, 大湊 純, 尾山 徳秀, 江口 功一, 福地 健郎

第32回日本眼腫瘍学会, 2014

60. 両側結膜に限局した濾胞性リンパ腫の一例.

大湊 純, 張 大行, 尾山 徳秀, 福地 健郎

第32回日本眼腫瘍学会, 2014

61. 広義・原発開放隅角緑内障眼の中心窓閾値と矯正視力の相関 第二報等価球面度数別の検討.

本間 友里恵, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 宮本 大輝, 福地 健郎

第4回日本視野学会学術集会, 2014

62. 新潟大学医歯学総合病院ロービジョン外来における後期高齢者のニーズと補装具処方状況.

村田 憲章, 石井 雅子, 張替 涼子, 福地 健郎

第15回日本ロービジョン学会, 2014

63. 小児の甲状腺眼症の2症例.

畠瀬 哲尚, 植木 智志, 羽入 貴子, 福地 健郎

第52回日本神経眼科学会, 2014

64. 黄斑円孔閉鎖後にOCTで認められる中心窓高反射所見と視力予後の関係.

長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 佐々木 亮, 福地 健郎

第53回網膜硝子体学会, 2014

65. 網膜静脈分枝閉塞症の黄斑浮腫に対する抗VEGF療法とマイクロパルス閾値下凝固併用療法.

寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 志村 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気,

福地 健郎

第53回網膜硝子体学会, 2014

66. 高度な網膜色素上皮剥離を伴う加齢黄斑変性に対するアフリベルセプトの治療効果.

佐藤 弥生, 長谷部 日, 寺島 浩子, 松岡 尚気, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎

第53回網膜硝子体学会, 2014

67. 抗VEGF剤の硝子体内注射による後部硝子体剥離の発症頻度.
松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎
第53回網膜硝子体学会, 2014
68. 黄斑下血腫に対する硝子体内ガス注入術の検討.
中野 英之, 松岡 尚気, 長谷部 日, 佐々木 亮, 寺島 浩子, 上田恵理子, 佐藤 弥生,
福地 健郎
第53回網膜硝子体学会, 2014
69. 小児の甲状腺眼症の2症例.
畠瀬 哲尚, 植木 智志, 羽入 貴子, 福地 健郎
第30回真鶴セミナー, 2014
70. 眼周囲外傷症例に対するW-plastyの経験および術後経過.
尾山 徳秀, 張 大行, 大湊 純, 江口 功一, 福地 健郎
第29回眼窩疾患シンポジウム, 2014
71. 複視を主訴とするParry-Romberg症候群.
張 大行, 大湊 純, 尾山 徳秀, 江口 功一, 福地 健郎
第29回眼窩疾患シンポジウム, 2014
72. 両側結膜に限局した濾胞性リンパ腫の一例.
大湊 純, 張 大行, 尾山 徳秀, 福地 健郎
第17回新潟悪性リンパ腫研究会, 2014
73. 緑内障患者の読書能力 (シンポジウム).
福地 健郎
第25回日本緑内障学会, 2014
74. 中心窩閾値との相関に基づいたハンフリー視野10-2測定点のクラスタ分類.
福地 健郎, 本間 友里恵, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 平島 みほ, 五十嵐 遼子, 芳野 高子,
宮本 大輝
第25回日本緑内障学会, 2014
75. Swept-source OCT のEn-faceイメージによる緑内障眼網膜神経線維束の観察.
福地 健郎, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 平島 みほ, 五十嵐 遼子, 芳野 高子, 本間 友里恵,
宮本 大輝
第68回日本臨床眼科学会, 2014
76. ぶどう膜炎所見を合併した多発性後極部網膜色素上皮症の1例.
松田 英伸, 酒井 康弘, 上田 恵理子, 福地 健郎
第68回日本臨床眼科学会, 2014
77. アブラキサン[®]による両黄斑浮腫に対するトリアムシノロンテノン嚢下注射施行の一例.
松岡 尚気, 長谷部 日, 真山 徹二, 福地 健郎
第68回日本臨床眼科学会, 2014
78. 黄斑浮腫に対する577nmマイクロパルス閾値下レーザーの治療成績.

寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚氣, 福地 健郎
第68回日本臨床眼科学会, 2014

79. Lens vault增加に与える因子についての検討.
梅野 哲哉, 宮本 大輝, 坂上 悠太, 平島 みほ, 福地 健郎
第68回日本臨床眼科学会, 2014
80. 網膜色素線条に脈絡膜新生血管を合併した家族例.
中野 英之, 長谷部 日, 松岡 尚氣, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 上田 恵理子, 佐藤 弥生,
福地 健郎
第68回日本臨床眼科学会, 2014
81. 当院における過去8年間の急性網膜壞死症例の検討.
中野 里絵子, 松岡 尚氣, 松田 英伸, 酒井 康弘, 長谷部 日, 福地 健郎
第68回日本臨床眼科学会, 2014
82. ハンフリー視野計10-2の実測閾値とSD-OCTの黄斑部パラメータとの相関.
坂上 悠太, 本間 友里恵, 平島 みほ, 梅野 哲哉, 福地 健郎
第25回日本緑内障学会, 2014
83. Soemmering輪により続発閉塞隅角緑内障をきたした2例.
福武 慈, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 五十嵐 遼子, 平島 みほ, 長谷部 日, 福地 健郎
第25回日本緑内障学会, 2014
84. ハンフリー10-2プログラムとオクトパスMプログラムの比較.
本間 友里恵, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 平島 みほ, 五十嵐 遼子, 宮本 大輝, 福地 健郎
第25回日本緑内障学会, 2014
85. 周辺角膜傾斜度が隅角閉塞に及ぼす影響.
宮本 大輝, 梅野 哲哉, 村田 憲章, 坂上 悠太, 平島 みほ, 本間 友里恵, 福地 健郎
第25回日本緑内障学会, 2014
86. 緑内障眼におけるMicrocystic Macular Edemaの発生頻度.
村田 憲章, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 本間 友里恵, 宮本 大輝, 福地 健郎
第25回日本緑内障学会, 2014
87. 近視緑内障眼に対する濾過手術と合併症対策.
梅野 哲哉
第37回日本眼科手術学会, 2014
88. 吸引付き眼窩スパートルの作製.
尾山 徳秀, 張 大行, 大湊 純, 鈴木 貴之, 福地 健郎
第37回日本眼科手術学会, 2014
89. 小線源治療後の脈絡膜悪性黒色腫～臨床所見と病理所見の比較～.
大湊 純, 張 大行, 尾山 徳秀, 江口 功一, 福地 健郎
第48回眼科臨床病理組織研究会, 2014

90. Comparison of visual field defects between HTG and NTG. (シンポジウム).
Takeo Fukuchi
Asia-ARVO, 2015
91. The Features of Glaucomatous Retinal Nerve Fiber Bundles Observed by En-face Swept-Source Optical Coherence Tomography.
Takeo Fukuchi, Tetsuya Togano, Yuuta Sakae, Miho Hirashima, Ryoko Igarashi, Takaiko Yoshino ARVO, 2015
92. Cluster classification of HFA 10·2test points based on their correlation with the foveal threshold.
Takeo Fukuhi, Yurie Honma, Tetsuya Togano, Yuta Sakaue, Miho Hirashima, Ryoko Igarashi, Takaiko Yoshino, Daiki Miyamoto
WGC, 2015
93. Postoperative changes of the ellipsoid zone in successfully closed macular hole.
Hiruma Hasebe
Euretina, 2015
94. Combination therapy of intravitreal ranibizumab and subthreshold micropulse photocoagulation for macular edema secondary to branch retinal vein occlusion.
Hiroko Terashima, Hiruma Hasebe, Takeo Fukuchi
Euretina, 2015
95. Preperimetric Glaucomaのサイエンス (シンポジウム).
中澤 徹, 福地 健郎
第119回日本眼科学会, 2015
96. 黄斑円孔閉鎖後のellipsoid lineの微細構造変化.
長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 松岡 尚氣, 佐々木 亮, 福地 健郎
第119回日本眼科学会, 2015
97. CMV角膜内皮炎による角膜内皮細胞数減少例における白内障手術後の内皮細胞数変化.
酒井 康弘, 畑瀬 哲尚, 松田 英伸, 福地 健郎
第119回日本眼科学会, 2015
98. アクアポリン4抗体陽性視神経炎の臨床像.
植木 智志
第119回日本眼科学会, 2015
99. ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術における頭低位と眼圧変動に関する検討.
坂上 悠太, 梅野 哲哉, 平島 みほ, 若井 美喜子, 西山 勉, 笠原 隆, 瀧澤 逸大, 福地 健郎
第119回日本眼科学会, 2015
100. 腺様囊胞癌におけるEGFRの発現とRAS, BRAF遺伝子変異の有無についての検討.
大湊 紗
第33回日本眼腫瘍学会, 2015

101. 滲出型加齢黄斑変性に対する抗VEGF治療におけるTreat and Extendの効果.
長谷部 日, 佐藤 弥生, 松岡 尚気, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎
第54回日本網膜硝子体学会, 2015
102. ポリープ状脈絡膜血管症に対するアフリベルセプト療法の効果と脈絡膜厚変化.
寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 福地 健郎
第54回日本網膜硝子体学会, 2015
103. 6歳児に診断したVogt-小柳-原田病の1例.
松田 英伸, 酒井 康弘, 田沢 綾子, 梅野 哲哉, 福地 健郎
第69回日本臨床眼科学会, 2015
104. 滲出性加齢黄斑変性に対するアフリベルセプト切り替え治療の1年成績.
佐藤 弥生, 長谷部 日, 寺島 浩子, 松岡 尚気, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎
第69回日本臨床眼科学会, 2015
105. 高侵襲OCTによる網膜静脈分枝閉塞症に対する治療前後の黄斑部脈絡膜厚変化.
寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 福地 健郎
第69回日本臨床眼科学会, 2015
106. 加齢黄斑変性症に対する抗VEGF薬治療に硝子体黄斑瘻着が及ぼす影響.
松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 佐藤 弥生, 福地 健郎
第69回日本臨床眼科学会, 2015
107. Quality of Visionに基づく進行判定と評価.
梅野 哲哉, 澤田 英子, 石井 雅子, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 福地 健郎
第69回日本臨床眼科学会, 2015
108. 手術治療を要した落屑緑内障症例の臨床的特徴.
中野 英之, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 平島 みほ, 末武 亜紀, 福地 健郎
第69回日本臨床眼科学会, 2015
109. SS-OCTによる視神経部分低形成の網膜神経線維束観察と緑内障性視神経症との鑑別.
飯川 龍
第69回日本臨床眼科学会, 2015
110. Charcot Marie Tooth病に慢性中心性漿液性脈絡網膜症を合併した若年者の一例.
黒澤 史門, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 松岡 尚気, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮,
福地 健郎, 小野寺 理
第69回日本臨床眼科学会, 2015
111. 広義原発開放隅角緑内障眼の中心腐闕値と視力, HFA10-2の相関:病型別等価球面別検討.
本間 友里恵, 末武 亜紀, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 宮本 大輝, 五十嵐 遼子, 平島 みほ,
芳野 高子, 福地 健郎
第69回日本臨床眼科学会, 2015
112. 新潟大学ロービジョン外来における遮光眼鏡の処方状況—補装具給付条件改正後の検討—.
本間 友里恵, 石井 雅子, 張替 涼子, 福地 健郎

- 第16回日本ロービジョン学会, 2015
113. QOV & ADL (シンポジウム).
福地 健郎, 庄司 信行
第26回日本緑内障学会, 2015
114. シラスOCTコンボレポートの有用性.
梅野 哲哉, 平島 みほ, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 佐々木 藍季子, 本間 友里恵, 福地 健郎
第26回日本緑内障学会, 2015
115. サイトメガロウイルス角膜内皮炎症例における続発緑内障合併例の検討.
田沢 綾子, 酒井 康弘, 松田 英伸, 梅野 哲哉, 福地 健郎
第26回日本緑内障学会, 2015
116. SD-OCTによる広義・原発開放隅角緑内障眼の乳頭内および乳頭周囲毛細血管網の観察.
落合 竣, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 佐々木 藍季子, 福武 慈, 本間 友里恵, 宮本 大輝,
福地 健郎
第26回日本緑内障学会, 2015
117. Ex-PRESS®挿入濾過手術後の角膜内皮細胞所見の検討.
宮本 大輝, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 佐々木 藍季子, 福武 慈, 本間 友里恵,
福地 健郎
第26回日本緑内障学会, 2015
118. 麻痺性斜視-診断と治療の進歩.
植木 智志
第71回日本弱視斜視学会, 2015
119. Posterior microphthalmosの1例.
羽入 貴子, 植木 智志, 畑瀬 哲尚, 福地 健郎
第71回日本弱視斜視学会総会, 2015
120. 散弾銃の誤射による眼窩内異物の1例.
張 大行, 大湊 純, 尾山 徳秀, 福地 健郎
第30回日本眼窩疾患シンポジウム, 2015
121. QOL/QOV維持のための広義・原発開放隅角緑内障に対する手術治療 (シンポジウム).
福地 健郎
第38回日本眼科手術学会, 2015
122. 新潟大学眼科における血管新生緑内障に対する25ゲージ硝子体手術の術後経過.
上田 恵理子, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 長谷部 日, 松岡 尚気, 福地 健郎
第38回日本眼科手術学会, 2015
123. 近視性網膜分離症の手術成績.
佐々木 亮, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 中野 里絵子,
中野 英之, 佐々木 藍季子, 福地 健郎
第38回日本眼科手術学会, 2015

124. 上達への近道！眼形成手術の基本手技2015.
張 大行
第38回日本眼科手術学会, 2015
125. 強度近視性斜視のMR画像における特徴を認め横山法を施行した2例.
田沢 綾子, 植木 智志, 羽入 貴子, 畑瀬 哲尚, 福武 慎, 福地 健郎
第53回日本神経眼科学会, 2015
126. Effects of vitreomacular adhesion on anti-Vascular Endothelial Growth Factor treatment for age-related macular degeneration.
Naoki Matsuoka, Hiruma Hasebe, Takeo Fukuchi
WOC, 2016
127. Measurements of the Inner Macular Thickness As an Indicator to Evaluate Foveal Visual Function in Open-angle Glaucoma.
Fukuchi Takeo, Ochiai Shun, Sakaue Yuta, Togano Tetsuya, Suetake Aki, Igarashi Ryoko
ARVO, 2016
128. GNAQ and GNA 11 somatic mutations in uveal melanoma in Japanese patients and their relationship with cell type or proliferation activity.
Ominato Jun, Fukuchi Takeo, Oyama Tokuhide, Cho Hiroyuki, Ajioka Yoichi, Sato Ayako, Kobayashi Kazue, Yamaguchi Naoyuki
ARVO, 2016
129. En-face Imaging of Swept-Source Optical Coherence Tomography of Segmental Optic Nerve Hypoplasia.
Ryu Iikawa, Satoshi Ueki, Tutsuhisa Hatase, Tutsuya Ibgano, Daiki Miyamoto, Takeo Fukuchi
ARVO, 2016
130. Evaluating Silent Reading Performance with the Eye Tracking System in Patients with Glaucoma.
Murata Noriaki, Togano Tesuya, Fukuchi Takeo
ARVO, 2016
131. Postoperative changes of the foveal hyper-reflective lesion on OCT images in the eyes with surgically closed macular hole.
Hiruma Hasebe, Hiroko Terashima, Naoki Matsuoka, Eriko Ueda, Ryo Sasaki, Takeo Fukuchi
EURETINA, 2016
132. Short-Term Changes in Macular Choroidal Thickness after Intravitreal Ranibizumab for Branch Retinal Vein Occlusion: Evaluation Using Swept-Source Optical Coherence Tomography.
Hiroko Terashima, Hiruma Hasebe, Naoki Matsuoka, Yayoi Sato, Takeo Fukuchi
EURETINA, 2016
133. Cluster Classification of HFA 10·2 Test Points and the Relationship between Structure and Function in Glaucoma.
Takeo Fukuchi, Shun Ochiai, Yuta Sakaue, Tetsuya Togano, Ryoko Igarashi, Aki Suetake
12th EGS Congress, 2016

134. VFQ-25ラッシュスコアによる緑内障患者のQOLと視野指標との関係.

末武 亜紀, 梅野 哲哉, 福地 健郎, 澤田 英子

第120回日本眼学会, 2016

135. 先天白内障術後の屈折値の変化.

市村 美香, 植木 智志, 羽入 貴子, 畑瀬 哲尚, 福武 慶, 福地 健郎

第72回日本弱視斜視学会, 2016

136. 視神経低形成17例のMR画像所見.

福武 慶, 植木 智志, 羽入 貴子, 畑瀬 哲尚, 福地 健郎

第41回日本小児眼科学会, 2016

137. 新潟大学医歯学総合病院眼科斜視弱視外来よりロービジョン外来を受診した患児の内訳.

羽入 貴子, 植木 智志, 畑瀬 哲尚, 福武 慶, 張替 涼子, 石井 雅子, 福地 健郎

第17回日本ロービジョン学会, 2016

138. 90歳以上で拡大読書器を日常的に使用している加齢黄斑変性の2例.

落合 竣, 本間 友里恵, 張替 涼子, 石井 雅子, 福地 健郎

第17回日本ロービジョン学会, 2016

139. 新潟大学ロービジョン外来における拡大読書器の指導・処方状況の調査.

本間 友里恵, 石井 雅子, 張替 涼子, 福地 健郎

第17回日本ロービジョン学会, 2016

140. 網膜色素変性の合併が疑われた小口病の一例.

畠瀬 哲尚 植木 智志 福武 慶 羽入 貴子 福地 健郎

第54回日本神経眼科学会, 2016

141. Acute zonal occult outer etinopathy12例の視力予後および多局所ERG所見と視力の相関.

落合 竣, 植木 智志, 畠瀬 哲尚, 福武 慶, 福地 健郎

第54回日本神経眼科学会, 2016

142. 広義・原発開放隅角緑内障のOCT angiographyによる黄斑部血管密度と、網膜内層厚、視野感度閾値の相関.

福地 健郎, 落合 竣, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀

第27回日本緑内障学会, 2016

143. アゾルガ[®]配合懸濁性点眼液とコソプト[®]配合点眼液の眼圧下降効果と安全性の検討.

梅野 哲哉, 松尾 寛, 安達 京, 佐々木 紀幸, 相原 一, 福地 健郎

第27回日本緑内障学会, 2016

144. 緑内障患者の読書能力とHumphrey視野10-2部位別感度の関係性.

村田 憲章, 宮本 大輝, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 本間 友里恵, 福地 健郎

第27回日本緑内障学会, 2016

145. 広義・原発開放隅角緑内障眼におけるOCT-Angiographyを用いた乳頭周囲毛細血管網の観察 第二報.

落合 竣, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 飯川 龍, 本間 友里恵, 宮本 大輝, 福地 健郎

第27回日本緑内障学会, 2016

146. 特発性黄斑円孔閉鎖後のグリア増殖の術後経過.

長谷部 日, 松岡 尚気, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 吉田 博光, 福地 健郎
第70回日本臨床眼科学会, 2016

147. 原因同定不能の硝子体混濁症例に対する前房水IL-10/IL-6 の検討.

松田 英伸, 酒井 康弘, 張 大行, 大湊 純, 福地 健郎
第70回日本臨床眼科学会, 2016

148. 硝子体手術後の部位別脈絡膜厚の変化.

松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎
第70回日本臨床眼科学会, 2016

149. 難治性視神経症の診断・治療に対する最近の考え方 (シンポジウム).

抗AQP4抗体陽性視神経炎の診断法とその治療

植木 智志

第70回日本臨床眼科学会, 2016

150. 黄斑上膜術前後のハンフリー視野10-2と黄斑部網膜厚の評価.

寺島 浩子, 長谷部 日, 松岡 尚気, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 梅野 哲哉, 福地 健郎
第70回日本臨床眼科学会, 2016

151. 渗出型加齢黄斑変性に対するアフリベルセプト硝子体内注射の1年成績.

佐藤 弥生, 長谷部 日, 寺島 浩子, 松岡 尚気, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎
第70回日本臨床眼科学会, 2016

152. 近視性網膜分離症に対してfovea sparing ILM peelingを用いた硝子体手術の成績.

佐々木 亮, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 佐藤 弥生, 福地 健郎
第70回日本臨床眼科学会, 2016

153. 当科におけるインフリキシマブによるベーチェット病ぶどう膜炎の治療成績.

酒井 康弘, 松田 英伸, 福地 健郎
第70回日本臨床眼科学会, 2016

154. 25ゲージ硝子体システムによる硝子体生検で診断した眼内リンパ腫の術後経過.

上田 恵理子, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 張 大行, 大湊 純,
福地 健郎
第70回日本臨床眼科学会, 2016

155. 緑内障患者における点眼手技に対する検討.

小林 大悟, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 中野 里絵子, 飯川 龍, 福地 健郎
第70回日本臨床眼科学会, 2016

156. 緑内障患者の読書能力とHumphrey視野24-2部位別感度の関係性.

村田 憲章, 宮本 大輝, 梅野 哲哉, 本間 友里恵, 末武 亜紀, 福地 健郎
第70回日本臨床眼科学会, 2016

157. 特発性黄斑円孔閉鎖後のグリア増殖と網膜外層構造の関係.
長谷部 日, 松岡 尚気, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 吉田 博光, 福地 健郎
第55回日本網膜硝子体学会, 2016
158. 黄斑円孔術後の視野感度とGCC.
寺島 浩子, 長谷部 日, 松岡 尚気, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎
第55回日本網膜硝子体学会, 2016
159. 黄斑上膜に対する硝子体手術後の部位別脈絡膜厚・網膜厚と視力の関係.
松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 吉田 博光,
福地 健郎
第55回日本網膜硝子体学会, 2016
160. 強度近視黄斑円孔網膜剥離に対する内境界膜翻転法の治療成績.
吉田 博光, 松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 上田 恵理子, 福地 健郎
第55回日本網膜硝子体学会, 2016
161. 切除生検後のIgG4関連眼疾患の経過.
大湊 純, 張 大行, 尾山 徳秀, 瀧澤 淳, 梅津 哉, 福地 健郎
第34回日本眼腫瘍学会, 2016
162. 日本人ぶどう膜悪性黒色腫症例におけるGNAQ, GNA11の変異率と組織型・増殖活性との関連についての検討.
大湊 純, 福地 健郎, 張 大行, 尾山 徳秀, 佐藤 彩子, 小林 和恵, 山口 尚之,
味岡 洋一
第105回日本病理学会, 2016
163. 腫瘍切除後の鼻側球結膜欠損に対し自己遊離結膜移植を応用した1例.
大湊 純, 張 大行, 尾山 徳秀, 福地 健郎
第36回日本眼窩疾患シンポジウム, 2016
164. 網膜色素変性患者の默読評価.
村田 憲章, 宮本 ふう子, 木下 直彦, 植木 智志, 畑瀬 哲尚, 福地 健郎
第57回日本視能矯正学会, 2016
165. 緑内障患者の読書のニーズと拡大読書器の指導・処方状況.
本間 友里恵, 石井 雅子, 張替 涼子, 福地 健郎
第57回日本視能矯正学会, 2016
166. Evaluation of somatic mutations of KRAS, NRAS, and BRAF in Japanese patients with lacrimal gland epithelial tumors.
Ominato Jun, Oyama Tokuhide, Cho Hiroyuk, Fukuchi Takeo, Sato Ayako, Ajioka Yoichi
ARVO, 2017
167. Correlation between structure and function each cluster of test points within the central 10 degrees in glaucoma.
Sakaue Yuta, Togano Tetsuya, Suetake Aki, Iikawa Ryu, Igarashi Ryoko, Ochiai Shun, Fukuchi

Takeo
ARVO, 2017

168. Relationship between Silent Reading Performance and Clustered Visual Field in Patients with Glaucoma.

Murata Noriaki, Miyamoto Daiki, Togano Tetsuya, Fukuchi Takeo
ARVO, 2017

169. Correlation of visual acuity and segmental choroidal and retinal thickness change following vitrectomy in idiopathic epiretinal membrane.

Matsuoka Naoki, Hasebe Hiruma, Terashima Hiroko, Fukuchi Takeo
ARVO ASIA, 2017

170. Binarization technique to investigate foveal hyper-reflective lesion in OCT image of surgically closed macular hole.

Hiruma Hasebe, Hiroko Terashima, Naoki Matsuoka, Eriko Ueda, Ryo Sasaki, Hiromitsu Yoshida, Takeo Fukuchi
Euretina, 2017

171. Retinal Microstructures and Sensitivity after Vitrectomy and Internal Limiting Membrane Peeling for Epiretinal Membrane: Evaluation Using Swept Source Optical Coherence Tomography and Humphrey 10-2 Program.

Hiroko Terashima, Hiruma Hasebe, Naoki Matsuoka, Tetsuya Togano, Takeo Fukuchi
Euretina, 2017

172. Combination therapy of intravitreal ranibizumab and subthreshold micropulse photocoagulation for macular edema secondary to branch retinal vein occlusion:6 month Result.

Hiroko Terashima, Hiruma Hasebe, Naoki Matsuoka, Yayoi Sato, Takeo Fukuchi
Retina World Congress, 2017

173. Development of High Density Integrated Visual Field Optimized for Evaluation of Vision Related Quality of Life.

Tetsuya Togano
The 33rd Korean Glaucoma Society Annual Meeting, 2017

174. Intraocular pressure changes during robot-assisted laparoscopic radical prostatectomy in normal and glaucomatous eyes.

Yuta Sakaue, Aki Suetake, Ryu Iikawa, Tetsuya Togano, Itsuhiro Takizawa, Takashi Kasahara, Tsutomu Nishiyama, Yoshihiko Tomita, Takeo Fukuchi
The 33rd Korean Glaucoma Society Annual Meeting, 2017

175. Clinical Results of simultaneous trabeculotomy, extraction of lens and fixation of intraocular lens in eyes with subluxated lens and exfoliation glaucoma.

Aki Suetake, Yuta Sakaue, Ryou Sasaki, Tetsuya Togano, Naoki Matsuoka, Eriko Ueda, Hiroko Terashima, Hiruma Hasebe, Takeo Fukuchi
The 33rd Korean Glaucoma Society Annual Meeting, 2017

176. Course of IgG4-related ophthalmic disease following excisional biopsy.
 Jun Ominato, Tokuhide Oyama, Hiroyuki Cho, Takeo Fukuchi
 APAO, 2017
177. Flow density and disappeared angle of the peripapillary capillaries quantified by OCT angiography might be structural indexes in OAG eyes.
 Takeo Fukuchi, Ryoko Igarashi, Syun Ochiai, Tetsuya Togano, Yuta Sakaue, Ryu Iikawa, Aki Suetake, Yurie Honma
 WGC, 2017
178. Relationship Between Vfq25 Score And Mean Sensitivity Of Integrated Visual Field With Weighting Corresponding To The Location.
 Tetsuya Togano, Takeo Fukuchi, Aki Suetake, Ryu Iikawa, Yuta Sakaue
 WGC, 2017
179. The effect of steep Trendelenburg positioning during robot-assisted laparoscopic radical prostatectomy in glaucoma patients.
 Yuta Sakaue, Aki Suetake, Ryu Iikawa, Tetsuya Togano, Itsuhiro Takizawa, Takashi Kasahara, Tsutomu Nishiyama, Yoshihiko Tomita, Takeo Fukuchi
 WGC, 2017
180. Observation of retinal nerve fiber bundles of segmental optic nerve hypoplasia with swept-source OCT en-face imaging and comparison with SD-OCT.
 Ryu Iikawa, Satoshi Ueki, Tetsuhisa Hatase, Tetsuya Togano, Yuta Sakaue, Aki Suetake, Ryoko Igarashi, Daiki Miyamoto, Takeo Fukuchi
 WGC, 2017
181. 緑内障の構造・視野に関する前向き観察研究におけるクラスタ別視野進行と乳頭出血.
 福地 健郎, 梅野 哲哉, 谷原 秀信, 東出 朋巳, 大久保 真司, 宇田川 さち子, 杉山 和久,
 新家 真, 富田 剛司, 松本 長太, 富所 敦男, 板谷 正紀
 第71回日本臨床眼科学会, 2017
182. 緑内障患者の視野とQOLを理解する（シンポジウム）.
 福地 健郎
 第71回日本臨床眼科学会, 2017
183. 網膜静脈分枝閉塞症の黄斑部無灌流領域に対するOCT angiographyと視野感度.
 寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 松岡 尚氣, 佐々木 亮, 福地 健郎
 第71回日本臨床眼科学会, 2017
184. 視力良好な滲出型加齢黄斑変性に対する抗VEGF療法の1年成績.
 佐藤 弥生, 長谷部 日, 寺島 浩子, 松岡 尚氣, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎
 第71回日本臨床眼科学会, 2017
185. ぶどう膜炎から発見された第2期梅毒の一例.
 酒井 康弘, 松田 英伸, 中野 里絵子, 佐々木 藍季子, 福地 健郎
 第71回日本臨床眼科学会, 2017

186. 血管新生縁内障に対するバルベルト縁内障インプラントの手術成績.
佐々木 亮, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 佐藤 弥生, 吉田 博光,
梅野 哲哉, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 福地 健郎
第71回日本臨床眼科学会, 2017
187. 早期縁内障患者の中心10°視野障害の出現頻度とその性状, 上下半視野別クラスタ別検討.
本間 友里恵, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 宮本 大輝, 福地 健郎
第71回日本臨床眼科学会, 2017
188. 縁内障における黄斑部視野の評価.
坂上 悠太
第121回日本眼科学会総会, 2017
189. SS-OCT En-faceイメージによる中心10°推定視野とHFA10-2の比較.
飯川 龍, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 宮本 大輝, 福地 健郎
第121回日本眼科学会総会, 2017
190. IgG4関連疾患に合併したAdult Orbital Xanthogranulomatous Diseaseの一例.
大湊 純, 塩崎 直哉, 尾山 徳秀, 張 大行, 梅津 哉, 福地 健郎
第35回日本眼腫瘍学会, 2017
191. 涙囊原発腺癌の一例.
塩崎 直哉, 大湊 純, 尾山 徳秀, 江口 功一, 松山 洋, 梅津 哉, 福地 健郎
第35回日本眼腫瘍学会, 2017
192. 小児の視神経膠腫5例の臨床像.
羽入 貴子, 植木 智志, 畑瀬 哲尚, 福武 慈, 福地 健郎
第73回日本弱視斜視学会・第42回日本小児眼科学会, 2017
193. 先天眼振症例のnull zoneを推定するゴールドマン視野計を用いた新たな方法.
市村 美香, 植木 智志, 羽入 貴子, 福武 慈, 福地 健郎
第73回日本弱視斜視学会・第42回日本小児眼科学会, 2017
194. 眼瞼後退に対する生体吸収性スペーサー(tarSys[®])を用いた後葉延長術.
大湊 純, 尾山 徳秀, 塩崎 直哉, 張 大行, 福地 健郎
第5回日本眼形成再建外科学会, 2017
195. 縁内障における黄斑部血流と視野の解析(シンポジウム).
五十嵐 遼子
第28回日本縁内障学会, 2017
196. 水晶体亜脱臼・眼内レンズ亜脱臼を合併した落屑縁内障眼に対する治療成績.
末武 亜紀, 坂上 悠太, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 上田 恵理子, 寺島 浩子, 梅野 哲哉,
長谷部 日, 福地 健郎
第28回日本縁内障学会, 2017
197. OCTによる黄斑部の観察と視力・視野(シンポジウム).
飯川 龍

第28回日本緑内障学会, 2017

198. 緑内障加療中に頭蓋内疾患の合併が明らかになった4例.

長谷川 友加里, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 植木 智志, 中野 里絵子, 飯川 龍, 福地 健郎
第28回日本緑内障学会, 2017

199. 広義・原発開放隅角緑内障眼におけるOCT-Angiographyを用いた中心窩無血管領域と網膜内層厚および視野との関係.

落合 竣, 五十嵐 遼子, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 本間 友里恵, 宮本 大輝,
福地 健郎

第28回日本緑内障学会, 2017

200. Ocular Response Analyzer[®]を用いた緑内障病型別での角膜ヒステリシスの検討

宮本 大輝, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 間 聰美,
本間 友里恵, 福地 健郎
第28回日本緑内障学会, 2017

201. Glaucoma surgeonをプロデュースする（会長特別企画）.

福地 健郎

第40回日本眼科手術学会, 2017

202. 指導医もlegacyではダメ！未来につながる手術教育を（シンポジウム）.

長谷部 日

第40回日本眼科手術学会, 2017

203. 弱視と鑑別を要し光干渉断層計検査により診断に至った網膜低形成の1例.

福武 慶, 植木 智志, 羽入 貴子, 畑瀬 哲尚, 福地 健郎
第55回日本神経眼科学会, 2017

204. 網膜色素変性患者の視野障害と読書パターンの関係.

宮本 ふう子, 村田 憲章, 植木 智志, 畑瀬 哲尚, 福地 健郎
第58回日本視能矯正学会, 2017

205. 黄斑円孔を2回再発し内境界膜自家移植が行われた強度近視の1例.

長谷部 日, 松岡 尚気, 吉田 博光, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎
第56回網膜硝子体学会, 2017

206. 黄斑上膜の内境界膜剥離併用術後の視野感度と神経節細胞複合体の評価.

寺島 浩子, 長谷部 日, 松岡 尚気, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎
第56回網膜硝子体学会, 2017

207. 黄斑円孔眼と黄斑上膜眼の領域別脈絡膜厚の検討.

松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 吉田 博光,
福地 健郎
第56回網膜硝子体学会, 2017

208. Clustered Visual Field Progression of Primary Open-angle Glaucoma with Disc Hemorrhages in a Three-year Prospective Study.

Takeo Fukuchi, Testuya Togano, Hidenobu Tanihara, Makoto Araie, Goji Tomita, Chota Matsumoto, Shinji Ohkubo, Atsuo Tomidokoro, Masanori Hangai, Kazuhisa Sugiyama, Hisashi Kawata, Hiroshi Inoue, Maya Inai, Yuki Tanaka
AAO, 2018

209. Correlation Among Foveal Avascular Zone(FAZ)Detected by OCT Angiography and Inner Retinal Thickness, and Visual Filed Defects in POAG/NTG patients.

Takeo Fukuchi, Ryoko Igarashi, Shun Ochiai, Tetsuya Togano, Yuta Sakaue, Ryu Iikawa, Aki Suetake
EGS, 2018

210. Analyzing test-retest variability of cluster sensitivity incorporating the structure-function relationship.

Tetsuya Togano, Giovanni Montesano, David F. Garway-Heath
EGS, 2018

211. Segmental Choroidal Thickness of Idiopathic Macular Hole and Epiretinal Membrane.

Naoki Matsuoka, Hiruma Hasebe, Hiroko Terashima, Takeo Fukuchi
WOC, 2018

212. Local recurrence and lymph node metastasis rates of primary sebaceous and squamous cell carcinoma of the eyelid: A retrospective single institution study.

Jun Ominato, Shiozaki Naoya, Takeo Fukuchi, Tokuhide Oyama, Hiroyuki Cho
WOC, 2018

213. The aims of this study were to evaluate the clinical course of bilateral retinoblastoma(RB) at the ophthalmology department of Niigata University Hospital.

Shiozaki Naoya, Jun Ominato, Takeo Fukuchi, Tokuhide Oyama, Hiroyuki Cho
WOC, 2018

214. Comparison between estimated central 10 degrees visual field from En-face imaging of Swept-Source optical coherence tomography and Humphrey 10-2 Visual Field.

Ryu Iikawa, Tetsuya Togano, Yuta Sakaue, Aki Suetake, Ryoko Igarashi, Takeo Fukuchi
ARVO, 2018

215. Postoperative changes of foveal hyper reflective lesion in OCT images of surgically closed macular hole.

Hiruma Hasebe, Hiroko Terashima, Naoki Matsuoka, Eriko Ueda, Ryo Sasaki, Hideaki Yoshino, Takeo Fukuchi
Euretina Congress, 2018

216. Relationship between optical coherence tomography angiography and visual field sensitivity for macular non-perfusion in branch retinal vein occlusion.

Hiroko Terashima, Hiruma Hasebe, Yayoi Sato, Naoki Matsuoka, Takeo Fukuchi
Euretina Congress, 2018

217. 緑内障の構造・視野に関する前向き観察研究におけるクラスタ別視野進行と乳頭出血.
 福地 健郎, 梅野 哲哉, 谷原 秀信, 東出 朋巳, 大久保 真司, 宇田川 さち子, 杉山 和久,
 新家 真, 富田 剛司, 松本 長太, 富所 敦男, 板谷 正紀
 第72回日本臨床眼科学会, 2018
218. PDRに対する硝子体手術の術中術後合併症とその対策.
 長谷部 日
 第72回日本臨床眼科学会, 2018
219. OCT angiographyによる網膜静脈分枝閉塞症の黄斑部虚血経時的変化と臨床評価.
 寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 佐々木 亮, 福地 健郎
 第72回日本臨床眼科学会, 2018
220. ぶどう膜炎に伴う続発緑内障の検討.
 松田 英伸, 酒井 康弘, 佐々木 藍季子, 中野 里絵子, 黒澤 史門, 福地 健郎
 第72回日本臨床眼科学会, 2018
221. 僚眼にも発症した特発性黄斑円孔症例の特徴.
 松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 吉野 秀昭,
 福地 健郎
 第72回日本臨床眼科学会, 2018
222. 緑内障眼におけるクラスタ化平均視野感度の測定間変動.
 梅野 哲哉, Montesano Giovanni, Garway-Heath David, Tuan Ho
 第72回日本臨床眼科学会, 2018
223. 増殖糖尿病網膜症による血管新生緑内障の手術治療成績.
 佐々木 亮, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 吉野 秀昭, 梅野 哲哉,
 坂上 悠太, 末武 亜紀, 福地 健郎
 第72回日本臨床眼科学会, 2018
224. 眼瞼メルケル細胞癌に対するインターフェロン β 術後補助療法の経過.
 大湊 純, 塩崎 直哉, 中野 里絵子, 尾山 徳秀, 張 大行, 福地 健郎
 第72回日本臨床眼科学会, 2018
225. 篩状板と緑内障性視神経症.
 梅野 哲哉
 第122回日本眼科学会総会, 2018
226. トラベクレクトミー既往眼に対する白内障・ニードリング同時手術の術後眼圧経過.
 坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 中野 里絵子, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 福地 健郎
 第122回日本眼科学会総会, 2018
227. SS-OCT En-face画像と中心齢閾値・網膜内層厚との関連.
 飯川 龍, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 宮本 大輝, 福地 健郎
 第122回日本眼科学会総会, 2018
228. 近視性網膜分離症に対するfovea sparing ILM peelingを用いた硝子体手術成績.

小林 大悟, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 松岡 尚氣, 佐々木 亮, 佐藤 弥生,
福地 健郎

第122回日本眼科学会総会, 2018

229. Macular function in glaucoma patients.

Tetsuya Togano

Asia-Japan symposium, 2018

230. 黄斑部視野障害と眼圧下降治療（シンポジウム）。

坂上 悠太

第29回日本緑内障学会, 2018

231. 緑内障とマイトファジー（シンポジウム）。

五十嵐 遼子

第29回日本緑内障学会, 2018

232. イメージングから考える緑内障視神経症・網膜神経線維（シンポジウム）。

飯川 龍

第29回日本緑内障学会, 2018

233. 緑内障感謝の読書能力とHumphrey視野10-2クラスタ別感度の関係性。

村田 憲章, 宮本 大輝, 木下 直彦, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 福地 健郎

第29回日本緑内障学会, 2018

234. 広義・原発開放隅角緑内障におけるOCT-Angiographyを用いたmicrovasculature dropoutの観察。

落合 竣, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 宮本 ふう子,

間 聰美, 福地 健郎

第29回日本緑内障学会, 2018

235. 後期緑内障患者へのアイトラッキング搭載ドライビングシミュレータの試み。

宮本 ふう子, 間 聰美, 飯川 龍, 福地 健郎, 国松 志保, 伊藤 誠, イジウン, 桑名 潤平,
小野 浩

第29回日本緑内障学会, 2018

236. ロービジョン外来を受診した緑内障患者のニーズと視力、視野の関係。

落合 竣, 石井 雅子, 張替 涼子, 福地 健郎

第19回日本ロービジョン学会, 2018

237. 網膜色素変性患者のニーズとロービジョンケア。

間 聰美, 石井 雅子, 落合 竣, 市村 美香, 張替 涼子, 福地 健郎

第19回日本ロービジョン学会, 2018

238. 網膜剥離の硝子体手術：実践編 術中・術後合併症。

長谷部 日

第41回日本眼科手術学会, 2018

239. ハンフリー視野測定と進行判定。

福地 健郎

第7回日本視野学会, 2018

240. 網膜電図にて診断した桿体一色覚の2例.

安藤 拓海, 植木 智志, 畑瀬 哲尚, 羽入 貴子, 福武 慈, 福地 健郎

第43回日本小児眼科学会, 2018

241. 黄斑上膜における網膜内層構造と術後視機能との関連.

寺島 浩子, 長谷部 日, 松岡 尚気, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 梅野 哲哉, 福地 健郎

第57回網膜硝子体学会, 2018

242. Swept-source OCT en face画像による糖尿病網膜症での脈絡膜血管評価.

中野 英之, 長谷部 日, 中村 裕介, 村上 健治, 村田 憲章, 福地 健郎

第57回網膜硝子体学会, 2018

243. 内壁・下壁両方で眼窩脂肪の絞扼を認めた閉鎖型眼窩壁骨折の一例.

塩崎 直哉, 大湊 純, 福地 健郎

第33回日本眼窩疾患シンポジウム, 2018

244. 眼瞼原発脂腺癌および扁平上皮癌の局所再発率とリンパ節転移率の検討.

大湊 純, 塩崎 直哉, 尾山 徳秀, 張 大行, 福地 健郎

第36回日本眼腫瘍学会, 2018

245. マイトマイシンC点眼加療が有効であった眼瞼結膜悪性腫瘍の2例.

中野 里絵子, 大湊 純, 塩崎 直哉, 張 大行, 福地 健郎

第36回日本眼腫瘍学会, 2018

246. 眼瞼原発clearcell squamous cell carcinomaの一例.

大湊 純, 塩崎 直哉, 尾山 徳秀, 福地 健郎, 谷 優佑, 大橋 瑠子

第51回眼科臨床病理組織研究会, 2018

247. 抗アクアポリン4抗体陽性視神経炎の病態と臨床像(シンポジウム).

植木 智志

第56回日本神経眼科学会, 2018

248. スポットビジョンスクリーナーにより斜視手術後の屈折値・瞳孔径を評価した斜位近視の3例.

市村 美香, 植木 智志, 羽入 貴子, 福武 慈, 福地 健郎

第74回日本弱視斜視学会, 2018

249. Clustered Visual Field Progression of Primary Open-angle Glaucoma with Disc Hemorrhages in a Three-year Prospective Study, 2nd report.

Takeo Fukuchi MD, Tetsuya Togano, Hidenobu Tanihara MD PhD, Makoto Araie MD, Shinji Ohkubo MD PhD, Tomomi Higashide MD PhD, Kazuhisa Sugiyama, MD, PHD, Goji Tomita MD, Chota Matsumoto MD, Atsuo Tomidokoro MD, Masanori Hangai MD, Hisashi Kawata, Hiroshi Inoue, Maya Inai, Yuki Tanaka

AAO, 2019

250. 緑内障眼におけるSwept-source OCT En-face画像と中心窓閾値の関連.

飯川 龍, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 宮本 大輝, 福地 健郎

WGC, 2019

251. Developing a method to predict mean deviation of 10-2 test from 24-2 test in the standard automated perimetry.

Kinuko Kamada, Tetsuya Togano, Ryu Iikawa, Aki Suetake, Yuta Sakaue, Ryoko Ikarashi, Akiko Ota, Takeo Fukuchi

WGC, 2019

252. Characteristics of improvement of visual acuity in the eyes with good visual prognosis after surgical macular hole closure.

Hiruma Hasebe, Hiroko Terashima, Naoki Matsuoka, Erika Ueda, Ryo Sasaki, Hideyuki Nakano, Takeo Fukuchi

EURETINA, 2019

253. Prediction of postoperative visual function based on inner layer structure of preoperative epiretinal membrane.

Hiroko Terashima, Hiruma Hasebe, Naoki Matsuoka, Eriko Baba, Tetsuya Togano, Takeo Fukuchi
EURETINA, 2019

254. Change of the Internal limiting membrane peeling area after Vitrectomy for Idiopathic macular hole.

Naoki Matsuoka, Hiruma Hasebe, Hiroko Terashima, Takeo Fukuchi

EURETINA, 2019

255. 25G Vitrectomy and Internal Limiting Membrane Peeling With and Without fovea sparing for Myopic Foveoschisis.

Mao Arimatsu, Hiroko Terashima, Hiruma Hasebe, Eriko Ueda, Naoki Matsuoka, Takeo Fukuchi
EURETINA, 2019

256. 前視野緑内障の診断と治療（シンポジウム）。

福地 健郎

第123回日本眼科学会総会, 2019

257. 視野と生活を語る（シンポジウム）。

鈴村 弘隆, 福地 健郎

第8回日本視野画像学会, 2019

258. 視野と生活を語る（シンポジウム）。

鈴村 弘隆, 福地 健郎

第8回日本視野画像学会, 2019

259. 新規ブリモニジン／チモロール配合点眼剤の第III相長期投与試験。

福地 健郎, 新家 真, 関弥 卓郎

第73回日本臨床眼科学会, 2019

260. サイトメガロウイルス虹彩毛様体内皮炎の臨床的特徴の検討。

松田 英伸, 佐々木 藍季子, 黒澤 史門, 福地 健郎

第73回日本臨床眼科学会, 2019

261. 近視性網膜分離症に対するfovea sparing ILM peelingの手術成綾.

寺島 浩子, 長谷部 日, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 吉田 博光 中野 英之, 福地 健郎
第73回日本臨床眼科学会, 2019

262. 特発性黄斑円孔治療における内境界膜剥離範囲の経時的变化.

松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 中野 英之, 吉田 博光, 福地 健郎
第73回日本臨床眼科学会, 2019

263. 牛眼症に睫毛内反症を併発した一例.

大湊 純, 塩崎 直哉, 末武 亜紀, 張 大行, 福地 健郎
第73回日本臨床眼科学会, 2019

264. 強度近視黄斑円孔網膜剥離に対する Inverted ILM flap techniqueを用いた硝子体手術.

中野 英之, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 吉田 博光, 長谷部 日, 松岡 尚気, 佐藤 弥生,
福地 健郎

第73回日本臨床眼科学会, 2019

265. 優位眼側の交代により読書能力の低下をきたした緑内障患者3症例の検討.

本間 友里恵

第20回日本ロービジョン学会, 2019

266. 外傷性眼窩内損傷の2例.

尾山 徳秀, 橋本 薫, 武田 啓治, 大湊 純, 張 大行, 福地 健郎
第34回日本眼窩疾患シンポジウム, 2019

267. 肺炎球菌による眼窩膿瘍の一例.

張 大行, 大湊 純, 相澤 悠太, 中野 里絵子, 鎌田 紗子, 尾山 徳秀, 福地 健郎
第34回日本眼窩疾患シンポジウム, 2019

268. 副鼻腔炎に合併した眼窩骨膜下血腫疑いの2例.

大湊 純, 張 大行, 中野 里絵子, 福地 健郎
第34回日本眼窩疾患シンポジウム, 2019

269. 若年者に生じた眼窩限局型多発血管炎性肉芽腫症の一例.

大湊 純, 張 大行, 福地 健郎, 高村 紗由里, 佐々木 嵩暢, 梅津 哉
第37回日本眼腫瘍学会, 2019

270. 眼部に生じたInflammatory myofibroblastic tumorの一例.

大湊 純
第52回眼科臨床病理組織研究会(第89回九州眼科学会), 2019

271. 特発性黄斑円孔閉鎖後視力予後良好群の術後視力経過の特徴.

長谷部 日, 寺島 浩子, 松岡 尚気, 上田 恵理子, 吉田 博光, 中野 英之, 福地 健郎
第58回日本網膜硝子体学会, 2019

272. 緑内障合併黄斑上膜に対する内境界膜剥離の黄斑視機能に及ぼす影響.

寺島 浩子

第58回日本網膜硝子体学会, 2019

273.マイクロペリメトリーによる術前網膜感度を利用した黄斑円孔の術後視力予測.

松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 吉田 博光, 中野 英之, 福地 健郎

第58回日本網膜硝子体学会, 2019

274.特発性網膜前膜における中心窩無血管野と黄斑形態と視機能の関連性.

吉田 博光, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 中野 英之, 松岡 尚気, 長谷部 日, 福地 健郎

第58回日本網膜硝子体学会, 2019

275.小児におけるスポットビジョンスクリーナーの再現性の検証.

市村 美香, 植木 智志, 羽入 貴子, 清河 慈, 福地 健郎

第60回日本視能矯正学会, 2019

276. Humphrey視野測定における信頼度係数低下の要因についての検討.

志田 歩夢, 落合 竣, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 福地 健郎

第60回日本視能矯正学会, 2019

277.乳頭周囲網膜神経線維層厚測定厚の測定変動とトレンド解析による進行検出力.

梅野 哲哉, 多々良 ふう子, 坂上 悠太, 飯川 龍, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 福地 健郎

第30回日本緑内障学会, 2019

278.術後3日に発症したトラベクレクトミー術後早期眼内炎の一例.

飯川 龍, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 福地 健郎

第30回日本緑内障学会, 2019

279.アイトラッキング搭載ドライビングシミュレータ (ETDS) による緑内障患者の視野と運動能力の検討.

多々良 ふう子, 間 聰美, 飯川 龍, 福地 健郎, 國松 志保, 小野 浩

第30回日本緑内障学会, 2019

280. Interpolation of visual sensitivity based on the retinal nerve fiber trajectory.

Tetsuya Togano, Phannisa Praditsuktavorn, Tuan Ho, David F. Garway-Heath

EGS, 2020

281. The relationship between the mean deviation slope in the central 10 degrees of visual field and follow-up intraocular pressure in open-angle glaucoma.

Yuta Sakaue, Aki Suetake, Daiki Miyamoto, Ryu Iikawa, Ryoko Igarashi, Tetsuya Togano, Takeo Fukuchi

EGS, 2020

282. The relationship between the mean deviation slope of visual field and follow-up intraocular pressure in open-angle glaucoma.

Satomi Aida, Yuta Sakaue, Aki Suetake, Ryu Iikawa, Ryoko Igarashi, Tetsuya Togano, Takeo Fukuchi

EGS, 2020

283. Impact of Rock inhibitor eye drop on corneal endothelial cell counts as measured by specular microscopy.
Yukiho Takano, TETSUYA TOGANO Daiki Miyamoto, Yuta Sakaue, Takeo Fukuchi
EGS, 2020
284. Effect of internal limiting membrane peeling on macular visual function in patients with vitrectomy for epiretinal membrane in glaucomatous eyes.
Hiroko Terashima, Hiruma Hasebe, Eriko Ueda, Hiromitsu Yoshida, Tetsuya Togano, Takeo Fukuchi
Euretina, 2020
285. 緑内障からQOLを守るためのストラテジー –EBMからPCMへ– (特別講演).
福地 健郎
第74回日本臨床眼科学会, 2020
286. 網膜静脈分枝閉塞症に対する初回治療後のOCT所見による治療予測.
寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 吉田 博光, 安藤 拓海, 福地 健郎
第74回日本臨床眼科学会, 2020
287. 視野障害 2 級の読書能力 –緑内障と網膜色素変性の比較–.
市村 美香, 石井 雅子, 張替 涼子, 福地 健郎
第21回日本ロービジョン学会, 2020
288. 原発開放隅角緑内障の10年以上の長期経過と進行の危険因子 (シンポジウム).
福地 健郎
第31回日本緑内障学会, 2020
289. 測定値間の因果関係を考慮した隅角形態モデリング.
梅野 哲哉, 五十嵐 遼子, 間 聰美, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 田沢 紗子, 飯川 龍,
福地 健郎
第31回日本緑内障学会, 2020
290. 広義原発開放隅角緑内障において角膜ヒステリシスに左右差がみられた症例の検討.
高野 幸穂, 宮本 大輝, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 飯川 龍, 福地 健郎
第31回日本緑内障学会, 2020
291. 乳がんの転移が疑われた眼窩腫瘍の一例.
大湊 純, 張 大行, 中野 里絵子, 植木 智志, 福地 健郎, 利川 千絵, 梅津 哉
第53回眼科臨床病理組織研究会, 2020
292. 特発性黄斑円孔閉鎖後に残存するfluid cuffの経過.
長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 吉田 博光, 安藤 拓, 福地 健郎
第59回日本網膜硝子体学会, 2020
293. 網膜静脈分枝閉塞症の黄斑部無灌流領域に対するOCT angiographyと網膜感度.
寺島 浩子, 長谷部 日, 上田 恵理子, 吉田 博光, 安藤 拓海, 佐藤 弥生, 福地 健郎
第59回日本網膜硝子体学会, 2020

294. 特発性黄斑円孔に対する中心窩温存内境界膜剥離の術後黄斑形態の評価.

吉田 博光, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 安藤 拓海, 長谷部 日, 福地 健郎
第59回日本網膜硝子体学会, 2020

295. 特発性黄斑円孔術前後の中心窩無血管域と視機能との関連.

安藤 拓海, 寺島 浩子, 長谷部 日, 上田 恵理子, 吉田 博光, 福地 健郎
第59回日本網膜硝子体学会, 2020

296. The relationship between mean deviation slope in 10° and intraocular pressure.

坂上 悠太, 末武 亜紀, 宮本 大輝, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 福地 健郎
第124回日本眼科学会総会, 2020

297. 眼窩腫瘍診療のポイント～症状から診断に到るまで～.

大湊 紗
第124回日本眼科学会総会, 2020

298. 広義原発開放隅角縁内障眼におけるmicrovasculature dropoutの観察.

五十嵐 遼子, 落合 駿, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 宮本 大輝,
福地 健郎
第124回日本眼科学会総会, 2020

299. Trabeculectomy for open-angle glaucoma patients with visual field damage in the papillo-macular area.

Yuta Sakaue, Ayako Tazawa, Ryu Iikawa, Aki Suetake, Ryoko Igarashi, Tetsuya Togano, Takeo Fukuchi
WGC, 2021

300. Observation of microvasculature dropout in eyes with primary open-angle glaucoma and normal-tension glaucoma.

Ryoko Igarashi, Syun Ochiai-Kiryu, Tetsuya Togano, Yuta Sakaue, Aki Suetake, Ryu Iikawa,
Ayako Tazawa, Daiki Miyamoto, Takeo Fukuchi
WGC, 2021

301. 緑内障患者におけるVFQ-25アンケートを用いた中心窩閾値とQOVの関係.

飯川 龍, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 田沢 綾子, 福地 健郎
WGC, 2021

302. Impact of Rock inhibitor eye drop on corneal endothelial cell counts as measured by specular microscopy.

Yukiho Takano Tetsuya Togano Daiki Miyamoto Yuta Sakaue Takeo Fukuchi
WGC, 2021

303. Relationship between the foveal avascular zone and visual function before and after surgery for idiopathic macular hole.

Takumi Ando, Hiroko Terashima, Hiruma Hasebe, Eriko Ueda, Hiromitsu Yoshida, Takeo Fukuchi
EURETINA, 2021

304. Short-Term Effects of Different Types of Anti-Glaucoma Eyedrop on the Sclero-Conjunctival Vasculature Assessed Using Anterior Segment OCTA in Normal Eyes: A Pilot Study.
Tadamichi Akagi, Yoko Okamoto, Takanori Kameda, Kenji Suda, Masahiro Miyake, Hanako Ohashi Ikeda, Akitaka Tsujikawa
第2回国際眼循環学会 (IOCS), 2021
305. 緑内障合併黄斑疾患症例の治療 (シンポジウム).
寺島 浩子
第125回日本眼科学会総会, 2021
306. 乳頭黄斑領域視野障害のある広義原発開放隅角緑内障患者に対するトラベクレクトミー.
坂上 悠太, 田沢 綾子, 飯川 龍, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 福地 健郎
第125回日本眼科学会総会, 2021
307. 広義原発開放隅角緑内障患者のコントラスト感度とVFQ-25ラッシュスコアの相関.
中野 里絵子, 梅野 哲哉, 五十嵐 遼子, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 田沢 綾子,
鎌田 紗子, 間 聰美, 福地 健郎
第125回日本眼科学会総会, 2021
308. 新潟県における過去10年の緑内障による視覚障害者認定状況の統計的検討.
田沢 綾子
第125回日本眼科学会総会, 2021
309. 広義POAG眼の機能的および形態的中心窓障害と視力, 中心窓閾値.
鎌田 紗子
第125回日本眼科学会総会, 2021
310. 視神経乳頭深部の血流 (シンポジウム).
赤木 忠道
第10回日本視野画像学会, 2021
311. 黄斑疾患に対する内境界膜剥離術前後の構造変化と視野変化.
寺島 浩子
第10回日本視野画像学会, 2021
312. 遊離瞼板結膜移植を用いて後葉再建を行った上眼瞼の術後経過の検討.
大湊 純, 張 大行, 尾山 徳秀, 江口 功一, 福地 健郎
第32回日本眼瞼義眼床手術学会, 2021
313. 緑内障長期管理の現状: 第1回アンケート調査結果から (JGS special session).
福地 健郎
第32回日本緑内障学会, 2021
314. 近視と緑内障における血流変化 (シンポジウム).
赤木 忠道
第32回日本緑内障学会, 2021

315. マイクロパルス毛様体光凝固術で高度の術後炎症を生じ、原因不明の視力低下をきたした1例.
飯川 龍, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 田沢 綾子, 赤木 忠道,
福地 健郎
第32回日本緑内障学会, 2021
316. 長期間画像フォローされていたSolitary fibrous tumor (SFT) の1例.
張 大行, 大湊 純, 福地 健郎
第38回日本眼腫瘍学会, 2021
317. 両眼窩に病変を生じたErdheim-Chester病の一例.
大湊 純, 張 大行, 福地 健郎
第38回日本眼腫瘍学会, 2021
318. 視床出血後に発症した大角度の共同性外斜視に斜視手術を行った1例.
植木 智志, 長谷川 友加里, 羽入 貴子, 畑瀬 哲尚, 福地 健郎
第59回日本神経眼科学会, 2021
319. インフリキシマブ治療中に右視神経炎を発症した関節症性乾癬の1例.
長谷川 友加里
第59回日本神経眼科学会, 2021
320. 増殖糖尿病網膜症に対する小切開硝子体手術後の血管新生緑内障のリスク因子の検討.
宮島 誠, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 吉田 博光, 安藤 拓海, 福地 健郎
第60回日本網膜硝子体学会, 2021
321. 裂孔原性網膜剥離に対する術中排液法による術後成績の比較検討.
吉田 博光, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 安藤 拓海, 福地 健郎
第60回日本網膜硝子体学会, 2021
322. ICTサポートを継続しているロービジョン児3例の検討.
市村 美香, 石井 雅子, 山口 俊光, 張替 涼子, 福地 健郎
第62回日本視能矯正学会, 2021
323. サイトメガロウイルス虹彩毛様体内皮炎におけるガンシクロビル点眼の治療経過.
松田 英伸, 黒澤 史門, 田沢 綾子, 安樂 晶子, 佐々木 藍季子, 福地 健郎
第75回日本臨床眼科学会, 2021
324. 硝子体網膜リンパ腫の生検後の検討.
上田 恵理子, 張 大行, 寺島 浩子, 吉田 博光, 安藤 拓海, 佐々木 亮, 福地 健郎
第75回日本臨床眼科学会, 2021
325. 涡静脈漫潤がみられたぶどう膜悪性黒色腫の2例.
安樂 晶子, 大湊 純, 塩崎 直哉, 中野 里絵子, 張 大行, 福地 健郎, 土屋 淳紀, 周 啓亮,
松本 吉史
第75回日本臨床眼科学会, 2021
326. ノカルジアが原因菌と推定された内因性眼内炎の1例.
野崎 耀平, 松田 英伸, 黒澤 史門, 福地 健郎

第75回日本臨床眼科学会, 2021

327. 毛様体腫脹により続発閉塞隅角症を生じたBDUMPの一例.

安藤 拓海, 上田 恵理子, 末武 亜紀, 寺島 浩子, 吉田 博光, 長谷部 日, 関 正明,
福地 健郎

第75回日本臨床眼科学会, 2021

328. MP3 guided ILM peeling for glaucoma-associated macular disease.

Hiroko Terashima, Eriko Ueda, Hiromitsu Yoshida, Takumi Ando, Takeo Fukuchi
Fuji Retina, 2022

- 329.『緑内障の構造から機能へ、そしてQOLへ』(須田記念講演).

福地 健郎

第33回日本緑内障学会, 2022

330. 今こそトラベクレクトミーを理解し、術後管理を極める.

福地 健郎, 三木 篤也, 原 岳, 中元 兼二, 飯川 龍

第76回日本臨床眼科学会, 2022

331. 緑内障におけるOCTおよびOCTA所見総論（シンポジウム）.

赤木 忠道

第11回日本視野画像学会, 2022

332. 前眼部OCTAの可能性（シンポジウム）.

赤木 忠道

第33回日本緑内障学会, 2022

333. 構造の評価（シンポジウム）.

赤木 忠道

第33回日本緑内障学会, 2022

334. 乳頭黄斑領域視野障害のある広義原発開放隅角緑内障患者に対するトラベクレクトミー後の視力.

坂上 悠太, 飯川 龍, 宮島 誠, 有松 真央, 五十嵐 遼子, 末武 亜紀, 梅野 哲哉,
赤木 忠道, 福地 健郎

第33回日本緑内障学会, 2022

335. 落屑緑内障眼に対する線維柱帶切開術併用眼内レンズ強膜内固定術の手術成績.

有松 真央, 赤木 忠道, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 宮島 誠,
梅野 哲哉, 寺島 浩子, 吉田 博光, 福地 健郎

第33回日本緑内障学会, 2022

336. 輪部基底線維柱帶切除術後の濾過胞からの房水漏出.

宮島 誠, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 有松 真央, 福地 健郎
第33回日本緑内障学会, 2022

337. 広義原発開放緑内障患者へのアイフレイル調査.

宮本 大輝, 市村 美香, 落合 竣, 押切 寧々, 清野 成美, 赤木 忠道, 福地 健郎
第33回日本緑内障学会, 2022

338. 視神経乳頭周囲脈絡膜血管の部分的脱落と篩状板欠損の関係について（シンポジウム）.

赤木 忠道

第38回日本眼循環学会, 2022

339. 緩和的眼窩内容除去に至った涙腺原発腺癌の一例.

大湊 純, 塩崎 直哉, 張 大行, 福地 健郎, 周 啓亮, 押金 智哉, 田口 貴博, 三ツ井 彩花,
梅津 哉

第39回日本眼腫瘍学会, 2022

340. 特発性黄斑円孔に対する中心窩温存内境界膜剥離の術後視機能と黄斑形態の評価.

吉田 博光, 寺島 浩子, 安藤 拓海, 塩崎 直哉, 野崎 耀平, 上田 恵理子, 福地 健郎
第61回日本網膜硝子体学会, 2022

341. 特発性黄斑円孔における中心窩無血管域の長期変化と視機能との関連.

安藤 拓海, 寺島 浩子, 吉田 博光, 上田 恵理子, 福地 健郎
第61回日本網膜硝子体学会, 2022

342. ITサポートを継続中の高齢視覚障害者 2 例.

市村 美香, 石井 雅子, 清野 成美, 山口 俊光, 張替 涼子, 福地 健郎
第63回日本視能矯正学会, 2022

343. 高齢視覚障害者のロービジョンケア－2012年と2021年の比較－.

清野 成美, 石井 雅子, 市村 美香, 張替 涼子, 福地 健郎
第63回日本視能矯正学会, 2022

344. 緑内障進行解析の現状と未来（シンポジウム）.

赤木 忠道

第76回日本臨床眼科学会, 2022

345. 緑内障合併黄斑疾患に対する計画的内境界膜剥離法.

寺島 浩子, 上田 恵理子, 吉田 博光, 安藤 拓海, 野崎 耀平, 福地 健郎
第76回日本臨床眼科学会, 2022

346. 眼窩先端部血管奇形の 2 例.

大湊 純, 塩崎 直哉, 張 大行, 福地 健郎, 佐々木 崇暢, 平石 哲也
第76回日本臨床眼科学会, 2022

347. 偏食と過度の飲酒による栄養欠乏性視神経症の 1 例.

野崎 耀平, 寺島 浩子, 安樂 晶子, 安藤 拓海, 塩崎 直哉, 吉田 博光, 上田 恵理子,
福地 健郎

第76回日本臨床眼科学会, 2022

348. Intraocular contents extrusion in deep scleral rupture.

Takumi Ando

9th Annual Duke Fellows Advanced Vitreous Surgery(fAVS)Course and 22nd Duke Advanced
Vitreous Surgery(AVS)Course, 2023

349. Staging and temporal monitoring of neovascularization of the iris using anterior segment optical

- coherence tomography angiography.
 Yohei Nozaki, Hiroko Terashima, Akagi Tadamichi, Takeo Fukuchi MD
 American Academy of Ophthalmology, 2023
350. Intraocular contents extrusion in deep scleral rupture.
 Takumi Ando
 EURETINA, 2023
351. Macular structure and visual function changes in glaucoma-associated macular hole.
 Hiroko Terashima, Hiromitsu Yoshida, Takumi Ando, Yohei Nozaki, Takeo Fukuchi
 FLORETINA ICOOR, 2023
352. A STUDY ON CLINICAL APPLICATION OF DETECTION OF IRIS NEOVASCULARIZATION BY ANTERIOR SEGMENT OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY ANGIOGRAPHY.
 Nozaki Yohei, Terashima Hiroko, Akagi Tadamichi, Fukuchi Takeo
 FLORETINA ICOOR, 2023
353. Macular structure and visual function changes in glaucoma-associated macular hole.
 Hiroko Terashima, Hiromitsu Yoshida, Takumi Ando, Yohei Nozaki, Takeo Fukuchi
 Fuji Retina, 2023
354. Evaluation of the Deep Structure and Vasculature of the Optic Disc in Glaucoma.
 Tadamichi Akagi
 The 130th The Korean Ophthalmological Society, 2023
355. Associations between Clustered Visual Field Progression and Locations of Disc Hemorrhages in Glaucoma: a 3-year Prospective Study.
 Tadamichi Akagi, Takeo Fukuchi, Tomomi Higashide, Shinji Ohkubo, Sachiko Udagawa, Kazuhisa Sugiyama, Hidenobu Tanihara, Makoto Araie, Goji Tomita, Chota Matsumoto, Atsuo Tomidokoro, Masanori Hangai, Hisashi Kawata, Maya Inai, Yuki Tanaka
 WGC, 2023
356. Nnal deficiency causes retinal degeneration and glaucoma in a pcd mouse model.
 Ryoko Igarashi, Li Zhou, Hirohide Takebayashi, Takeo Fukuchi
 WGC, 2023
357. Longitudinal Vascular Changes assessed using AS-OCTA in Different Conjunctival Incisions in Filtering Trabeculectomy Blebs: a Pilot Study.
 Mao Arimatsu, Tadamichi Akagi, Yuta Sakaue, Ryu Iikawa, Ryoko Igarashi, Makoto Miyajima, Takeo Fukuchi
 WGC, 2023
358. 今こそトラベクレクトミーを理解し、術後管理を極める。
 福地 健郎, 三木 篤也, 原 岳, 中元 兼二, 有松 真央
 第77回日本臨床眼科学会, 2023
359. 悪性黒色腫が疑われた眼窩内の炎症性肉芽腫の一例。

大湊 純, 塩崎 直哉, 福地 健郎, 阿部 達也, 梅津 哉

第93回九州眼科学会, 2023

360. 「小児」朝顔症候群の難治性網膜剥離.

寺島 浩子

硝子体手術フォーラム, 2023

361. 緑内障患者のquality of vision (QOV) に影響を与える視野領域の検討.

飯川 龍, 凌 一葦, 奥田 修二郎, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 有松 真央,
福地 健郎

第12回視野画像学会, 2023

362. 緑内障患者の視覚的QOL推定モデルの構築.

飯川 龍, 凌 一葦, 奥田 修二郎, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 有松 真央,
福地 健郎

第34回日本緑内障学会, 2023

363. AS-OCTAを用いた原発開放隅角緑内障における線維柱帯切除術後の濾過胞血管の経時変化の評価.

有松 真央, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 宮島 誠, 福地 健郎

第34回日本緑内障学会, 2023

364. トラベクレクトミー後無血管濾過胞からの遅発性房水漏出に対するテノンパッチ裏打ち法の術後成績.

高橋 夏奈子, 赤木 忠道, 梅野 哲哉, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 有松 真央, 宮島 誠,
坂上 悠太, 福地 健郎

第34回日本緑内障学会, 2023

365. 健常眼におけるhemoglobin video imagingと前眼部OCTAによる強結膜血流画像の比較.

落合 竣, 赤木 忠道, 有松 真央, 福地 健郎

第34回日本緑内障学会, 2023

366. 両上眼瞼の瞼結膜側より発生したIgG 4 関連眼疾患の2例.

塩崎 直哉, 大湊 純, 福地 健郎

第37回眼窩疾患シンポジウム, 2023

367. 専門外来受診までに時間を要した高齢者眼瞼悪性腫瘍症例.

大湊 純, 塩崎 直哉, 福地 健郎

第40回日本眼腫瘍学会, 2023

368. 全国多施設レジストリ研究に参加することでアルストレム症候群と診断できた1例.

植木 智志, 長谷川 友加里, 畑瀬 哲尚, 羽人 貴子, 福地 健郎

第48回日本小児眼科学会総会, 2023

369. MRI所見により投与量を変化させるステロイド治療を行った複視を呈する甲状腺眼症の1年間の再発率.

植木 智志, 長谷川 友加里, 畑瀬 哲尚, 清河 慶, 福地 健郎

第61回日本神経眼科学会総会, 2023

370. 網膜硝子体サージャンとして（シンポジウム）.

寺島 浩子

第62回網膜硝子体学会, 2023

371. 術前視力良好な特発性網膜前膜における術後視機能の評価.

吉田 博光, 寺島 浩子, 安藤 拓海, 塩崎 直哉, 野崎 耀平, 上田 恵理子, 福地 健郎

第62回網膜硝子体学会, 2023

372. 硝子体術後低眼圧によって生じた黄斑部鄒壁による網膜外層障害と視機能の評価.

安藤 拓海, 寺島 浩子, 吉田 博光, 野崎 耀平, 塩崎 直哉, 福地 健郎

第62回網膜硝子体学会, 2023

373. ゴールドマン視野計での緑内障患者の視野障害等級の検討.

落合 竣, 石井 雅子, 福地 健郎

第64回視能矯正学会, 2023

374. 緑内障合併黄斑円孔に対する内境界膜剥離術後のen face OCT評価.

寺島 浩子, 吉田 博光, 安藤 拓海, 野崎 耀平, 福地 健郎

第77回日本臨床眼科学会, 2023

375. やさしい神経眼科volⅧ – 神経眼科を明日から始めよう –.

植木 智志, 渡辺 敏樹, 前久保 知行, 中村 誠

第77回日本臨床眼科学会, 2023

376. 前眼部光干渉断層血管造影による虹彩新生血管検出の臨床応用の検討.

野崎 耀平, 寺島 浩子, 赤木 忠道, 吉田 博光, 塩崎 直哉, 安藤 拓海, 福地 健郎

第77回日本臨床眼科学会, 2023

377. 胸腺腫に合併した悪性腫瘍随伴網膜症の一例.

櫻澤 慧

第77回日本臨床眼科学会, 2023

378. 緑内障合併黄斑疾患症例に対する内境界膜剥離術.

寺島 浩子

第127回日本眼科学会総会, 2023

379. AIを用いた緑内障患者のQOV推定モデルの構築.

飯川 龍, 凌 一葦, 奥田 修二郎, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 有松 真央,

宮島 誠, 福地 健郎

第127回日本眼科学会総会, 2023

380. Visual field areas affecting quality of vision in glaucoma patients.

Ryu Iikawa, Yiwei Ling, Shujiro Okuda, Tadamichi Akagi, Yuta Sakaue, Ryoko Igarashi, Mao Arimatsu, Takeo Fukuchi

APAO, 2024

381. Effects of Internal Limiting Membrane Peeling on Retinal Sensitivity and Macular Structure in Patients with High Myopia and Macular Disease.

Hiroko Terashima, Hiromitsu Yoshida, Takumi Ando, Yohei Nozaki, Takeo Fukuchi
APVRS, 2024

382. Evaluation of ellipsoid zone defect and visual function caused by transient macular folding due to hypotony after vitrectomy.

Takumi Ando, Hiroko Terashima, Hiromitsu Yoshida, Takeo Fukuchi
ARVO, 2024

383. Retinal sensitivity and ganglion cell complex changes after vitrectomy for macular disease in high myopia.

Hiroko Terashima, Hiromitsu Yoshida, Ando Takumi, Yohei Nozaki, Takeo Fukuchi
EURETINA, 2024

384. Evaluation of iris neovascularization before and after anti-VEGF therapy by anterior segment OCT angiography.

Yohei Nozaki, Hiroko Terashima, Tadamichi Akagi, Hiromitsu Yoshida, Takumi Ando, Takeo Fukuchi
EURETINA, 2024

385. Retinal detachment causing massive expulsive hemorrhage.

Hiroko Terashima
FUJIRETINA, 2024

386. Impact of Transient Macular Folding due to Hypotony After Vitrectomy on Visual Function and Ellipsoid Zone Damage.

Takumi Ando, Hiroko Terashima, Hiromitsu Yoshida, Takeo Fukuchi
The 17th Joint Meeting of Japan-Korea-China Ophthalmologists, 2024

387. Assessment of iris neovascularization before and after anti-VEGF therapy using anterior segment OCT angiography.

Yohei Nozaki, Hiroko Terashima, Tadamichi Akagi, Hiromitsu Yoshida, Takumi Ando, Takeo Fukuchi
The 17th Joint Meeting of Japan-Korea-China Ophthalmologists, 2024

388. 近視眼に対する緑内障手術（シンポジウム）。

赤木 忠道
第6回近視学会, 2024

389. 強度近視の黄斑疾患と視野異常（シンポジウム）。

寺島 浩子
第6回近視学会, 2024

390. 「黄斑剥離を伴う裂孔原性網膜剥離の術後変視量と手術待機期間や術後黄斑形態の関係」。

佐藤 伊将, 赤木 忠道, 小林 大悟, 安樂 晶子, 野崎 耀平, 安藤 拓海, 塩崎 直哉,
吉田 博光, 寺島 浩子, 長谷部 日, 福地 健郎
第13回視野画像学会, 2024

391. Ahmed Glaucoma Valve毛様溝挿入術後の視力経過.
飯川 龍, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 有松 真央, 福地 健郎
第35回日本緑内障学会, 2024
392. 急性原発閉塞隅角症, 急性原発閉塞隅角緑内障の患者背景.
坂上 悠太, 石川 浩子, 有松 真央, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 赤木 忠道, 福地 健郎
第35回日本緑内障学会, 2024
393. Ahmed Glaucoma Valve毛様溝挿入術後の視力経過.
飯川 龍, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 有松 真央, 福地 健郎
第35回日本緑内障学会, 2024
394. 眼内アプローチによるEx-PRESSの抜去術.
小林 大悟, 赤木 忠道, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 有松 真央,
福地 健郎
第35回日本緑内障学会, 2024
395. 緑内障患者のVisual Function Questionnaire-25 (VFQ-25) を用いたQuality-Of-Vision (QOV) スコアの推移.
萬代 趟史, 飯川 龍, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 有松 真央, 福地 健郎
第35回日本緑内障学会, 2024
396. 放射線照射後に手術加療を行った眼瞼メルケル細胞癌の組織所見と術後経過の検討.
大湊 純, 塩崎 直哉, 福地 健郎, 梅津 哉
第41回日本眼腫瘍学会, 2024
397. 下眼瞼円蓋部結膜扁平上皮癌の2例.
塩崎 直哉, 大湊 純, 福地 健郎
第41回日本眼腫瘍学会, 2024
398. 小児の緑内障手術 (シンポジウム).
赤木 忠道
第80回日本弱視斜視学会 第49回日本小児眼科学会, 2024
399. 高齢を理由に治療を断られた斜視 (眼運動神経麻痺など).
植木 智志
第80回日本弱視斜視学会 第49回日本小児眼科学会, 2024
400. 視野検査を見直す.
落合 竣
第60回日本眼光学学会, 2024
401. 甲状腺眼症におけるMR画像による外眼筋の評価 – 判定量的評価であるMRIスコアと定量的評価の相関 – .
植木 智志, 真塩 匠, 福地 健郎
第62回日本神経眼科学会, 2024
402. 強膜トンネル法Ahmed glaucoma valveの術後成績およびチューブ形状の評価.

吉田 博光, 寺島 浩子, 安藤 拓海, 塩崎 直哉, 野崎 耀平, 福地 健郎
第63回網膜硝子体学会, 2024

403. 硝子体術後低眼圧による一過性網脈絡膜皺襞の網膜外層と視機能への影響.
安藤 拓海, 寺島 浩子, 吉田 博光, 野崎 耀平, 塩崎 直哉, 福地 健郎
第63回網膜硝子体学会, 2024
404. 黄斑円孔サイズと僚眼の中心窩無血管領域および中心窩形態の関連性.
有松 真央, 安藤 拓海, 野崎 耀平, 塩崎 直哉, 小林 大悟, 吉田 博光, 寺島 浩子,
福地 健郎
第63回網膜硝子体学会, 2024
405. 裂孔原性網膜剥離に対するPFCL併用硝子体手術の視機能と黄斑形態への影響.
野崎 耀平, 寺島 浩子, 吉田 博光, 塩崎 直哉, 小林 大悟, 安藤 拓海, 福地 健郎
第63回網膜硝子体学会, 2024
406. 緑内障患者の遮光眼鏡の処方と視機能との関連.
落合 俊
第65回日本視能矯正学会, 2024
407. ブリモニジン点眼による角膜混濁に対して角膜移植を要した一例.
小林 直太, 黒澤 史門, 佐々木 藍季子, 松田 英伸, 福地 健郎
第78回日本臨床眼科学会, 2024
408. 凡人眼科医の眼腫瘍医としてのあゆみ～これまでとこれからと～.
大湊 純
第94回九州眼科学会, 2024
409. 前眼部OCTAで見えてきたもの.
赤木 忠道
第128回日本眼科学会, 2024
410. 極細圧センサーを用いた豚眼の前房内および硝子体腔内の眼圧評価.
赤木 忠道, 三村 真士, 福地 健郎
第128回日本眼科学会, 2024
411. 黄斑疾患：視機能から考えた手術治療のコツ.
寺島 浩子
第128回日本眼科学会, 2024
412. 視神経炎のステロイド治療－急性期・慢性期－.
植木 智志
第128回日本眼科学会, 2024
413. 経結膜無縫合硝子体手術後の低眼圧における危険因子の解析.
安藤 拓海, 寺島 浩子, 吉田 博光, 野崎 耀平, 塩崎 直哉, 上田 恵理子, 福地 健郎
第128回日本眼科学会, 2024

414. 水晶体後方因子の関与が大きかった原発閉塞隅角症の1例.

倉本 太郎, 赤木 忠道, 飯川 龍, 有松 真央, 五十嵐 遼子, 坂上 悠太, 福地 健郎

第128回日本眼学会, 2024

415. 緑内障性視野障害とコントラスト感度との関係.

松浦 将人, 中野 里絵子, 五十嵐 遼子, 福地 健郎

第128回日本眼学会, 2024

科学研究費獲得実績

平成23年度～平成24年度

萌芽

緑内障ステント手術の開発と線維柱帯の組織学的变化に関する研究

上田 潤

2,800千円

平成23年度～平成25年度

基盤C

緑内障眼の視神経乳頭部における細胞・細胞外マトリックス構造のインターラクション

福地 健郎, 阿部 春樹, 上田 潤, 関 正明, 田中 隆之, 梅野 哲哉

4,100千円

平成26年度～平成29年度（1年延長）

若手B

経角膜電気刺激治療の他覚的および定量的治療評価方法の確立

畠瀬 哲尚

2,800千円

平成27年度～平成29年度

基盤C

緑内障感謝の視覚的QOL維持のための形態・機能解析と個別化治療

福地 健郎, 長谷部 日, 梅野 哲哉, 松岡 尚氣

3,800千円

平成30年度～令和3年度（1年延長）

基盤C

緑内障から生涯の視覚的QOLを守るためのストラテジー

福地 健郎, 長谷部 日, 梅野 哲哉, 松岡 尚氣, 寺島 浩子

4,290千円

2019年度～2021年度

基盤C

光干渉断層血管造影を用いた房水流出身経路機能評価と緑内障治療効果予測

赤木 忠道

4,290千円

2022年度～2024年度

基盤C

緑内障による構造と機能の変化はどのように患者のQOLを障害するのか？

福地 健郎, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 植木 智志, 奥田 修二郎

4,160千円

2022年度～2024年度

基盤C

房水造影法と光干渉断層血管造影を用いた緑内障眼の房水主流出路機能評価法の確立

赤木 忠道, 福地 健郎

2022年度～2025年度（1年延長）

若手

光干渉断層血管造影を用いた虹彩新生血管の評価法開発と血管新生緑内障治療への応用

寺島 浩子

4,550千円

2022年度～2024年度

若手

IgG 4 関連眼疾患と眼窩MALTリンパ腫合併例の遺伝子および病理学的特徴の解析

大湊 紗

2023年度～2025年度

若手

微小管の修飾異常に着目した視細胞変性と緑内障の発症機序の解明

五十嵐 遼子

2023年度～2025年度

若手

緑内障患者の視覚的QOL推定モデルの構築

飯川 龍

学位取得者（2012年以降）

2013年 石井 雅子

石井 雅子.

緑内障患者の中心視野感度と読書能力の検討.

新潟医学会雑誌127（5）：241-249. 2013

新大院博（医）第544号

2015年 佐藤 弥生

佐藤 弥生, 福地 健郎.

滲出型加齢黄斑変性に対するラニビズマブからアフリベルセプト切り替え治療の1年成績.

新潟医学会雑誌130（5）：305-313. 2016

新大院博（医）第680号

2017年 大湊 紗

Ominato J, Fukuchi T, Sato A, Yamaguchi N, Kobayashi K, Cho H, Oyama T, Ajioka Y.

The Role of Mutation Rates of GNAQ or GNA11 in Cases of Uveal Melanoma in Japan.

Appl Immunohistochem Mol Morphol. 26(9):658-663. 2018

新大院博（医）第789号

2017年 村田 憲章

Murata N, Togano T, Miyamoto D, Ochiai S, Fukuchi T.

Clinical evaluation of microcystic macular edema in patient with glaucoma.

Eye (Lond). 30(11):1502-1508. 2016

新大院博（医）第756号

2019年 Kseniya Chernyshova

Chernyshova K, Inoue K, Yamashita SI, Fukuchi T, Kanki T.

Glaucoma-Associated Mutations in the Optineurin Gene Have Limited Impact on Parkin-Dependent Mitophagy.

Invest Ophthalmol Vis Sci. 60(10):3625-3635. 2019

新大院博（医）第897号

2020年 吉野 秀昭

吉野 秀昭, 福地 健郎.

極低出生体重児の血漿成長因子・サイトカイン濃度の検討.

新潟医学会雑誌134（1）：19-27. 2020

新大院博（医）第944号

2020年 五十嵐 遼子

Igarashi R, Yamashita SI, Yamashita T, Inoue K, Fukuda T, Fukuchi T, Kanki T.

Gemcitabine induces Parkin-independent mitophagy through mitochondrial-resident E3 ligase MUL1-mediated stabilization of PINK1.

Sci Rep. 10(1):1465. 2020

新大院博（医）第933号

2021年 中野 英之

Nakano H, Hasebe H, Murakami K, Cho H, Kondo D, Iino N, Fukuchi T.

Choroid structure analysis following initiation of hemodialysis by using swept-source optical coherence tomography in patients with and without diabetes.

PLoS One. 15(9) :e0239072. 2020

新大院博（医）第994号

2020年 飯川 龍

Iikawa R, Togano T, Sakaue Y, Suetake A, Igarashi R, Miyamoto D, Yaoeda K, Seki M, Fukuchi T.

Estimation of the central 10-degree visual field using en-face images obtained by optical coherence tomography.

PLoS One. 15(3) :e0229867.2020

新大院博（医）第932号

2021年 吉田 博光

Yoshida H, Terashima H, Ueda E, Hasebe H, Matsuoka N, Nakano H, Fukuchi T.

Relationship between morphological changes in the foveal avascular zone of the epiretinal membrane and postoperative visual function.

BMJ Open Ophthalmol. 5(1) :e000636. 2020

新大院博（医）第1005号

2022年 清河 慈

Kiyokawa M, Ueki S, Hatase T, Hanyu T, Fukuchi T.

The Prevalence of Brain Abnormalities in Japanese Patients with Optic Nerve Hypoplasia.

Neuroophthalmology. 45(4) :265-270. 2021

新大院博（医）第1070号

2024年 中野 里絵子

中野 里絵子.

広義原発開放隅角緑内障眼のコントラスト感度測定

新潟医学会雑誌138（6）：199-206. 2024

新大院博（医）第1219号

2024年 安藤 拓海

Ando T, Terashima H, Yoshida H, Ueda E, Ochiai S, Fukuchi T.

Relationship between long-term visual function and the ratio of foveal avascular zone area in eyes with macular hole and healthy fellow eyes.

Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 262(8) : 2403-2410. 2024

新大院博（医）第1220号

新潟県眼科集談会プログラム(第111回～第134回)

第111回新潟眼科集談会

2012年6月17日(日) 新潟大学医学部有壬記念館 2階 大会議室

「角膜症・腫瘍・白内障」 座長：松田 英伸(教室)

1. 両眼の眼内レンズ摘出、毛様溝縫着に至ったアトピー性皮膚炎の一例

○吉田 博光、松岡 尚気、佐々木 亮、高田 律子、寺島 浩子、長谷部 日(教室)

2. 結膜悪性黒色腫の1例

○橋本 薫、奥山 真也、田中 玲子、武田 啓治(長岡赤十字病院)

3. 涙丘原発脂腺癌に対し重粒子線治療を行った一例

○大湊 純、尾山 徳秀、張 大行(教室)、江口 功一(江口眼科医院)

4. 当科におけるサイトメガロウイルス角膜内皮炎

○松田 英伸、酒井 康弘、福地 健郎(教室)

「ロービジョン・QOV・緑内障」 座長：上田 潤(教室)

5. 中途視覚障害リハビリ外来の症例より - こころのケアについて -

○大石 正夫、山田 幸男、清水 美知子、羽賀 雅世、小島 紀代子(NPO法人 障害者自立支援センター オアシス)、石川 充英(東京都視覚障害者生活支援センター)

6. 緑内障患者のQOL - 読書困難についての検討 -

○樺沢 優、張替 涼子、石井 雅子、松浦 将人、福地 健郎、阿部 春樹(教室)

7. 緑内障患者の両眼重ね合わせ視野と読書能力の関係

○市村 美香、石井 雅子、小林 美穂、張替 涼子、福地 健郎、阿部 春樹(教室)

8. 急性原発閉塞隅角症および急性原発閉塞隅角緑内障の患者背景

○坂上 悠太、福地 健郎、梅野 哲哉、田中 隆之、閔 正明、上田 潤、阿部 春樹(教室)

9. 緑内障関連網膜内層空洞化の頻度

○梅野 哲哉、上田 潤、田中 隆之、坂上 悠太、福地 健郎(教室)

「網膜・硝子体」 座長：長谷部 日(教室)

10. 三条眼科における日帰り網膜剥離手術の現状

○吉澤 豊久、白鳥 敦(三条眼科)

11. 裂孔原性網膜剥離に対する術式別の治療成績

○寺島 浩子、長谷部 日、高田 律子、佐藤 弥生、上田 恵理子、佐々木 亮、松岡 尚気(教室)、福島 淳志(長岡中央総合病院)

12. 当科におけるルセンティス硝子体注入併用光線力学療法

○高田 律子、長谷部 日、佐藤 弥生、上田 恵理子、寺島 浩子、佐々木 亮、松岡 尚気(教室)、宗村 守(東三条まもる眼科)

13. 当科における網膜前膜の最近の治療成績

○長谷部 日、松岡 尚気、佐々木 亮、上田 恵理子、高田 律子、寺島 浩子(教室)

14. 中心性漿液性脈絡網膜症に対する光線力学療法の治療成績

○佐藤 弥生、長谷部 日、高田 律子、宗村 守、寺島 浩子、佐々木 亮、松岡 尚気、高木 峰夫、長谷川 茂、阿部 春樹(教室)

「OCT・視野・緑内障」 座長：福地 健郎(教室)

15. 成人発症卵黄状黄斑ジストロフィーの一例 - そのOCT, FA, FAF所見について -

坂井 豊明(坂井眼科医院)

16. {EDI+HDR (High Dynamic Range)} OCTによるラミナクリブローザのビームの変化の観察

○笠木 逸夫(かさき眼科)、大久保 裕史(おおくぼ眼科)

17. 緑内障眼におけるSD-OCTにより評価した視神経障害と視野障害との関係

○白柏 基宏(木戸眼科クリニック)、八百枝 潔(眼科八百枝医院)、阿部 春樹(新潟眼科クリニック)

18. 3-D OCTで分かれる緑内障視神経症の未知病態シリーズ - SSOH (Superior segmental optic hypoplasia)との基本的違い -

○岩田 和雄（新潟大学名誉教授），岩田 玲子（岩田眼科）

「最近の話題」 座長：関 伶子（せき眼科医院）

19. 緑内障点眼薬の眼圧下降効果についての検証

○福地 健郎，坂上 悠太，梅野 哲哉，田中 隆之，関 正明，芳野 高子，上田 潤，阿部 春樹（教室）

第112回新潟眼科集談会

2012年12月22日（土） 新潟大学医学部有壬記念館 2階 大会議室

「斜視・弱視・神経眼科・電気生理」 座長：植木 智志（教室）

1. 新しい色覚の考え方

守田 潔（本田眼科）

2. 甲状腺眼症に対する放射線照射とステロイド併用療法の治療効果について

原 浩昭（新潟県立がんセンター新潟病院）

3. 頭位異常に対してParks-Kestenbaum procedureを行った先天眼振の1例

○植木 智志，羽入 貴子，畠瀬 哲尚，高木 峰夫，福地 健郎（教室）

4. Melanoma associated retinopathyの1例

○畠瀬 哲尚，植木 智志，高木 峰夫，福地 健郎（教室）

「緑内障1」 座長：田中 隆之（教室）

5. EDI-OCTで篩状板にRemodelingがみられた早期NTGの1例

○笠木 逸夫（かさき眼科），大久保 裕史（おおくぼ眼科）

6. ドックによる緑内障検出率と緑内障疑い例に対する経過観察の現状

○大矢 佳美，中村 裕介，安藤 伸朗（済生会新潟第二病院）

7. Laser Iridotomy施行後に角膜内皮細胞が減少した症例の白内障手術後の9方向角膜内皮

○今井 和行，小澤 由美（慈光会今井眼科医院），澤田 英子（ほしあい眼科）

8. 水晶体囊内摘出術後に悪性緑内障様の所見を呈した一例

○坂上 悠太，梅野 哲哉，田中 隆之，上田 潤，福地 健郎（教室）

「ぶどう膜炎・腫瘍・眼形成」 座長：尾山 徳秀（教室）

9. トキソプラズマによる乳頭隣接網脈絡膜炎の1例

○松田 英伸，酒井 康弘，福地 健郎（教室）

10. 脉絡膜無色素性悪性黒色腫の一例

○大湊 純，尾山 徳秀，張 大行（教室），江口 功一（江口眼科医院），福地 健郎（教室）

11. 眼窩壁骨折に対する吸収性プレート「Lactosorb®（固定孔なし）」の使用経験

○張 大行，尾山 徳秀，大湊 純，福地 健郎（教室），江口 功一（江口眼科医院）

12. IgG 4関連眼疾患は、特発性眼窩炎症や炎症性偽腫瘍の診断名をなくせるか？

○尾山 徳秀，張 大行，大湊 純，福地 健郎（教室），江口 功一（江口眼科医院）

「ロービジョン」 座長：張替 涼子（新潟大学医学部）

13. 中途視覚障害リハビリ症例の検証

○大石 正夫，山田 幸男，清水 美知子，羽賀 雅世，小島 紀代子（NPO法人 障害者自立支援センターオアシス）

石川 充英（東京都視覚障害者生活支援センター）

14. 白内障手術が「うつ」と「認知症」に及ぼす影響

○安藤 伸朗，中村 裕介，大矢 佳美（済生会新潟第二病院），山崎 聰平（北里大学精神科学教室）

15. 新潟県版スマートサイト計画について

張替 涼子（新潟大学医学部）

2012年12月23日（日） 新潟大学医学部有壬記念館 2階 大会議室

「ぶどう膜炎・角膜」 座長：酒井 康弘（教室）

16. 南方への渡航歴のない東洋眼虫症の一例

○奥山 真也，橋本 薫，田中 玲子，武田 啓治（長岡赤十字病院）

17. 初診時原田病と診断した5症例

○鈴木 恵子（県立吉田病院），桜澤 徹（さくらざわ眼科），松田 英伸（教室）

18. ガンシクロルビル点眼が眼圧下降に著効したサイトメガロウイルス角膜内皮炎、続発緑内障の2例

○酒井 康弘, 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)

19. フェムトセカンドレーザーによる屈折矯正手術の試み

○宮腰 晃央 (富山大学 眼科, 石田眼科), 石田 誠夫, 遠藤 紳一郎, 松木 佐代子 (石田眼科), 山口 達夫 (聖路加国際病院), 林 篤志 (富山大学 眼科)

「網膜・硝子体1」 座長: 寺島 浩子 (教室)

20. 悪性リンパ腫の経過中に両眼サイトメガロウイルス網膜炎を生じた一例

○吉野 秀昭, 貞山 徹二, 根本 大志, 村上 健治 (新潟市民病院)

21. 慢性C型肝炎に対するインターフェロン治療中に夕焼け様眼底を呈した2症例

○中村 裕介, 大矢 佳美, 安藤 伸朗 (済生会新潟第二病院)

22. 多発性後極部網膜色素上皮症に対する光線力学療法の治療成績

○佐藤 弥生, 上田 恵理子, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 高田 律子, 長谷部 日, 福地 健郎 (教室)

23. 当科における加齢黄斑変性症に対するルセンティス治療に関する報告

○松岡 尚気, 長谷部 日, 高田 律子, 佐藤 弥生, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮 (教室)

24. 当科におけるルセンティス硝子体注入併用光線力学療法 (その2) - 再発例の治療

○高田 律子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 松岡 尚気 (教室)

「網膜・硝子体2」 座長: 長谷部 日 (教室)

25. 2型糖尿病患者の糖尿病黄斑浮腫をおこさせる危険因子

○鴨井 久司 (長岡赤十字病院糖尿病・内分泌代謝センター)

武田 啓治, 橋本 薫, 田中 玲子, 奥山 真也 (長岡赤十字病院)

26. 黄斑下出血に対する硝子体手術

○吉澤 豊久, 白鳥 敦 (三条眼科)

27. 増殖性糖尿病網膜症に対する硝子体手術後の新生血管緑内障

○吉田 博光, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 高田 律子 佐藤 弥生,

福地 健郎 (教室)

28. 黄斑剥離を伴う裂孔原性網膜剥離の長期視力予後

○寺島 浩子 (教室), 福島 淳志 (長岡中央総合病院), 長谷部 日, 高田 律子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)

29. 偽黄斑円孔に対する硝子体手術前後の視力および形態変化

○長谷部 日, 寺島 浩子, 松岡 尚気, 佐々木 亮, 高田 律子 (教室)

「緑内障2」 座長: 上田 潤 (教室)

30. 緑内障眼におけるRTVueとHRTの乳頭パラメータの比較

○白柏 基宏 (木戸眼科クリニック), 八百枝 潔 (眼科八百枝医院), 阿部 春樹, 福地 健郎 (教室)

31. ExpressTMの使用経験

○田中 隆之, 上田 潤, 長谷部 日, 松田 英伸, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 福地 健郎 (教室)

32. ゴニオトミーの改良～二枚刃ゴニオトミーナイフの開発, 第2報

○上田 潤, 田中 隆之, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 福地 健郎 (教室)

33. 緑内障点眼治療患者における角膜上皮障害

○梅野 哲哉, 坂上 悠太, 芳野 高子, 田中 隆之, 松田 英伸, 若井 美喜子, 太田 亜紀子, 上田 潤, 福地 健郎 (教室)

34. 高度近視性視神経症と緑内障視神経症の基本的違い - 3D-OCTで解る緑内障病態シリーズ -

○岩田 和雄 (新潟大学名誉教授), 岩田 玲子 (岩田眼科)

「最近の話題」 座長: 関 伶子 (せき眼科)

35. 新潟大学眼科のさらなる発展のために

福地 健郎 (教室)

第113回新潟眼科集談会

2013年6月16日 (日) 新潟大学医学部有壬記念館 2階 大会議室

「神経眼科・斜視弱視」 座長: 植木 智志 (教室)

1. 副鼻腔真菌症により視神経障害と外転神経麻痺をきたした1例

○畠瀬 哲尚, 植木 智志, 羽入 貴子, 福地 健郎 (教室)

2. 小児の近見反応痙攣の一例

○羽入 貴子, 植木 智志, 畑瀬 哲尚, 福地 健郎 (教室)

3. 早期発症の調節性内斜視の1例

○植木 智志, 羽入 貴子, 畑瀬 哲尚, 福地 健郎 (教室)

「QOV・OCT」 座長: 上田 潤 (教室)

4. 保育園・幼稚園健診で指摘された眼異常と健診の課題

○松浦 将人 (教室), 石井 雅子 (新潟医療福祉大学・教室), 建見 香夏絵, 落合 竣, 福地 健郎 (教室)

5. 緑内障患者の中心窓閾値と矯正視力の相関

○本間 友里恵, 市村 美香, 小林 美穂, 松浦 将人, 落合 竣, 建見 香夏絵, 宮本 大輝,

上田 潤, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 福地 健郎 (教室)

6. 黄斑浮腫をきたした傾斜乳頭症候群の一例 —そのOCT, FA, FAF, コバルト所見について—

坂井 豊明 (坂井眼科医院)

7. 高度の視野障害が見られたoptic disc drusenの一例

○上田 潤, 大湊 純, 植木 智志, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 福地 健郎 (教室)

田沢 博 (田沢眼科医院)

「網膜・硝子体」

座長: 長谷部 日 (教室)

8. PDT既往のある加齢黄斑変性症に対するラニビズマブ治療に関する報告

○松岡 尚気, 長谷部 日, 高田 律子, 佐藤 弥生, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎 (教室)

9. 長期間経過を追ったPunctate inner choroidopathy～Multifocal choroiditis

○上田 恵理子, 畑瀬 哲尚, 高田 律子, 長谷部 日, 福地 健郎 (教室)

10. Eales病に伴う難治性網膜剥離の一例

○佐々木 亮, 寺島 浩子, 長谷部 日, 高田 律子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)

野神 麗子 (のがみ眼科)

11. 網膜静脈分枝閉塞症に伴う黄斑浮腫に対するベバシズマブ連続投与の成績

○寺島 浩子, 長谷部 日, 高田 律子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)

12. 慢性中心性漿液性脈絡網膜症に対する光線力学療法の長期成績

○佐藤 弥生, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)

13. 特発性黄斑円孔における黄斑部形態変化のSS-OCTによる再考

○長谷部 日, 松岡 尚気, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 上田 恵理子, 佐藤 弥生, 福地 健郎 (教室)

「腫瘍・角膜・ぶどう膜炎」

座長: 松田 英伸 (教室)

14. 自発眼底蛍光 (FAF) は眼内腫瘍の診断に有用か?

○大湊 純, 張 大行 (教室), 尾山 徳秀 (教室・うおぬま眼科), 江口 功一 (江口眼科医院), 福地 健郎 (教室)

15. 腹腔内に多発転移をきたした結膜悪性黒色腫の一例

○張 大行, 大湊 純, 尾山 徳秀 (教室), 江口 功一 (江口眼科医院), 福地 健郎 (教室)

16. 眼科化学療法の回顧

大石 正夫 (白根健生病院)

17. DSAEKをやってみた

○酒井 康弘, 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)

18. ぶどう膜炎に合併した多発性後極部網膜色素上皮症の1例

○松田 英伸, 酒井 康弘, 上田 恵理子, 福地 健郎 (教室)

「緑内障」

座長: 福地 健郎 (教室)

19. 緑内障眼におけるHRTとRT-Vueの乳頭パラメータと視野指標との関係

○白柏 基宏, (木戸眼科クリニック), 八百枝 潔 (眼科八百枝医院), 阿部 春樹, 福地 健郎 (教室)

20. Swept source OCTを用いた篩状板欠損の評価

○坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 上田 潤, 福地 健郎 (教室)

21. 中心窓感度の低下を生じている広義POAG眼に対する線維柱帯切除術の効果

○梅野 哲哉, 宮本 大輝, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 上田 潤, 福地 健郎 (教室)

22. 原発開放隅角緑内障 (広義) に特有のPre-lamina の病態 —3D-OCT 2000による—

○岩田 和雄 (新潟大学名誉教授), 岩田 玲子 (岩田眼科)

「最近の話題」

座長: 関 伶子 (せき眼科医院)

23. 緑内障における視野障害の病態とQuality of Life (QOL) / Quality of Vision (QOV)

○福地 健郎, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 芳野 高子, 五十嵐 遼子, 上田 潤 (教室)

第114回新潟眼科集談会

2013年12月14日（土） 新潟大学医学部第1講義室

「斜視・弱視・小児・神経眼科」

座長：植木 智志（教室）

1. 先天眼振における屈折異常

○市村 美香, 植木 智志, 落合 竣, 羽入 貴子, 番瀬 哲尚, 福地 健郎（教室）

2. 調節緊張症の2例

○羽入 貴子, 植木 智志, 番瀬 哲尚, 福地 健郎（教室）

3. 上斜筋ミオキミアの1例

○番瀬 哲尚, 植木 智志, 羽入 貴子, 福地 健郎（教室）

4. ステロイド治療中に再発した抗アクアボリン4抗体陽性視神経炎の1例

○植木 智志（教室・新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター）, 番瀬 哲尚, 福地 健郎（教室）, 河内 泉（新潟大学脳研究所神経内科）

「ロービジョン」

座長：張替 涼子（新潟大学医学部）

5. 高次脳機能障害者のロービジョンケア

○大石 正夫, 山田 幸男, 清水 美知子, 羽賀 雅世, 小島 紀代子（NPO法人 障害者自立支援センター オアシス）, 石川 充英（東京都視覚障害者生活支援センター）

6. ロービジョン外来の現況

○張替 涼子（新潟大学医学部）, 石井 雅子（新潟医療福祉大学 医療技術学部）

「網膜・硝子体 黄斑浮腫ほか」

座長：寺島 浩子（教室）

7. 長岡赤十字病院における未熟児網膜症の現状について

○末武 亜紀, 橋本 薫, 田中 玲子, 武田 啓治（長岡赤十字病院）

8. イールズ病による血管新生線内障の1例

○上田 恵理子, 松田 英伸, 中枝 智子, 梅野 哲哉, 松岡 尚気,

佐々木 亮, 寺島 浩子, 長谷部 日, 福地 健郎（教室）

9. 網膜静脈分枝閉塞症に伴う黄斑浮腫治療の検討

○藤井 靖, 藤井 青（ふじい眼科）

10. 黄斑浮腫に対する577nmマイクロパルスレーザー光凝固治療の短期成績

○寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 福地 健郎（教室）

「網膜・硝子体 手術」

座長：佐々木 亮（教室）

11. 硝子体手術後に黄斑円孔を生じた強度近視眼の中心窓分離症の一例

○吉田 博光, 村上 健治, 土田 宏嗣, 根本 大志（新潟市民病院）

12. 内境界膜剥離後の黄斑網膜厚（インドシアニングリーンとトリアムシノロンの比較）

○中村 裕介, 大矢 佳美（済生会新潟第二病院）, 山本 晋（新潟大学眼科・近江眼科）, 長井 慎吾（長井眼科）, 井海 雄介（いかい眼科）, 安藤 伸朗（済生会新潟第二病院）

13. Vitreomacular traction syndromeに対する硝子体手術成績

○吉澤 豊久, 白鳥 敦（三条眼科）

14. 脉絡膜剥離を伴う網膜剥離に対する硝子体手術

○佐々木 亮, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐藤 弥生, 松岡 尚気, 福地 健郎（教室）, 須田 生英子（新潟南病院）

「萌芽的研究」

座長：長谷部 日（教室）

15. 就学直前に発見された網膜色素変性の小児に対するロービジョンケア

○建見 香夏絵, 松浦 将人（教室）, 石井 雅子（教室・新潟医療福祉大学医療技術学部）, 張替 涼子, 福地 健郎（教室）

16. 白内障手術と不等像視

○落合 竣, 植木 智志, 市村 美香, 番瀬 哲尚, 酒井 康弘, 福地 健郎（教室）

17. 前眼部OCTを用いた周辺角膜傾斜角度の計測

○宮本 大輝, 梅野 哲哉, 福武 慶, 五十嵐 遼子, 坂上 悠太, 福地 健郎（教室）

18. 特発性黄斑円孔の治療後閉鎖形態による視力への影響

○岡本 陸（新潟大学医学部医学科4年生）, 長谷部 日, 福地 健郎（教室）

19. 広義・原発開放隅角線内障眼におけるSpectral domain OCT 黄斑部解析とハンフリー視野 10-2 の相関

○安部 達也（新潟大学医学部医学科4年生）, 梅野 哲哉, 松浦 将人, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 芳野 高子, 福地

健郎（教室）

2013年12月15日（日） 新潟大学医学部有壬記念館 2階 大会議室

「角膜・白内障」 座長：松田 英伸（教室）

20. 海外ドナー角膜による角膜移植術

○松田 英伸, 酒井 康弘, 福地 健郎（教室）

21. GVHDによる重篤な角膜障害を来たした小児の一例

○酒井 康弘, 松田 英伸, 福地 健郎（教室）

22. 風船唐錠による角膜障害の一例

○松尾 藍子, 大橋 あゆみ, 吉澤 豊久, 柳取 香帆吏, 斎藤 由紀, 中澤 聰美, 坂井 より子, 白鳥 敦（三条眼科）

23. 当院におけるトーリック眼内レンズの検討

○石田 誠夫, 赤見 美子, 大原 瞳, 遠藤 紳一郎, 松木 佐代子（石田眼科）

「網膜・硝子体 加齢黄斑変性」 座長：松岡 尚気（教室）

24. 硝子体内注射と後部硝子体剥離

○松岡 尚気, 佐々木 亮, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 志村 恵理子, 佐藤 弥生, 中枝 智子, 長谷部 日, 福地 健郎（教室）

25. 最終的に光凝固で閉塞したRAPの一例

○長谷部 日, 松岡 尚気, 佐藤弥生, 佐々木 亮, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 志村 恵理子, 中枝 智子, 福地 健郎（教室）

26. ラニビスマブからアフリベルセプトへ切り替えた加齢黄斑変性症例の短期経過

○佐藤 弥生, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 福地 健郎（教室）

27. 渗出性加齢黄斑変性の色素上皮下病巣に対するaflibercept硝子体内注入の治療成績

○本田 美樹（石田眼科・順天堂大学浦安病院), 遠藤 紳一郎, 松木 佐代子（石田眼科), 海老原 伸行（順天堂大学浦安病院), 石田 誠夫（石田眼科）

「緑内障」

座長：梅野 哲哉（教室）

28. Soemmerring輪によりAqueous misdirectionを生じた2例

○福武 慶, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 長谷部 日, 福地 健郎（教室）

29. コンタクトレンズ型眼圧計Triggerfish[®]を用いた持続眼圧測定

○坂上 悠太, 梅野 哲哉, 福武 慶, 五十嵐 遼子, 上田 潤, 福地 健郎（教室）

30. 正常眼圧緑内障眼に対するプロスタグランジン関連薬・β遮断薬配合点眼薬の眼圧下降効果

○五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 芳野 高子, 上田 潤, 福地 健郎（教室）

31. ExPressを用いた濾過手術の短期成績

○梅野 哲哉, 五十嵐 遼子, 福武 慶, 坂上 悠太, 田中 隆之（うおぬま眼科・教室), 上田 潤（上田眼科・教室), 福地 健郎（教室）

「緑内障 視野・視神経」

座長：上田 潤（上田眼科）

32. 広義・原発開放隅角緑内障眼におけるハンフリー視野 24-2 と10-2 プログラムによる傍中心視野欠損の比較

○本間 友里恵, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 芳野 高子, 宮本 大輝, 福地 健郎（教室）

33. 緑内障眼における神経線維層厚とganglion cell complex 厚の乳頭辺縁部面積との相関

○白柏 基宏（木戸眼科クリニック), 田中 隆之（うおぬま眼科), 八百枝 潔（眼科八百枝医院), 阿部 春樹, 福地 健郎（教室）

34. 近視性ニューロパチーと緑内障性ニューロパチーと加齢と

○岩田 和雄（新潟大学名誉教授), 岩田 玲子（岩田眼科), 海谷 忠良（海谷眼科）

「最近の話題」 座長：阿部 春樹（新潟眼科クリニック）

35. 緑内障における形態と機能のコンビネーションとコラボレーション

○福地 健郎, 梅野 哲哉, 本間 友里恵, 宮本 大輝, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 芳野 高子（教室）

第115回新潟眼科集談会

2014年6月22日（日） 新潟大学医学部有壬記念館 2階 大会議室

「網膜・硝子体1」 座長：松岡 尚気（教室）

1. 近視性網膜分離症の手術成績

○佐々木 亮, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 中野 里絵子, 中野 英之 (教室), 佐々木 藍季子 (燕労災病院), 福地 健郎 (教室)

2. 血管新生網内障に対する25ゲージ硝子体手術の術後経過

○上田 恵理子, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 長谷部 日, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)

3. Nanoparticle albumin bound Paclitaxel (アブラキサン[®]) による両眼性囊胞様黄斑浮腫に対してtriamcinolone acetonide テノン囊下注射を施行した一例

○松岡 尚気, 長谷部 日 (教室), 真山 徹二 (村上総合病院), 福地 健郎 (教室)

「小児眼科・神経眼科」 座長: 植木 智志 (教室)

4. 小児の甲状腺眼症の2症例

○畠瀬 哲尚, 植木 智志, 羽入 貴子, 福地 健郎 (教室)

5. 強度遠視に伴うPapillomacular foldの一例

○羽入 貴子, 植木 智志, 畠瀬 哲尚, 福地 健郎 (教室)

6. 視神経萎縮の原因として多発性硬化症に関連した視神経炎が疑われた女児の1例

○植木 智志 (教室・統合脳機能研究センター), 畠瀬 哲尚, 羽入 貴子, 福地 健郎 (教室)

「網膜・硝子体2」

座長: 寺島 浩子 (教室)

7. 当科での過去6年間の急性網膜壊死症例の検討

○中野 里絵子, 松岡 尚気, 松田 英伸, 酒井 康弘, 長谷部 日, 福地 健郎 (教室)

8. SS-OCT "EnView" を用いたポリープ状脈絡膜血管症の観察

○佐藤 弥生, 長谷部 日, 上田 恵理子, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 中枝 智子, 志村 恵理子, 福地 健郎 (教室)

9. 黄斑円孔術後のSD-OCT所見とSS-OCT所見の比較

○長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 佐々木 亮, 福地 健郎 (教室)

10. 網膜静脈分枝閉塞症の黄斑浮腫に対する抗VEGF療法と577nmマイクロパルス閾値下凝固併用療法

○寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 志村 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)

「腫瘍・眼形成・白内障」

座長: 橋本 薫 (長岡赤十字病院)

11. サイトメガロウイルス角膜内皮炎により角膜内皮細胞数が減少した症例に対する白内障手術

○酒井 康弘, 畠瀬 哲尚, 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)

12. 脈絡膜悪性黒色腫に対するルテニウム縫着治療後に眼球摘出に至った2例 ~臨床所見と病理所見の比較~

○大湊 純, 張 大行 (教室), 尾山 徳秀 (うおぬま眼科・教室), 江口 功一 (江口眼科医院), 福地 健郎 (教室)

13. 甲状腺眼症の眼瞼後退に対してTurn-over septal flap法を行った1例

○張 大行, 大湊 純 (教室), 尾山 徳秀 (うおぬま眼科・教室), 江口 功一 (江口眼科医院), 福地 健郎 (教室)

14. 結膜に生じた粘液腫の1例

○橋本 薫, 武田 啓治, 末武 亜紀, 田中 玲子 (長岡赤十字病院), 武田 さち江 (たけだ眼科)

「網膜・硝子体1」

座長: 梅野 哲哉 (教室)

15. 強度近視を伴う広義・原発開放隅角網膜内障眼の視野障害進行速度

○芳野 高子 (佐渡総合病院), 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 福地 健郎 (教室)

16. 広義・原発開放隅角網膜内障眼の中心窓閾値と矯正視力の相関 第二報 等価球面度数別の検討

○本間 友里恵, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 平島 みほ (教室), 五十嵐 遼子 (新潟県立中央病院), 宮本 大輝, 福地 健郎 (教室)

17. 網膜内障眼におけるMicrocystic Macular Edemaの発生頻度

○村田 憲章, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 平島 みほ, 本間 友里恵, 宮本 大輝, 福地 健郎 (教室)

「網膜・硝子体3」 座長: 長谷部 日 (教室)

18. 網膜色素変性症患者のOCT所見と視機能

○押金 智哉 (済生会新潟第二病院 研修医), 大矢 佳美, 中村 裕介, 安藤 伸朗 (済生会新潟第二病院)

19. 網膜静脈分枝閉塞症に伴う黄斑浮腫に対するラニビズマブ治療

○飯川 龍 (済生会新潟第二病院 研修医), 中村 裕介, 大矢 佳美, 安藤 伸朗 (済生会新潟第二病院)

20. 当院における過去3年間の黄斑下血腫症例の検討

○中野 英之, 松岡 尚気, 長谷部 日, 佐々木 亮, 上田 恵理子, 寺島 浩子, 福地 健郎 (教室)

21. 糖尿病網膜症 / 網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫に対するトリアムシノロン療法の効果

○安藤 伸朗, 中村 裕介, 大矢 佳美 (済生会新潟第二病院)

「角膜・感染症・ロービジョン」 座長: 松田 英伸 (教室)

22. 健常人に発症した片眼性真菌性眼内炎の一例

○福武 慶, 酒井 康弘, 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)

23. 院内コーディネーターの活動状況

○松田 英伸, 酒井 康弘, 福地 健郎 (教室)

24. 「視覚障害リハビリテーション外来」開設20周年を迎えて —「オアシス」ロービジョン・ケアから学んだこと—

○大石 正夫, 山田 幸男, 清水 美知子, 羽賀 雅世, 小島 紀代子 (NPO法人障害者自立支援センター「オアシス」), 石川 充英 (東京都視覚障害者生活支援センター)

「緑内障2」 座長: 上田 潤 (上田眼科)

25. ハンフリー視野計10-2の実測閾値とSD-OCTの黄斑部パラメータとの相関

○坂上 悠太, 本間 友里恵, 平島 みほ (教室), 五十嵐 遼子 (新潟県立中央病院), 梅野 哲哉, 福地 健郎 (教室)

26. 周辺角膜傾斜度が隅角閉塞に及ぼす影響

○梅野 哲哉, 宮本 大輝, 坂上 悠太, 平島 みほ, 中野 里絵子, 本間 友里恵, 福地 健郎 (教室)

27. 緑内障眼におけるGDxとRTVueの網膜神経線維層パラメータの比較

○白柏 基宏 (木戸眼科クリニック), 八百枝 潔 (やおえだ眼科), 福地 健郎 (教室)

28. 緑内障篩状板のいわゆるFocal DefectはDefectにあらず

○岩田 和雄 (新潟大学名誉教授), 岩田 玲子 (岩田眼科)

「最近の話題」 座長: 阿部 春樹 (新潟医療福祉大学)

29. 緑内障薬物治療の現状

○福地 健郎, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 平島 みほ (教室), 五十嵐 遼子 (新潟県立中央病院), 芳野 高子 (佐渡総合病院)

第116回新潟眼科集談会

2014年12月20日 (土) 新潟大学医学部有壬記念館 2階 大会議室

「角膜・ぶどう膜炎」 座長: 松田 英伸 (教室)

1. Ex-PRESS挿入後の角膜内皮細胞所見の検討

○宮本 大輝, 坂上 悠太, 平島 みほ, 梅野 哲哉, 福地 健郎 (教室)

2. エアバッグにて角膜内皮細胞減少及び外傷性白内障を呈した一例

○吉田 博光, 村上 健治, 土田 宏嗣, 根本 大志 (新潟市民病院)

3. サイトメガロウイルス角膜内皮炎の治療中に角膜真菌症を併発した2症例

○酒井 康弘, 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)

4. インフリキシマブを投与した小児ベーチェット病の1例

○松田 英伸, 酒井 康弘, 福地 健郎 (教室)

5. 就寝時ソフトコンタクトレンズ装用にて発症した角膜真菌症の一例

坂井 豊明 (坂井眼科医院)

「ロービジョン」 座長: 張替 涼子 (信田眼科)

6. NPO法人障害者自立支援センター「オアシス」「視覚障害リハビリテーション外来」の現況 —開設20周年を迎えて—

○大石 正夫, 清水 美知子, 羽賀 雅世, 小島 紀代子 (信楽園病院視覚障害リハビリ外来), 山田 幸男 (信楽園病院視覚障害リハビリ外来内科), 石川 充英 (東京都視覚障害者生活支援センター)

7. 新潟大学医歯学総合病院ロービジョン外来における後期高齢者のニーズと補装具処方状況

○村田 憲章 (教室), 石井 雅子 (新潟医療福祉大学), 張替 涼子 (信田眼科・教室), 福地 健郎 (教室)

「網膜硝子体1 (黄斑浮腫)」 座長: 寺島 浩子 (教室)

8. 網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫に対するラニビズマブ治療成績

○高田 律子, 五十嵐 遼子 (新潟県立中央病院)

9. 網膜静脈分枝閉塞症に伴う黄斑浮腫に対するラニビズマブ治療 <続報>

○飯川 龍 (済生会新潟第二病院 研修医), 中村 裕介, 大矢 佳美, 安藤 伸朗 (済生会新潟第二病院)

10. 糖尿病黄斑浮腫に対するラニビズマブ治療成績

○安藤 伸朗, 大矢 佳美, 中村 裕介 (済生会新潟第二病院)

11. 網膜静脈分枝閉塞症に対する治療前後の脈絡膜厚変化

○寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)

「神経眼科・斜視弱視」 座長: 植木 智志 (教室)

12. 特発性視神経炎の急性期におけるOCT所見

- 落合 峰，植木 智志，畠瀬 哲尚，福地 健郎（教室）
13. ゴールドマン視野計を用いた先天眼振症例のnull zoneを推定する新たな方法
- 市村 美香，植木 智志，羽入 貴子，福地 健郎（教室）
14. 視神経乳頭への転移が疑われた肺腺癌の1例
- 畠瀬 哲尚，植木 智志，羽入 貴子，福地 健郎（教室）
15. 先天眼瞼下垂における眼瞼下垂と同側眼の不同視および不同視弱視
- 植木 智志，羽入 貴子，畠瀬 哲尚，福地 健郎（教室）
- 「網膜硝子体2・医学部学生研究」 座長：長谷部 日（教室）
16. 硝子体手術後に発症した黄斑円孔症例の検討
- 福武 慶，長谷部 日，寺島 浩子，上田 恵理子，松岡 尚気，佐々木 亮，福地 健郎（教室）
17. 急性原発閉塞隅角症および急性原発閉塞隅角緑内障の患者背景
- 石井 宏明（新潟大学医学部医学科4年生），坂上 悠太，平島 みほ，梅野 哲哉，福地 健郎（教室）
18. 特発性黄斑円孔の閉鎖形態と視力との関係
- 多賀 亮（新潟大学医学部医学科4年生），長谷部 日，福地 健郎（教室）
19. 黄斑円孔術後のellipsoid zone (IS/OS line) の変化
- 長谷部 日，寺島 浩子，上田 恵理子，松岡 尚気，佐々木 亮，福地 健郎（教室）
- 「緑内障1」 座長：白柏 基宏（木戸眼科クリニック）
20. 硝子体腔と前節状板に交通の見られたNTGの1症例
- 笠木 逸夫（かさき眼科），大久保 裕史（おおくぼ眼科）
21. ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術における頭低位と眼圧変動に関する検討
- 坂上 悠太，梅野 哲哉，平島 みほ，若井 美喜子（教室），西山 勉，笠原 隆，瀧澤 逸大（新潟大学泌尿器科），福地 健郎（教室）
22. 診療所移転に伴う原発開放隅角緑内障患者の眼圧変動
- 八百枝 潔（やおえだ眼科・教室），福島 淳志（やおえだ眼科・長岡中央総合病院），白柏 基宏（木戸眼科クリニック），福地 健郎（教室）
23. 緑内障眼におけるGDxとRTVueにより測定した網膜神経線維層厚と視野障害との相関
- 白柏 基宏（木戸眼科クリニック），八百枝 潔（やおえだ眼科），福地 健郎（教室）

2014年12月21日（日） 新潟大学医学部有壬記念館 2階 大会議室

- 「網膜硝子体3（黄斑変性）」 座長：松岡 尚気（教室）
24. 当院における加齢黄斑変性に対する抗VEGF治療
- 藤井 靖，藤井 青（ふじい眼科）
25. 加齢黄斑変性に対するアフリベルセプト治療の短期検討
- 五十嵐 遼子，高田 律子（新潟県立中央病院）
26. 高度な網膜色素上皮剥離を伴う加齢黄斑変性に対するアフリベルセプトの治療効果
- 佐藤 弥生，長谷部 日，寺島 浩子，松岡 尚気，上田 恵理子，佐々木 亮，福地 健郎（教室）
27. 近視性脈絡膜血管新生に対する抗VEGF薬の治療成績
- 松岡 尚気，長谷部 日，寺島 浩子，上田 恵理子，佐々木 亮，佐藤 弥生，福地 健郎（教室）
- 「眼窩・腫瘍」 座長：張 大行（教室）
28. 1年以上放置した巨大な術後性上頸洞囊胞の1例
- 末武 亜紀，橋本 薫，田中 玲子，武田 啓治（長岡赤十字病院）
29. 眼瞼Merkel細胞癌の一例
- 中野 里絵子，大湊 純，張 大行（教室），尾山 徳秀（うおぬま眼科・教室），長谷川 剛（新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子/細胞病理学分野），福地 健郎（教室）
30. ぶどう膜悪性黒色腫症例における遺伝子変異の検索
- 大湊 純（新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子/診断病理学分野・教室），福地 健郎（教室），味岡 洋一（新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子/診断病理学分野）
31. 眼窩内に浸潤したアポクリン腺癌の1例
- 張 大行，大湊 純（教室），尾山 徳秀（うおぬま眼科・教室），福地 健郎（教室）
- 「網膜硝子体4」 座長：佐々木 亮（教室）
32. 网膜静脈閉塞症に対する硝子体手術と抗VEGF硝子体注射の比較

○吉澤 豊久, 白鳥 敦 (三条眼科)

33. 25G, 23Gおよび20G硝子体手術の比較

○藤田 美紀, 土田 由紀, 大橋 あゆみ, 柳取 香帆吏, 中澤 聰美, 坂井 より子, 吉澤 豊久 (三条眼科)

34. 糖尿病網膜症術後視力不良例の検討

○上田 恵理子, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 長谷部 日, 福地 健郎 (教室)

35. 線維柱帯切除術後に漿液性網膜剥離をきたした一例

○佐々木 亮, 福地 健郎 (教室), 佐々木 藍季子 (燕労災病院), 園田 日出男 (園田眼科)

「緑内障2」

座長: 上田 潤 (上田眼科)

36. レーザー虹彩切開術後に上方から角膜内皮細胞減少が始まった症例のうつむき位超音波生体顕微鏡検査

○今井 和行 (今井眼科医院), 澤田 英子 (さわだ眼科クリニック), 福地 健郎 (教室)

37. 当科紹介初診における落屑緑内障症例の特徴

○中野 英之, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 平島 みほ, 福地 健郎 (教室)

38. ハンフリー 10-2 プログラムとオクトパスMプログラムの比較

○本間 友里恵, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 平島 みほ (教室), 五十嵐 遼子 (新潟県立中央病院), 宮本 大輝, 福地 健郎 (教室)

39. Cirrus OCTコンボレポートの有用性

○平島 みほ, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 中野 英之, 本間 友里恵, 福地 健郎 (教室)

「緑内障3・水晶体」

座長: 梅野 哲哉 (教室)

40. 当院におけるpostPTK・PRK・Lasik白内障眼の手術検討

○石田 誠夫, 赤見 美子, 大原 瞳, 遠藤 紳一郎, 松木 佐代子, 山口 達夫 (石田眼科)

41. Lens vaultに与える因子についての検討

○梅野 哲哉, 宮本 大輝, 坂上 悠太, 平島 みほ, 中野 英之, 福地 健郎 (教室)

42. 意外に多い非定型的SSOHの実態、及び緑内障の合併

○岩田 和雄 (新潟大学名誉教授), 岩田 玲子 (岩田眼科)

「緑内障4」

座長: 関 伶子 (せき眼科医院)

43. 緑内障患者の“読み”を理解する

○福地 健郎 (教室), 石井 雅子 (新潟医療福祉大学), 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 平島 みほ (教室), 五十嵐 遼子 (新潟県立中央病院), 芳野 高子 (厚生連佐渡総合病院), 本間 友里恵, 宮本 大輝 (教室), 阿部 春樹 (新潟医療福祉大学)

第117回新潟眼科集談会

2015年6月21日 (日) 新潟大学医学部有壬記念館 2階 大会議室

「小児眼科・神経眼科」

座長: 植木 智志 (教室)

1. 家族性のある小児の網膜剥離の症例

○羽入 貴子, 植木 智志, 畑瀬 哲尚, 福武 慈, 佐々木 亮, 上田 恵理子, 寺島 浩子, 長谷部 日, 福地 健郎 (教室)

2. 開瞼失行の1例

○畠瀬 哲尚, 植木 智志, 羽入 貴子, 福地 健郎 (教室)

3. 新潟市における保育園の眼科健診 -過去7年間の保育統計より-

○生方 北斗, 谷 佳子, 進藤 真紀, 石井 雅子 (新潟医療福祉大学), 関 伶子 (せき眼科医院), 阿部 春樹 (新潟医療福祉大学)

4. 後天共同性内斜視と区別が困難な軽度外転神経麻痺

○植木 智志, 羽入 貴子, 畠瀬 哲尚, 福武 慈, 福地 健郎 (教室)

「網膜・硝子体1」

座長: 寺島 浩子 (教室)

5. 成人型卵黄様黄斑変性が疑われた抗VEGF治療無効の2症例

○高田 律子 (長岡赤十字病院), 五十嵐 遼子 (新潟県立中央病院)

6. 膨化したMIRAGel[®]を摘出した一例

○佐々木 亮, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐藤 弥生, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)

7. 裂孔原性網膜剥離に対する硝子体手術後の硝子体出血

○上田 恵理子, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)

8. フルオレセインによるアナフィラキシーショック

○大矢 佳美, 中村 裕介, 安藤 伸朗 (済生会新潟第二病院)

9. インターフェロン治療による血球動態と網膜症

○小林 大悟, 中村 裕介, 大矢 佳美, 安藤 伸朗 (済生会新潟第二病院)

10. 黄斑円孔術後のellipsoid zone (IS/OS line) の変化 第二報

○長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 佐々木 亮, 福地 健郎 (教室)

「緑内障1」 座 長:上田 潤 (上田眼科)

11. 先天性ぶどう膜外反に合併した発達緑内障の1例

○末武 亜紀 (教室), 中野 英之 (魚沼基幹病院), 平島 みほ (新潟県立中央病院), 坂上 悠太 (新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院), 梅野 哲哉, 福地 健郎 (教室)

12. SD-OCTによる広義・原発開放隅角緑内障眼の乳頭内および乳頭周囲毛細血管網の観察

○落合 竣, 梅野 哲哉 (教室), 坂上 悠太 (新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院), 末武 亜紀, 佐々木 藍季子, 福武 慶, 本間 友里恵, 宮本 大輝, 福地 健郎 (教室)

13. サイトメガロウイルス角膜内皮炎症例における続発緑内障合併例の検討

○田沢 綾子, 酒井 康弘, 松田 英伸, 梅野 哲哉, 福地 健郎 (教室)

14. Ex-PRESS[®]挿入濾過手術後の角膜内皮細胞所見の検討 第二報

○宮本 大輝 (教室), 坂上 悠太 (新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院), 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 佐々木 藍季子, 福武 慶, 本間 友里恵, 福地 健郎 (教室)

15. 緑内障患者の読書評価 - 縦書きと横書きの比較 -

○石井 雅子 (教室・新潟医療福祉大学), 張替 涼子 (教室・新潟医療福祉大学), 関 正明 (せき眼科医院), 阿部 春樹 (新潟医療福祉大学), 福地 健郎 (教室)

16. iCare HOMEの使用経験

○梅野 哲哉 (教室), 中野 英之 (魚沼基幹病院), 飯川 龍, 福武 慶 (教室), 平島 みほ (新潟県立中央病院), 末武 亜紀 (教室), 坂上 悠太 (新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院), 福地 健郎 (教室)

「腫瘍・眼形成」 座 長:尾山 徳秀 (うおぬま眼科)

17. 散弾銃の誤射による眼窩内異物の一例

○張 大行, 大湊 純 (教室), 尾山 徳秀 (教室・うおぬま眼科), 福地 健郎 (教室)

18. 日本人のぶどう膜悪性黒色腫におけるGNAQおよびGNA11遺伝子変異率

○大湊 純 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子/診断病理学分野・教室), 佐藤 彩子, 小林 和恵, 味岡 洋一 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子/診断病理学分野), 福地 健郎 (教室)

19. 脫膜性眼瞼下垂に対する手術 (簡便で効果の高いaponeurosis resection)

○尾山 徳秀 (教室・うおぬま眼科), 張 大行, 大湊 純, 福地 健郎 (教室)

「網膜・硝子体2」

座 長:長谷部 日 (教室)

20. 当院における網膜静脈分枝閉塞症の黄斑浮腫に対するトリアムシノロン・テノン囊下注射の治療成績

○塙崎 直哉, 中村 裕介, 大矢 佳美, 安藤 伸朗 (済生会新潟第二病院)

21. 黄斑浮腫に対するステロイドと網膜レーザーの併用療法～網膜静脈閉塞症

○安藤 伸朗, 中村 裕介, 大矢 佳美 (済生会新潟第二病院)

22. 自然退縮しない特発性脈絡膜新生血管に対する抗VEGF治療

○吉澤 豊久, 白鳥 敦 (三条眼科)

23. 渗出性加齢黄斑変性に対するアフリベルセプト切り替え治療の1年成績

○佐藤 弥生, 長谷部 日, 寺島 浩子, 松岡 尚気, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎 (教室)

24. ポリープ状脈絡膜血管症に対するaflibercept療法の効果と脈絡膜厚変化

○寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)

25. 加齢黄斑変性症に対する抗VEGF薬治療に硝子体黄斑癒着が及ぼす影響

○松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 佐藤 弥生, 福地 健郎 (教室)

「角膜・感染症・ロービジョン」

座 長:松田 英伸 (教室)

26. 視覚障害者用パソコン教室開設 20周年のあゆみ

○大石 正夫, 山田 幸男, 清水 美知子, 羽賀 雅世, 小島 紀代子 (NPO法人障害者自立支援センターオアシス), 石川 充英 (東京都視覚障害者生活支援センター)

27. 最近経験したアカントアーバ角膜炎の症例

○酒井 康弘, 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)

28. 6歳児に診断したVogt - 小柳 - 原田病の1例

○松田 英伸, 酒井 康弘 (教室), 中野 英之 (魚沼基幹病院), 田沢 綾子, 梅野 哲哉, 福地 健郎 (教室)

「緑内障2」

座長：梅野 哲哉（教室）

29. SS-OCTのEn-faceイメージによる視神経部分低形成の網膜神経線維束観察と緑内障性視神経症との鑑別
 ○飯川 龍, 植木 智志, 畑瀬 哲尚, 梅野 哲哉, 宮本 大輝, 福地 健郎（教室）
30. レーザー虹彩切開術を施行していない狭隅角眼の角膜内皮細胞減少パターン
 ○今井 和行（今井眼科医院）, 澤田 英子（さわだ眼科クリニック）, 福地 健郎（教室）
31. 広義・原発開放隅角緑内障眼の中心窩閾値と矯正視力, HFA10-2測定点感度閾値の相関：病型別, 等価球面度数別検討
 ○本間 友里恵, 末武 亜紀, 梅野 哲哉（教室）, 坂上 悠太（新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院）, 宮本 大輝（教室）, 五十嵐 遼子, 平島 みほ（新潟県立中央病院）, 芳野 高子（佐渡総合病院）, 福地 健郎（教室）
32. 視線解析装置を用いた緑内障患者と健常者の読書評価
 ○村田 憲章（教室・新潟医療福祉大学）, 宮本 大輝, 梅野 哲哉（教室）, 坂上 悠太（新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院）, 末武 亜紀, 本間 友里恵, 福地 健郎（教室）
33. 緑内障眼における網膜神経線維層厚と視野障害の関係：スキャニングレーザーポラリメータと光干渉断層計による測定の比較
 ○白柏 基宏（木戸眼科クリニック）, 八百枝 潔（やおえだ眼科）, 福地 健郎（教室）

34. 緑内障篩状板チャンネルのOCT水平, 垂直Bスキャン新知見
 ○岩田 和雄（新潟大学名誉教授）, 岩田 玲子（岩田眼科）「緑内障3」
座長：阿部 春樹（新潟医療福祉大学）

35. QOL/QOV維持のための広義・原発開放隅角緑内障に対する手術治療
 ○福地 健郎, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 佐々木 藍季子, 福武 慈, 本間 友里恵, 宮本 大輝（教室）, 坂上 悠太（新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院）, 五十嵐 遼子, 平島 みほ（新潟県立中央病院）, 芳野 高子（佐渡総合病院）, 村田 憲章（新潟医療福祉大学）

第118回新潟眼科集談会

2015年12月19日（土） 新潟大学医学部有壬記念館 2階 大会議室

「神経眼科・斜視弱視」

座長：植木 智志（教室）

1. 強度近視性斜視のMR画像における特徴を認め横山法を施行した2例
 ○田沢 綾子, 植木 智志, 羽入 貴子, 畑瀬 哲尚, 福武 慈, 福地 健郎（教室）
2. 先天白内障術後のコンタクトレンズ度数の変化
 ○市村 美香, 植木 智志, 羽入 貴子, 畑瀬 哲尚, 福武 慈, 福地 健郎（教室）
3. 保育園児の眼科健診－屈折検査の試み－
 ○生方 北斗, 石井 雅子（新潟医療福祉大学）, 大川 真名子（整形外科・眼科大川クリニック）, 田邊 朝子（あらい眼科）, 関 伶子（せき眼科医院）, 阿部 春樹（新潟医療福祉大学）
4. 神経サルコイドーシスの一例
 ○畠瀬 哲尚, 黒澤 史門, 福武 慈, 羽入 貴子, 植木 智志, 福地 健郎（教室）

5. 視神経低形成12例のMR画像所見
 ○福武 慈, 植木 智志, 羽入 貴子, 畠瀬 哲尚, 福地 健郎（教室）6. 片眼義眼の僚眼に顕性潜伏眼振がみられた3例
 ○植木 智志, 羽入 貴子, 畠瀬 哲尚, 福武 慈, 福地 健郎（教室）「腫瘍・ぶどう膜炎」
座長：張 大行（教室）

7. 眼球摘出に至った小線源治療後のぶどう膜悪性黒色腫3例の検討
 ○黒澤 史門, 大湊 純, 張 大行（教室）, 尾山 徳秀（教室・うおぬま眼科）, 江口 功一（江口眼科医院）, 福地 健郎（教室）
8. 日本人におけるぶどう膜悪性黒色腫の体細胞遺伝子変異率～組織型・増殖活性との関連について～
 ○大湊 純（教室・分子 診断病理学分野）, 佐藤 彩子, 小林 和恵, 山口 尚之, 味岡 洋一（分子 診断病理学分野）, 福地 健郎（教室）
9. 当科にて加療を行った網膜血管腫の3例
 ○吉田 博光, 村上 健治, 土田 宏嗣（新潟市民病院）
10. 当科におけるインフリキシマブ（レミケード[®]）によるベーチェット病ぶどう膜炎治療の現況
 ○酒井 康弘, 松田 英伸, 福地 健郎（教室）

11. 間質性腎炎に伴うぶどう膜炎症候群の一例
○松田 英伸, 酒井 康弘, 福地 健郎 (教室)
12. Intratarsal Keratinous cystの治療経験
○張 大行, 大湊 紗 (教室), 尾山 徳秀 (教室・うおぬま眼科), 福地 健郎 (教室)
「網膜硝子体1・医学部学生研究」 座長:長谷部 日 (教室)
13. フルオレセイン蛍光眼底造影の有害事象
○大矢 佳美, 中村 裕介, 安藤 伸朗 (済生会新潟第二病院)
14. 自然閉鎖した黄斑円孔の3症例
○高田 律子, 橋本 薫, 田中 玲子, 武田 啓治 (長岡赤十字病院)
15. 広義原発開放隅角縁内障眼におけるOCT angiographyを用いた乳頭周囲毛細血管網の観察
○計良 拓夢 (新潟大学医学部医学科4年生), 落合 竣, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 福武 慶, 田沢 綾子, 福地 健郎 (教室)
16. 特発性黄斑円孔の閉鎖時に出現するグリア増殖の術後経過
○高桑 拓也 (新潟大学医学部医学科4年生), 長谷部 日, 福地 健郎 (教室)
17. 眼サルコイドーシスの臨床的経過の検討
○野崎 耀平 (新潟大学医学部医学科4年生), 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)
「網膜硝子体2 (黄斑変性・抗VEGF治療)」座長:松岡 尚気 (教室)
18. En face Swept-Source OCTによるポリープ状脈絡膜血管症の観察 - 第二報 -
○佐藤 弥生, 長谷部 日, 寺島 浩子, 松岡 尚気, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎 (教室)
19. 遷延した糖尿病黄斑浮腫に対し、硝子体手術とRanibizumab注射を行った1例
○吉澤 豊久, 白鳥 敦 (三条眼科)
20. 渗出型加齢黄斑変性に対するTreat and Extend
○長谷部 日, 佐藤 弥生, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 佐々木 亮, 福地 健郎 (教室)
21. 当院における抗VEGF療法の現状
○安藤 伸朗, 大矢 佳美, 中村 裕介 (済生会新潟第二病院)

2015年12月20日 (日) 新潟大学医学部有壬記念館 2階 大会議室

- 「ロービジョン」 座長:張替 涼子 (新潟医療福祉大学)
22. 高次脳機能障害のリハビリ経過
○大石 正夫, 山田 幸男, 清水 美知子, 羽賀 雅世, 小島 紀代子 (NPO法人障害者自立支援センターオアシス), 石川 充英 (東京都視覚障害者生活支援センター)
 23. ロービジョン患者の羞明と遮光眼鏡の処方状況
○本間 友里恵 (教室), 石井 雅子, 張替 涼子 (新潟医療福祉大学), 福地 健郎 (教室)
 24. ささだんごネットの連携効果 - 現況報告 -
○張替 涼子, 石井 雅子 (新潟医療福祉大学)
- 「白内障・角膜」 座長:酒井 康弘 (教室)
25. 白内障手術中にフェイコチョッパーが折損した症例
○引間 孝輔 (県立十日町病院)
 26. CALLISTO eyeを使用したトーリック白内障手術の検討
○石田 誠夫, 姜 正信, 大原 瞳, 遠藤 紳一郎, 松木 佐代子, 安藤 由香, 赤見 美子, 山口 達夫 (石田眼科医院)
 27. 2週間頻回交換CL装用者にみたアカントアーベバ角膜炎の一例
○吉野 秀昭 (長岡中央総合病院)
 28. 角膜内皮細胞が減少しているレーザー虹彩切開術を施行された7例
○今井 和行 (慈光会今井眼科医院), 澤田 英子 (さわだ眼科クリニック), 福地 健郎 (教室)
- 「網膜硝子体3」 座長:寺島 浩子 (教室)
29. インターフェロン網膜症と肝炎治療成績
○小林 大悟, 中村 裕介, 大矢 佳美, 安藤 伸朗 (済生会新潟第二病院)
 30. Von Hippel-Lindau (VHL) 症に伴う傍乳頭網膜血管腫の1例
○飯川 龍, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 長谷部 日, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)
 31. 硝子体手術に至った眼内炎の検討
○佐々木 亮, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)

32. 抗VEGF療法後の黄斑円孔

○上田 恵理子, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)

33. 黄斑上膜に対する硝子体手術が脈絡膜に与える影響

○松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎 (教室)

34. 黄斑前膜術前後のハンフリー視野10-2と黄斑部網膜厚の解析

○寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)

「緑内障1」 座長: 上田 潤 (上田眼科)

35. 篩状板にBeamとSPCA腔がみられた2症例のImage J (旧NIH Image)によるOCT輝度(反射率)解析

○笠木 逸夫 (かさき眼科), 大久保 裕史 (おおくぼ眼科)

36. AngioVueを用いた広義POAG眼における黄斑部解析の検討

○落合 竣, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 福武 慶, 田沢 紗子, 福地 健郎 (教室)

37. 当院におけるグラナテック 点眼液の使用成績

○八百枝 潔 (やおえだ眼科・教室), 福島 淳志 (やおえだ眼科), 白柏 基宏 (木戸眼科クリニック), 福地 健郎 (教室)

38. 視線解析装置を用いた緑内障患者と健常者の読書評価 (第2報)

○村田 憲章 (教室・新潟医療福祉大学), 宮本 大輝, 梅野 哲哉 (教室), 坂上 悠太 (教室・魚沼教育センター),

末武 亜紀, 本間 友里恵, 福地 健郎 (教室)

「緑内障2」 座長: 梅野 哲哉 (教室)

39. 緑内障眼におけるハンフリー視野指標とFDT視野指標の相関

○白柏 基宏 (木戸眼科クリニック), 八百枝 潔 (やおえだ眼科), 福地 健郎 (教室)

40. VFQ-25ラッシュスコアによる緑内障患者のQOLと視野指標との関係

○末武 亜紀, 梅野 哲哉, 福地 健郎 (教室), 澤田 英子 (さわだ眼科クリニック)

41. 高精細重ね合わせ視野とQOLスコアとの相関

○梅野 哲哉, 末武 亜紀, 福武 慶, 本間 友里恵, 福地 健郎 (教室)

42. 視神経乳頭鼻側傾斜と中心血管の逆位situs inversusにみられたGlaucoma cupping

○岩田 和雄 (新潟大学名誉教授), 岩田 玲子 (岩田眼科)

「緑内障3」 座長: 阿部 春樹 (新潟医療福祉大学)

43. 緑内障薬物治療の現状と限界

○福地 健郎, 梅野 哲哉, 末武 亜紀 (教室), 坂上 悠太 (教室・魚沼教育センター)

第119回新潟眼科集談会

2016年6月12日 (日) 新潟大学医学部有壬記念館 2階 大会議室

「小児眼科・神経眼科」

座長: 植木 智志 (教室)

1. 幼児眼科健診における屈折検査 -レチノマックスとスポットビジョンスクリーナーの比較-

○生方 北斗, 石井 雅子 (新潟医療福祉大学), 白柏 麻子 (白柏眼科医院), 阿部 春樹 (新潟医療福祉大学)

2. 新潟市保育園における眼科健診 - 視力検査マニュアルの改訂にあたって-

○石井 雅子, 生方 北斗 (新潟医療福祉大学), 大川 真名子 (整形外科・眼科大川クリニック), 田邊 朝子 (あらい眼科),

白柏 麻子 (白柏眼科医院), 関 伶子 (せき眼科医院), 阿部 春樹 (新潟医療福祉大学)

3. 経過観察期間中に視機能の著明な改善が見られたAZOORの1例

○落合 竣, 植木 智志, 畑瀬 哲尚, 福武 慶, 福地 健郎 (教室)

4. 視神経部分低形成では、大脳形態異常はみられるか? -14例のMR画像所見-

○福武 慶, 植木 智志, 羽入 貴子, 畑瀬 哲尚, 福地 健郎 (教室)

5. 網膜色素変性の合併が疑われた小口病の1例

○畠瀬 哲尚, 植木 智志, 福武 慶, 羽入 貴子, 福地 健郎 (教室)

6. 強度近視を合併した点頭けいれんの双生児の2例、および先天眼振と屈折異常

○植木 智志, 羽入 貴子, 畠瀬 哲尚, 福武 慶, 市村 美香, 福地 健郎 (教室)

「腫瘍・眼形成」 座長: 張 大行 (教室)

7. 比較的若年者に認めたぶどう膜悪性黒色腫の一例

○塩崎 直哉, 福武 慶, 大湊 純, 張 大行, 福地 健郎 (教室)

8. 泪腺の上皮系腫瘍における体細胞遺伝子変異

○大湊 純（教室・分子診断病理学分野）、張 大行（教室）、尾山 徳秀（教室・うおぬま眼科）、福地 健郎（教室）、佐藤 彩子、味岡 洋一（分子診断病理学分野）

9. 結膜脂腺癌の一例

○張 大行（教室）、大湊 純（教室・分子診断病理学分野）、尾山 徳秀（教室・うおぬま眼科）、福地 健郎（教室）

「網膜・硝子体1」 座長：長谷部 日（教室）

10. 硝子体生検を施行した眼内リンパ腫症例の経過

○上田 恵理子、長谷部 日、寺島 浩子、佐々木 亮、松岡 尚気、張 大行、大湊 純（教室）、原 浩昭（県立がんセンター新潟病院）、福地 健郎（教室）

11. 当科における強度近視黄斑円孔網膜剥離に対するinverted ILM flap techniqueの検討

○吉田 博光、松岡 尚気、佐々木 亮、上田 恵理子、寺島 浩子、長谷部 日、福地 健郎（教室）

12. 近視性網膜分離症に対してfovea sparing ILM peelingを用いた硝子体手術の成績

○佐々木 亮、長谷部 日、寺島 浩子、上田 恵理子、松岡 尚気、佐藤 弥生、福地 健郎（教室）

13. 内境界膜剥離併用黄斑円孔手術後の視野と網膜層厚の評価

○寺島 浩子、長谷部 日、松岡 尚気、上田 恵理子、佐々木 亮、福地 健郎（教室）

14. 硝子体出血を繰り返す網膜血管腫に対し、硝子体手術で治療した1例

○吉澤 豊久、白鳥 敦（三条眼科）

15. 特発性黄斑円孔の初期閉鎖形態の違いによる視力予後の差

○長谷部 日、寺島 浩子、上田 恵理子、松岡 尚気、佐々木 亮、吉田 博光、福地 健郎（教室）

「緑内障1」 座長：上田 潤（上田眼科）

16. Parkin非依存的マイトファジーにおけるPINK1の機能解析

○五十嵐 遼子（教室・機能制御学分野）、山下 俊一（機能制御学分野）、クセニア・チェルヌショワ（教室・機能制御学分野）、福地 健郎（教室）、神吉 智丈（機能制御学分野）

17. SS-OCTのEn faceイメージによる視神経部分低形成の網膜神経線維束観察update

○飯川 龍、植木 智志、畠瀬 哲尚、梅野 哲哉、宮本 大輝、福地 健郎（教室）

18. 緑内障患者の読書能力とHumphrey視野24-2部位別感度の関係性

○村田 憲章（教室・新潟医療福祉大学）、宮本 大輝、梅野 哲哉、本間 友里恵、末武 亜紀、福地 健郎（教室）

19. 初期緑内障眼におけるハンフリー視野指標とFDT視野指標

○白柏 基宏（木戸眼科クリニック）、八百枝 潔（やおえだ眼科）、福地 健郎（教室）

「ロービジョン・他」 座長：安藤 伸朗（済生会新潟第二病院）

20. 魚沼基幹病院 開院からの1年間

○坂上 悠太（新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院）、田沢 綾子、中野 英之（魚沼基幹病院）、福地 健郎（教室）

21. 福島原発事故被災者への保養と健康相談「いのちキラキラ希望の風フェスタ」に参加して

大矢 佳美（済生会新潟第二病院）

22. 「第20回サマースクール2016」を迎えて

○大石 正夫、山田 幸男、清水 美知子、羽賀 雅世、小島 紀代子（NPO法人障害者自立支援センターオアシス）、石川 充英（東京都視覚障害者生活支援センター）

「網膜・硝子体2」 座長：松岡 尚気（教室）

23. 同時発症した両眼網膜中心動脈閉塞症の一例

○野々村 紗子、中村 裕介、大矢 佳美、安藤 伸朗（済生会新潟第二病院）

24. 網膜静脈閉塞症・糖尿病網膜症に伴う黄斑浮腫に対する短時間照射網膜レーザー治療の効果

○安藤 伸朗、大矢 佳美、中村 裕介（済生会新潟第二病院）

25. 当院における硝子体注射後無菌性眼内炎症例について

鈴木 恵子（県立吉田病院）

26. 無治療の滲出型加齢黄斑変性に対するアフリベルセプト硝子体内注射の1年成績

○佐藤 弥生、長谷部 日、寺島 浩子、松岡 尚気、上田 恵理子、佐々木 亮、福地 健郎（教室）

27. 硝子体手術後の部位別脈絡膜厚の変化

○松岡 尚気、長谷部 日、寺島 浩子、佐藤 弥生、上田 恵理子、佐々木 亮、福地 健郎（教室）

「角膜・感染症・ぶどう膜炎」 座長：松田 英伸（教室）

28. ベーチェット病患者に対する白内障手術

○中野 里絵子、松田 英伸、酒井 康弘、福地 健郎（教室）

29. 角膜移植片にMRCNS感染を生じた一例

○酒井 康弘、松田 英伸、福地 健郎（教室）

30. 急性緑内障を発症したヘルペス性角膜ぶどう膜炎の一例

坂井 豊明（坂井眼科医院）

31. 8方向の角膜内皮でレーザー虹彩切開に最も近い方向と最も遠い方向の比較

○今井 和行（今井眼科医院），澤田 英子（さわだ眼科クリニック），福地 健郎（教室）

32. 原因同定不能の硝子体混濁症例に対する前房水IL-10/IL-6の検討

○松田 英伸，酒井 康弘，張 大行，大湊 純，福地 健郎（教室）

「緑内障2」

座 長：梅野 哲哉（教室）

33. 緑内障患者における点眼手技の検討

○小林 大悟，梅野 哲哉，末武 亜紀，中野 里絵子，飯川 龍，福地 健郎（教室）

34. 緑内障眼における非接触眼圧計およびGoldmann圧平眼圧計による中心角膜厚または角膜力学的特性を用いた補正前後の眼圧値の比較

○八百枝 潔（やおえだ眼科・教室），福島 淳志（やおえだ眼科），白柏 基宏（木戸眼科クリニック），福地 健郎（教室）

35. マイトマイシンC併用濾過手術の術後短期成績と臨床経過

○末武 亜紀，飯川 龍，中野 里絵子，福武 慎，梅野 哲哉，福地 健郎（教室）

36. バルベルト緑内障インプラント毛様溝留置の成績

○梅野 哲哉，末武 亜紀，飯川 龍，中野 里絵子，小林 大悟，福地 健郎（教室）

37. 脳脊髄圧低下にみられる緑内障の病態への考察

○岩田 和雄（新潟大学名誉教授），岩田 玲子（岩田眼科）

「最近の話題」

座 長：阿部 春樹（新潟医療福祉大学）

38. 緑内障の黄斑部障害

○福地 健郎，梅野 哲哉，末武 亜紀，五十嵐 邇子，飯川 龍（教室）

第120回新潟眼科集談会

2016年12月17日（土） 新潟大学医学部有壬記念館 2階 大会議室

「斜視弱視・神経眼科1」

座 長：植木 智志（教室）

1. 保育園での眼科健診 - 視力と屈折値の検討 -

○生方 北斗，石井 雅子（新潟医療福祉大学），大川 真名子（整形外科・眼科大川クリニック），白柏 麻子（白柏眼科医院），阿部 春樹（新潟医療福祉大学）

2. 屈折矯正で良好な視力を得られた輪部デルモイド2例

○市村 美香，植木 智志，羽入 貴子，福武 慎，福地 健郎（教室）

3. 弱視と鑑別を要しOCT検査により診断に至った網膜内層低形成の一例

○福武 慎，植木 智志，羽入 貴子，畠瀬 哲尚，福地 健郎（教室）

4. 視神経膠腫の視機能の経過 - 新潟大学医歯学総合病院眼科の4症例 -

○羽入 貴子，植木 智志，畠瀬 哲尚，福武 慎，福地 健郎（教室）

5. 視神経炎を疑われた圧迫性視神経症の2例

○植木 智志，畠瀬 哲尚，福武 慎，福地 健郎（教室）

「網膜硝子体1」

座 長：佐々木 亮（教室）

6. 糖尿病腎症と非糖尿病腎症における血液透析導入期でのSwept source OCTによる脈絡膜評価

○中野 英之（教室・新潟市民病院），長谷部 日（教室），村上 健治，引間 孝輔，土田 宏嗣（新潟市民病院），張 大行，田沢 紗子（魚沼基幹病院），近藤 大介（新潟市民病院 腎臓内科），

飯野 則昭（魚沼基幹病院 腎臓内科），福地 健郎（教室）

7. 裂孔原性網膜剥離に伴う増殖性硝子体網膜症の術後成績の検討

○吉田 博光，松岡 尚気，佐々木 亮，上田 恵理子，寺島 浩子，長谷部 日，福地 健郎（教室）

8. 両眼にPseudocystic Foveal Cavitationを呈した1例

○中村 裕介（済生会新潟第二病院），長井 慎吾（ながい眼科），大矢 佳美，安藤 伸朗，（済生会新潟第二病院）

9. 特発性黄斑円孔術後早期における黄斑形態の分類

○長谷部 日，松岡 尚気，寺島 浩子，上田 恵理子，佐々木 亮，吉田 博光，福地 健郎（教室）

10. 血管新生緑内障に対するバルベルト緑内障インプラントの手術成績

○佐々木 亮，長谷部 日，寺島 浩子，上田 恵理子，松岡 尚気，佐藤 弥生，吉田 博光，梅野 哲哉，末武 亜紀，坂上 悠太，福地 健郎（教室）

「腫瘍・眼形成」

座長：尾山 徳秀（教室・うおぬま眼科）

11. 当科における両眼性網膜芽細胞腫症例の経過についての検討

○塙崎 直哉, 大湊 純（教室）, 張 大行（新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院）, 尾山 徳秀（教室・うおぬま眼科）, 福地 健郎（教室）

12. 涎腺上皮性腫瘍における遺伝子変異の検索～続報

○大湊 純（教室・分子診断病理学分野）, 尾山 徳秀（教室・うおぬま眼科）, 張 大行（新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院）, 塙崎 直哉, 福地 健郎（教室）, 佐藤 彩子, 味岡 洋一（分子診断病理学分野）

13. 上眼瞼皮膚弛緩症に対する眉毛下皮膚切除術

○山本 光宏（やまと形成外科クリニック）, 村上 正洋（日本医科大学武藏小杉病院形成外科）

14. 高周波（RF）メスによる眼瞼手術

○尾山 徳秀（うおぬま眼科・松田眼科医院・教室）, 松田 邦宏（松田眼科医院）, 田中 隆之（うおぬま眼科）, 福地 健郎（教室）

「医学部学生・大学院生研究」

座長：長谷部 日（教室）

15. 線維柱帶切除術後の白内障手術～眼内レンズ屈折計算の正確性～

○中山 純一（新潟大学医学部医学科4年生）, 飯川 龍, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 中野 里絵子, 福地 健郎（教室）

16. 特発性黄斑円孔閉鎖後の中心窓網膜厚と視力の関係

○土屋 皓大（新潟大学医学部医学科4年生）, 長谷部 日, 福地 健郎（教室）

17. 遠視性不同視弱視の初診時年齢と治療開始後視力－遠視性屈折異常弱視との比較－

○小池 一波（新潟大学医学部医学科4年生）, 植木 智志, 羽入 貴子, 畑瀬 哲尚, 福武 慈, 福地 健郎（教室）

18. Parkin非依存的マイトファジーにおけるPINK1の機能解析

○五十嵐 遼子（教室・機能制御学分野）, 山下 俊一（機能制御学分野）, クセニヤ チエルヌショワ（教室・機能制御学分野）, 福地 健郎（教室）, 神吉 智文（機能制御学分野）

19. 正常眼圧緑内障を発症させるオプチニューリン遺伝子変異とミトコンドリア分解の関係

○クセニヤ チエルヌショワ（教室・機能制御学分野）, 山下 俊一（機能制御学分野）, 五十嵐 遼子（教室・機能制御学分野）, 福地 健郎（教室）, 神吉 智文（機能制御学分野）

「特別講演」

座長：福地 健郎（教室）

20. ミトコンドリアオートファジーと疾患

神吉 智文（新潟大学大学院医歯学総合研究科機能制御学分野）

2016年12月18日（日） 新潟大学医学部有壬記念館 2階 大会議室

「ロービジョン」

座長：張替 涼子（新潟大学医歯学総合病院）

21. 網膜色素変性患者の読書評価

○宮本 ふう子（教室）, 村田 憲章（教室・新潟医療福祉大学）, 木下 直彦（新潟医療福祉大学）, 植木 智志, 畑瀬 哲尚, 福地 健郎（教室）

22. ロービジョン者の読書困難－疾患別の検討－

○石井 雅子（新潟医療福祉大学・教室）, 本間 友里恵（教室）, 張替 涼子（新潟大学医歯学総合病院）, 福地 健郎（教室）

23. 新潟大学ロービジョン外来における拡大読書器の指導・処方状況

○本間 友里恵（教室）, 石井 雅子（新潟医療福祉大学・教室）, 張替 涼子（新潟大学医歯学総合病院）, 福地 健郎（教室）

24. 障害年金における社会的治癒

○張替 涼子（新潟大学医歯学総合病院）, 石井 雅子（新潟医療福祉大学・教室）, 福地 健郎（教室）

「神経眼科2・白内障」

座長：畠瀬 哲尚（教室）

25. We have detected the vascular insufficiency of Zinn-Haller arterial ring that caused the Bjerrum's area scotoma

○笠木 逸夫（かさき眼科）, 大久保 裕史（おおくは眼科長野クリニック）

26. 網膜電図により診断した桿体一色覚の一例

○小林 大悟, 植木 智志, 畠瀬 哲尚, 羽入 貴子, 福武 慈, 福地 健郎（教室）

27. Cancer associated retinopathyの1例

○畠瀬 哲尚, 植木 智志, 福武 慈, 羽入 貴子, 福地 健郎（教室）

28. 白内障術後眼のタッチアップ（屈折矯正治療）症例の検討

○石田 誠夫, 馬場 和子, 大原 瞳, 遠藤 紳一郎, 松木 佐代子, 濱中 輝彦（石田眼科医院）, 山口 達夫（石田眼科医院・新橋眼科）

「網膜硝子体2」

座長：寺島 浩子（教室）

29. 当院における飛蚊症患者の診療と調査 SS-OCTによる硝子体の観察

○藤井 靖, 藤井 青（ふじい眼科）

30. 網膜分離症に対する硝子体手術の効果

○吉澤 豊久, 白鳥 敦（三条眼科）, 松元 直子（松元眼科）

31. 済生会新潟第二病院眼科における、糖尿病黄斑症の実臨床

○安藤 伸朗, 大矢 佳美, 中村 裕介（済生会新潟第二病院）

32. 網膜静脈分枝閉塞症における黄斑部無灌流領域に対する非侵襲的評価

○寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 佐々木 亮, 福地 健郎（教室）

「緑内障1」

座長：末武 亜紀（教室）

33. 緑内障眼における最新眼圧計の報告

○宮本 大輝, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 落合 竣, 福地 健郎（教室）

34. 線維柱帯切除術前後におけるOCT angiographyの検討

○落合 竣, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 本間 友里恵, 宮本 大輝, 宮本ふう子, 福地 健郎（教室）

35. 正常眼圧緑内障のうつぶせ位眼圧の検討

○今井 和行（今井眼科医院）, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 福地 健郎（教室）

36. ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術の緑内障患者に及ぼす影響

○坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 梅野 哲哉（教室）, 西山 勉, 笠原 隆, 瀧澤 逸大, 富田 義彦（新潟大学泌尿器科）, 福地 健郎（教室）

37. 水晶体亜脱臼を伴った落屑緑内障への眼内レンズ着術・流出路再建術同時手術の成績

○末武 亜紀, 坂上 悠太, 佐々木 亮, 上田 恵理子, 寺島 浩子, 松岡 尚気, 梅野 哲哉, 長谷部 日, 福地 健郎（教室）

「ぶどう膜炎」

座長：松田 英伸（教室）

38. 壊死性強膜炎の1例

○中野 里絵子, 松田 英伸, 酒井 康弘, 福地 健郎（教室）

39. 梅毒性ぶどう膜炎の一例

○酒井 康弘, 松田 英伸, 中野 里絵子, 佐々木 藍季子, 福地 健郎（教室）

40. Birdshot chorioretinopathyが疑われた難治性ぶどう膜炎の一例

○松田 英伸, 酒井 康弘, 佐々木 藍季子, 中野 里絵子, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 塩崎 直哉, 福地 健郎（教室）

「網膜硝子体3」

座長：松岡 尚気（教室）

41. Bilateral Diffuse Uveal Melanocytic Proliferationの1例

○上田 恵理子, 福武 慈, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 吉田 博光, 松岡 尚気, 長谷部 日, 福地 健郎（教室）, 上田 潤（上田眼科）

42. 抗VEGF薬硝子体内注射後に黄斑円孔を発症した2例

○大矢 佳美, 中村 裕介, 安藤 伸朗（済生会新潟第二病院）

43. VEGF阻害薬の切り替えが有効だった加齢黄斑変性症の1例

高田 律子（長岡中央総合病院）

44. 長岡赤十字病院における極低出生体重児の未熟児網膜症の診療経過報告（2004年～2015年）

吉野 秀昭（教室・長岡赤十字病院）

45. 黄斑上膜に対する硝子体手術後の部位別脈絡膜厚・網膜厚と視力の関係

○松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 吉田 博光, 福地 健郎（教室）

「緑内障2」

座長：坂上 悠太（教室）

46. 緑内障患者におけるmicrocystic macular edemaの臨床評価

○村田 憲章（教室・新潟医療福祉大学）, 梅野 哲哉, 宮本 大輝, 落合 竣, 福地 健郎（教室）

47. Reichert 7CRTMによる眼圧測定における測定値の信頼性に寄与する因子

○八百枝 潔（やおえだ眼科・教室）, 福島 淳志（やおえだ眼科）, 白柏 基宏（木戸眼科クリニック）, 福地 健郎（教室）

48. 緑内障眼におけるハンフリー視野指標とFDT視野指標の関係：病期別の検討

○白柏 基宏（木戸眼科クリニック）, 八百枝 潔（やおえだ眼科）, 福地 健郎（教室）

49. SS-OCT En-faceイメージによる中心10°推定視野とHFA10-2の比較

○飯川 龍, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 宮本 大輝, 福地 健郎（教室）

50. 緑内障の乳頭出血 -その謎のメカニズム-

○岩田 和雄（新潟大学名誉教授），岩田 玲子（岩田眼科）

「緑内障3」

座長：阿部 春樹（新潟医療福祉大学）

51. Preperimetric glaucomaをどのように考える？

○福地 健郎，坂上 悠太，末武 亜紀，飯川 龍，五十嵐 遼子，梅野 哲哉，本間 友里恵（教室）

第121回新潟眼科集談会

2017年6月18日（日） 新潟大学医学部有壬記念館

「ロービジョン・小児眼科」 座長：石井 雅子（新潟医療福祉大学）

1. 網膜色素変性患者の読書評価（第二報）

○宮本 ふう子（教室），村田 憲章（教室・新潟医療福祉大学），植木 智志（教室），畠瀬 哲尚（今井眼科医院），福地 健郎（教室）

2. 園の眼科健診から受診した幼児の検討

○生方 北斗，石井 雅子（新潟医療福祉大学），旭 香代子（太田眼科），真山 徹二（東新潟まやま眼科），荒井 紳一（あらい眼科），太田 正行（太田眼科），斎藤 栄智翁（さいとう眼科医院），阿部 春樹（新潟医療福祉大学）

「ぶどう膜炎・白内障」 座長：酒井 康弘（教室）

3. アダリムマブを投与したサルコイドーシスの1例

○松田 英伸，酒井 康弘，佐々木 藍季子，中野 里絵子，塩崎 直哉，福地 健郎（教室）

4. 眼内レンズ強膜内固定と毛様溝縫着の比較

○吉澤 豊久，白鳥 敦（三条眼科）

5. 抗VEGF薬硝子体注射時に水晶体囊を破損し、白内障手術を施行した1例

○酒井 康弘，上田 恵理子，福地 健郎（教室）

「網膜・硝子体1」 座長：寺島 浩子（教室）

6. 血液透析導入で糖尿病黄斑浮腫が改善した1例

○高田 律子（長岡中央総合病院），福島 淳志（長岡中央総合病院・やおえだ眼科）

7. 糖尿病網膜症の脈絡膜形態の検討

○吉田 博光，松岡 尚気，佐々木 亮，上田 恵理子，寺島 浩子，長谷部 日，福地 健郎（教室）

8. Swept-source OCT en face 画像を用いた糖尿病網膜症での脈絡膜血管評価

○中野 英之（教室・済生会新潟第二病院），土田 宏嗣，引間 孝輔，村上 健治（新潟市民病院），中村 裕介，安藤 伸朗（済生会新潟第二病院），長谷部 日，福地 健郎（教室）

9. 網膜静脈閉塞症・糖尿病網膜症に随伴する黄斑浮腫に対する短時間照射網膜光凝固の効果

○安藤 伸朗，中村 裕介，中野 英之（済生会新潟第二病院）

「腫瘍」 座長：江口 功一（江口眼科医院）

10. 硝子体生検を施行した、眼内リンパ腫症例の経過2

○上田 恵理子，長谷部 日，寺島 浩子，佐々木 亮，松岡 尚気（教室），張 大行（新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院），大湊 純，塩崎 直哉（教室），小林 大悟（魚沼基幹病院），安藤 拓海，福地 健郎（教室）

11. びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に合併したIgG4関連疾患の1例

○野々村 紗子（佐渡総合病院），塩崎 直哉，大湊 純（教室），芳野 高子（佐渡総合病院），小堺 貴司（佐渡総合病院 血液内科），瀧澤 淳（新潟大学医歯学総合病院 血液内科），福地 健郎（教室）

12. 泪嚢原発adenocarcinomaの1例

○塩崎 直哉，大湊 純（教室），張 大行（新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院），福地 健郎（教室）

13. 眼瞼後退に対する生体吸収スペーサーを用いた眼瞼後葉延長術の有用性

○大湊 純（教室・分子診断病理学分野），尾山 徳秀（教室・うおぬま眼科），塩崎 直哉（教室），張 大行（新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院），福地 健郎（教室）

「緑内障1」 座長：末武 亜紀（教室）

14. 緑内障眼における角膜ヒステリシスの検討

○宮本 大輝，坂上 悠太，末武 亜紀，間 聰美，飯川 龍，中野 里絵子，福地 健郎（教室）

15. レーザー虹彩切開術後眼の角膜内皮細胞減少症例と文献的考察

○今井 和行（今井眼科医院），澤田 英子（さわだ眼科クリニック），畠瀬 哲尚（今井眼科医院），福地 健郎（教室）

16. ぶどう膜炎症例に対する線維柱帶切除術

○中野 里絵子，松田 英伸，酒井 康弘，坂上 悠太，末武 亜紀，飯川 龍，福地 健郎（教室）

17. 虹彩毛様体囊胞、プラトー虹彩を合併した小眼球症の1例
○坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 中野 里絵子, 福地 健郎 (教室)
18. 菲薄化強膜に発症した続発性緑内障に毛様体光凝固を行った1例
○末武 亜紀, 飯川 龍, 中野 里絵子, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 福地 健郎 (教室)
「網膜・硝子体2」 座長:長谷部 日 (教室)
19. Stickler症候群の1例
○長谷川 友加里, 長谷部 日, 松岡 尚気, 吉田 博光, 福地 健郎 (教室)
20. 内因性眼内炎に対しポビドンヨードを用いて硝子体手術を行った1例
○佐々木 亮 (教室), 武田 啓治, 橋本 薫, 吉野 秀昭, 田沢 紗子, 田中 玲子 (長岡赤十字病院), 福地 健郎 (教室)
21. 黄斑上膜術前後の視野感度と神経節細胞複合体の評価
○寺島 浩子, 長谷部 日, 松岡 尚気, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎 (教室)
22. 黄斑円孔と黄斑上膜の部位別脈絡膜厚の検討
○松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 吉田 博光, 福地 健郎 (教室)
23. 特発性黄斑円孔閉鎖後のellipsoid zone断裂の経過
○長谷部 日, 松岡 尚気, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 吉田 博光, 福地 健郎 (教室)
「緑内障2」 座長:坂上 悠太 (教室)
24. Parkin非依存的マイトファジーにおけるPINK 1の機能解析
○五十嵐 遼子 (教室・機能制御学分野), 山下 俊一 (機能制御学分野), クセニヤ・チェルヌショワ (教室・機能制御学分野), 福地 健郎 (教室), 神吉 智丈 (機能制御学分野)
25. 広義POAG眼におけるOCT Angiographyを用いた中心窓無血管領域と網膜内層厚および視野との関係
○落合 竣, 五十嵐 遼子, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 本間 友里恵, 宮本 大輝, 福地 健郎 (教室)
26. 早期緑内障患者の中心10°視野障害の出現頻度とその性状、上下半視野別クラスタ別検討
○本間 友里恵, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 宮本 大輝, 福地 健郎 (教室)
27. 緑内障眼におけるshort wavelength automated perimetryと明度識別視野検査
○白柏 基宏 (木戸眼科クリニック), 八百枝 潔 (やおえだ眼科), 福地 健郎 (教室)
28. Swept source -OCT En-faceイメージによる中心10°推定視野とHFA10-2の比較 (update)
○飯川 龍, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 中野 里絵子, 宮本 大輝, 福地 健郎 (教室)
29. 加齢や近視で増加する緑内障の本態と考察
○岩田 和雄 (新潟大学名誉教授), 岩田 玲子 (岩田眼科)
「最近の話題」 座長:阿部 春樹 (新潟医療福祉大学)
30. 緑内障手術の動向:手術教育・MIGS
○福地 健郎, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 中野 里絵子, 梅野 哲哉 (教室)

第122回新潟眼科集談会

2017年12月16日 (土)・17日 (日) 新潟医療人育成センター

- 「斜視弱視・神経眼科」 座長:植木 智志 (教室)
1. スポットビジョンスクリーナーによる斜位近視の評価
○市村 美香, 植木 智志, 羽入 貴子, 福武 慈, 福地 健郎 (教室)
 2. 片眼性強度近視の患児の1例
○羽入 貴子 (教室), 植木 智志 (教室・新潟大学脳研究所 統合脳機能研究センター), 福武 慈 (教室), 畑瀬 哲尚 (今井眼科医院), 福地 健郎 (教室)
 3. 視神経炎の診断後に漿液性網膜剥離を生じ視神経網膜炎と判明した1例
○福武 慈, 植木 智志, 松田 英伸, 安藤 拓海, 福地 健郎 (教室)
 4. 重症てんかんに対するビガバトリン内服治療における網膜電図検査の重要性
○植木 智志, 羽入 貴子, 福武 慈, 福地 健郎 (教室)
- 「緑内障1」 座長:坂上 悠太 (教室)
5. 抗がん剤によって誘導されるマイトファジーにおけるPINK 1の機能解析
○五十嵐 遼子 (教室・機能制御学分野), 山下 俊一 (機能制御学分野), クセニヤ・チェルヌショワ (教室・機能制御学分野), 福地 健郎 (教室), 神吉 智丈 (機能制御学分野)

6. 正常眼圧緑内障を発症させるオプチニューリン遺伝子変異とミトコンドリア恒常性維持機構との関係
 ○クセニヤ・チェルヌショワ（教室・機能制御学分野），山下 俊一（機能制御学分野），五十嵐 遼子（教室・機能制御学分野），福地 健郎（教室），神吉 智文（機能制御学分野）
7. 緑内障患者に対するドライビングシミュレータ施行後6年の運動調査
 ○間 聰美，本間 友里恵，坂上 悠太，末武 亜紀，飯川 龍，五十嵐 遼子，福地 健郎（教室）
8. Swept-source OCT En-face画像と中心窩閾値・網膜内層厚の関連
 ○飯川 龍，梅野 哲哉，坂上 悠太，末武 亜紀，五十嵐 遼子，中野 里絵子，宮本 大輝，福地 健郎（教室）
「網膜硝子体1」 座長：松岡 尚氣（教室）
9. 慢性中心性漿液性脈絡網膜症のOCT Angiography所見
 ○有松 真央，中村 裕介，中野 英之，安藤 伸朗（済生会新潟第二病院）
10. 当院におけるシリコンオイル充填眼の臨床経過
 ○長谷川 友加里，寺島 浩子，上田 恵理子，佐々木 亮，福地 健郎（教室）
11. レーベル粟粒血管腫症に合併した黄斑前膜に対して硝子体手術を行った1例
 小林 大悟（魚沼基幹病院），張 大行（新潟大学地域教育医療センター・魚沼基幹病院），萩村 徳一（南魚沼市民病院），
 ○吉澤 豊久（三条眼科），福地 健郎（教室）
12. 広角観察システムを使用した強膜バックリング手術の経験
 ○上田 恵理子，長谷部 日，寺島 浩子，松岡 尚氣，佐々木 亮，吉田 博光，長谷川 友加里，安藤 拓海，福地 健郎（教室）
13. 最近経験した網膜剥離症例
 ○吉澤 豊久，白鳥 敦（三条眼科）
14. 黄斑円孔眼と黄斑上膜眼の脈絡膜に関する検討
 ○松岡 尚氣，長谷部 日，寺島 浩子，佐藤 弥生，上田 恵理子，佐々木 亮，吉野 秀昭，福地 健郎（教室）
「ロービジョン」 座長：張替 涼子（新潟大学医歯学総合病院）
15. ロービジョン者のニーズの疾患別検討
 ○石井 雅子，張替 涼子（新潟大学医学部），落合 竣，福地 健郎（教室）
16. 新潟大学ロービジョン外来における“中間型アウトリーチ支援”について
 ○張替 涼子，石井 雅子（新潟大学医学部），本間 友里恵（教室），山口 俊光（新潟大学大学院自然科学研究科 新潟市障がい者ITサポートセンター），福地 健郎（教室）
「医学部学生研究ほか」 座長：長谷部 日（教室）
17. OCT画像の二値化による特発性黄斑円孔の術後形態観察
 ○長谷部 日，寺島 浩子，松岡 尚氣，上田 恵理子，佐々木 亮，吉野 秀昭，福地 健郎（教室）
18. OCT画像二値化による特発性黄斑円孔閉鎖後の中心窩形態の評価
 ○榎井 志歩（新潟大学医学部医学科3年生），長谷部 日，福地 健郎（教室）
19. Vogt-小柳-原田病の臨床統計解析-パルス療法と大量漸減療法の比較-
 ○桑野 魁人（新潟大学医学部医学科3年生），松田 英伸，酒井 康弘，福地 健郎（教室）
20. ヘッドマウント型視野計アイモ[®]を用いた両眼開放視野と片眼遮蔽視野の比較
 ○浅野 晃平（新潟大学医学部医学科3年生），飯川 龍，坂上 悠太，末武 亜紀，落合 竣，福地 健郎（教室）
21. 新潟眼科集談会と共に歩んだ40年間
 安藤 伸朗（済生会新潟第二病院）
「腫瘍・眼形成・涙道」 座長：張 大行（新潟大学地域教育医療センター・魚沼基幹病院）
22. TS-1内服中に流涙をきたしシリコンチューブを留置した2例
 ○野々村 紗子（佐渡総合病院），大湊 純（教室），芳野 高子（佐渡総合病院），福地 健郎（教室）
23. ぶどう膜悪性黒色腫の転移症例の経過についての検討
 ○塩崎 直哉，大湊 純（教室），張 大行（新潟大学地域教育医療センター・魚沼基幹病院），尾山 徳秀（うおぬま眼科），
 福地 健郎（教室）
24. 眼球の脱臼を伴ったクマ外傷の1例
 ○田沢 綾子，橋本 薫，酒井 愛，吉田 博光，田中 玲子，武田 啓治（長岡赤十字病院）
25. 当科における眼瞼原発脂腺癌・扁平上皮癌の転移率と経過についての検討
 ○大湊 純，塩崎 直哉（教室），尾山 徳秀（うおぬま眼科），張 大行（新潟大学地域教育医療センター・魚沼基幹病院），
 福地 健郎（教室）

「網膜硝子体2」

座長：寺島 浩子（教室）

26. 長岡赤十字病院における極低出生体重児の血中VEGF濃度の研究経過
○吉野 秀昭, 長谷部 日 (教室), 吉田 博光, 橋本 薫, 武田 啓治 (長岡赤十字病院), 福地 健郎 (教室)

27. 渗出性加齢黄斑変性に対するアフリベルセプトへの切り替え例の検討
○高田 律子 (長岡中央総合病院), 福島 淳志 (やおえだ眼科)

28. 視力良好な滲出型加齢黄斑変性に対する抗VEGF療法の1年成績
○佐藤 弥生, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)

29. 抗VEGF治療を行った網膜静脈分枝閉塞症の長期経過
○藤井 靖, 藤井 青 (ふじい眼科)

30. 網膜静脈分枝閉塞症の黄斑部虚血と臨床評価
○寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 佐々木 亮, 福地 健郎 (教室)

31. 当院での抗VEGF抗体以外の黄斑疾患治療
○本田 美樹, 海老原 伸行 (順天堂大学浦安病院), 牧野 初美, 大原 瞳, 遠藤 紳一郎, 松木 佐代子, 石田 誠夫 (石田眼科医院)

「角膜・ぶどう膜炎・白内障」

座長：松田 英伸（教室）

32. 全層角膜移植術中に駆逐性出血を生じ眼球内容の脱出を来たした1例
○酒井 康弘, 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)

33. 当科における強膜内固定術と毛様溝縫着術の検討
○安藤 拓海, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 上田 恵理子, 吉田 博光, 松岡 尚気, 長谷部 日, 酒井 康弘 (教室), 畑瀬 哲尚 (今井眼科医院), 福地 健郎 (教室)

34. 前面放射状角膜切開術眼 (ARK) に対して行った白内障手術結果の検討
○石田 誠夫, 大原 瞳, 遠藤 紳一郎, 松木 佐代子, 赤見 美子, 安藤 由香, (石田眼科医院)

35. 梅毒性ぶどう膜炎の1例
○黒澤 史門, 土田 宏嗣, 引間 孝輔, 村上 健治 (新潟市民病院)

36. 新潟大学眼科におけるぶどう膜炎の臨床統計
○松田 英伸, 酒井 康弘, 佐々木 藍季子, 中野 里絵子, 福地 健郎 (教室)

「緑内障2」

座長：末武 亜紀（教室）

37. 特発性血小板減少性紫斑病による血小板減少症に緑内障濾過手術を行った1例
○末武 亜紀, 長谷川 友加里, 飯川 龍, 中野 里絵子, 坂上 悠太, 福地 健郎 (教室)

38. レーザー周辺虹彩切開術後の角膜内皮細胞減少10眼の治療方針と経過
○今井 和行 (今井眼科医院), 澤田 英子 (さわだ眼科クリニック), 畑瀬 哲尚 (今井眼科医院), 福地 健郎 (教室)

39. 緑内障患者の読書能力とHumphrey視野24-2 クラスタ別感度の関係性
○村田 憲章 (新潟医療福祉大学・教室), 宮本 大輝, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 本間 友里恵, 福地 健郎 (教室)

40. トラベクレクトミー既往眼に対する白内障・ニードリング同時手術の術後眼圧経過
○坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 中野 里絵子, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 福地 健郎 (教室)

41. 一枚の緑内障視神経乳頭の病理組織像から未知の諸病態を読む
岩田 和雄 (新潟大学名誉教授)

「緑内障3」

座長：阿部 春樹（新潟医療福祉大学）

42. 緑内障診療ガイドライン（第4版）の要旨
○福地 健郎 (教室), 谷原 秀信 (熊本大), 日本緑内障学会緑内障診療ガイドライン作成委員会

第123回新潟眼科集談会

2018年6月24日（日） 新潟医療人育成センター

「ロービジョン・小児眼科」

座長：植木 智志（教室）

1. ロービジョン者における読書の白黒反転の有用性
○石井 雅子 (新潟医療福祉大学・新潟大学医学部), 張替 涼子 (新潟大学医歯学総合病院), 福地 健郎 (教室)

2. 回旋複視を伴う滑車神経麻痺に対して下直筋鼻側移動術が奏効した一例
○福武 慈, 植木 智志 (教室), 羽入 貴子 (はにゅうクリニック), 福地 健郎 (教室)

3. 遠視性不同視弱視の初診時年齢と治療後矯正視力 -遠視性屈折異常弱視との比較- 再解析
○植木 智志, 福武 慈 (教室), 羽入 貴子 (はにゅうクリニック), 福地 健郎 (教室)

「角膜・ぶどう膜炎」

座長：松田 英伸（教室）

4. ぶどう膜炎に合併した膨隆虹彩の一例

○黒澤 史門, 酒井 愛, 中野 里絵子, 佐々木 藍季子, 酒井 康弘, 松田 英伸, 福地 健郎（教室）

5. 糸状菌による感染性角膜炎で角膜穿孔を生じ水晶体が脱出した一例

○酒井 康弘（教室）, 野々村 紗子（佐渡総合病院）, 黒澤 史門, 中野 里絵子, 佐々木 藍季子, 松田 英伸, 福地 健郎（教室）

6. ベムブロリズマブ投与中に発症した原田病様ぶどう膜炎の一例

○高田 律子（長岡中央総合病院）, 福島 淳志（やおえだ眼科）

7. 当科におけるCMV角膜内皮炎の臨床経過

○松田 英伸, 酒井 康弘, 佐々木 藍季子, 中野 里絵子, 黒澤 史門, 酒井 愛, 福地 健郎（教室）

「緑内障1」

座長：坂上 悠太（教室）

8. ビマトプロスト点眼に囊胞様黄斑浮腫を生じた1例

○野々村 紗子（佐渡総合病院）, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 長谷部 日, 福地 健郎（教室）

9. グラナテック®0.4%点眼後の角膜内皮細胞の観察

○宮本 大輝, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 飯川 龍, 落合 竣, 間 聰美, 福地 健郎（教室）

10. 原発閉塞隅角症で角膜内皮細胞が減少する種々の症例

○今井 和行（今井眼科医院）, 澤田 英子（さわだ眼科クリニック）, 畑瀬 哲尚（今井眼科医院）, 福地 健郎（教室）

11. Microhook ab interno trabeculotomyの術後短期成績

○末武 亜紀, 飯川 龍, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 福地 健郎（教室）

12. 毛様溝から後房に挿入したチューブの閉塞が疑われた一例

○坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 福地 健郎（教室）

「眼窩・腫瘍」

座長：大湊 純（教室）

13. 内壁・下壁両方で眼窩脂肪の絞扼を認めた閉鎖型眼窩壁骨折の一例

○塩崎 直哉, 大湊 純, 福地 健郎（教室）

14. マイトマイシンC点眼が有効であった結膜悪性腫瘍の2例

○中野 里絵子, 大湊 純, 塩崎 直哉, 福地 健郎（教室）

15. 眼瞼メルケル細胞癌に対するインターフェロンβ術後補助療法の経過

○大湊 純, 塩崎 直哉, 中野 里絵子（教室）, 尾山 徳秀（うおぬま眼科・教室）, 張 大行（新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院）, 福地 健郎（教室）

「網膜・硝子体1」

座長：寺島 浩子（教室）

16. 長岡赤十字病院における極低出生体重児の血中VEGF濃度の研究経過 第二報

○吉野 秀昭, 長谷部 日（教室）, 吉田 博光, 橋本 薫, 武田 啓治（長岡赤十字病院）, 福地 健郎（教室）

17. 近視性網膜分離症に対するFSIPを用いた硝子体手術の成績

○小林 大悟, 寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 佐々木 亮, 吉野 秀昭, 福地 健郎（教室）

18. 網膜上膜の術後視力と中心窓無血管野および網膜内層構造の関連についての検討

○吉田 博光（長岡赤十字病院）, 松岡 尚気, 佐々木 亮, 吉野 秀昭, 上田 恵理子, 寺島 浩子, 長谷部 日, 福地 健郎（教室）

19. 黄斑上膜における網膜内層構造と術後視機能との関連

○寺島 浩子, 長谷部 日, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 梅野 哲哉, 福地 健郎（教室）

20. 「立川総合病院に眼科を立ち上げました」

○安藤 伸朗（立川総合病院）, 八百枝 潔（やおえだ眼科）

「網膜・硝子体2」

座長：長谷部 日（教室）

21. 増殖糖尿病網膜症による血管新生緑内障の手術治療成績

○佐々木 亮, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 吉野 秀昭, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 福地 健郎（教室）

22. 抗VEGF硝子体内注射だけでなく、外科的治療が必要になった加齢黄斑変性症例

○吉澤 豊久, 白鳥 敦（三条眼科）

23. 新潟大学におけるイールズ病の治療経過

○上田 恵理子, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 長谷部 日, 福地 健郎（教室）

24. 僥眼にも発症した特発性黄斑円孔症例の特徴

○松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 吉野 秀昭, 福地 健郎（教室）

25. 特発性黄斑円孔閉鎖後のfoveal hyper-reflective lesionと網膜外層構造

○長谷部　日，松岡　尚氣，寺島　浩子，佐藤　弥生，上田　恵理子，佐々木　亮，吉野　秀昭，福地　健郎（教室）

「緑内障2」
座　長：梅野　哲哉（教室）

26. 抗がん剤誘導性マイトファジーにおけるPINK 1の機能解析

○五十嵐　遼子（教室・機能制御学分野），山下　俊一（機能制御学分野），クセニヤ・チェルヌショワ（教室・機能制御学分野），福地　健郎（教室），神吉　智丈（機能制御学分野）

27. OCT angiographyによる視神経部分低形成の網膜神経線維束欠損の観察と緑内障性視神経症との鑑別

○飯川　龍，梅野　哲哉，坂上　悠太，末武　亜紀，福地　健郎（教室）

28. 緑内障眼におけるmicrovasculature dropoutの観察

○落合　竣，梅野　哲哉，坂上　悠太，末武　亜紀，五十嵐　遼子，飯川　龍，宮本　ふう子，福地　健郎（教室）

29. マイクロペリメータMP-3を用いた網膜内層微小囊胞様変化のある緑内障眼の網膜局所感度の評価

○村田　憲章（新潟医療福祉大学・教室），梅野　哲哉，宮本　大輝，坂上　悠太，末武　亜紀，飯川　龍，福地　健郎（教室）

30. 緑内障眼における10度内視野のクラスタ内進行様式

○梅野　哲哉，坂上　悠太，飯川　龍，末武　亜紀，野々村　絹子，五十嵐　遼子，太田　亜紀子，福地　健郎（教室）

31. 高眼圧に持続でも緑内障になり難い病態

○岩田　和雄（新潟大学名誉教授），岩田　玲子（岩田眼科）

「最近の話題」
座　長：阿部　春樹（新潟医療福祉大学）

32. 緑内障の視野障害進行判定

○福地　健郎，梅野　哲哉，坂上　悠太，末武　亜紀，飯川　龍（教室）

第124回新潟眼科集談会

2018年12月22日（土）・23日（日）　新潟医療人育成センター

「小児眼科1・神経眼科」
座　長：植木　智志（教室）

1. 新生児マルファン症候群の1例

○羽入　貴子（はにゅうクリニック・教室），植木　智志，福武　慈（教室），畠瀬　哲尚（今井眼科医院・教室），福地　健郎（教室）

2. 造影MRIで腫瘍性病変が明らかになった小児動眼神経麻痺の1例

○福武　慈，植木　智志（教室），畠瀬　哲尚（今井眼科医院・教室），羽入　貴子（はにゅうクリニック・教室），福地　健郎（教室）

3. 片眼遮閉による眼球回旋偏位惹起の有無に関する検討

○村田　憲章（教室・新潟医療福祉大学），天木　春奈，鈴木　奏子，永井　祐実（新潟医療福祉大学）

4. 緑内障性視神経症に黄斑変性を合併した症例-Multifocal ERGによる黄斑疾患の推定-

○植木　智志（教室），畠瀬　哲尚（今井眼科医院・教室），落合　竣，福武　慈，福地　健郎（教室）

「白内障・角膜・ぶどう膜炎」
座　長：松田　英伸（教室）

5. 白内障手術後のデスマembrane剥離の2例

○安藤　拓海（魚沼基幹病院），坂上　悠太（教室），吉野　秀昭（魚沼基幹病院），吉澤　豊久（三条眼科）

6. 角膜内皮細胞数減少例における白内障手術前後の内皮細胞数変化の検討

○酒井　康弘，黒澤　史門，福武　慈，佐々木　藍季子，松田　英伸，福地　健郎（教室）

7. 当院における過去12年間の急性網膜壊死（ARN）の検討

○酒井　愛，中野　里絵子，黒澤　史門，佐々木　藍季子，酒井　康弘，松田　英伸，福地　健郎（教室）

8. アダリムマブ治療中に肺炎を合併した難治性強膜炎の一例

○黒澤　史門，佐々木　藍季子，酒井　康弘，松田　英伸，福地　健郎（教室）

9. MPO-ANCAが陽性であった眼窩炎症の2例

○松田　英伸，酒井　康弘，佐々木　藍季子，黒澤　史門，福地　健郎（教室）

「緑内障1」
座　長：末武　亜紀（教室）

10. 当院の過去3年間におけるチューブシャント術後の内皮数の変化

○有松　真央，野々村　絹子，飯川　龍，末武　亜紀，坂上　悠太，梅野　哲哉，福地　健郎（教室）

11. 線維柱帯切除術後3日目に眼内炎を生じた1例

○飯川　龍，梅野　哲哉，坂上　悠太，末武　亜紀，福地　健郎（教室）

12. ハンフリー視野計10-2における視野障害と眼圧下降治療

○坂上　悠太，末武　亜紀，宮本　大輝，飯川　龍，五十嵐　遼子，梅野　哲哉，福地　健郎（教室）

13. 小児緑内障にバルベルト緑内障インプラント手術を施行した1例
○末武 亜紀, 野々村 絹子, 飯川 龍, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 福地 健郎 (教室), 松田 彰 (順天大)
「網膜硝子体1」 座長:寺島 浩子 (教室)
14. 網膜下tPA注入術を施行した黄斑下血腫の検討
○高田 律子 (長岡中央綜合病院), 福島 淳志 (やおえだ眼科)
15. 新しい黄斑下血腫移動術の治療成績
○佐々木 亮, 寺島 浩子, 長谷部 日, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)
16. 特発性黄斑円孔術後の中心窓菲薄型閉鎖形態
○長谷部 日, 松岡 尚気, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 中野 英之, 福地 健郎 (教室)
17. 近視性網膜分離症に対するdouble flap inverted technique
○寺島 浩子, 長谷部 日, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 福地 健郎 (教室)
「医学部学生研究」 座長:長谷部 日 (教室)
18. 乳頭周囲神経線維層とセクター化視野の相関
○本間 智洋 (医学部3年), 梅野 哲哉, 福地 健郎 (教室)
19. 特発性黄斑円孔閉鎖後の黄斑形態と視力の関係について
○増田 博 (医学部3年), 長谷部 日, 福地 健郎 (教室)
20. サイトメガロウイルス(CMV)角膜内皮炎におけるガンシクロビル点眼治療が与える影響について
○本間 純 (医学部3年), 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)
「小児眼科2・ロービジョン」 座長:張替 涼子 (新潟大学医歯学総合病院)
21. スポットビジョンスクリーナーにおける再現性の検討
○市村 美香, 植木 智志 (教室), 羽入 貴子 (はにゅうクリニック・教室), 福武 慈, 福地 健郎 (教室)
22. 燕市の3歳児視覚健診 -SpotTM Vision Screenerの導入-
○石井 雅子, 多々良 俊哉, 生方 北斗 (新潟医療福祉大), 旭 香代子 (太田眼科), 高野 紗子 (燕市保健センター), 野神 麗子 (のがみ眼科)
23. 網膜色素変性患者のニーズとロービジョンケア
○間 聰美 (教室), 石井 雅子 (新潟医療福祉大学), 市村 美香 (教室), 張替 涼子 (新潟大学医歯学総合病院), 福地 健郎 (教室)
24. 新潟県における視覚障害者を対象とした日常生活訓練の現況報告
張替 涼子 (新潟大学医歯学総合病院)
- 「網膜硝子体2」 座長:松岡 尚気 (教室)
25. 耳側強膜短縮術を併施した黄斑円孔網膜剥離の1例
○田沢 紗子, 村上 健治, 引間 孝輔, 土田 宏嗣 (新潟市民病院)
26. 糖尿病腎症と非糖尿病腎症における血液透析導入期でのSwept source OCTによる脈絡膜評価 第2報
○中野 英之, 長谷部 日, 松岡 尚気 (教室), 村上 健治 (新潟市民病院), 張 大行 (教室), 近藤 大介 (新潟市民病院 腎臓内科), 飯野 則昭 (魚沼基幹病院 腎臓内科), 福地 健郎 (教室)
27. Diabetic Retinopathy Continuumの提唱 ~糖尿病網膜症の経過を連続体として捉える~
○安藤 伸朗 (立川総合病院), 八百枝 潔 (やおえだ眼科・立川総合病院), 関 正明 (せき眼科医院)
28. 硝子体生検を施行した眼内リンパ腫症例の経過3
○上田 恵理子, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 松岡 尚気, 松田 英伸, 張 大行, 大湊 紗, 塩崎 直哉, 福地 健郎 (教室)
29. 当科における近視性脈絡膜血管新生に対する治療成績 第2報
○松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 佐藤 弥生, 中野 英之, 福地 健郎 (教室)
「腫瘍・眼形成」 座長:尾山 徳秀 (うおぬま眼科・教室)
30. 蝶形骨腫瘍切除後に人工骨で眼窩外壁再建した一例
○長谷川 友加里 (長岡赤十字病院), 尾山 徳秀 (うおぬま眼科・教室), 橋本 薫, 吉田 博光 (長岡赤十字病院)
31. 眼窩骨膜下膿瘍の3例
○中野 里絵子, 大湊 紗, 張 大行, 福地 健郎 (教室)
32. 眼部に生じたinflammatory myofibroblastic tumorの一例
○大湊 紗 (教室), 尾山 徳秀 (うおぬま眼科・教室), 松田 英伸 (教室), 鈴木 恵子 (県立吉田病院), 中野 里絵子, 張 大行, 福地 健郎 (教室)
33. 当院における眼付属器MALTリンパ腫の治療についての検討
○張 大行, 大湊 紗 (教室), 尾山 徳秀 (うおぬま眼科・教室), 福地 健郎 (教室)

「緑内障2」

座長：梅野 哲哉（教室）

34. 後期緑内障患者へのアイトラッキング搭載ドライビングシミュレータの試み

○多々良 ふう子, 間 聰美, 飯川 龍, 福地 健郎（教室）, 国松 志保（東北大）, 伊藤 誠, イジウン, 桑名 潤平（筑波大システム情報工業研究科）, 小野 浩（本田技研工業株式会社）

35. 原発開放隅角緑内障（広義）症例におけるゴールドマン圧平眼圧計を用いた繰り返し眼圧測定の変動に関与する因子

○八百枝 潔（やおえだ眼科・教室）, 福島 淳志（やおえだ眼科）, 白柏 基宏（木戸眼科クリニック）, 三木 淳司（川崎医科大学）, 福地 健郎（教室）

36. 初期緑内障眼における明度識別視野検査指標とshort wavelength automated perimetry指標との相関

○白柏 基宏（木戸眼科クリニック）, 八百枝 潔（やおえだ眼科）, 福地 健郎（教室）

37. うつぶせ眼圧を施行した正常眼圧緑内障の特徴

○今井 和行（今井眼科医院）, 畑瀬 哲尚（今井眼科医院・教室）, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 福地 健郎（教室）

38. Hood reportを用いた緑内障解析の使用報告

○落合 竣, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 福地 健郎（教室）

39. ハンフリー24-2 視野から10-2 MD値を推定する

○梅野 哲哉, 飯川 龍, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 太田 亜紀子, 福地 健郎（教室）

「緑内障3」

座長：阿部 春樹（新潟医療福祉大学）

40. 緑内障の構造・視野に関する前向き観察研究におけるクラスタ別緑内障視野障害進行と乳頭出血

○福地 健郎, 梅野 哲哉（教室）, SVF prospector study group

第125回新潟眼科集談会

2019年6月16日（日） 新潟医療人育成センター

「緑内障1」

座長：坂上 悠太（教室）

1. 緑内障患者におけるヘッドマウント型視野計アイモ[®]を用いた両眼開放視野と片眼遮蔽視野の比較

○浅野 晃平（医学部5年生）, 飯川 龍, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 福地 健郎（教室）

2. ハンフリー視野計における固視不良の検討

○志田 歩夢, 落合 竣, 福地 健郎（教室）

3. グラナテック点眼後の中心とその周辺6方向の角膜内皮細胞の観察

○高野 幸穂, 宮本 大輝, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 飯川 龍, 福地 健郎（教室）

4. アイトラッキング搭載ドライビングシミュレータによる緑内障患者の視野と運動能力

○多々良 ふう子, 間 聰美, 飯川 龍, 福地 健郎（教室）, 國松 志保（西葛西井上眼科病院）, 小野 浩（本田技研工業）

5. 広義原発開放隅角緑内障における角膜ヒステリシスに左右差がみられた症例の検討

○宮本 大輝, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 飯川 龍, 福地 健郎（教室）

「網膜・硝子体1」

座長：松岡 尚気（教室）

6. Swept source OCT en-face画像による糖尿病網膜症での脈絡膜血管評価

○中野 英之（教室）, 中村 裕介（済生会新潟病院）, 安藤 伸朗（立川総合病院）,

土田 宏嗣, 引間 孝輔, 村上 健治（新潟市民病院）, 長谷部 日, 福地 健郎（教室）

7. 長岡赤十字病院における極低出生体重児の血中VEGF濃度の研究報告

○吉野 秀昭（魚沼基幹病院）, 吉田 博光（教室）, 橋本 薫（長岡赤十字病院）, 長谷部 日（教室）, 武田 啓治（長岡赤十字病院）, 福地 健郎（教室）

8. 網膜上膜術後の中心窓無血管野の変化についての検討

○吉田 博光, 上田 恵理子, 寺島 浩子, 中野 英之, 松岡 尚気, 長谷部 日, 福地 健郎（教室）

「基礎研究・神経眼科」

座長：植木 智志（教室）

9. 抗がん剤誘導性マイトファジーにおけるPINK1とユビキチンリガーゼの機能解析

○五十嵐 遼子（教室・機能制御学分野）, 山下 俊一（機能制御学分野）, 福地 健郎（教室）, 神吉 智丈（機能制御学分野）

10. 眼科局所麻酔後の上下斜視

○上田 恵理子, 寺島 浩子, 長谷部 日, 福地 健郎（教室）, 佐々木 亮（にいつ眼科）

11. 多局所網膜電図によりcone dystrophyが疑われた1例

○植木 智志（教室）, 畑瀬 哲尚（今井眼科医院・教室）, 福武 慶, 福地 健郎（教室）

「腫瘍・眼形成」

座長：張 大行（教室）

12. 牛眼症に睫毛内反症を併発した一例

○大湊 純（教室），塩崎 直哉（長岡赤十字病院），末武 亜紀，張 大行，福地 健郎（教室）

13. プロプラノロールが著効した乳児血管腫の一例

○張 大行，大湊 純，福地 健郎（教室）

「網膜・硝子体2」

座長：寺島 浩子（教室）

14. 当院における糖尿病黄斑浮腫に対する抗VEGF治療

○高田 律子（長岡中央総合病院），福島 淳志（やおえだ眼科）

15. 特発性黄斑円孔治療における内境界膜剥離範囲の経時的变化

○松岡 尚氣，長谷部 日，中野 英之，上田 恵理子，寺島 浩子，福地 健郎（教室）

16. 緑内障合併黄斑疾患の硝子体手術による中心視野への影響～vol.1

○寺島 浩子，長谷部 日，上田 恵理子，松岡 尚氣，吉田 博光，中野 英之，福地 健郎（教室）

「網膜・硝子体3」

座長：長谷部 日（教室）

17. OCTアンギオと超広角眼底カメラを併用する糖尿病網膜症のモニター

安藤 伸朗（立川総合病院）

18. 今さら硝子体手術で、あえて20Gを使う症例

○吉澤 豊久，白鳥 敦（三条眼科）

19. 黄斑円閉鎖後視力予後良好群の術後経過の特徴

○長谷部 日，寺島 浩子，松岡 尚氣，上田 恵理子，吉田 博光，中野 英之，福地 健郎（教室）

「緑内障2」

座長：梅野 哲哉（教室）

20. 新しい緑内障治療の選択肢 マイクロパルス経強膜毛様体光凝固術

○飯川 龍，梅野 哲哉，坂上 悠太，末武 亜紀，田沢 綾子，福地 健郎（教室）

21. 当科におけるトラベクレクトミーとトラベクレクトミートリプルの術後成績の比較検討

○田沢 綾子，飯川 龍，末武 亜紀，坂上 悠太，梅野 哲哉，福地 健郎（教室）

22. Microhook ab interno trabeculotomyの術後成績

○末武 亜紀，飯川 龍，坂上 悠太，梅野 哲哉，福地 健郎（教室）

23. 緑内障眼における明度識別視野検査指標とshort wavelength automated perimetry指標との相関：病期別の検討

○白柏 基宏（木戸眼科クリニック），八百枝 潔（やおえだ眼科），福地 健郎（教室）

24. ハンフリー視野計10-2における視野障害と眼圧下降治療 第二報

○坂上 悠太，末武 亜紀，宮本 大輝，飯川 龍，五十嵐 遼子，梅野 哲哉，福地 健郎（教室）

25. OCTの測定再現性と緑内障トレンド解析

○梅野 哲哉，多々良 ふう子，飯川 龍，末武 亜紀，坂上 悠太，田沢 綾子，福地 健郎（教室）

「ぶどう膜炎・角膜」

座長：松田 英伸（教室）

26. 当科における円錐角膜のHCL選択と処方

○落合 竣，松田 英伸，佐々木 藍季子，黒澤 史門，福地 健郎（教室）

27. Konan Specular Microscope XVIを使用した周辺部角膜内皮の検討

○石田 誠夫，安藤 由香，明地 幸恵，大原 瞳，遠藤 紳一郎，松木 佐代子（石田眼科），細谷 比佐志（ホワイティ うめだ眼科）

28. サイトメガロウイルス虹彩毛様体内皮炎における続発性緑内障の検討

○松田 英伸，佐々木 藍季子，黒澤 史門，福地 健郎（教室）

「最近の話題」

座長：阿部 春樹（新潟医療福祉大学）

29. 緑内障のOCT angiography (OCTA)

○福地 健郎，五十嵐 遼子，落合 竣，飯川 龍，梅野 哲哉，坂上 悠太，末武 亜紀，田沢 綾子，鎌田 紗子（教室）

第126回新潟眼科集談会

2019年12月21日（土）・22日（日） 新潟医療人育成センター

「小児眼科・神経眼科」

座長：植木 智志（教室）

1. 小児におけるスポットビジョンスクリーナーの再現性の検証

○市村 美香，植木 智志（教室），羽入 貴子（はにゅうクリニック），清河 慈，福地 健郎（教室）

2 左眼内転制限を呈した副鼻腔囊胞の一例

○清河 慶, 植木 智志 (教室), 畑瀬 哲尚 (今井眼科医院・教室), 福地 健郎 (教室)

3. 外傷性視神経症の1例 -治療についての考察-

○植木 智志 (教室), 畑瀬 哲尚 (今井眼科医院・教室), 清河 慶, 福地 健郎 (教室)

「緑内障1」 座長:末武 亜紀 (教室)

4. 広義POAG眼におけるFAZの経過観察

○落合 竣, 飯川 龍, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 梅野 哲哉, 福地 健郎 (教室)

5. 緑内障患者のコントラスト感度変化

○中野 里絵子, 梅野 哲哉, 五十嵐 遼子, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 大湊 純, 飯川 龍, 田沢 綾子, 福地 健郎 (教室)

6. 緑内障患者に対するロボット支援前立腺摘除術

○坂上 悠太, 飯川 龍, 末武 亜紀, 梅野 哲哉 (教室), 西山 勉, 笠原 隆, 瀧澤 逸大, 富田 善彦 (新潟大学泌尿器科), 福地 健郎 (教室)

7. 絶毛様体扁平部チューブシャント手術の短期成績

○上田 恵理子, 寺島 浩子, 吉田 博光, 末武 亜紀 (教室), 佐々木 亮 (にいつ眼科), 福地 健郎 (教室)

8. マイクロフックトラベクロトミー・フランジ法IOL強膜内固定術 同時手術の成績

○末武 亜紀, 田沢 綾子, 飯川 龍, 吉田 博光, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 上田 恵理子, 寺島 浩子, 福地 健郎 (教室)

「ロービジョン」 座長:張替 涼子 (新潟大学医歯学総合病院)

9. 新しい視野障害等級 - 2級と5級の乖離 -

○間 聰美, 市村 美香 (教室), 石井 雅子 (新潟医療福祉大学), 末武 亜紀, 福地 健郎 (教室)

10. 新しい視野障害等級 - 緑内障による検討 -

○石井 雅子 (新潟医療福祉大学), 間 聰美, 末武 亜紀, 福地 健郎 (教室)

11. 失明を予告された緑内障の一例

張替 涼子 (新潟大学医歯学総合病院)

「網膜硝子体1」 座長:寺島 浩子 (教室)

12. 心臓カテーテル検査後に網膜中心動脈閉塞症を発症した1例

○栗山 桃奈, 布施 公一, 阿部 博史, 安藤 伸朗 (立川総合病院)

13. 検査法による糖尿病網膜症検出率の比較 ~検眼鏡/走査型広角眼底撮影/OCTA~

○安藤 伸朗 (立川総合病院), 八百枝 潔 (やおえだ眼科)

14. 当院における糖尿病黄斑浮腫の硝子体手術成績

○佐藤 伊将, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 吉田 博光, 長谷部 日, 松岡 尚気, 中野 英之, 福地 健郎 (教室)

15. 強度近視黄斑円孔網膜剥離に対するInverted ILM flap techniqueを用いた硝子体手術

○中野 英之, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 吉田 博光, 長谷部 日, 松岡 尚気, 佐藤 弥生, 福地 健郎 (教室)

16. 网膜静脈分枝閉塞症に対する初回治療後のOCT所見から1年後の治療予測

○寺島 浩子, 長谷部 日, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 松岡 尚気, 吉田 博光, 中野 英之, 福地 健郎 (教室)

「医学部学生研究」 座長:長谷部 日 (教室)

17. 広義原発開放隅角緑内障患者の経過眼圧と視野障害進行との関連

○野村 拓未 (医学科3年), 坂上 悠太, 福地 健郎 (教室)

18. 近視性網膜分離症に対する硝子体手術後の網膜形態の評価

○坂井 沙映 (医学科3年), 長谷部 日, 福地 健郎 (教室)

19. 新潟大学におけるVogt-小柳-原田病の治療成績

○中澤 直輝 (医学科3年), 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)

「網膜硝子体2」 座長:松岡 尚気 (教室)

20. OCTAと黄斑上膜

坂井 豊明 (坂井眼科医院)

21. 脈絡膜新生血管に対する抗VEGF硝子体内注射の長期成績

○佐藤 真菜美, 羽田 益美, 柳取 香帆吏, 曽田 あゆみ, 中沢 聰美, 丸山 忍, 鈴木 万由, 白鳥 敦, 吉澤 豊久 (三条眼科)

22. Syphilitic outer retinopathyの一例

○吉田 博光, 上田 恵理子, 寺島 浩子, 中野 英之, 松岡 尚気, 長谷部 日, 福地 健郎 (教室)

23. 特発性黄斑円孔の視力予後は術後早期に決まる?

○長谷部 日, 寺島 浩子, 松岡 尚気, 上田 恵理子, 吉田 博光, 中野 英之, 福地 健郎 (教室)

24. マイクロペリメトリーによる術前網膜感度を利用した黄斑円孔の術後視力予測
 ○松岡 尚氣, 長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 吉田 博光, 中野 英之, 佐藤 弥生, 福地 健郎 (教室)
 「基礎研究・腫瘍・眼形成」 座長: 張 大行 (教室)
25. 抗がん剤誘導性マイトファジーにおけるPINK 1とユビキチンリガーゼの機能解析
 ○五十嵐 遼子 (教室・機能制御学分野), 山下 俊一, 井上 敬一 (機能制御学分野), 福地 健郎 (教室), 神吉 智丈 (機能制御学分野)
26. 近年当科で経験した眼窩腫瘍性疾患の傾向と対策
 ○大湊 純, 張 大行, 中野 里絵子 (教室), 尾山 徳秀 (うおぬま眼科・教室), 福地 健郎 (教室)
27. 眼窩ヘッドアップサージャリーの経験
 ○張 大行, 福地 健郎 (教室)
 「白内障・角膜・ぶどう膜炎」 座長: 松田 英伸 (教室)
28. 白内障手術後にnegative dysphotopsiaを生じた2例
 ○安藤 拓海, 土田 宏嗣, 引間 孝輔, 村上 健治 (新潟市民病院)
29. 最近遭遇した白内障術後の合併症について
 ○吉澤 豊久, 白鳥 敦 (三条眼科)
30. ヘルペス脳炎に続発した急性網膜壞死の一例
 ○白鳥 晶子, 松田 英伸, 黒澤 史門, 福地 健郎 (教室)
31. 水疱性自己免疫性疾患と眼手術
 ○黒澤 史門, 佐々木 藍季子, 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)
32. 咳出痰培養によって診断した結核性ぶどう膜炎の1例
 ○松田 英伸, 佐々木 藍季子, 黒澤 史門, 田沢 綾子, 福地 健郎 (教室)
 「緑内障2」 座長: 梅野 哲哉 (教室)
33. 当施設の人間ドックを契機に受診した患者の緑内障の検出力
 ○宮島 誠, 吉野 秀昭 (魚沼基幹病院), 坂上 悠太, 福地 健郎 (教室)
34. レーザー虹彩切開術眼の仰臥位・俯き位の隅角開大度と周辺角膜内皮細胞数
 ○今井 和行 (今井眼科医院), 澤田 英子 (さわだ眼科), 畑瀬 哲尚 (今井眼科医院), 福地 健郎 (教室)
35. 緑内障眼におけるFDT視野指標とSWAP指標との相関
 ○白柏 基宏 (木戸眼科クリニック), 八百枝 潔 (やおえだ眼科), 福地 健郎 (教室)
36. VFQ-25アンケートを用いた中心窓閾値とQOVの関係
 ○飯川 龍, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 田沢 綾子, 福地 健郎 (教室)
37. 術前眼圧1owteenの正常眼圧緑内障眼に対する線維柱帶切除術の術後成績検討
 ○田沢 綾子, 飯川 龍, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 梅野 哲哉, 福地 健郎 (教室)
38. オミデネバグ点眼により黄斑浮腫を生じた1例
 ○梅野 哲哉, 飯川 龍, 田沢 綾子, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 福地 健郎 (教室)
 「緑内障3」 座長: 阿部 春樹 (新潟医療福祉大学)
39. 前視野緑内障 (PPG) update
 ○福地 健郎, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 田沢 綾子, 五十嵐 遼子 (教室)

第127回新潟眼科集談会

2020年12月20日 (日) ZoomによるWeb開催

- 「医学部学生研究」 座長: 梅野 哲哉 (教室)
1. 黄斑円孔の硝子体手術後の黄斑部内層構造と視野感度変化
 ○三代 尚弘 (医学科3年), 寺島 浩子, 福地 健郎 (教室)
 2. サルコイドーシスの臨床経過の検討
 ○露木 宏海 (医学科3年), 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)
 3. 広義原発開放隅角緑内障 (POAG) 眼におけるmicrovasculature dropoutと視野障害進行の関連
 ○青谷 茉奈実 (医学科3年), 五十嵐 遼子, 福地 健郎 (教室)
- 「新入局員」 座長: 大湊 純 (教室)
4. 卵黄様黄斑ジストロフィ (Best病) が疑われた一例
 ○小林 直太, 植木 智志, 福地 健郎 (教室)

5. Nocardiaが原因菌と推定された内因性眼内炎の1例

○野崎 耀平, 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)

「学内演題1」

座長: 松田 英伸 (教室)

6. 神経変性を呈する遺伝子改変マウスにおける視細胞変性のメカニズムの解明と治療法の探索

○五十嵐 遼子 (教室), 周 麗 (神経解剖学), 福地 健郎 (教室), 竹林 浩秀 (神経解剖学)

7. 乳頭黄斑領域視野障害のある広義原発開放隅角緑内障患者に対するトラベクレクトミー

○坂上 悠太, 田沢 綾子, 鎌田 紗子, 飯川 龍, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 福地 健郎 (教室)

8. 前眼部形態パラメータ間の因果関係を考慮した隅角形態モデリング

○梅野 哲哉, 五十嵐 遼子, 間 聰美, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 田沢 綾子, 飯川 龍, 福地 健郎 (教室)

「学内演題2」

座長: 坂上 悠太 (教室)

9. 遊離瞼板結膜移植にて後葉再建を施行した上眼瞼の術後経過の検討

○大湊 純, 張 大行 (教室), 尾山 徳秀 (うおぬま眼科), 江口 功一 (江口眼科医院), 福地 健郎 (教室)

10. 当院における涙道疾患の治療成績

○張 大行, 大湊 純, 福地 健郎 (教室)

11. 抗アクアポリン4抗体陽性視神經炎についての臨床研究とアクアポリン4ノックアウトマウスについての基礎研究

植木 智志 (教室)

12. 網膜静脈分枝閉塞症の黄斑部無灌流領域に対するOCT angiographyと網膜感度

○寺島 浩子, 長谷部 日, 上田 恵理子, 吉田 博光, 安藤 拓海, 佐藤 弥生, 福地 健郎 (教室)

「学外演題1」

座長: 植木 智志 (教室)

13. 糖尿病網膜症の蛍光眼底所見～走査型超広角眼底撮影装置を用いて

安藤 伸朗 (立川総合病院)

14. ビジョンサポート外来でのITサポートの現況

○石井 雅子 (新潟医療福祉大学), 山口 俊光 (新潟市障がい者ITサポートセンター), 市村 美香, 間 聰美 (教室),

張替 涼子 (新潟大学) 福地 健郎 (教室)

15. 「新潟県内消防職員採用における色覚の取り扱いに関する調査」結果報告

張替 涼子 (新潟大学医歯学総合病院)

「学外演題2」

座長: 張 大行 (教室)

16. 非接触眼圧計による健常眼における眼圧変動

○八百枝 潔 (やおえだ眼科・新潟医療福祉大学・新潟大学), 前田 史篤, 多々良 俊哉, 塚原 嘉之佑 (新潟医療福祉大学), 三木 淳司 (川崎医科大学), 白柏 基宏 (木戸眼科クリニック)

17. 光干渉断層計による緑内障黄斑部解析のsegmentation error の検討

○吉野 秀昭 (魚沼基幹病院), 坂上 悠太, 福地 健郎 (教室)

18. プロルシズマブ硝子体内注射後に網膜血管閉塞をきたした加齢黄斑変性の1例

○高田 律子, 酒井 愛 (長岡中央総合病院), 福島 淳志 (やおえだ眼科)

「学内演題3」

座長: 寺島 浩子 (教室)

19. サイトメガロウイルス虹彩毛様体内皮炎の治療成績

○松田 英伸, 黒澤 史門, 田沢 綾子, 野々村 紗子, 佐々木 藍季子, 酒井 康弘, 福地 健郎 (教室)

20. 特発性黄斑円孔閉鎖後に残存するfluid cuffの経過

○長谷部 日, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 吉田 博光, 安藤 拓海, 福地 健郎 (教室)

「教授」

座長: 吉澤 豊久 (三条眼科)

21. 緑内障からQOLを守るためのストラテジー：第74回日本臨床眼科学会特別講演を終えて

福地 健郎 (教室)

第128回新潟眼科集談会

2021年6月20日（日） ZoomによるWeb開催

「網膜1・腫瘍」

座長: 張 大行 (教室)

1. 黄斑剥離を伴う裂孔原性網膜剥離に対する術後視機能予測

○佐藤 伊将 (済生会新潟病院・教室), 寺島 浩子, 安藤 拓海, 吉田 博光, 上田 恵理子 (教室), 長谷部 日 (済生会新潟病院), 福地 健郎 (教室)

2. 特発性黄斑円孔術前後の中心窓無血管域と視機能との関連

○安藤 拓海, 寺島 浩子 (教室), 長谷部 日 (済生会新潟病院), 上田 恵理子, 吉田 博光, 福地 健郎 (教室)

3. 眼瞼基底細胞癌の組織型と深達度の特徴

○塙崎 直哉 (長岡赤十字病院・教室), 大湊 純, 張 大行, 福地 健郎 (教室)

「緑内障1」
座長: 赤木 忠道 (教室)

4. 当科における10歳代で発見された若年開放隅角緑内障 (JOAG) の検討

○小林 直太, 飯川 龍, 坂上 悠太, 福地 健郎 (教室)

5. ヘッドマウント型視野計アイモ®による両眼同時刺激とHFA24-2 両眼重ね合わせ視野の検討

○鎌田 紗子 (長岡赤十字病院・教室), 田沢 紗子, 飯川 龍, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 赤木 忠道, 福地 健郎 (教室)

6. 広義原発開放隅角緑内障患者のコントラスト感度とVFQ-25 ラシュスコアの相関

○中野 里絵子 (済生会新潟病院・教室), 梅野 哲哉, 五十嵐 遼子, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 田沢 紗子 (教室), 鎌田 紗子 (長岡赤十字病院・教室), 福地 健郎 (教室)

7. 限局性濾過胞からの房水漏出に対し濾過胞再建術を行った1例

○末武 亜紀, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 田沢 紗子, 福地 健郎 (教室)

「網膜2」
座長: 上田 恵理子 (教室)

8. 裂孔原性網膜剥離に対するretinotomyの有無による術後成績の検討

○吉田 博光, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 安藤 拓海, 福地 健郎 (教室)

9. ポリープ状脈絡膜血管症に対するOCTAの有用性

○小林 大悟 (魚沼基幹病院・教室), 寺島 浩子 (教室), 長谷部 日 (済生会新潟病院), 上田 恵理子, 吉田 博光, 安藤 拓海, 宮島 誠, 福地 健郎 (教室)

10. 光線力学療法後の急性滲出性黄斑症の1例

○上田 恵理子, 寺島 浩子, 吉田 博光, 安藤 拓海, 福地 健郎 (教室)

「学外演題」
座長: 松田 英伸 (教室)

11. 滲出型加齢黄斑変性に対するアフリベルセプト treat and extend法の長期経過

○高田 律子 (長岡中央総合病院), 福島 淳志 (やおえだ眼科)

12. 初期緑内障におけるSAP, FDTとSWAPの視野指標の関係

○白柏 基宏 (木戸眼科クリニック), 八百枝 潔 (やおえだ眼科), 福地 健郎 (教室)

13. 糖尿病網膜症における網膜出血の分布

○安藤 伸朗 (立川総合病院), 関 正明 (せき眼科)

14. うつぶせ眼圧を施行した広義原発開放隅角緑内障の特徴

○今井 和行, 畑瀬 哲尚 (今井眼科医院), 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 福地 健郎 (教室)

「緑内障2」
座長: 梅野 哲哉 (教室)

15. 当科におけるトラベクレクトミー単独手術とトラベクレクトミー・水晶体再建術同時手術の術後成績の比較

○田沢 紗子 (教室), 鎌田 紗子 (長岡赤十字病院・教室), 飯川 龍, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 福地 健郎 (教室)

16. マイクロパルス毛様体光凝固術で高度の術後炎症を生じ原因不明の視力低下をきたした1例

○飯川 龍, 赤木 忠道, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 田沢 紗子, 福地 健郎 (教室)

17. 前眼部OCTAによる前眼部血流の可視化

○赤木 忠道, 福地 健郎 (教室)

座長: 吉澤 豊久 (三条眼科)

18. POAG広義の目標眼圧を再考する

○福地 健郎, 飯川 龍, 田沢 紗子, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 赤木 忠道 (教室)

第129回新潟眼科集談会

【1日目】2021年12月18日 (土) 新潟医療人育成センター

「医学部学生研究」

座長: 大湊 純 (教室)

1. 乳頭黄斑領域視野障害のある原発開放隅角緑内障 (広義) 患者に対するトラベクレクトミー後の視力

○貴島 章仁 (医学科3年), 坂上 悠太, 福地 健郎 (教室)

2. 黄斑円孔に対する硝子体手術前後の乳頭周囲毛細血管密度変化

○林 陸 (医学科3年), 寺島 浩子, 福地 健郎 (教室)

3. 新潟大学眼科におけるベーチェット病患者の経過について

○南出 祐典 (医学科3年), 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)

「緑内障1」 座長:五十嵐 遼子 (教室)

4. 緑内障患者へのアイフレイル調査

○高野 幸穂, 宮本 大輝, 清野 成美, 福地 健郎 (教室)

5. 新潟大学眼科緑内障外来を受診した患者の傾向

○押切 寧々, 落合 竣, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 梅野 哲哉, 有松 真央, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 赤木 忠道, 福地 健郎 (教室)

6. 線形混合モデルを用いた当科通院中緑内障患者の視野進行解析

○落合 俊, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 梅野 哲哉, 有松 真央, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 福地 健郎 (教室)
「網膜硝子体1」 座長:上田 恵理子 (教室)

7. 増殖糖尿病網膜症に対する小切開硝子体手術後の血管新生緑内障のリスク因子の検討

○宮島 誠, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 吉田 博光, 安藤 拓海, 福地 健郎 (教室)

8. 黄斑剥離を伴う裂孔原性網膜剥離の術後視機能に影響する因子

○佐藤 伊将 (済生会新潟病院, 教室), 寺島 浩子, 安藤 拓海, 吉田 博光, 上田 恵理子 (教室), 長谷部 日 (済生会新潟病院), 福地 健郎 (教室)

9. 網膜剥離に自然発症した上脈絡膜出血の2例

○安藤 拓海, 上田 恵理子, 寺島 浩子, 吉田 博光, 宮島 誠, 福地 健郎 (教室)

10. 非典型的な臨床所見を呈した眼内悪性リンパ腫の一例

○塩崎 直哉, 大湊 純, 張 大行, 上田 恵理子, 福地 健郎 (教室)

「腫瘍・眼形成・ロービジョン・ぶどう膜炎」

座長:張 大行 (教室)

11. 両眼窩に病変を生じたErdheim-Chester病の一例

○大湊 純, 張 大行, 福地 健郎 (教室), 片桐 隆幸, 瀧澤 淳 (新潟大 血液・内分泌・代謝内科), 谷 優佑, 梅津哉 (新潟大 医歯学総合病院 病理部)

12. レチノプロファインダーのアンケート調査

○宮本 大輝, 松田 英伸, 張替 涼子, 福地 健郎 (教室)

13. ICTサポートを継続しているロービジョン児3例の報告

○市村 美香 (教室), 石井 雅子 (新潟医療福祉大), 山口 俊光 (新潟大 教育研究院自然科学研究科), 張替 涼子, 福地 健郎 (教室)

14. COVID-19ワクチン接種後に発症したVogt-小柳-原田病の2例

○安樂 晶子, 宮島 誠, 黒澤 史門, 佐々木 藍季子, 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)

「緑内障2」 座長:坂上 悠太 (教室)

15. 緑内障との鑑別を要した乳頭形成異常の二例

○有松 真央, 赤木 忠道, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 安樂 晶子, 福地 健郎 (教室)

16. アイモ[®]による両眼同時刺激とHFA24-2両眼推定視野の比較検討

○鎌田 純子 (長岡赤十字病院, 教室), 押切 寧々, 志田 歩夢, 田沢 綾子, 飯川 龍, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 赤木 忠道, 福地 健郎 (教室)

17. 緑内障チューブシャント術後の角膜内皮減少についての検討

○田沢 綾子, 鎌田 純子 (長岡赤十字病院, 教室), 有松 真央, 飯川 龍, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 赤木 忠道, 福地 健郎 (教室)

18. 原発開放隅角緑内障(広義)患者のコントラスト感度とVFQ-25ラッシュスコアの相関

○中野 里絵子 (済生会新潟病院, 教室), 梅野 哲哉, 五十嵐 遼子, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 有松 真央, (教室), 田沢 綾子, 鎌田 純子 (長岡赤十字病院, 教室), 福地 健郎 (教室)

【2日目】2021年12月19日 (日) ZoomによるWeb開催

「角膜・ぶどう膜炎」

座長:松田 英伸 (教室)

19. 新潟大学のぶどう膜炎の統計

○黒澤 史門, 宮島 誠, 佐々木 藍季子, 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)

20. 関節リウマチの治療中に発症した急性涙嚢炎の2例

○張 大行, 大湊 純, 福地 健郎 (教室)

21. サイトメガロウイルス虹彩毛様体内皮炎におけるガンシクロビル点眼の治療経過

○松田 英伸, 黒澤 史門, 佐々木 藍季子, 安樂 晶子, 福地 健郎 (教室)

22. 硝子体生検を施行した眼内リンパ腫症例の経過 第4報

○上田 恵理子, 長谷部 日, 寺島 浩子, 吉田 博光, 松田 英伸, 張 大行, 大湊 純, 塩崎 直哉, 福地 健郎 (教室), 佐々木 亮 (にいつ眼科), 松岡 尚気 (むらかみ松岡眼科)

「緑内障3」
座長:赤木 忠道 (教室)

23. 新潟大学における濾過胞感染症の臨床経過と治療予後

○末武 亜紀, 赤木 忠道, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 有松 真央, 安樂 晶子, 福地 健郎 (教室)

24. 自己テノン囊移植による無血管濾過胞再建

○梅野 哲哉, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 有松 真央, 赤木 忠道, 福地 健郎 (教室)

25. 健常眼における非接触眼圧計による眼圧測定の検査内および検査間変動について

○八百枝 潔 (やおえだ眼科, 新潟医療福祉大, 教室), 多々良 俊哉, 前田 史篤, 塚原 嘉之佑 (新潟医療福祉大), 白柏 基宏 (木戸眼科クリニック)

「神経眼科・基礎研究」
座長:植木 智志 (教室)

26. インフリキシマブ治療中に右視神経炎を発症した関節症性乾癬の一例

○長谷川 友加里, 植木 智志 (教室), 畑瀬 哲尚 (今井眼科医院, 教室), 羽入 貴子 (はにゅうクリニック, 教室), 福地 健郎 (教室)

27. 抗アクアポリン4抗体陽性視神経炎についての臨床研究とアクアポリン4ノックアウトマウスについての基礎研究 - 続報 -

○植木 智志 (教室)

28. 小脳プルキンエ細胞変性マウスにおける視細胞変性・緑内障の機序の解明と治療法の探索

○五十嵐 遼子 (教室), 周 麗 (CCRF: 新潟大学研究推進機構 共用設備基盤センター, 脳機能形態学分野), 福地 健郎 (教室), 竹林 浩秀 (CCRF: 新潟大学研究推進機構 共用設備基盤センター, 脳機能形態学分野)

「網膜硝子体2」
座長:寺島 浩子 (教室)

29. 当科におけるシリコンオイル充填眼の臨床経過

○吉田 博光, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 安藤 拓海, 福地 健郎 (教室)

30. ヘレニエン投与開始後4年間に渡り周辺視野の改善維持を認める網膜色素変性症の1例

○高田 律子 (長岡中央総合病院), 福島 淳志 (やおえだ眼科)

31. 糖尿病網膜症の毛細血管瘤と網膜無灌流野の分布～広角眼底撮影装置を用いた蛍光眼底所見

○安藤 伸朗, 武田 さち江 (立川総合病院), 関 正明 (せき眼科)

32. 緑内障合併黄斑疾患症例に対する計画的内境界膜剥離術

○寺島 浩子, 上田 恵理子, 吉田 博光, 安藤 拓海, 福地 健郎 (教室)

「緑内障4」
座長:梅野 哲哉 (教室)

33. 早期緑内障患者の中心10°内視野欠損とQOVの関連

○飯川 龍, 赤木 忠道, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 有松 真央, 安樂 晶子, 福地 健郎 (教室)

34. ロボット支援前立腺摘除術の正常眼および緑内障眼に及ぼす影響 (最終報)

○坂上 悠太, 末武 亜紀, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 梅野 哲哉, 赤木 忠道 (教室), 白野 侑子, 笠原 隆, 富田 善彦 (新潟大 泌尿器科), 福地 健郎 (教室)

35. 前眼部 OCTA を用いたシュレム管以降の房水流出機能評価の可能性

○赤木 忠道, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 有松 真央, 安樂 晶子, 福地 健郎 (教室)

「特別講演」
座長:吉澤 豊久 (三条眼科)

36. 緑内障手術のトレーニングシステムを考える

○福地 健郎, 赤木 忠道, 有松 真央, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 梅野 哲哉 (教室), 田沢 綾子, 鎌田 紗子 (長岡赤十字病院)

第130回新潟眼科集談会

2022年6月19日(日) ZoomによるWeb開催

「ロービジョン」

座長：大湊 純（教室）

1. ドライビングシミュレータを行った左上1/4半盲の一例
○押切 寧々, 赤木 忠道, 福地 健郎（教室）
2. 2021年度ロービジョン外来のまとめ
○清野 成美（教室）, 石井 雅子（新潟医療福祉大）, 市村 美香, 福地 健郎（教室）
3. 長岡赤十字病院における身体障害者手帳取得状況
○田沢 綾子（長岡赤十字病院, 教室）, 小池 直人, 野崎 耀平, 鎌田 純子, 田中 玲子, 武田 啓治（長岡赤十字病院）

「緑内障1」

座長：赤木 忠道（教室）

4. 原発開放隅角緑内障（広義）におけるアイフレイル調査
○宮本 大輝, 市村 美香, 落合 竣, 押切 寧々, 清野 成美, 赤木 忠道, 福地 健郎（教室）
5. 輪部基底線維柱帶切除術後の濾過胞からの房水漏出
○宮島 誠, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 有松 真央, 福地 健郎（教室）
6. 外傷性緑内障の緑内障手術成績
○坂上 悠太, 宮島 誠, 有松 真央, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 赤木 忠道, 福地 健郎（教室）

「網膜1」

座長：寺島 浩子（教室）

7. 黄斑剥離を伴う裂孔原性網膜剝離の術後視機能と視機能に影響する因子
○佐藤 伊将（済生会新潟病院, 教室）, 寺島 浩子, 野崎 耀平, 安藤 拓海, 塩崎 直哉, 吉田 博光（教室）, 長谷部 日（済生会新潟病院）, 福地 健郎（教室）
8. 増殖糖尿病網膜症に対する前眼部OCTAを用いた虹彩新生血管評価における臨床応用の展望
○野崎 耀平, 寺島 浩子, 赤木 忠道, 吉田 博光, 塩崎 直哉, 安藤 拓海, 福地 健郎（教室）
9. 特発性黄斑円孔に対する中心窓温存内境界膜剥離の術後視機能と黄斑形態の評価
○吉田 博光, 寺島 浩子, 野崎 耀平, 塩崎 直哉, 安藤 拓海, 福地 健郎（教室）

「ぶどう膜・斜視弱視・眼窩」

座長：松田 英伸（教室）

10. 新潟大学のぶどう膜炎の統計
○黒澤 史門, 松田 英伸, 櫻澤 慧, 佐々木 藍季子, 福地 健郎（教室）
11. 片側先天眼瞼下垂の患側眼における眼軸長の差に伴う遠視性不同視
○植木 智志（教室）, 清河 慈（としみ眼科）, 羽入 貴子（はにゅうクリニック, 教室）, 福地 健郎（教室）
12. 緩和的眼窩内容除去を施行した涙腺原発腺癌の一例
○大湊 純, 塩崎 直哉（教室）, 張 大行（さど眼科）, 福地 健郎（教室）

「緑内障2」

座長：五十嵐 遼子（教室）

13. 乳頭黄斑領域と視力・中心窓閾値の関係性
○鎌田 純子（長岡赤十字病院, 教室）, 宮本 大輝（教室）, 田沢 綾子（長岡赤十字病院, 教室）, 飯川 龍, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 赤木 忠道, 福地 健郎（教室）
14. 原発開放隅角緑内障（広義）患者のコントラスト感度とNEI VFQ-25ラッシュスコアの相関
○中野 里絵子（新潟南病院, 教室）, 梅野 哲哉, 赤木 忠道, 五十嵐 遼子, 坂上 悠太, 飯川 龍（教室）, 末武 亜紀（五泉中央病院）, 田沢 綾子, 鎌田 純子（長岡赤十字病院, 教室）, 有松 真央, 福地 健郎（教室）
15. 緑内障患者のQOVスコアに影響を与える視野領域の検討
○飯川 龍（教室）, Ling Yi Wei, 奥田 修二郎（新潟大学医学部メディカルAIセンター）, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 有松 真央, 宮島 誠, 福地 健郎（教室）

「学外演題」

座長：植木 智志（教室）

16. 術中OCTが有用であった高度の網膜前膜を来たした原発開放隅角緑内障の一例
○高田 律子（長岡中央総合病院）, 福島 淳志（やおえだ眼科）
17. 済生会新潟病院の抗VEGF治療
○長谷部 日, 赤木 由美子, 佐藤 伊将, 安樂 晶子（済生会新潟病院）
18. 長岡眼科医院における糖尿病網膜症診療の実臨床（第一報）
○安藤 伸朗, 板垣 和弘, 赤塚 拓海, 五十嵐 秀人, 杉本 容子, 信田 和男（長岡眼科医院）

「網膜2」

座長：吉田 博光（教室）

19. 当院での続発性眼内悪性リンパ腫の検討
○塩崎 直哉, 大湊 純, 張 大行, 上田 恵理子, 福地 健郎（教室）
20. ポリープ状脈絡膜血管腫に対するOCTAによる抗VEGF治療効果予測
○小林 大悟（魚沼基幹病院, 教室）, 寺島 浩子（教室）, 長谷部 日（済生会新潟病院）, 吉田 博光, 安藤 拓海, 宮島 誠, 福地 健郎（教室）

21. 緑内障合併黄斑疾患に対する計画的内境界膜剥離法

○寺島 浩子, 吉田 博光, 安藤 拓海, 野崎 耀平, 上田 恵理子, 福地 健郎 (教室)

「角膜・緑内障3」 座長:坂上 悠太 (教室)

22. 新潟大眼科における角膜移植術後成績

○松田 英伸, 黒澤 史門, 佐々木 藍季子, 福地 健郎 (教室)

23. pcdマウスにおける視細胞変性・緑内障の機序の解明と治療法の探索 (続報)

○五十嵐 遼子 (教室), 周 麗 (CCRF:新潟大学研究推進機構 共用設備基盤センター, 脳機能形態学分野), 福地 健郎 (教室), 竹林 浩秀 (CCRF:新潟大学研究推進機構 共用設備基盤センター, 脳機能形態学分野)

24. 緑内障診療ガイドライン第5版～検査・診断の改定ポイント

○赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 有松 真央, 宮島 誠, 福地 健郎 (教室)

「特別講演」

座長:吉澤 豊久 (三条眼科)

25. 落屑緑内障の診断と治療

○福地 健郎, 有松 真央, 宮島 誠, 飯川 龍, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 赤木 忠道 (教室)

第131回新潟眼科集談会

【1日目】2022年12月17日 (土) 新潟医療人育成センター

「医学部学生研究」 座長:大湊 純 (教室)

1. 新潟大学医歯学総合病院眼科におけるぶどう膜炎の統計

○丸山 輝記 (医学科3年), 黒澤 史門, 松田 英伸, 福地 健郎 (教室)

2. 前眼部OCTAを用いたトラベクレクトミー後濾過胞血流の経時変化

○桐生 楓基 (医学科3年), 赤木 忠道, 有松 真央, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 宮島 誠, 福地 健郎 (教室)

3. 黄斑円孔におけるILM剥離面積とEllipsoid zoneの関係

○西川 僚哉 (医学科3年), 安藤 拓海, 寺島 浩子, 福地 健郎 (教室)

「眼形成・ロービジョン」 座長:植木 智志 (教室)

4. 中間型アウトリーチ支援によるITサポート－高齢視覚障害者への対応－

○市村 美香 (教室), 石井 雅子 (新潟医福大), 山口 俊光 (新潟大学 自然科学系), 張替 涼子, 福地 健郎 (教室)

5. 乳児期から義眼装用で介入している小眼球患児の経過

○大湊 純, 植木 智志, 塩崎 直哉, 長谷川 友加里, 福地 健郎 (教室), 張 大行 (さど眼科), 尾山 徳秀 (うおぬま眼科), 江口 功一 (江口眼科医院), 羽入 貴子 (はにゅうクリニック・教室), 清河 慈 (としみ眼科医院), 厚沢剛 (株式会社アツザワプロテーゼ)

6. 遠視性屈折異常弱視における不同視の視力予後への影響

○長谷川 友加里, 植木 智志 (教室), 畑瀬 哲尚 (今井眼科医院・教室), 羽入 貴子 (はにゅうクリニック・教室), 福地 健郎 (教室)

「緑内障」 座長:五十嵐 遼子 (教室)

7. ハンフリー視野計とCompass Fundus Perimetryの関係

○松浦 将人, 赤木 忠道, 福地 健郎 (教室)

8. 広義原発開放隅角緑内障眼における乳頭周囲深部血流脱落所見と視野進行との関係

○落合 竣, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 飯川 龍, 宮島 誠, 有松 真央, 五十嵐 遼子, 福地 健郎 (教室)

9. 結膜濾過胞の自然形成を認めた一例

○斎藤 彩子, 赤木 忠道 (教室), 梅野 哲哉 (旭岡アイクリニック), 福地 健郎 (教室)

10. 前眼部OCTを用いた毛様体扁平部の測定

○宮島 誠, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 有松 真央, 福地 健郎 (教室)

「網膜硝子体・角膜」 座長:寺島 浩子 (教室)

11. 脈絡膜下病変を合併し、診断・治療に苦慮した中心性漿液性脈絡網膜症の一例

○赤木 由美子, 長谷部 日 (済生会新潟病院・教室), 張 大行 (さど眼科), 福地 健郎 (教室)

12. 糖尿病網膜症の周辺部所見

○安藤 伸朗, 信田 和男 (長岡眼科医院), 武田 さち江 (立川総合病院), 関 正明 (せき眼科)

13. 進行性円錐角膜に対するクロスリンク治療

○石田 学（石田眼科医院・順天堂大），宮腰 晃央（富山大），稻富 勉（国立長寿医療研究センター・京都府立大），大原 瞳，松木 佐代子（石田眼科医院），山口 達夫（新橋眼科）石田 誠夫（石田眼科医院）

14. 三条眼科における眼科手術のTips and Pearls

○吉澤 豊久，白鳥 敦（三条眼科）

「シンポジウム」 座長：福地 健郎（教室）

シンポジウム：難治性遺伝性視神経症への挑戦

15. 遺伝性視神経症の診断

植木 智志（教室）

16. モデル生物を用いた研究から紐解く，OPA1が関与する常染色体優性視神経萎縮の分子病態

杉江 淳（脳研究所附属生命科学リソース研究センター）

【2日目】2022年12月18日（日） ZoomによるWeb開催

「特別講演」

座長：吉澤 豊久（三条眼科）

17. 第33回日本緑内障学会・須田記念講演：緑内障の構造から機能へ，そしてQOLへ
福地 健郎（教室）

「緑内障」

座長：飯川 龍（教室）

18. 落屑緑内障眼に対する線維柱帯切開術併用眼内レンズ強膜内固定術の手術成績

○有松 真央，赤木 忠道（教室），末武 亜紀（五泉中央病院），坂上 悠太，五十嵐 遼子，飯川 龍，宮島 誠（教室），梅野 哲哉（旭岡アイクリニック），寺島 浩子，吉田 博光，福地 健郎（教室）

19. 原発開放隅角緑内障（広義）患者のコントラスト感度とNEI VFQ-25ラシュスコアの相関

○中野 里絵子（新潟南病院・教室），五十嵐 遼子，赤木 忠道，坂上 悠太，飯川 龍，有松 真央，福地 健郎（教室）

20. 乳頭黄斑領域視野障害のある広義原発開放隅角緑内障患者に対するトラベクレクトミー後の視力

○坂上 悠太，飯川 龍，宮島 誠，有松 真央，五十嵐 遼子，赤木 忠道，福地 健郎（教室）

「網膜硝子体」

座長：吉田 博光（教室）

21. 黄斑剥離を伴う裂孔原性網膜剥離の術後視機能に関連する因子

○佐藤 伊将（魚沼基幹病院・教室），寺島 浩子，野崎 耀平（教室），安樂 晶子（済生会新潟病院），安藤 拓海，塙崎 直哉，吉田 博光（教室），長谷川 日（済生会新潟病院），福地 健郎（教室）

22. 前眼部光干渉断層血管造影による虹彩新生血管評価の臨床応用

○野崎 耀平，寺島 浩子，赤木 忠道，安藤 拓海，塙崎 直哉，吉田 博光，福地 健郎（教室）

23. 渗出性加齢黄斑変性に対するfaricimab導入期成績

○高田 律子（長岡中央総合病院），福島 淳志（やおえだ眼科）

24. 緑内障合併黄斑円孔に対する内境界膜剥離術後のen face OCT評価

○寺島 浩子，吉田 博光，安藤 拓海，塙崎 直哉，野崎 耀平，福地 健郎（教室）

「網膜硝子体・角膜」

座長：赤木 忠道（教室）

25. 特発性黄斑円孔における中心窓無血管域の長期変化と視機能との関連

○安藤 拓海，寺島 浩子，吉田 博光（教室），上田 恵理子（上田眼科・教室），福地 健郎（教室）

26. 小児に発症した特発性網膜前膜の一例

○吉田 博光，寺島 浩子，野崎 耀平，塙崎 直哉，安藤 拓海（教室），上田 恵理子（上田眼科・教室），福地 健郎（教室）

27. 新潟大学医歯学総合病院眼科における角膜移植術の検討

○松田 英伸，佐々木 藍季子，黒澤 史門，小林 直太，福地 健郎（教室）

「角膜・ぶどう膜炎」 座長：松田 英伸（教室）

28. 白内障手術を施行したTerien辺縁角膜変性の一例

○黒澤 史門，松田 英伸，佐々木 藍季子，福地 健郎（教室）

29. 保存強膜を用いた義眼床再建で整容面の改善が得られた1例

○塙崎 直哉（教室），張 大行（さど眼科），大湊 純，福地 健郎（教室）

30. 新型コロナウイルス感染症流行前後での緑内障紹介患者の変化

○田沢 綾子，鎌田 紗子（長岡赤十字病院・教室），小池 直人，田中 玲子，武田 啓治（長岡赤十字病院）

「緑内障」

座長：坂上 悠太（教室）

31. 緑内障眼における両眼視野の検討～アイモ[®]による両側視野と両側推定視野の比較

○鎌田 純子, 田沢 綾子 (長岡赤十字病院・教室), 小池 直人, 田中 玲子, 武田 啓治 (長岡赤十字病院), 赤木 忠道, 福地 健郎 (教室)

32. AIによる緑内障患者のQOVスコア予測モデルの検討

○飯川 龍 (教室), 凌 一葦, 奥田 修二郎 (新潟大学医学部メディカルAIセンター), 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 有松 真央, 宮島 誠, 福地 健郎 (教室)

33. 疾患モデルマウスにおける視細胞変性・緑内障の機序の解明 (続報)

○五十嵐 遼子 (教室), 周 麗 (脳機能形態学分野), 福地 健郎 (教室), 竹林 浩秀 (脳機能形態学分野)

34. 原発開放隅角緑内障 (広義) における乳頭出血部位とクラスター別視野進行の関係

○赤木 忠道, 福地 健郎 (教室)

第132回新潟眼科集談会

2023年6月18日 (日) ZoomによるWeb開催

「シンポジウム：緑内障の診断と進行評価」 座長：坂上 悠太 (教室)

1. 緑内障の画像解析と進行評価

赤木 忠道 (教室)

2. 緑内障の視野検査と進行評価

福地 健郎 (教室)

「網膜1」

座長：寺島 浩子 (教室)

3. 難治性糖尿病黄斑浮腫に対する外科的アプローチ：黄斑機能と構造の検証

○吉田 博光, 寺島 浩子, 野崎 耀平, 塩崎 直哉, 安藤 拓海 (教室), 上田 恵理子 (上田眼科・教室), 福地 健郎 (教室)

4. 渗出性加齢黄斑変性に対するfaricimab切り替え症例の検討

○高田 律子 (長岡中央総合病院), 福島 淳志 (やおえだ眼科)

5. 糖尿病網膜症の網膜毛細血管瘤をGreen分離画像で検出する

○安藤 伸朗, 信田 和男 (長岡眼科医院), 武田 さち江 (立川総合病院), 関 正明 (せき眼科医院)

「角膜」

座長：黒澤 史門 (教室)

6. Peters異常による水疱性角膜症に対して3度目の全層角膜移植を行った一例

○小林 直太, 黒澤 史門, 佐々木 藍季子 (教室), 松田 英伸 (松田眼科医院・教室), 福地 健郎 (教室)

7. トラベクレクトミー術後に角膜潰瘍を発症した一例

○坂上 悠太, 有松 真央, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 赤木 忠道, 福地 健郎 (教室)

「緑内障1・画像研究」

座長：赤木 忠道 (教室)

8. AIによる緑内障患者のQOVスコア予測モデルの検討 第2報

○飯川 龍 (教室), 凌 一葦, 奥田 修二郎 (新潟大学医学部メディカルAIセンター), 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 有松 真央, 福地 健郎 (教室)

9. 健常眼におけるhemoglobin video imagingと前眼部OCTAによる強結膜血流画像の比較

○落合 竣, 赤木 忠道, 有松 真央, 福地 健郎 (教室)

10. 前眼部OCTAを用いた原発開放隅角緑内障における線維柱帶切除術後の濾過胞血管の経時変化の評価

○有松 真央, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 飯川 龍 (教室), 宮島 誠 (長岡赤十字病院), 福地 健郎 (教室)

11. 前眼部OCTAによる虹彩新生血管検出の臨床応用の検討

○野崎 耀平, 寺島 浩子, 赤木 忠道, 吉田 博光, 塩崎 直哉, 安藤 拓海, 福地 健郎 (教室)

「神経眼科・基礎研究・腫瘍・形成」

座長：植木 智志 (教室)

12. 長期観察により多発性硬化症疑いとなったウートフ現象を伴う視神経炎の1例

○長谷川 友加里, 植木 智志 (教室), 畑瀬 哲尚 (今井眼科医院・教室), 羽入 貴子 (はにゅうクリニック・教室), 福地 健郎 (教室)

13. 疾患モデルマウスにおける視細胞変性・緑内障の機序の解明 (続報)

○五十嵐 遼子 (教室), 周 麗 (Baylor College of Medicine), 福地 健郎 (教室), 竹林 浩秀 (脳機能形態学分野)

14. 専門外来受診までに時間を要した認知症高齢者の眼瞼悪性腫瘍症例

○大湊 純, 塩崎 直哉, 福地 健郎 (教室)

「網膜2」

座長：吉田 博光 (教室)

15. 胸腺腫に合併した悪性腫瘍随伴網膜症の一例

○櫻澤 慧, 寺島 浩子, 植木 智志, 福地 健郎 (教室)

16. Intraocular contents extrusion in deep scleral rupture

○安藤 拓海, 寺島 浩子, 吉田 博光, 野崎 耀平, 福地 健郎 (教室)

17. 特発性黄斑円孔に対する内境界膜剥離術後のen face OCT評価

○寺島 浩子, 吉田 博光, 安藤 拓海, 塩崎 直哉, 野崎 耀平, 福地 健郎 (教室)

「腫瘍・形成・感染症」
座長: 大湊 純 (教室)

18. 両上眼瞼の瞼結膜より生じたIgG4関連眼疾患の2例

○塩崎 直哉, 大湊 純, 福地 健郎 (教室)

19. MRI所見に基づき投与量を変化させるステロイドパルス療法およびプレドニゾロン経口投与を行った第1眼位の複視を呈する甲状腺眼症の1年間の再発率

○植木 智志, 長谷川 友加里 (教室), 畑瀬 哲尚 (今井眼科医院・教室), 清河 慈 (としみ眼科医院), 福地 健郎 (教室)

20. 診断, 治療に難渋した複雑性尿路感染症からの真菌性眼内炎と思われる1例

○田沢 綾子 (長岡赤十字病院), 小池 直人 (教室), 宮島 誠, 鎌田 純子 (長岡赤十字病院), 佐々木 亮 (にいつ眼科), 田中 玲子, 武田 啓治 (長岡赤十字病院)

「緑内障2」
座長: 飯川 龍 (教室)

21. 線維柱帯切除術後の房水漏出に対してテノンパッチ裏打ち法が奏功した一例

○小池 直人, 赤木 忠道, 飯川 龍, 坂上 悠太, 有松 真央, 五十嵐 遼子 (教室), 梅野 哲哉 (旭岡アイクリニック), 福地 健郎 (教室)

22. 緑内障点眼により角膜混濁をきたした一例

○黒澤 史門 (教室), 松田 英伸 (松田眼科医院・教室), 佐々木 藍季子, 福地 健郎 (教室)

第133回新潟眼科集談会

【1日目】2023年12月16日 (土) 新潟医療人育成センター

「医学部学生研究」

座長: 大湊 純 (教室)

1. 甲状腺眼症におけるMR画像による外眼筋の評価—半定量的評価であるMRI scoreと定量的評価の相関—

○真塩 匠 (医学科3年), 植木 智志, 長谷川 友加里, 福地 健郎 (教室)

2. 緑内障患者のquality of vision (QOV) スコアの経過

○萬代 越史 (医学科3年), 飯川 龍, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 有松 真央, 福地 健郎 (教室)

3. 無縫合硝子体手術後の低眼圧における危険因子と視機能への影響

○藤井 和真 (医学科3年), 安藤 拓海, 寺島 浩子, 吉田 博光, 塩崎 直哉, 野崎 耀平, 福地 健郎 (教室)

「ロービジョンケア」

座長: 植木 智志 (教室)

4. ロービジョンケアを要した若年開放隅角緑内障の2例

○市村 美香, 松浦 将人, 石井 雅子 (新潟医療福祉大学・教室), 福地 健郎 (教室)

5. ロービジョン児の就学状況と支援内容

○井嶋 真里 (教室), 石井 雅子 (新潟医療福祉大学・教室), 落合 竣, 福地 健郎 (教室)

6. 視野障害を有する緑内障患者の運動時の自覚症状

○押切 寧々, 福地 健郎 (教室)

「白内障・網膜硝子体・角膜」

座長: 黒澤 史門 (教室)

7. 国産初の超音波乳化吸引術 (PEA) 器械で施行され, 48年間経過した症例の検討

○石田 誠夫, 石田 学, 大原 瞳, 松木 佐代子 (石田眼科医院), 山口 達夫 (石田眼科医院・新橋眼科・聖路加国際病院)

8. 当院における中心性漿液性網脈絡膜症 (cCSC) に対する光線力学的療法 (PDT) の治療成績

○櫻澤 慧, 寺島 浩子, 安藤 拓海, 福地 健郎 (教室)

9. ヘルペス角膜炎と考えられていたアカントアメーバ角膜炎の一例

○小林 直太 (教室), 安樂 晶子 (済生会新潟病院), 黒澤 史門 (教室), 松田 英伸 (松田眼科医院・教室), 福地 健郎 (教室)

「緑内障・網膜硝子体」

座長: 五十嵐 遼子 (教室)

10. 緑内障眼におけるSS-OCTとSD-OCTの再現性と正確性の比較

○松浦 将人, 赤木 忠道, 福地 健郎 (教室)

11. 長期間薬物療法で経過観察されていた原発閉塞隅角緑内障症例

- 高橋 夏奈子, 赤木 忠道, 飯川 龍, 有松 真央, 五十嵐 遼子, 坂上 悠太, 福地 健郎 (教室)
12. 両眼性の漿液性網膜剥離をきたした急性骨髓性白血病の1例
- 野崎 耀平, 寺島 浩子, 吉田 博光, 塩崎 直哉, 安藤 拓海, 福地 健郎 (教室)
- 「屈折矯正・網膜硝子体」
座長:赤木 忠道 (教室)
13. LASIK眼に対する眼内コンタクトレンズ (ICL) 施行症例
- 石田 学, 石田 誠夫, 大原 瞳, 松木 佐代子 (石田眼科), 山口 達夫 (石田眼科・新橋眼科・聖路加国際病院)
14. Green分離画像による糖尿病網膜症の眼底検査
- 安藤 伸朗, 信田 和男 (長岡眼科), 武田 さち江 (立川総合病院), 関 正明 (せき眼科医院)
- 「特別講演」
座長:福地 健郎 (教室)
15. 眼科研究へ電子顕微鏡を活用する方法と, iPSC細胞由来の神経オルガノイドによる神経再生や疼痛研究への応用
芝田 晋介 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 組織学分野 医学部顕微解剖学 教授)

【2日目】2023年12月17日（日） ZoomによるWeb開催

- 「シンポジウム」
座長:松田 英伸 (松田眼科医院・教室)
- シンポジウム:「新潟県における角膜移植の現状」
16. 臓器提供推進活動 ~現在・過去・未来 新潟県の活動～
秋山 政人 (新潟県臓器移植推進財団 コーディネーター)
17. 新潟大学眼科における角膜移植の現状
黒澤 史門 (教室)
- 「緑内障」
座長:坂上 悠太 (教室)
18. 緑内障患者における乳頭中心窓領域と視野測定の再現性との関連
○宮本 大輝, 松浦 将人, 赤木 忠道, 福地 健郎 (教室)
19. 緑内障における両眼視野の検討～アイモ[®]による両眼実測視野と両眼推定視野の比較
○鎌田 紗子 (長岡赤十字病院・教室), 田中 里佳, 宮島 誠, 田沢 綾子, 田中 玲子, 武田 啓治 (長岡赤十字病院), 赤木 忠道, 福地 健郎 (教室)
20. 前眼部OCTAを用いた原発開放隅角緑内障における線維柱帯切除術後の濾過胞血管の経時変化の評価 続報
○有松 真央, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 飯川 龍 (教室), 宮島 誠 (長岡赤十字病院), 福地 健郎 (教室)
21. 前眼部OCTAを用いた濾過胞再建術に対する予後予測因子の検討
○小林 大悟 (魚沼基幹病院・教室), 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 有松 真央, 福地 健郎 (教室)
- 「網膜硝子体・緑内障・眼腫瘍」
座長:塩崎 直哉 (教室)
22. 黄斑剥離を伴う裂孔原性網膜剥離の術後変視量の評価
○佐藤 伊将 (魚沼基幹病院・教室), 赤木 忠道, 野崎 耀平, 安藤 拓海, 塩崎 直哉 (教室), 小林 大悟 (魚沼基幹病院・教室), 吉田 博光, 寺島 浩子 (教室), 長谷部 日 (済生会新潟病院), 福地 健郎 (教室)
23. Ahmed Glaucoma Valve毛様溝挿入術後の視力経過
○飯川 龍 (教室), 杉山 真梨江 (済生会新潟病院), 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 有松 真央, 福地 健郎 (教室)
24. 眼瞼メルケル細胞癌の4例
○大湊 純, 塩崎 直哉, 福地 健郎 (教室)
- 「網膜硝子体」
座長:寺島 浩子 (教室)
25. 硝子体術後低眼圧によって生じた黄斑部嚢壁による網膜外層障害と視機能の評価
○安藤 拓海, 寺島 浩子, 吉田 博光, 野崎 耀平, 塩崎 直哉, 福地 健郎 (教室)
26. 術前視力良好な特発性網膜前膜における術後視機能の評価
○吉田 博光, 寺島 浩子, 安藤 拓海, 塩崎 直哉, 野崎 耀平 (教室), 上田 恵理子 (上田眼科・教室), 福地 健郎 (教室)
27. 全国多施設レジストリ研究に参加することでアルストレム症候群と診断できた1例
○植木 智志, 長谷川 友加里 (教室), 畑瀬 哲尚 (今井眼科医院・教室), 羽入 貴子 (はにゅうクリニック・教室), 福地 健郎 (教室)
- 「網膜硝子体・眼瞼」
座長:吉田 博光 (教室)
28. 毛様体黒色細胞腫に伴う続発性緑内障に対してチューブシャント手術を施行した1例
○塩崎 直哉, 大湊 純, 寺島 浩子, 野崎 耀平, 安藤 拓海, 吉田 博光, 福地 健郎 (教室)
29. 渗出性加齢黄斑変性症に対するfaricimab短期成績

○高田 律子（長岡中央総合病院），福島 淳志（やおえだ眼科）

30. 強度近視眼の黄斑疾患術後の網膜内層厚と網膜感度変化

○寺島 浩子，吉田 博光，安藤 拓海，塙崎 直哉，野崎 耀平，福地 健郎（教室）

「緑内障」
座長：飯川 龍（教室）

31. 輪部基底結膜弁法線維柱帯切除術自験例の検討

○五十嵐 遼子，坂上 悠太，赤木 忠道，飯川 龍，有松 真央，小池 直人，福地 健郎（教室）

32. 急性原発閉塞隅角症，急性原発閉塞隅角緑内障の患者背景

○坂上 悠太，有松 真央，飯川 龍，五十嵐 遼子，赤木 忠道，福地 健郎（教室）

33. 極細圧センサーを用いた前房内および硝子体腔内の眼圧評価

○赤木 忠道，福地 健郎（教室）

34. OCTを用いた緑内障診療と黄斑部障害・中心窓障害

○福地 健郎，赤木 忠道，飯川 龍，坂上 悠太，五十嵐 遼子，有松 真央，落合 竣（教室）

第134回新潟眼科集談会

2024年12月21日（土） 新潟医療人育成センター

「医学部学生研究」

座長：五十嵐 遼子（教室）

1. 緑内障患者のQuality of life (QOL) スコアの推定

○松本 素明（医学科3年），飯川 龍，赤木 忠道，坂上 悠太，五十嵐 遼子，小林 大悟，有松 真央，石川 浩子，福地 健郎（教室）

2. 網膜前膜における硝子体術後の微小暗点

○大泉 一晃（医学科3年），安藤 拓海，寺島 浩子，吉田 博光，野崎 耀平，塙崎 直哉，小林 大悟，有松 真央，安藤 克海，福地 健郎（教室）

「緑内障」

座長：五十嵐 遼子（教室）

3. 緑内障眼におけるアイモvifa10-2両眼ランダム法とHFA 10-2 SITA standardの比較

○市村 美香，松浦 将人，宮本 大輝，赤木 忠道，福地 健郎（教室）

4. 緑内障眼におけるアイモvifa10-2両眼同時刺激法とHFA10-2両眼重ね合わせ視野の比較

○宮本 大輝，松浦 将人，市村 美香，赤木 忠道，福地 健郎（教室）

「緑内障」

座長：飯川 龍（教室）

5. 緑内障眼におけるアイモvifa10-2両眼同時刺激法とHFA 10-2 best location法の差の検討

○松浦 将人，宮本 大輝，市村 美香，赤木 忠道，福地 健郎（教室）

6. 緑内障患者における遮光眼鏡の処方例と非処方例の視機能視標の違い

○落合 竣（教室），石井 雅子（新潟医療福祉大），福地 健郎（教室）

7. 当院でのプリザーフロ®マイクロシャント術後短期成績

○石川 浩子，有松 真央，小林 大悟，飯川 龍，五十嵐 遼子，坂上 悠太，赤木 忠道，福地 健郎（教室）

8. 小脳プルキンエ細胞変性 (pcd) マウスにおける視細胞変性・緑内障のメカニズムの解明と治療法の探索（終報）

○五十嵐 遼子（教室），周 麗（ペイラー医科大学），竹林 浩秀（神経解剖学），福地 健郎（教室）

「フレッシュマン」

座長：大湊 純（教室）

9. 正常眼圧緑内障と髄膜腫の合併により視野が急速に悪化した1例

○安藤 克海，五十嵐 遼子，石川 浩子，有松 真央，小林 大悟，飯川 龍，坂上 悠太，赤木 忠道，福地 健郎（教室）

10. 未熟児網膜症の治療既往を有した急性緑内障発作の一例

○吉田 哲広，安藤 拓海，野崎 耀平，有松 真央，小林 大悟，塙崎 直哉，吉田 博光，寺島 浩子，福地 健郎（教室）

11. 水晶体後方因子の関与が大きいと考えられた原発閉塞隅角症の1例

○倉本 太郎，赤木 忠道，飯川 龍，有松 真央，五十嵐 遼子，坂上 悠太，福地 健郎（教室）

12. 硝子体浸潤を伴った脈絡膜悪性黒色腫の1例

○庄司 直行，大湊 純，塙崎 直哉，福地 健郎（教室）

「眼瞼・その他」

座長：植木 智志（教室）

13. 私の眼瞼下垂症手術法および眼瞼内反症手術法とその変遷

坂井 豊明（坂井眼科医院）

14. 新潟県眼科診療報酬算定ルール質問応答システムの構築とアンケート調査

○大矢 佳美（新潟県立新発田病院，サイバー大学），田中 賴人（サイバー大学）

15. 134回を迎えた新潟眼科集談会の歴史と変遷

○安藤 伸朗, 信田 和男 (長岡眼科医院)

「特別講演」 座長：赤木 忠道 (教室)

16. 新潟大学眼科での40年を感謝とともに振り返る

福地 健郎 (教室)

2024年12月22日 (日) ZoomによるWeb開催

「特別講演」

座長：福地 健郎 (教室)

17. 中枢神経系の発生・発達メカニズム —グリア細胞の側面から—

竹林 浩秀 (神経解剖学)

「角膜・緑内障」

座長：黒澤 史門 (教室)

18. 進行性円錐角膜に対する角膜クロスリンキングの術後1年成績

○宮腰 晃央 (富山大学眼科), 石田 学, 石田 誠夫 (石田眼科医院), 山口 達夫 (石田眼科医院・新橋眼科), 林 篤志 (富山大学眼科)

19. 全層角膜移植後の外傷性創離開の2例

○小林 直太, 黒澤 史門, 佐々木 藍季子 (教室), 松田 英伸 (松田眼科医院・教室), 福地 健郎 (教室)

20. 急性原発閉塞隅角症, 急性原発閉塞隅角緑内障の患者背景 (第2報)

○坂上 悠太, 石川 浩子, 有松 真央, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 赤木 忠道, 福地 健郎 (教室)

「緑内障」

座長：坂上 悠太 (教室)

21. 頸動脈ステント留置術とトラベクレクトミーにより視機能の改善を認めた眼虚血症候群による血管新生緑内障の一例

○飯川 龍, 赤木 忠道, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 有松 真央, 福地 健郎 (教室)

22. 強膜トンネル法Ahmed glaucoma valveの術後成績

○吉田 博光, 寺島 浩子, 安藤 拓海, 塩崎 直哉, 野崎 耀平, 福地 健郎 (教室)

23. 眼内アプローチによるEx-PRESS[®]抜去術

○小林 大悟, 赤木 忠道, 石川 浩子, 有松 真央, 飯川 龍, 坂上 悠太, 福地 健郎 (教室)

24. 眼内内視鏡搭載型マイクロフックの開発

○赤木 忠道, 福地 健郎 (教室)

「網膜硝子体・眼腫瘍」

座長：寺島 浩子 (教室)

25. 渗出性加齢黄斑変性症のafibercept 8mg硝子体内注射切り替え例短期成績

○高田 律子 (長岡中央総合病院), 福島 淳志 (やおえだ眼科)

26. 裂孔原性網膜剥離に対するPFCL併用硝子体手術の視機能と黄斑形態への影響

○野崎 耀平, 寺島 浩子, 吉田 博光, 小林 大悟, 塩崎 直哉, 安藤 拓海, 福地 健郎 (教室)

27. 円蓋部結膜から発生した扁平上皮癌の2例

○塩崎 直哉, 大湊 純, 福地 健郎 (教室)

「眼腫瘍・網膜硝子体・角膜」

座長：塩崎 直哉 (教室)

28. 眼瞼悪性腫瘍の治療の考え方

○大湊 純, 塩崎 直哉, 福地 健郎 (教室)

29. 硝子体手術後にシリコーンオイルが網膜下に迷入し再手術で除去に成功した1例

○佐藤 伊将, 斎藤 彩子 (魚沼基幹病院)

30. 新潟大学における角膜移植の変遷

○黒澤 史門, 小林 直太, 佐々木 藍季子, 福地 健郎 (教室)

「網膜硝子体・神経眼科」

座長：吉田 博光 (教室)

31. 黄斑円孔サイズと僚眼の中心窓無血管領域および中心窓形状の関連

○有松 真央, 安藤 拓海, 野崎 耀平, 塩崎 直哉, 小林 大悟, 寺島 浩子, 福地 健郎 (教室)

32. 黄斑円孔と健常僚眼における無血管領域の面積比と長期視機能との関連

○安藤 拓海, 寺島 浩子, 吉田 博光, 上田 恵理子 (上田眼科・教室), 落合 竣, 福地 健郎 (教室)

33. 黄斑円孔に対する内境界膜剥離手法別のMicroperimetryによる機能評価

○寺島 浩子, 吉田 博光, 安藤 拓海, 塩崎 直哉, 野崎 耀平, 小林 大悟, 有松 真央, 福地 健郎 (教室)

34. 脳梗塞による同名半盲症例は独歩で来院する

○植木 智志, 福地 健郎 (教室)

雪明・新潟眼科フォーラムプログラム (第1回～第12回)

第1回雪明・新潟眼科フォーラム

2014年2月16日（日）9：30～15：00 『ホテル日航新潟』4階 朱鷺の間

開会の挨拶 新潟大学大学院医歯学総合研究科視覚病態学分野 教授 福地 健郎先生

【第一部】座長：新潟大学大学院医歯学総合研究科視覚病態学分野 教授 福地 健郎先生

＜1) 神経眼科・小児眼科＞

『視路疾患におけるOCTによる網膜内層厚評価』

川崎医科大学眼科学 教授 三木 淳司先生

＜2) 角膜＞

『角結膜疾患診療のポイント』

東京歯科大学市川総合病院眼科 教授 島崎 潤先生

＜3) 緑内障＞

『緑内障手術を極める』

岐阜大学大学院医学系研究科神経統御学講座眼科学分野 教授 山本 哲也先生

【第二部】座長：新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 長谷部 日先生

＜4) 感染症＞

『コンタクトレンズ関連角膜感染症』

愛媛大学医学部附属病院屈折矯正センター 講師 鈴木 崇先生

＜5) 網膜・硝子体＞

『病的近視診療の進歩』

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科眼科学 准教授 大野 京子先生

閉会の挨拶 新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 長谷部 日先生

第2回雪明・新潟眼科フォーラム

2015年2月22日（日）9：00～15：00 『朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター』2階 スノーホール

開会の挨拶 新潟大学大学院医歯学総合研究科視覚病態学分野 教授 福地 健郎先生

【第一部】座長：新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 松田 英伸先生

＜1) 神経眼科・小児眼科＞

『先天眼疾患の治療 一両眼視の獲得をめざす—』

国立成育医療研究センター 感覚器・形態外科部 眼科医員 仁科 幸子先生

＜2) 角膜＞

『角膜移植術（PKP/DALK/DSAEK/DMEK）の習得法・教育法における私の工夫』

金沢大学附属病院眼科 病院臨床准教授 小林 顯先生

座長：新潟大学大学院医歯学総合研究科視覚病態学分野 教授 福地 健郎先生

＜3) 網膜硝子体①＞

『基礎医学実験から考える網膜保護と硝子体手術』

鹿児島大学医学部眼科学教室 教授 坂本 泰二先生

＜4) 白内障・屈折矯正＞

『白内障診療ステップアップ』

筑波大学医学医療系眼科 教授 大鹿 哲郎先生

【第二部】座長：新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 長谷部 日先生

＜5) 緑内障＞

『緑内障の鑑別疾患と治療のEBM』

神戸大学大学院医学研究科外科系講座眼科学分野 教授 中村 誠先生

『6) 網膜硝子体②』

『加齢黄斑変性の病態と治療』

東京女子医科大学眼科学教室 主任教授 飯田 知弘先生
閉会の挨拶 新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 松田 英伸先生

第3回雪明・新潟眼科フォーラム

2016年2月21日(日) 9:00~15:00 『朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター』2階 スノーホール

開会の挨拶 新潟大学大学院医歯学総合研究科視覚病態学分野 教授 福地 健郎先生

【第一部】 座長:新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 松田 英伸先生

『1) 神経眼科・小児眼科』

『先天赤緑色覚異常の基礎と臨床』

滋賀医科大学眼科学講座 講師 村木 早苗先生

『2) 角膜・屈折矯正手術』

『次世代の屈折矯正手術 SMILE・Hole ICL』

北里大学医学部眼科学教室 准教授 神谷 和孝先生

座長:新潟大学大学院医歯学総合研究科視覚病態学分野 教授 福地 健郎先生

『3) 緑内障』

『視神經症としてのOCTを用いた緑内障診断』

神戸大学大学院医学研究科外科系講座眼科学分野 講師 金森 章泰先生

『4) ぶどう膜』

『注意すべき炎症性眼疾患』

横浜市立大学大学院医学研究科視覚器病態学 主任教授 水木 信久先生

【第二部】 座長:新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 長谷部 日先生

『5) 眼学』

『眼科疾患の眼学、そして、これから的眼科予防医学』

山形大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座 准教授 川崎 良先生

『6) 網膜硝子体』

『加齢黄斑変性に関する新知見と治療への展開』

東京女子医科大学眼科学教室 准講師 古泉 英貴先生

閉会の挨拶 新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 松田 英伸先生

第4回雪明・新潟眼科フォーラム

2017年2月19日(日) 9:00~15:00 『朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター』2階 スノーホール

開会の挨拶 新潟大学大学院医歯学総合研究科視覚病態学分野 教授 福地 健郎先生

【第一部】 座長:新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 長谷部 日先生

『1) 神経眼科・小児眼科』

『弱視治療のアップデート』

浜松医科大学眼科 病院教授 佐藤 美保先生

『2) 網膜硝子体』

『硝子体手術のアップデート』

横浜市立大学大学院医学研究科視覚再生外科学 教授 門之園 一明先生

座長:新潟大学大学院医歯学総合研究科視覚病態学分野 教授 福地 健郎先生

『3) 緑内障』

『緑内障診療の質を向上するために』

東北大学大学院医学系研究科神経感覚器病態学講座眼科学分野 教授 中澤 徹先生

『4) 腫瘍・形成』

『眼腫瘍に対する外科的治療の実際』

東京医科大学臨床医学系眼科学分野 主任教授 後藤 浩先生

【第二部】 座長：新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 松田 英伸先生

＜5）アレルギー＞

『アレルギー性結膜疾患の基礎と臨床』

順天堂大学医学部附属浦安病院眼科 教授 海老原 伸行先生

＜6）角膜＞

『この濁りはなんだろう？ 角膜混濁の見方と対処法』

東京大学大学院医学系研究科外科学専攻眼科学 准教授 白井 智彦先生

閉会の挨拶 新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 長谷部 日先生

第5回雪明・新潟眼科フォーラム

2018年2月18日（日）9:00～15:15 『朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター』2階 スノーホール

開会の挨拶 新潟大学大学院医歯学総合研究科視覚病態学分野 教授 福地 健郎先生

【第一部】 座長：新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 松田 英伸先生

＜1）斜視弱視・小児眼科＞

『先天眼振の診断と治療』兵庫医科大学眼科学講座 准教授 木村 亜紀子先生

＜2）角膜＞

『瞬目関連疾患－摩擦による眼表面疾患の謎に迫る』

愛媛大学医学部眼科学教室 教授 白石 敦先生

座長：新潟大学大学院医歯学総合研究科視覚病態学分野 教授 福地 健郎先生

＜3）白内障＞

『IOL位置異常眼の対処法－IOL強膜内固定術を中心に－』

順天堂大学医学部附属静岡病院眼科 教授 太田 俊彦先生

＜4）網膜内障＞

『全日本網膜内障道場』

広島大学大学院医歯薬保健学研究科統合健康科学部門視覚病態学 教授 木内 良明先生

【第二部】 座長：新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 長谷部 日先生

＜5）神経眼科＞

『視神經・頭蓋内疾患と間違いやさしい網膜疾患の診断の今』

三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座眼科学 教授 近藤 峰生先生

＜6）網膜硝子体＞

『症例で学ぶ網膜循環疾患の病態と治療戦略』

京都大学大学院医学研究科眼科学 教授 辻川 明孝先生

閉会の挨拶 新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 松田 英伸先生

第6回雪明・新潟眼科フォーラム

2019年2月17日（日）9:00～15:15 『朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター』2階 スノーホール

開会の挨拶 新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授 福地 健郎先生

【第一部】 座長：新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 長谷部 日先生

＜1）神経眼科＞

『視神経疾患の診断と治療－眼科チームを中心とした全身治療も含めて－』

東京医科大学臨床医学系眼科学分野 兼任教授 毛塚 剛司先生

＜2）網膜・硝子体＞

『強度近視と加齢黄斑変性の診療は今後どう変わらるのか』

大津赤十字病院眼科 部長 山城 健児先生

座長：新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 松田 英伸先生

＜3）角膜＞

『近未来の角膜内皮治療』

同志社大学生命医科学部 准教授 奥村 直毅先生

＜4）ぶどう膜＞

『ぶどう膜炎に対する生物製剤治療』

地域医療機能推進機構大阪病院（旧大阪厚生年金病院） 眼科主任部長 大黒 伸行先生

【第二部】 座長：新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授 福地 健郎先生

＜5）斜視弱視・小児眼科＞

『弱視診療の実際』

金沢大学医薬保健研究域医学系眼科学 杉山 能子先生

＜6）緑内障＞

『症例から学ぶ私の緑内障学』

金沢大学医薬保健研究域医学系眼科学 教授 杉山 和久先生

閉会の挨拶 新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 松田 英伸先生

第7回雪明・新潟眼科フォーラム

2020年2月23日（日）9:00～15:15 『朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター』2階 スノーホール

開会の挨拶 新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授 福地 健郎先生

【第一部】 座長：新潟大学医歯学総合病院 病院准教授 長谷部 日先生

＜1）小児眼科＞

『乳幼児の前眼部疾患ファーストステップ』

国立成育医療研究センター 感覚器・形態外科部 眼科医長 仁科 幸子先生

＜2）網膜・硝子体＞

『糖尿病網膜症～治療の進歩～』

香川大学医学部眼科学 教授 鈴間 潔先生

座長：新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授 福地 健郎先生

＜3）緑内障＞

『緑内障治療：最近の話題と我々の取り組み』

熊本大学大学院生命科学研究部眼科学講座 教授 井上 俊洋先生

＜4）ロービジョン＞

『ロービジョンケアのエッセンス』

国立研究開発法人理化学研究所・網膜再生医療研究開発プロジェクト 上級研究員 仲泊 聰先生

【第二部】 座長：新潟大学医歯学総合病院 病院准教授 松田 英伸先生

＜5）角膜＞

『オキュラーサーフェス疾患に対する治療戦略』

東邦大学医療センター大森病院眼科 教授 堀 裕一先生

＜6）医療IT＞

『新しい医療ビッグデータへのパラダイムシフト～スマホアプリを用いたクラウド型大規模臨床研究による個別医療に向けたエビデンスの創出～』

順天堂大学医学部眼科学講座 助教 猪俣 武範先生

閉会の挨拶 新潟大学医歯学総合病院 病院准教授 長谷部 日先生

第8回雪明・新潟眼科フォーラム

2021年2月21日（日）9:00～12:35 Zoomを使用したweb開催 サテライト会場：「ホテル日航新潟」4階「朱鷺」（50席）

開会の挨拶 新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授 福地 健郎先生

【第一部】 座長：新潟大学医歯学総合病院 病院准教授 松田 英伸先生

＜1）斜視・弱視＞『ケースレポートから考える斜視・小児眼科診療』

順天堂大学医学部眼科学講座 准教授 根岸 貴志先生

＜2）ぶどう膜＞『ぶどう膜炎診断のコツと治療のコツ』

大阪大学大学院医学系研究科視覚情報制御学 寄附講座准教授 丸山 和一先生

【第二部】 座長：新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授 福地 健郎先生

＜3）網膜・硝子体＞

『知っておきたい臨床ERG』

埼玉医科大学医学部眼科学 教授 篠田 啓先生

＜4）緑内障＞

『落屑緑内障について』

島根大学医学部眼科学講座 教授 谷戸 正樹先生

閉会の挨拶 新潟大学医歯学総合病院 病院准教授 長谷部 日先生

第9回雪明・新潟眼科フォーラム

2022年2月20日（日）9：00～12：35 現地開催とZoom meetingを使用したweb開催の「ハイブリッド方式」

『朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター』2階 スノーホール

開会の挨拶 新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授 福地 健郎先生

【第一部】 座長：新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 准教授 赤木 忠道先生

＜1）角膜＞

『角膜内皮障害 診断と治療』

大阪大学大学院医学研究科脳神経感覚器外科学（眼科学） 講師 相馬 剛至先生

＜2）緑内障＞

『緑内障による失明を防ぐために：難症例とその対策のアップデート』

金沢大学附属病院 病院臨床教授 東出 朋巳先生

【第二部】 座長：新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授 福地 健郎先生

＜3）ロービジョン＞

『網膜色素変性の最近の話題』

宮崎大学医学部眼科学 教授 池田 康博先生

＜4）網膜・硝子体＞

『病態から考える加齢黄斑変性の長期マネジメント』

名古屋市立大学大学院医学研究科視覚科学 教授 安川 力先生

閉会の挨拶 新潟大学医歯学総合病院 病院准教授 松田 英伸先生

第10回雪明・新潟眼科フォーラム

2023年2月19日（日）9：00～15：15 『朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター』2階 スノーホール

開会の挨拶 新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授 福地 健郎先生

【第一部】 座長：新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 准教授 赤木 忠道先生

＜1）小児眼科＞

『絶対に押さえておきたい！小児の近視抑制治療』

筑波大学医学医療系眼科 准教授 平岡 孝浩先生

＜2）腫瘍・眼形成＞

『目を護るための眼形成再建外科』

オキュロフェイシャルクリニック大阪 院長 三村 真土先生

座長：新潟大学医歯学総合病院眼科 講師 寺島 浩子先生

＜3）AI＞

『加齢黄斑変性のディープフェノタイプ研究』

京都大学大学院医学研究科眼科学 特定講師 三宅 正裕先生

＜4）網膜・硝子体＞

『黄斑手術の最近の話題』

岡山大学学術研究院医歯薬学域 眼科学 教授 森實 弘基先生

【第二部】 座長：新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授 福地 健郎先生

＜5）緑内障＞

『眼科専門医が知っておきたい緑内障診療Update 2023』

埼玉医科大学 眼科 客員教授・小江戸眼科内科 院長 庄司 拓平先生

＜6）角膜・感染症＞

『細菌性角膜炎に対する抗菌薬の使い方』

群馬大学医学部附属病院眼科 准教授 戸所 大輔先生
閉会の挨拶 新潟大学医歯学総合病院 病院准教授 松田 英伸先生

第11回雪明・新潟眼科フォーラム

2024年2月18日（日）9：00～15：15 『朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター』2階 スノーホール

開会の挨拶 新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授 福地 健郎先生
【第一部】座長 新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 准教授 赤木 忠道先生
＜1）小児眼科＞

『小児眼科診療のアップデート』
福島県立医科大学眼科学講座 講師 森 隆史先生
＜2）遺伝子＞
『迫り来る眼科ゲノム医療』
九州大学大学院医学研究院 眼病態イメージング講座 講師 秋山 雅人先生

座長 新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授 福地 健郎先生
＜3）緑内障＞

『君たちはどう生きるか。緑内障研究を通じて世界とつながる』
カリфорニア大学サンディエゴ校眼科 Assistant Project Scientist 西田 崇先生
＜4）網膜・硝子体＞

『糖尿病黄斑浮腫治療に関する最近の話題』
山口大学大学院医学系研究科 眼科学 教授 木村 和博先生
【第二部】座長 新潟大学医歯学総合病院 眼科 講師 寺島 浩子先生
＜5）角膜・感染症＞
『角結膜炎における抗菌薬点眼の使い方』
関西医科大学眼科学教室 病院教授 佐々木 香る先生
＜6）白内障＞
『患者満足度向上を目指した白内障手術戦略』
北里大学医学部眼科学 准教授 飯田 嘉彦先生
閉会の挨拶 新潟大学医歯学総合病院 眼科 講師 植木 智志先生

第12回雪明・新潟眼科フォーラム

2025年3月2日（日）9：00～12：35 『朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター』2階 スノーホール

開会の挨拶 新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授 福地 健郎先生
【第一部】座長：新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 准教授 赤木 忠道先生
＜1）ぶどう膜＞

『ぶどう膜炎診療のTips』
九州大学医学研究院眼科学分野 教授 園田 康平先生
＜2）網膜＞

『網膜中心静脈閉塞症の病態理解と最新治療方針』
京都大学大学院医学研究科 眼科学 教授 辻川 明孝先生
【第二部】座長：新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授 福地 健郎先生
＜3）緑内障＞

『緑内障滤過手術の現状と課題』
東京大学医学部 眼科学教室 教授 相原 一先生
＜4）白内障＞

『その白内障の診断、正しいですか？』
筑波大学医学医療系 眼科 教授 大鹿 哲郎先生
閉会の挨拶 新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 准教授 赤木 忠道先生

第3章

福地 健郎教授 業績集

論文／総説・解説／著書

論文

1. 関 伶子, 福地 健郎, 安藤 伸朗: Anterior chamber tube shunt to an encircling bandによる難治性緑内障の治療成績. 臨床眼科 41, 297-301, 1987.
2. 関 伶子, 福地 健郎, 江口 功一: ラット網膜血管の立体構築. Therapeutic Research, 7, 799-802, 1987.
3. 福地 健郎, 沢口 昭一, 白柏 基宏, 黒沢 明充, 岩田 和雄: ヒト, 及び各種実験動物における視神経節板の立体構造 _トリプシン消化標本の走査電顕による観察. 日本眼科学会雑誌 91 (12) 1272-1280, 1987.
4. 福地 健郎, 岩田 和雄, 白柏 基宏, 佐藤 健二:閉塞隅角緑内障におけるLaser Iridotomyの予後. 日本眼科学会雑誌, 92 (3) 534-540, 1988.
5. 福地 健郎, 田村 京子, 関 伶子, 大桃 朋子, 岩田 和雄, 佐々木 修, 小池 哲雄, 今井 渚夫: 血管新生緑内障を合併した内頸動脈閉塞の2例. 日本眼科紀要, 39 (9) 1531-1538, 1988.
6. 福地 健郎, 関 伶子, 中山 徹, 佐藤 一宣, 太田 昭弘, 黒沢 明充, 難波 克彦, 岩田 和雄: 虹彩母斑を伴う緑内障の2例. 日本眼科紀要, 40 (3), 488-496, 1989.
7. 難波 克彦, 白柏 基宏, 福地 健郎: コンピューター画像解析 (IMAGEnet) による視神経乳頭陥凹の立体計測. : 臨床眼科, 43, 535-538, 1989.
8. 白柏 基宏, 難波 克彦, 岩田 和雄, 福地 健郎: コンピューター画像解析を用いた慢性眼圧上昇サル眼の視神経乳頭の立体計測. 日本眼科学会雑誌, 93, 852-858, 1989.
9. 岩田 和雄, 福地 健郎, 白柏 基宏, 白柏 麻子, 原 浩昭: 緑内障に見られる線状出血の特性. Therapeutic Research, 10, 4224-4229, 1989.
10. 福地 健郎, 岩田 和雄: ヒト眼における球後視神経の細胞外マトリックス. 日本眼科学会雑誌, 93, 10, 62-968, 1989.
11. 福地 健郎, 白柏 基宏, 中山 徹, 岩田 和雄: Nd: YAG Laser Trabeculopuncture (YLT) の成績. 日本眼科紀要, 40 (11), 2408-2414, 1989.
12. Motohiro Shirakashi, Kazuo Iwata, Tooru Nakayama, Takeo Fukuchi: Long-term efficacy of low power argon laser trabeculoplasty. I. F. Acta Ophthalmologica, 68, 23-29, 1990.
13. 白柏 基宏, 難波 克彦, 岩田 和雄, 福地 健郎: 眼圧上昇サル眼におけるAutoradiography法による軸索輸送障害の検討. コンピューター画像解析を用いた感光銀粒子の集積分布の定量的評価. 日本眼科紀要, 41, 303-308, 1990.
14. 岩田 和雄, 福地 健郎: 視神経乳頭篩状板の解剖および免疫組織化学的アプローチ: 神経眼科, 7, 20-23, 1990.
15. 福地 健郎, 原 浩昭, 白井 知聰, 岩田 和雄: Posterior Polymorphous Dystrophy (PPMD)

- に伴う緑内障の1例. 日本眼科紀要, 41 (8), 1487-1495, 1990.
16. 福地 健郎: 正常猿眼における視神経篩状板・細胞外マトリックスの免疫組織化学的分析. 日本眼科学会雑誌, 94 (11), 1024-1030, 1990.
17. Motohiro Shirakashi, Kazuo Iwata, Tooru Nakayama, Takeo Fukuchi:Low-Power Argon Laser Trabeculoplasty. Glaucoma, 12, 51-56, 1990.
18. 大勝 康信, 福地 健郎, 福田 剛明: 上眼瞼に発生したMerkel cell tumorの1例. 日本眼科紀要, 42, 1670-1678, 1991.
19. 福地 健郎: 猿実験緑内障眼における視神経篩状板・細胞外マトリックスの免疫組織学的分析. 日本眼科学会雑誌, 95 (4), 303-310, 1991.
20. 岩田 和雄, 福地 健郎, 白柏 基宏: 網膜神経線維層の光学的屈折作用について. 日本眼光学学会誌, 12, 79-81, 1991.
21. 福地 健郎, 沢口 昭一, 原 浩昭, 岩田 和雄, 海谷 忠良: サル眼視神経篩状板におけるSulfated Proteoglycan. 日本眼科紀要, 42 (8), 780-1784, 1991.
22. 澤口 昭一, 福地 健郎, 原 浩昭:円錐角膜ボーマン膜のプロテオグリカンの異常. 日本眼科紀要, 42, 2009-2015, 1991.
23. Kazuo Iwata, Takeo Fukuchi, Akimitsu Kurosawa:The histopathologicay of the optic nerve in low-tension glaucoma. Glaucoma Update, 4, 120-124, 1991.
24. Kazuo Iwata, Motohiro Shirakashi, Takeo Fukuchi:Vascular reduction following axonal damage in glaucoma. Glaucoma Update, 4, 99-102, 1991.
25. 市辺 幹雄, 石本 恵子, 白柏 基宏, 福地 健郎: 血管新生緑内障に対する5-fluorouracil併用のTrabeculectomyの治療成績. 日本眼科紀要, 42, 610-614, 1991.
26. 岩田 和雄, 澤口 昭一, 福地 健郎: 緑内障における視神経乳頭血管網の減少. Therpeutic Research, 12, 3833-3838, 1991.
27. 原 浩昭, 澤口 昭一, 福地 健郎: コンタクトレンズ装用家兔眼における角膜上皮Lysosome 酸素活性について. 日本コンタクトレンズ学会誌, 33, 276-281, 1991.
28. 福地 健郎, 原 浩昭, 澤口 昭一, 岩田 和雄: サル眼視神経乳頭部のレクチン結合性について. あたらしい眼科, 9 (2), 329-332, 1992.
29. 福地 健郎, 澤口 昭一, 原 浩昭, 白柏 基宏, 岩田 和雄, 海谷 忠良: サル実験緑内障眼の視神経篩状板におけるSulfated Proteoglycanについて. あたらしい眼科, 9 (4), 653-656, 1992.
30. 澤口 昭一, 岩田 和雄, 難波 克彦, 福地 健郎: 正常眼圧緑内障の前房隅角の微細構造. あたらしい眼科, 9, 631-635, 1992.
31. 大井 知恵, 福地 健郎, 渡辺 穂爾: 血管新生緑内障を併発した網膜中心動脈閉塞の1例. 日本眼科紀要, 43, 1303-1309, 1992.
32. Shoichi Sawaguchi, Beatrice Yue, Takeo Fukuchi:Sulfated proteoglycans in the human lamina

- cribrosa. Investigative Ophthalmology and Visual Science, 33, 2388-2398, 1992.
33. Takeo Fukuchi, Shoichi Sawaguchi, Hiroaki Hara, Motohiro Shirakashi, Kazuo Iwata: Extracellular matrix changes of the optic nerve lamina cribrosa in monkey eyes with experimentally chronic glaucoma . Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmol, 230, 421-427, 1992.
34. 澤口 昭一, 福地 健郎, 阿部 春樹: 強膜プロテオグリカンの分布と特性. あたらしい眼科, 9, 1561-1564, 1992.
35. 福地 健郎, 沢口 昭一, 原 浩昭, 阿部 春樹, 岩田 和雄, 海谷 忠良: 実験的角膜アルカリ外傷におけるsulfated proteoglycanの変化について. 日本眼科学会雑誌, 96 (11), 1357-1365, 1992.
36. 澤口 昭一, 原 浩昭, 福地 健郎: 実験緑内障眼乳頭篩状板における“HRP” の分布. Therapeutic Research, 13, 50-4355, 1992.
37. 岩田 和雄, 澤口 昭一, 福地 健郎: 網膜固有毛細血管の退行性変化. Therapeutic Research, 13, 4356-4359, 1992.
38. 澤口 昭一, 福地 健郎, 原 浩昭: 視神経乳頭篩状板におけるプロテオグリカンの特性と分布. あたらしい眼科, 9, 55-63, 1992.
39. 福地 健郎, 沢口 昭一, 本田 徳弼, 斎藤 達也, 飯塚 裕子, 岩田 和雄, 海谷 忠良: Nanophthalmosの1例の強膜に見られたプロテオグリカンの異常について. 日本眼科学会雑誌, 97 (2), 260-267, 1993.
40. 斎藤 達也, 福地 健郎, 田沢 博: 春期カタルにおけるcorneal plaqueの病理組織学的検討. 日本眼科学会雑誌, 97, 201-209, 1993.
41. Shoichi Sawaguchi, Beatrice YJT Yue, Takeo Fukuchi: Age-related changes of sulfated proteoglycans in the human lamina cribrosa. Current Eye Research, 12, 685-692, 1993.
42. 白柏 基宏, 岩田 和雄, 澤口 昭一, 福地 健郎: マイトマイシCを併用したトラベクレクトミーの眼圧下降効果. 眼科臨床医報, 87, 1863-1866, 1993.
43. Takeo Fukuchi, Kazuo Iwata, Shoichi Sawaguchi, Toru Nakayama, Joji Watanabe: Nd:YAG laser trabeculopuncture(YLT) for glaucoma with traumatic angle recession. Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmol, 231, 571-576, 1993.
44. 澤口 昭一, 岩田 和雄, 阿部 春樹, 福地 健郎: 偽落屑眼の電子顕微鏡的観察. 臨床眼科, 47, 1941-1945, 1993.
45. Sally S. Twining, Takeo Fukuchi, Beatrice Y. J. T. Yue, Patricia M. Wilson, Xiaoye Zhou: α 1-Antichymotrypsin is present in and synthesized by the cornea(共著). Current Eye Research, 13, 433-439, 1994.
46. Sally S. Twining, Takeo Fukuchi, Beatrice Y. J. T. Yue, Patricia M. Wilson, Goran Boskovic: Corneal Synthesis of α 1-Proteinase Inhibitor(α 1-Antitrypsin) (共著). Investigative Ophthalmology & Visual Science, 35(2), 458-462, 1994.

47. Sally S. Twining, Takeo Fukuchi, Beatrice Y. J. T. Yue, Patricia M. Wilson, Xiaoye Zhou, Gerald Loushin:α 2-Macroglobulin Is Present in and Synthesized by the Cornea(共著). *Investigative Ophthalmology & Visual Science*, 35(8), 3226-3233, 1994.
48. Takeo Fukuchi, Shoichi Sawaguchi, Beatrice Y. J. T. Yue, Kazuo Iwata, Hiroaki Hara, Tadayoshi Kaiya:Sulfated Proteoglycans in the Lamina Cribrosa of Normal Monkey Eyes and Monkey Eyes with Laser-induced Glaucoma. *Exp. Eye Res.*, 58, 231-244, 1994.
49. 澤口 昭一, 阿部 春樹, 白柏 基宏, 福地 健郎: 視神経Arachnoidの膠原線維の特徴. 透過型電子顕微鏡と走査型電子顕微鏡での観察. *日本眼科紀要*, 45, 964-968, 1994.
50. Takeo Fukuchi, Beatrice Y. J. T. Yue, Joel Sugar, Sheridan Lam:Lysosomal Enzyme Activities in Conjunctival Tissues of Patients With Keratoconus. *Arch Ophthalmol*, 112, 1368-1374, 1994.
51. Shoichi Sawaguchi, Beatrice Yue, Takeo Fukuchi:The collagen fibrillar network in the human pial septa. *Current Eye Research*, 13, 433-439, 1994.
52. 澤口 昭一, 須田 生英子, 岩田 和雄, 福地 健郎: 乳頭篩状板の脆弱化について—乳頭篩板状コラーゲン立体構築—. *日本の眼科*, 65, 1415-1418, 1994.
53. 須田 生英子, 澤口 昭一, 市辺 幹雄, 福地 健郎: 眼軸伸展に伴う強膜のmatrix metalloproteinaseならびにtissue inhibitor of metalloproteinaseの発現の変化. *日本眼科学会雑誌*, 99, 23-28, 1995.
54. 澤口 昭一, 福地 健郎, 半藤 泉:円錐角膜の免疫組織化学的検討. *日本コンタクトレンズ学会誌*, 37, 97-100, 1995.
55. Lili Zhou, Takeo Fukuchi, Jean E. Lawa, Eve J. Higginbotham, Beatrice Y. J. T. Yue:Loss of Cell-Matrix Cohesiveness After Phagocytosis by Trabecular Meshwork Cells(共著). *Investigative Ophthalmology & Visual Science*, 36(5):787-795, 1995.
56. 高田 律子, 白柏 基宏, 澤口 昭一, 福地 健郎: 血管新生緑内障に対する5-Fluorouracilを併用した線維柱帶切除術の長期治療成績. *日本眼科紀要*, 46: 365-368, 1995.
57. 須田 生英子, 澤口 昭一, 岩田 和雄, 福地 健郎:猿視神経乳頭のmatrix metalloproteinase活性. *日本眼科学会雑誌*, 99 : 582-585, 1995.
58. 福地 健郎, 沢口 昭一, 阿部 春樹:ヒト眼の球後神経におけるインテグリンの分布. *あたらし眼科*, 12 (8) : 1323-1326, 1995.
59. 福地 健郎, 沢口 昭一, 原 浩昭, 岩田 和雄, 阿部 春樹, 海谷 忠良:サル実験緑内障眼の篩状板における微細構造変化. *日本眼科学会雑誌*, 99 (11) : 1222-1229, 1995.
60. 澤口 昭一, 福地 健郎, 白柏 基宏:種々の角膜疾患のけるボーマン膜膠原線維の立体構築－走査電子顕微鏡での観察－. *日本眼科紀要*, 46 : 1261-1265, 1995.
61. 中枝 智子, 白柏 基宏, 澤口 昭一, 福地 健郎:Uveitic Glaucomaに対する5-Fluorouracilを併用したトラベクレクトミーの長期治療成績. *日本眼科紀要*, 46 : 1270-1274, 1995.
62. 澤口 昭一, 阿部 春樹, 澤充, 海谷 忠良, 福地 健郎:円錐角膜ボーマン膜の立体的観察. 日

本眼科紀要, 47 : 50-52, 1996.

63. 羽入 貴子, 澤口 昭一, 阿部 春樹, 福地 健郎: 網膜芽細胞腫 3 眼におけるヘマトキシリン濃染沈着物. 日本眼科紀要, 47 : 223-226, 1996.
64. 澤口 昭一, 阿部 春樹, 福地 健郎, 須田 生英子, 白柏 基宏, 岩田 和雄: 実験サル緑内障眼における遅い軸索輸送の検討. 日本眼科学会雑誌, 100 : 132-138, 1996.
65. 山本 晋, 澤口 昭一, 市辺 幹雄, 福地 健郎: 眼球拡大, 眼軸延長に伴う強膜プロテオグリカン. 日本眼科学会雑誌, 100 : 230-234, 1996.
66. 福地 健郎, 沢口 昭一, 原 浩昭, 岩田 和雄, 阿部 春樹, 海谷 忠良: 猿実験緑内障眼の視神経節状板におけるプロテオグリカンの組織化学的性状の変化. 日本眼科紀要, 47 (4) : 386-392, 1996.
67. 船木 治子, 白柏 基宏, 福地 健郎: Axenfeld奇形を合併したPeter奇形の一例. 日本眼科紀要, 47 : 322-325, 1996.
68. 福地 健郎, 沢口 昭一, 阿部 春樹: 乳頭の解剖と組織. 臨床眼科, 50 (11) : 29-33, 1996.
69. 船木 治子, 白柏 基宏, 阿部 春樹, 福地 健郎: 血管新生緑内障に対するマイトマイシンC併用の線維柱帶切除術の眼圧下降効果. 日本眼科紀要, 47 : 1376-1380, 1996.
70. 福地 健郎, 沢口 昭一, 上田 潤, 阿部 春樹: ヒト眼の球後視神経における細胞接着性グリコプロテインの分布. 日本眼科学会雑誌, 101 (1) : 57-63, 1997.
71. R. Brent Whitelock, Takeo Fukuchi, LiLi Zhou, Sally S. Twining, Joel Sugar, Robert S. Feder, Beatrice Y. J. T. Yue: Cathepsin G, Acid Phosphatase, and α 1-Proteinase Inhibitor Messenger RNA Levels in Keratoconus Corneas.
72. Investigative Ophthalmology & Visual Science, 38(2) : 529-534, 1997.
73. 八百枝 潔, 白柏 基宏, 渡辺 穉爾, 福地 健郎: 毛様体光凝固術が奏功した閉塞隅角緑内障を併発したNanophthalmosの1例. 日本眼科紀要, 48 : 254-257, 1997.
74. 福地 健郎, 沢口 昭一, 羽入 貴子, 阿部 春樹: ヒト眼の線維柱帶における蛋白分解酵素抑制因子の発現. 日本眼科学会雑誌, 101 (3) : 265-271, 1997.
75. 橋本 薫, 白柏 基宏, 渡辺 穉爾, 福地 健郎: フィブリリン接着剤を使用した濾過胞破裂の1例. 日本眼科紀要, 48 : 487-490, 1997.
76. Joji Watanabe, Shoichi Sawaguchi, Takeo Fukuchi: Effects of mitomycin C on the expression of proliferating cell nuclear antigen after _ltering surgery in rabbits. Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmology, 235:234-240, 1997.
77. 澤口 昭一, 福地 健郎, 白柏 基宏: サル実験緑内障眼視神経乳頭のライソゾーム酵素の発現. 日本眼科紀要, 48 : 491-494, 1997.
78. 澤口 昭一, 福地 健郎, 阿部 春樹: 囊性緑内障患者視神経乳頭に観察された偽落屑様物質. 日本眼科紀要, 48 : 487-490, 1997.

79. 福地 健郎, 沢口 昭一, 渡辺 穉爾, 原 浩昭, 白柏 基宏, 阿部 春樹: 眼メラノサイトーシスを伴った発達異常緑内障の2例. 日本眼科紀要, 48 (6) : 761-765, 1997.
80. 小林 由美, 阿部 春樹, 白柏 基宏, 福地 健郎: Sturge-Weber症候群に伴う緑内障の検討. 日本眼科紀要, 48 : 328-331, 1997.
81. 久代 正行, 阿部 春樹, 白柏 基宏, 福地 健郎: 硝子体手術後の緑内障に対する線維芽細胞増殖阻害薬を併用した線維柱帯切除術の治療成績. 眼科臨床医報, 91 : 916-918, 1997.
82. 八百枝 潔, 白柏 基宏, 渡辺 穉爾, 福地 健郎: 穿孔性眼外傷後の虹彩囊腫により生じた急性緑内障発作の1例. 眼科臨床医報, 91 : 929-932, 1997.
83. 八百枝 潔, 阿部 春樹, 白柏 基宏, 福地 健郎: マイトマイシンCを併用した線維柱帯切除術後の長期眼圧下降効果. あたらしい眼科, 14, 395-398, 1997.
84. 海谷 忠良, 澤口 昭一, 福地 健郎: Chandler症候群に角膜移植を行った一例の角膜の病理組織. 日本眼科紀要, 48, 927-933, 1997.
85. 上田 潤, 澤口 昭一, 金沢 朗子, 福地 健郎: 悪性緑内障の発症とplateau iris configuration. 日本眼科学会雑誌, 101, 723-729, 1997.
86. 金沢 朗子, 白柏 基宏, 福地 健郎: マイトマイシンC併用濾過手術を行った原発先天緑内障の3例. 日本眼科紀要, 48, 1333-1337, 1997.
87. 高野 文恵, 澤口 昭一, 原 浩昭, 福地 健郎: 続発性虹彩囊腫2例の超音波生体顕微鏡所見と病理組織所見. 日本眼科紀要, 48, 1428-1433, 1997.
88. Shoichi Sawaguchi, Takeo Fukuchi, Haruki Abe, Tadayoshi Kaiya, Joel Sugar, Beatrice Y. J. T. Yue: Three-Dimensional Scanning Electron Microscopic Study of Keratoconus Corneas(共著). Arch Ophthalmol, 116, 62-68, 1998.
89. 藤井 靖, 吉澤 豊久, 上田 潤, 福地 健郎: 網膜周辺部血管異常を伴う朝顔症候群に併発した網膜剥離の1例. 眼科, 40, 221-225, 1998.
90. 八百枝 潔, 太田 亜紀子, 原 浩昭, 福地 健郎: マイトマイシンC併用トラベクレクトミーの長期眼圧下降効果. 臨床眼科, 52, 273-276, 1998.
91. 上田 潤, 澤口 昭一, 羽入 貴子, 福地 健郎: 墨汁の前房内注入と隅角光凝固によるラット緑内障モデルの作製. 日本眼科学会雑誌, 102, 239-246, 1998.
92. 佐野 友紀, 福地 健郎, 澤口 昭一: マイトマイシンC併用した線維柱帯切除術後の角膜内皮細胞の変化. 日本眼科学会雑誌, 102, 365-370, 1998.
93. Jun Ueda, Shoichi Sawaguchi, Takako Hanyu, Takeo Fukuchi: Experimental Glaucoma Model in the Rat Induced by Laser Trabecular Photocoagulation After an Intracameral of India Ink. Japanese Journal of Ophthalmology, 42, 337-344, 1998.
94. 福地 健郎, 上田 潤, 原 浩昭, 太田 亜紀子, 渡辺 穉爾, 白柏 基宏, 阿部 春樹, 澤口 昭一: 小角膜に伴う緑内障の生体計測と鑑別診断. 日本眼科学会雑誌, 102 (11), 746-751, 1998.

95. 福地 健郎, 羽入 貴子, 上田 潤, 山本 晋, 八百枝 潔, 橋本 薫, 若井 美喜子, 阿部 春樹: ヒト眼の線維柱帯細胞によるコラーゲンmRNAの発現. 日本眼科紀要, 49 (12), 1025-1029, 1998.
96. 三木 淳司, 白柏 基宏, 福地 健郎: 線維柱帯切除術後に脈絡膜剥離をきたした頸動脈海線静脈洞瘻に伴う続発緑内障の1例. 臨床眼科, 52, 1905-1908, 1998.
97. 葉山 文恵, 福地 健郎, 原 浩昭: 白内障手術長期経過後に発症したLens Particle Glaucomaの2例. 眼科紀要, 50, 782-785, 1999.
98. 福地 健郎, 関 正明, 上田 潤, 葉山 文恵, 原 浩昭, 須田 生英子, 太田 亜紀子, 船木 繁雄, 白柏 基宏, 阿部 春樹: 水晶体囊切開部の閉鎖により再発を来たした悪性緑内障の1例. 日本眼科紀要, 50 (2), 141-145, 1999
99. Shoichi Sawaguchi, Beatrice Y. J. T. Yue, Takeo Fukuchi, Haruki Abe, Kieko Suda, Tadayoshi Kaiya, Kazuo Iwata: Collagen fibrillar network in the optic nerve head of normal monkey eyes and monkey eyes with laser-induced glaucoma - A scanning electron microscopic study(共著). Current Eye Research, 18(2), 143-149, 1999.
100. 福地 健郎, 上田 潤, 羽入 貴子, 阿部 春樹, 沢口 昭一: サル実験緑内障眼の視神経乳頭部における形質転換増殖因子-6, 血小板由来増殖因子の変化. 日本眼科学会雑誌, 103 (3), 193-200, 1999.
101. Susumu Yamamoto, Shoichi Sawaguchi, Takeo Fukuchi: Three-dimensional appearance of Bowman's layer after radial keratotomy. Jornal of Cataract and Refractive Surgery, 25, 363-367, 1999.
102. 根本 大志, 福地 健郎, 原 浩昭: 脊髄髓膜瘤による水頭症に合併した先天緑内障の一例. 日本眼科紀要, 50, 146-149, 1999.
103. 松本 行弘, 原 浩昭, 白柏 基宏, 福地 健郎: ハンフリー視野計による正常眼圧緑内障の長期臨床経過. 臨床眼科, 53, 1679-1685, 1999.
104. 杉山 和歌子, 吉澤 豊久, 福地 健郎: 浅前房と網膜剥離を伴うCHARGE Associationの1例. 日本眼科紀要, 50, 879-884, 1999.
105. 松田 花織, 須田 生英子, 福地 健郎: 特異な光彩所見を呈した続発緑内障の1例. あたらしい眼科, 17, 1409-1412, 2000.
106. 福地 健郎, 阿部 春樹, 須田 生英子, 原 浩昭, 中枝 智子, 船木 繁雄, 太田 亜紀子, 白柏 基宏: 非穿孔性線維柱帯切除術の成績と問題点. 日本眼科紀要, 51 (9), 852-856, 2000.
107. 福地 健郎, 阿部 春樹, 澤口 昭一: Nanophthalmos眼強膜におけるコラーゲン線維. 日本眼科学会雑誌, 104 (10), 06-710, 2000.
108. Jun Ueda, Kelly K. Wentz-Hu, E. Lillian Cheng, Takeo Fukuchi: Ultrastructural Localization of Myocilin in Human Trabecular Meshwork Cells and Tissues. The Journal of Histochemistry & Cytochemistry, 48, 1321-1329, 2000.
109. 太田 亜紀子, 中枝 智子, 船木 繁雄, 福地 健郎: 原発先天緑内障に対する線維柱帯切開術の

- 手術成績. 眼科紀要, 51, 1031-1034, 2000.
110. 青木朗子, 福地 健郎, 葉山 文恵: 緑内障-白内障同時手術後3ヶ月を経て発症した遅発性脈絡膜出血の1例. 日本眼科紀要, 51, 1049-1052, 2000.
111. 福地 健郎, 阿部 春樹: 非穿孔性線維柱帶切除術(NPT)術式と中期成績. 眼科手術, 14(3), 311-314, 2001.
112. 福地 健郎, 阿部 春樹, 須田 生英子, 原 浩昭, 太田 亜紀子, 中枝 智子, 船木 繁雄, 白柏 基宏: 原発開放隅角緑内障眼と正常眼圧緑内障眼に対する穿孔性線維柱帶切除術と非穿孔性線維柱帶切除術の成績. 日本眼科紀要, 52(4), 274-279, 2001.
113. 佐野 友紀, 福地 健郎, 原 浩昭: 先天無光彩症に対する眼内レンズ二次挿入術後に生じた水泡性角膜症の1例. あたらしい眼科, 18, 777-780, 2001.
114. 須田 生英子, 福地 健郎, 太田 亜紀子: 非穿孔性線維柱帶切除術後濾過胞の超音波生体顕微鏡所見. 日本眼科学会雑誌, 105, 447-451, 2001.
115. Takeo Fukuchi, Jun Ueda, Haruki Abe, Shoichi Sawaguchi: Cell Adhesion Glycoproteins in the Human Lamina Cribrosa. Japanese Journal of Ophthalmology, 15, 363-367, 2001.
116. 澤田 英子, 中村 朝子, 安藤 伸郎, 福地 健郎: 糖尿病網膜症に続発する血管新生緑内障に対するKrasnov式濾過手術岩田変法. 臨床眼科, 55, 1175-1178, 2001.
117. 澤田 英子, 福地 健郎, 太田 亜紀子, 須田 生英子, 梅野 哲哉, 中枝 智子, 船木 繁雄, 原 浩昭, 白柏 基宏, 阿部 春樹: 第一次硝子体過形成遺残に伴い成人に発症した急性閉塞隅角緑内障の1例—超音波生体顕微鏡による発症メカニズムの検討—. 日本眼科学会雑誌, 105(10), 711-715, 2001.
118. 杉山 和歌子, 福地 健郎, 須田 生英子: 線維柱帶切除後の濾過胞感染症の7例. 日本眼科紀要, 52, 1016-1019, 2001.
119. 福地 健郎, 須田 生英子, 中枝 智子, 田中 陽子, 太田 亜紀子, 原 浩昭, 白柏 基宏, 阿部 春樹: 非穿孔性線維柱帶切除術の成績は術後の積極的な追加治療で改善されるか?. 日本眼科紀要, 52(12), 1016-1019, 2001.
120. Takeo Fukuchi, Jun Ueda, Takako Hanyu, Haruki Abe, Shoichi Sawaguchi: Distribution and Expression of Transforming Growth Factor- β and Platelet-derived Growth Factor in the Normal and Glaucomatous Monkey Optic Nerve Heads. Japanese Journal of Ophthalmology, 45, 592-599, 2001.
121. 須田 生英子, 福地 健郎, 太田 亜紀子: 非穿孔性線維柱帶切除術後のレーザー治療と濾過胞の変化. 日本眼科学会雑誌, 106, 77-82, 2002.
122. Takeo Fukuchi, Yuuki Hayakawa, Hiroaki Hara, Haruki Abe: Corneal Endothelial Damage After Trabeculectomy With Mitomycin C in Two Patients With Glaucoma With Cornea Guttata. Cornea, 21(3), 300-304, 2002.
123. Masaaki Seki, Hiroaki Nawa, Tetsuya Morioka, Takeo Fukuchi: Establishment of a novel enzyme-

- linked immunosorbant assay for Thy-1; quantitative assessment of neuronal degeneration. Neuroscience Letters, 329, 185-188, 2002.
124. 福地 健郎：非穿孔性線維柱帶切除術（NPT）. 興和医報, 45 (1), 9-14, 2003.
125. Miyako Sakai, Hiroshi Sakai, Yoshimi Nakamura, Takeo Fukuchi: Immunolocalization of Heat Shock Proteins in the Retina of Normal Monkey Eyes and Monkey Eyes with Laser-induced Glaucoma. Japanese Journal of Ophthalmology, 47, 42-52, 2003.
126. 須田 生英子, 福地 健郎, 原 浩昭: 2種のゲル化剤添加チモロール点眼液の比較—第一報:眼圧, 血圧, 脈拍, 使用感について—. あららしい眼科, 20, 119-122, 2003.
127. 須田 生英子, 福地 健郎, 原 浩昭: 2種のゲル化剤添加チモロール点眼液の比較—第二報:眼圧日内変動について—. あららしい眼科, 20, 123-125, 2003.
128. 福地 健郎, 上田 潤, 阿部 春樹: 正常眼圧緑内障眼の視神経乳頭における病理組織変化. 臨床眼科, 57 (1), 9-15, 2003.
129. 佐々木 亮, 須田 生英子, 福地 健郎: 放射状角膜切開術後に発症したステロイド緑内障の1例. 日本眼科学会雑誌, 107, 213-218, 2003.
130. Masaaki Seki, Hiroaki Nawa, Takeo Fukuchi: BDNF is Upregulated by Postnatal Development and Visual Experience: Quantitative and Immunohistochemical Analyses of BDNF in the Rat Retina. Investigative Ophthalmology & Visual Science, 44, 3211-3218, 2003.
131. 福島 淳志, 白柏 基宏, 八百枝 潔, 福地 健郎: 健常眼における塩酸ブナゾシン点眼の視神経乳頭微小循環への影響. あららしい眼科, 20, 1173-1175, 2003.
132. 荒木 豊, 福地 健郎, 須田 生英子: 濾過胞再建術を行ったOverhanging Blebの3例. あららしい眼科, 21, 820-824, 2004.
133. 須田 生英子, 福地 健郎, 八百枝 潔: Pressure Phosphene Tonometer ProviewTMの使用方法に関する検討. あららしい眼科, 21, 671-674, 2004.
134. 中村 裕介, 笹川 智幸, 福地 健郎: 真性小眼球症に発症した原田病による続発閉塞隅角緑内障の1例. あららしい眼科, 21, 1085-1088, 2004.
135. 澤田 英子, 福地 健郎, 須田 生英子: 原発閉塞隅角緑内障症例における生体計測. あららしい眼科, 21, 687-689, 2004.
136. 梅野 哲哉, 福地 健郎, 太田 亜紀子: 内頸動脈閉塞症に伴う血管新生緑内障の1例. 日本眼科紀要, 55, 889-894, 2004.
137. 植木 智志, 福地 健郎, 船木 繁雄: 無縫合白内障手術後の輪状毛様体脈略膜剥離による急性閉塞隅角緑内障の1例. 日本眼科学会雑誌, 108, 219-225, 2004.
138. 梅野 哲哉, 福地 健郎, 須田 生英子: 塩酸ブナゾシン点眼の眼圧日内変動に対する効果. あららしい眼科, 21, 687-689, 2004.
139. Masaaki Seki, Takayuki Tanaka, Hiroaki Nawa, Takeo Fukuchi: Involvement of Brain-Derived

- Neurotrophic Factor in Early Retinal Neuropathy of Streptozotocin-Induced Diabetes in Rats. *Diabetes*, 53, 2412-2419, 2004.
140. Masaaki Seki, Takeo Fukuchi, Takayuki Tanaka: Quantitative Analyses of mRNA and Protein Levels of Neurotrophin-3 in the Rat Retina During Postnatal Development and Aging. *Japanese Journal of Ophthalmology*, 48, 460-464, 2004.
141. 関 正明, 武井 延之, 那波 宏之, 福地 健郎: 網膜における神経栄養因子の発現_実験緑内障眼における脳由来神経栄養因子の定量的解析_. *緑内障*, 14, 21-24, 2004.
142. Tomoyo Funayama, Karin Ishikawa, Yuichiro Otake, Tomihiko Tanino, Daijiro Kurosaka, Itaru Kimura, Kotaro Suzuki, Hidenao Ideta, Kenji Nakamoto, Noriko Yasuda, Takuro Fujimaki, Akira Murakami, Ryo Asaoka, Yoshihiro Hotta, Hidenobu Tanihara, Takashi Kanamoto, Hiromu Mishima, Takeo Fukuchi, Haruki Abe, Takeshi Iwata, Naoki Shimada, Jun Kudoh, Nobuyoshi Shimizu, Yukihiko Mashima: Variants in Optineurin Gene and Their Association with Tumor Necrosis Factor- α Polymorphisms in Japanese Patients with Glaucoma(共著). *Investigative Ophthalmology & Visual Science*, 45(12), 4359-4367, 2004.
143. Seki M, Tanaka T, Matsuda H, Togano T, Hashimoto K, Ueda J, Fukuchi T, Abe H. :Topically administered timolol and dorzolamide reduce intraocular pressure and protect retinal ganglion cells in a rat experimental glaucoma model. *Br J Ophthalmol.*, 89(4), 504-507, 2005.
144. 米川 婦美子, 須田 生英子, 福地 健郎: 瞳孔閉鎖により急性閉塞隅角緑内障を発症したAxenfeld-Rieger症候群の1例. *日本眼科紀要*, 56, 138-141, 2005.
145. 中村 真太郎, 上田 潤, 福地 健郎: 線維柱帶切除術・白内障手術同時施行後に網様体解離を発症し, 患者自身による眼球マッサージがその誘因として考えられた3例. *あたらしい眼科*, 22, 245-248, 2005.
146. Kouhei Hashizume, Yukihiko Mashima, Tomoyo Fumayama, Yuichiro Otake, Itaru Kimura, Kazuhide Yoshida, Karin Ishikawa, Noriko Yasuda, Takuro Fujimaki, Ryo Asaoka, Takahisa Koga, Takashi Kanamoto, Takeo Fukuchi, Koichi Miyaki, The Glaucoma Gene Research Group, 2005. : Genetic Polymorphisms in the Angiotensin II Receptor Gene and Their Association with Open-Angle Glaucoma in a Japanese Population(共著). *Investigative Ophthalmology & Visual Science*, 46(6), 1993-2001.
147. Seki M, Tanaka T, Sakai Y, Fukuchi T, Abe H, Nawa H, Takei N: Müller Cells as a source of brain-derived neurotrophic factor in the retina: noradrenaline upregulates brain-derived neurotrophic factor levels in cultured rat Müller cells. *Neurochem Res.*, 30(9), 1163-1170, 2005.
148. 福島 高子, 福地 健郎, 須田 生英子, 他: 中間部ぶどう膜炎に生じた続発慢性閉塞隅角緑内障の1例. *あたらしい眼科*, 22, 1561-1565, 2005.
149. 原 浩昭, 白柏 基宏, 福地 健郎, 他: 塩酸レボブノロール点眼液とラタノプロスト点眼液の併用による眼圧下降効果. *あたらしい眼科*, 22, 677-681, 2005.
150. 福地 健郎, 小川 亜希子, 福島 淳志, 他: 血管新生緑内障症例に対するラタノプロスト点眼に

よる眼圧経過. あたらしい眼科, 22 (11), 1557-1560, 2005.

151. Karin Ishikawa, Tomoyo Funayama, Yuichiro Ohtake, Itaru Kimura, Hidenao Ideta, Kenji Nakamoto, Noriko Yasuda, Takeo Fukuchi, Takuro Fujimaki, Akira Murakami, Ryo Asaoka, Yoshihiro Hotta, Takashi Kanamoto, Hidenobu Tanihara, Koichi Miyaki, Yukihiko Mashima: Association between glaucoma and gene polymorphism of endothelin type A receptor(共著). Molecular Vision, 11, 431-437, 2005.
152. 石井 雅子, 張替 涼子, 白井 知聰, 福地 健郎, 阿部 春樹: ロービジョン者の羞明と遮光眼鏡の効果 _CAT2000 による検討. 日本眼科紀要, 56 (12), 971-976, 2005.
153. Yoko Inagaki, Yukihiko Mashima, Tomoyo Funayama, Yuichiro Ohtake, Nobuo Fuse, Noriko Yasuda, Takeo Fukuchi, Akira Murakami, Yoshihiro Hotta: Paraoxonase 1 gene polymorphisms influence clinical features of open-angle glaucoma(共著). Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmol, 244, 984-990, 2006.
154. Takeo Fukuchi, Glaucoma Gene Research Group: Mitochondrial DNA Mutations with Leber's Hereditary Optic Neuropathy in Japanese Patients with Open-Angle Glaucoma(共著). Jpn J Ophthalmol, 50, 128-134, 2006.
155. Yoko Inagaki, Yukihiko Mashima, Nobuo Fuse, Tomoyo Funayama, Yuichiro Ohtake, Noriko Yasuda, Akira Murakami, Yoshihiro Hotta, Takeo Fukuchi, Kazuo Tsubota: Polymorphism of β -adrenergic receptors and susceptibility to open-angle glaucoma(共著). Molecular Vision, 12, 673-680, 2006.
156. Takeo Fukuchi, Jun Ueda, Kiyoshi Yaoeda, Kieko Suda, Masaaki Seki, Haruki Abe: Comparison of Fornix- and Limbus-Based Conjunctival Flaps in Mitomycin C Trabeculectomy with Laser Suture Lysis in Japanese Glaucoma Patients. Jpn J Ophthalmol, 50, 338-344, 2006.
157. 福地 健郎, 須田 生英子, 田中 陽子, 他: 原発開放隅角緑内障(広義)に対する超音波乳化吸引術・眼内レンズ挿入術・マイトマイシンC(MMC)トラベクレクトミー・トリプル手術(レクトミートリプル手術)の成績と問題点. 日本眼科紀要, 57 (9), 672-677, 2006.
158. Takeo Fukuchi, Jun Ueda, Kiyoshi Yaoeda, Kieko Suda, Masaaki Seki, Haruki Abe: The Outcome of Mitomycin C Trabeculectomy and Laser Suture Lysis Depends on Postoperative Management. Jpn J Ophthalmol, 50, 455-459, 2006.
159. Tomoyo Funayama, Yukihiko Mashima, Yuichiro Ohtake, Karin Ishikawa, Nobuo Fuse, Noriko Yasuda, Takeo Fukuchi, Akira Murakami, Yoshihiro Hotta, Naoki Shimada, The Glaucoma Gene Research Group: SNPs and Interaction Analyses of Noelin 2, Myocilin, and Optineurin Genes in Japanese Patients with Open-Angle Glaucoma(共著). Investigative Ophthalmology & Visual Science, 47(12), 5368-5375, 2006.
160. 澤田 英子, 福地 健郎, 須田 生英子, 他: 原発閉塞隅角緑内障症と小眼球症における生体計測. あたらしい眼科, 23 (10), 1373-1375, 2006.
161. Takeo Fukuchi, Kieko Suda, Tomoko Nakatsue, Hiroaki Hara, Haruki Abe: Midterm Results and

- the Problems of Nonpenetrationg Lamellar Trabeculectomy with Mitomycin C for Japanese Glaucoma Patients. *Jpn J Ophthalmol*, 51, 34-40, 2007.
162. Hayama F, Fukuchi T, Seki M, Matsuda H, Ueda J, Abe H. :Adenovirus-mediated gene transfer of MMP-2 into cultured porcine trabecular meshwork cells. *Acta Medica et Biologica*, 55(3), 81-86, 2007.
163. 道本 修一郎, 福地 健郎, 尾山 徳秀, 他: 3 種類の小型げっ歯類におけるカニュレーション法による眼内圧とTonoLab[®]による眼圧測定の相関. *あたらしい眼科*, 24 (5, 688-690), 2007.
164. 森山 恵, 福地 健郎, 八百枝 潔, 他:早発型発達緑内障の視力予後. *日本眼科紀要*, 58, 676-679, 2007.
165. Shibuya E, Meguro A, Ota M, Kashiwagi K, Mabuchi F, Iijima H, Kawase K, Yamamoto T, Nakamura M, Negi A, Sagara T, Nishida T, Inatani M, Tanihara H, Aihara M, Araie M, Fukuchi T, Abe H, Higashide T, Sugiyama K, Kanamoto T, Kiuchi Y, Iwase A, Ohno S, Inoko H, Mizuki N: Association of Toll-like receptor 4 gene polymorphisms with normal tension glaucoma. *Invest Ophthalmol Vis Sci.*, 49(10), 4453-4457, 2008.
166. Hideko Sawada, Takeo Fukuchi, Haruki Abe:Oxidative Stress Markers in Aqueous Humor of Patients with Senile Cataracts. *Current Eye Research*, 34(1), 36-41, 2009.
167. Takeo Fukuchi, Hideko Sawada, Masaaki Seki, Tokuhide Oyama, Hiroyuki Cho, Haruki Abe: Changes of Scleral Sulfated Proteoglycans in Three Cases of Nanophthalmos. *Japanese Journal of Ophthalmology*, 53, 171-175, 2009.
168. Kamio M, Meguro A, Ota M, Nomura N, Kashiwagi K, Mabuchi F, Iijima H, Kawase K, Yamamoto T, Nakamura M, Negi A, Sagara T, Nishida T, Inatani M, Tanihara H, Aihara M, Araie M, Fukuchi T, Abe H, Higashide T, Sugiyama K, Kanamoto T, Kiuchi Y, Iwase A, Ohno S, Inoko H, Mizuki N. :Investigation of the association between the GLC3A locus and normal tension glaucoma in Japanese patients by microsatellite analysis. *Clinical Ophthalmology*, 3, 183-188, 2009.
169. Kayo Nakamura, Masao Ota, Akira Meguro, Naoko Nomura, Kenji Kashiwagi, Fumihiro Mabuchi, Hiroyuki Iijima, Kazuhide Kawase, Tetsuya Yamamoto, Makoto Nakamura, Akira Negi, Takeshi Sagara, Teruo Nishida, Masaru Inatani, Hidenobu Tanihara, Makoto Aihara, Makoto Araie, Takeo Fukuchi, Haruki Abe, Tomomi Higashide, Kazuhisa Sugiyama, Takashi Kanamoto, Yoshiaki Kiuchi, Aiko Iwase, Shigeaki Ohno, Hidetoshi Inoko, Nobuhisa Mizuki:Association of microsatellite polymorphisms of the GPDSI locus with normal tension glaucoma in the Japanese population. *Clinical Ophthalmology*, 3, 307-312, 2009.
170. Takeo Fukuchi, Kieko Suda, Hidenobu Mtsuda, Jun Ueda, Haruki Abe:Secondary Acute Angle Closure with Spontaneous Suprachoroidal Hemorrhage Suspected by Ultrasound Biomicroscopic Examination. *Japanese Journal of Ophthalmology*, 53(6), 61-663, 2009.
171. Yasuhiro Sakai, Takayuki Tanaka, Masaaki Seki, Shinya Okuyama, Takeo Fukuchi, Kanato Yamagata, Nobuyuki Takei, Hiroyuki Nawa, Haruki Abe:Cyclooxygenase-2 plays a critical role in retinal ganglion cell death after transient ischemia: Real-time monitoring of RGC survival using

- Thy-1-EGFP transgenic mice. *Neuroscience Research*, 65, 319-325, 2009.
172. Jutaro Nakamura, Akira Meguro, Masao Ota, Eiichi Nomura, Tadayuki Nishide, Kenji Kashiwagi, Fumihiko Mabuchi, Hiroyuki Iijima, Kazuhide Kawase, Tetsuya Yamamoto, Makoto Nakamura, Akira Negi, Takeshi Sagara, Teruo Nishida, Masaru Inatani, Hidenobu Tanihara, Makoto Aihara, Makoto Araie, Takeo Fukuchi, Haruki Abe, Tomomi Higashide, Kazuhisa Sugiyama, Takashi Kanamoto, Yoshiaki Kiuchi, Aiko Iwase, Shigeaki Ohno, Hidetoshi Inoko, Nobuhisa Mizuki: Association of toll-like receptor 2 gene polymorphisms with normal tension glaucoma. *Molecular Vision*, 15, 2905-2910, 2009.
173. Hideko Sawada, Takeo Fukuchi, Takayuki Tanaka, Haruki Abe: Tumor Necrosis Factor- α Concentrations in the Aqueous Humor of Patients with Glaucoma. *Investigative Ophthalmology & Visual Science*, 51(2), 903-906, 2010.
174. Kaori Murakami, Akira Meguro, Masao Ota, Tomoko Shiota, Naoko Nomura, Kenji Kashiwagi, Fumihiko Mabuchi, Hiroyuki Iijima, Kazuhide Kawase, Tetsuya Yamamoto, Makoto Nakamura, Akira Negi, Takeshi Sagara, Teruo Nishida, Masaru Inatani, Hidenobu Tanihara, Makoto Aihara, Makoto Araie, Takeo Fukuchi, Haruki Abe, Tomomi Higashide, Kazuhisa Sugiyama, Takashi Kanamoto, Yoshiaki Kiuchi, Aiko Iwase, Shigeaki Ohno, Hidetoshi Inoko, Nobuhisa Mizuki: Analysis of microsatellite polymorphisms within the GLC1F locus in Japanese patients with normal tension glaucoma. *Molecular Vision*, 16, 462-466, 2010.
175. Fukuchi T, Wakai K, Suda K, Nakatsue T, Sawada H, Hara H, Ueda J, Tanaka T, Yamada A, Abe H.: Incidence, severity and factors related to drug-induced keratoepitheliopathy with glaucoma medications. . *Clinical Ophthalmology*, 26(4), 203-209, 2010.
176. Fukuchi T, Matsuda H, Ueda J, Yamada A, Suda K, Abe H. :Corneal lamellar grafting to repair late complications of mitomycin C trabeculectomy. . *Clinical Ophthalmology*, 26(4), 197-202, 2010.
177. 福地 健郎, 末武 亜紀, 張 大行, 他:巨大なOverhanging Blebの1例に対する乾燥羊膜併用濾過胞再建術. *眼科手術*, 23, 619-624, 2010.
178. 芳野 高子, 福地 健郎, 須田 生英子, 他:中間部ぶどう膜炎既往眼に生じた続発慢性閉塞隅角緑内障の1例. *あたらしい眼科*, 22, 1561-1565, 2010.
179. Misa Suzuki, Akira Meguro, Masao Ota, Eiichi Nomura, Tetsuo Kato, Naoko Nomura, Kenji Kashiwagi, Fumihiko Mabuchi, Hiroyuki Iijima, Kazuhide Kawase, Tetsuya Yamamoto, Makoto Nakamura, Akira Negi, Takeshi Sagara, Teruo Nishida, Masaru Inatani, Hidenobu Tanihara, Makoto Aihara, Makoto Araie, Takeo Fukuchi, Haruki Abe, Tomomi Higashide, Kazuhisa Sugiyama, Takashi Kanamoto, Yoshiaki Kiuchi, Aiko Iwase, Shigeaki Ohno, Hidetoshi Inoko, Nobuhisa Mizuki: Genotyping HLA-DRB1 and HLA-DQB1 alleles in Japanese patients with normal tension glaucoma. *Molecular Vision*, 16, 1874-1879, 2010.
180. Takeo Fukuchi, Takaiko Yoshino, Hideko Sawada, Masaaki Seki, Tetsuya Togano, Takayuki Tanaka, Jun Ueda, Haruki Abe: Progression rate of total, and upper and lower visual field defects in open-angle glaucoma patients. *Clinical Ophthalmology*, 4, 1315-1323, 2010.

181. 福地 健郎, 芳野 高子, 関 正明, 他: 緑内障薬物治療の改良と広義・原発開放隅角緑内障眼の経過眼圧値の変化. 眼科臨床紀要, 4 (3), 209-215, 2011.
182. 坂上 悠太, 福地 健郎, 関 正明, 他: 落屑緑内障眼の角膜内皮細胞所見の検討. あたらしい眼科, 28 (3), 430-434, 2011.
183. Fukuchi Takeo, Ueda Jun, Nakatsue Tomoko, Suda Kieko, Hara Hiroaki, Abe Haruki: Trabeculotomy combined with phacoemulsification, intraocular lens implantation and sinusotomy for exfoliation glaucoma. Japanese Journal of Ophthalmology, 55(3), 205-212, 2011.
184. 末武 亜紀, 福地 健郎, 芳野 高子, 他: Overhanging Bleb 再建術前後の角膜乱視, 矯正視力および眼圧の検討. 眼科手術, 24, 361-365, 2011.
185. Sawada H, Fukuchi T, Abe H.: Evaluation of the relationship between quality of vision and visual function in Japanese glaucoma patients. Clinical Ophthalmology, 5, 259-267, 2011.
186. Sawada Hideko, Fukuchi Takeo, Abe Haruki: Evaluation of the relationship between quality of vision and the visual function index in Japanese glaucoma patients. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol., 20, 2011.
187. 市村 美香, 福地 健郎, 古橋 美帆, 他: 早発型発達緑内障(先天緑内障)眼に対する視能矯正とその成績. 眼科臨床紀要, 4 (12), 1141-1146, 2011.
188. 古橋 美帆, 福地 健郎, 市村 美香, 他: 中心角膜厚測定値の測定方法による違いについて. あたらしい眼科, 29 (4), 541-544, 2012.
189. Seki M, Fukuchi T, Ueda J, Suda K, Nakatsue T, Tanaka Y, Togano T, Yamamoto S, Hara H, Abe H.: Nanophthalmos: quantitative analysis of anterior chamber angle configuration before and after cataract surgery. Br J Ophthalmol. 96(8):1108-16. 2012.
190. Yoshino H, Seki M, Ueda J, Yoshino T, Fukuchi T, Abe H.: Fibrin membrane pupillary-block glaucoma after uneventful cataract surgery treated with intracameral tissue plasminogen activator: a case report. BMC Ophthalmol. 20;12:3. 2012.
191. Takano Y, Shi D, Shimizu A, Funayama T, Mashima Y, Yasuda N, Fukuchi T, Abe H, Ideta H, Zheng X, Shiraishi A, Ohashi Y, Nishida K, Nakazawa T, Fuse N.: Association of Toll-like receptor 4 gene polymorphisms in Japanese subjects with primary open-angle, normal-tension, and exfoliation glaucoma. Am J Ophthalmol. ;154(5):825-832. e1. 2012.
192. 石井 雅子, 福地 健郎, 張替 涼子, 他: 緑内障患者の読書評価 MNREAD-Jによる検討. 眼科臨床紀要 5 (1) 14-20, 2012.
193. 末武 亜紀, 福地 健郎, 田中 隆之, 他: Patient-Centered Communication (PCC) Toolとしての緑内障点眼治療アンケート. あたらしい眼科29 (7): 969-974, 2012.
194. Fukuchi T.: Current trend of glaucoma medication with various eye drops. Nippon Ganka Gakkai Zasshi. 117(10):781-3. 2013.
195. Seki M, Yamamoto S, Abe H, Fukuchi T.: Modified ab externo method for introducing 2

- polypropylene loops for scleral suture fixation of intraocular lenses. J Cataract Refract Surg. 39(9) :1291-6. 2013.
196. Shi D, Funayama T, Mashima Y, Takano Y, Shimizu A, Yamamoto K, Mengkegale M, Miyazawa A, Yasuda N, Fukuchi T, Abe H, Ideta H, Nishida K, Nakazawa T, Richards JE, Fuse N. : Association of HK2 and NCK2 with normal tension glaucoma in the Japanese population. PLoS One. 8(1) :e54115. 2013.
197. Ishii M, Seki M, Harigai R, Abe H, Fukuchi T. :Reading performance in patients with glaucoma evaluated using the MNREAD charts. Jpn J Ophthalmol. 57(5) :471-4. 2013.
198. Yoshino T, Fukuchi T, Togano T, Seki M, Ikegaki H, Abe H. :Eyelid and eyelash changes due to prostaglandin analog therapy in unilateral treatment cases. Jpn J Ophthalmol. 57(2) :172-8. 2013.
199. Ishii M, Seki M, Harigai R, Abe H, Fukuchi T. :Comparison between binocular and monocular reading ability and its relation with central visual field sensitivity in glaucoma patients. Nippon Ganka Gakkai Zasshi. 117(11) :925-30. 2013.
200. Fukuchi T, Yoshino T, Sawada H, Seki M, Togano T, Tanaka T, Ueda J, Abe H. :The relationship between the mean deviation slope and follow-up intraocular pressure in open-angle glaucoma patients. J Glaucoma. 22(9) :689-97. 2013.
201. 本間 友里恵, 張替 涼子, 石井 雅子, 阿部 春樹, 福地 健郎 :新潟大学ロービジョン外来における緑内障患者の受診状況. あたらしい眼科30 (7) 1029-1033, 2013.
202. 坂上 悠太, 福地 健郎, 田中 隆之, 他 :トラベクレクトミー既往眼の白内障手術後の眼圧経過. 眼科手術26 (4) : 637-642, 2013.
203. 大湊 純, 尾山 徳秀, 張 大行, 江口 功一, 福地 健郎 :原発性上皮型眼瞼部悪性腫瘍の切除後の再建術についての検討. 臨床眼科67 (8) :1295-1298, 2013.
204. 松浦 将人, 石井 雅子, 張替 涼子, 福地 健郎 :ロービジョンケアによって就労継続が可能であった原発開放隅角緑内障の1例. 新潟医学会雑誌127 (8) :427-432, 2013.
205. 石井 雅子, 関 正明, 張替 涼子, 阿部 春樹, 福地 健郎 :緑内障患者における両眼視および単眼視での読書能力と中心視野感度の関係. 日本眼科学会雑誌117 (11) : 925-930, 2013.
206. Sawada H, Yoshino T, Fukuchi T, Abe H. :Assessment of the vision-specific quality of life using clustered visual field in glaucoma patients. J Glaucoma. 23(2) :81-7. 2014.
207. Sakaue Y, Ueda J, Seki M, Tanaka T, Togano T, Yoshino T, Fukuchi T. :Evaluation of the new digital goldmann applanation tonometer for measuring intraocular pressure. J Ophthalmol. 2014: 461681. 2014.
208. Igarashi R, Togano T, Sakaue Y, Yoshino T, Ueda J, Fukuchi T. :Effect on intraocular pressure of switching from latanoprost and travoprost monotherapy to timolol fixed combinations in patients with normal-tension glaucoma. J Ophthalmol. 2014:720385. 2014.
209. Seki M, Fukuchi T, Yoshino T, Ueda J, Hasebe H, Ueki S, Oyama T, Fukushima A, Abe H. :

- Secondary glaucoma associated with bilateral complete ring cysts of the ciliary body. *J Glaucoma*. 23(7):477-81. 2014.
210. 寺島 浩子, 長谷部 日, 福島 淳志, 佐々木 亮, 松岡 尚氣, 高田 律子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 福地 健郎: 黄斑剥離を伴う裂孔原性網膜剥離の長期視力予後. *眼科手術*27 (1): 112-117, 2014.
211. 石井 雅子, 落合 竣, 松浦 将人, 畑瀬 哲尚, 植木 智志, 羽入 貴子, 福地 健郎: 眼科健診から専門医を受診した小児の検討. *眼科臨床紀要* 7 (2) : 131-135, 2014.
212. Matsuoka N, Hasebe H, Mayama T, Fukuchi T. :Sub-Tenon Injections of Triamcinolone Acetonide Had Limited Effect on Cystoid Macular Edema Secondary to Nanoparticle Albumin-Bound-Paclitaxel(Abraxane). *Case Rep Ophthalmol Med*. 181269. 2015.
213. 今井 和行, 澤田 英子, 福地 健郎: うつむき位超音波生体顕微鏡検査を施行したレーザー虹彩切開術後に角膜内皮細胞が減少しているプラトー虹彩の2症例 *日本眼科学会雑誌*119 (2) : 68-76, 2015.
214. 中野 里絵子, 松岡 尚氣, 松田 英伸, 長谷部 日, 酒井 康弘, 福地 健郎: 新潟大学における急性網膜壞死症例の検討. *臨床眼科*69 (7) : 981-985, 2015.
215. 中野 之, 長谷部 日, 松岡 尚氣, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 上田 恵理子, 佐藤 弥生, 福地 健郎: 網膜色素線条に脈絡膜新生血管を合併した家族例. *臨床眼科*69 (7) : 1057-1061, 2015.
216. 八百枝 潔, 福島 淳志, 白柏 基宏, 梅野 哲哉, 福地 健郎: 測定環境の変化に伴う原発開放隅角縁内障(広義)患者の眼圧変動. *日本眼科学会雑誌*119 (7) : 451-456, 2015.
217. 松岡 尚氣, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎: 抗VEGF薬の硝子体内注射と後部硝子体剥離の発症頻度. *眼科臨床紀要* 8 (10) : 730-733, 2015.
218. Nishisako M, Meguro A, Nomura E, Yamane T, Takeuchi M, Ota M, Kashiwagi K, Mabuchi F, Iijima H, Kawase K, Yamamoto T, Nakamura M, Negi A, Sagara T, Nishida T, Inatani M, Tanihara H, Aihara M, Araie M, Fukuchi T, Abe H, Higashide T, Sugiyama K, Kanamoto T, Kiuchi Y, Iwase A, Chin S, Ohno S, Inoko H, Mizuki N. :SLC1A1 Gene Variants and Normal Tension Glaucoma: An Association Study. *Ophthalmic Genet*. 37(2):194-200. 2016.
219. Hokari M, Yokoseki A, Arakawa M, Saji E, Yanagawa K, Yanagimura F, Toyoshima Y, Okamoto K, Ueki S, Hatase T, Ohashi R, Fukuchi T, Akazawa K, Yamada M, Kakita A, Takahashi H, Nishizawa M, Kawachi I. :Clinicopathological features in anterior visual pathway in neuromyelitis optica. *Ann Neurol*. 79(4):605-24. 2016.
220. Yaoeda K, Fukushima A, Shirakashi M, Fukuchi T. : Comparison of intraocular pressure adjusted by central corneal thickness or corneal biomechanical properties as measured in glaucomatous eyes using noncontact tonometers and the Goldmann applanation tonometer. *Clin Ophthalmol*. 11: 10:829-34. 2016.
221. Kashiwagi K, Aihara M, Inatani M, Iwase A, Kawase K, Sugiyama K, Nakazawa T, Nakamura M, Fukuchi T, Yoshitomi T, Araie M. :Current Status of Glaucoma-related Data Management and

- Efforts toward Data Standardization. Nippon Ganka Gakkai Zasshi. 120(8):540-7. 2016.
222. Yoshino T, Fukuchi T, Togano T, Sakaue Y, Seki M, Tanaka T, Ueda J. :Rate of progression of total, upper, and lower visual field defects in patients with open-angle glaucoma and high myopia. Jpn J Ophthalmol. 60(2):78-85. 2016.
223. Hasebe H, Matsuoka N, Terashima H, Sasaki R, Ueda E, Fukuchi T. :Restoration of the Ellipsoid Zone and Visual Prognosis at 1 Year after Surgical Macular Hole Closure. J Ophthalmol. 2016: 1769794. 2016.
224. 八百枝 潔, 福島 淳志, 白柏 基宏, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 福地 健郎:原発開放隅角緑内障眼における中心角膜厚と角膜生体力学的特性による眼圧値の補正. 臨床眼科 70 (3) : 323-329, 2016.
225. 松田 英伸, 酒井 康弘, 上田 恵理子, 福地 健郎:内眼炎所見を合併した多発性後極部網膜色素上皮症(MPPE)の1例. 臨床眼科70 (5) : 681-687, 2016.
226. 宮本 大輝, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 佐々木 藍季子, 福武 慈, 本間 友里恵, 福地 健郎:マイクロチューブシャント(エクスプレス)を用いた濾過手術後の角膜内皮細胞変化. あたらしい眼科33 (11) : 1645-1650, 2016.
227. Aihara M, Adachi M, Matsuo H, Togano T, Fukuchi T, Sasaki N:JAC Study group †. Additive effects and safety of fixed combination therapy with 1% brinzolamide and 0.5% timolol versus 1% dorzolamide and 0.5% timolol in prostaglandin-treated glaucoma patients. Acta Ophthalmol. 95 (8):e720-e726. 2017.
228. Kunitatsu-Sanuki S, Iwase A, Araie M, Aoki Y, Hara T, Fukuchi T, Udagawa S, Ohkubo S, Sugiyama K, Matsumoto C, Nakazawa T, Yamaguchi T, Ono H. :The role of specific visual subfields in collisions with oncoming cars during simulated driving in patients with advanced glaucoma. Br J Ophthalmol. 101(7):896-901. 2017.
229. Igarashi R, Ochiai S, Sakaue Y, Suetake A, Iikawa R, Togano T, Miyamoto F, Miyamoto D, Fukuchi T. : Optical coherence tomography angiography of the peripapillary capillaries in primary open-angle and normal-tension glaucoma. PLoS One. 15;12(9):e0184301. 2017.
230. Murata N, Miyamoto D, Togano T, Fukuchi T. :Evaluating Silent Reading Performance with an Eye Tracking System in Patients with Glaucoma. PLoS One. 2017 Jan 17;12(1):e0170230.
231. 福武 慈, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 五十嵐 遼子, 長谷部 日, 福地 健郎:Soemmerring輪を伴う続発閉塞隅角症の2例. あたらしい眼科34 (7) : 1054-1059, 2017.
232. 梅野 哲哉, 平島みほ, 末武 亜紀, 坂上 悠太, 飯川 龍, 本間 友里恵, 福地 健郎: Humphrey視野計10-2 プログラム異常点数と黄斑部網膜内層厚セクター判定との相関. あたらしい眼科34 (10) : 1465-1469, 2017.
233. 本間 友里恵, 梅野 哲哉, 宮本 大輝, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 福地 健郎:広義・原発開放隅角緑内障眼の中心窓閾値と矯正視力, 傍中心窓視野感度閾値の相関. あたらしい眼科34 (11) : 1617-1621, 2017.

234. Ominato J, Fukuchi T, Sato A, Yamaguchi N, Kobayashi K, Cho H, Oyama T, Ajioka Y. :The Role of Mutation Rates of GNAQ or GNA11 in Cases of Uveal Melanoma in Japan. *Appl Immunohistochem Mol Morphol.* 26(9) :658-663. 2018.
235. Udagawa S, Ohkubo S, Iwase A, Susuki Y, Kunimatsu-Sanuki S, Fukuchi T, Matsumoto C, Ohno Y, Ono H, Sugiyama K, Araie M. :The effect of concentric constriction of the visual field to 10 and 15 degrees on simulated motor vehicle accidents. *PLoS One.* 14;13(3) :e0193767. 2018.
236. Terashima H, Okamoto F, Hasebe H, Matsuoka N, Fukuchi T. :Vitrectomy for Epiretinal Membranes: Ganglion Cell Features Correlate with Visual Function Outcomes. *Ophthalmol Retina.* 2(11) :1152-1162. 2018.
237. Takagi Y, Santo K, Hashimoto M, Fukuchi T. :Ocular hypotensive effects of prostaglandin analogs in Japanese patients with normal-tension glaucoma: a literature review. *Clin Ophthalmol.* 21;12: 1837-1844. 2018.
238. Yaoeda K, Fukushima A, Shirakashi M, Miki A, Fukuchi T. :Factors associated with fluctuations in repeated measurements of intraocular pressure using the Goldmann applanation tonometer in Japanese patients with primary open-angle glaucoma. *Clin Ophthalmol.* 17;12:1473-1478. 2018.
239. 福地 健郎 : 緑内障とquality of vision／quality of life. *日眼会誌* 122 : 801-814, 2018.
240. Chernyshova K, Inoue K, Yamashita SI, Fukuchi T, Kanki T. :Glaucoma-Associated Mutations in the Optineurin Gene Have Limited Impact on Parkin-Dependent Mitophagy. *Invest Ophthalmol Vis Sci.* 1:60(10) :3625-3635. 2019.
241. Hiroko Terashima, Hiruma Hasebe, Fumiki Okamoto, Naoki Matsuoka, Yayoi Sato, Takeo Fukuchi:COMBINATION THERAPY OF INTRAVITREAL RANIBIZUMAB AND SUBTHRESHOLD MICROPULSE PHOTOCOAGULATION FOR MACULAR EDEMA SECONDARY TO BRANCH RETINAL VEIN OCCLUSION: 6-MONTH RESULT. *Retina.* 39(7) : 1377-1384. 2019.
242. Ominato J, Oyama T, Cho H, Shiozaki N, Umezu H, Takizawa J, Fukuchi T. :The natural course of IgG4-related ophthalmic disease after debulking surgery: a single-centre retrospective study. *BMJ Open Ophthalmol.* 9:4(1) :e000295. 2019.
243. Nakazawa T, Fukuchi T. :What is glaucomatous optic neuropathy? *Jpn J Ophthalmol.* 64(3) :243-249. 2020.
244. Igarashi R, Yamashita SI, Yamashita T, Inoue K, Fukuda T, Fukuchi T, Kanki T. :Gemcitabine induces Parkin-independent mitophagy through mitochondrial-resident E3 ligase MUL1-mediated stabilization of PINK1. *Sci Rep.* 30:10(1) :1465. 2020.
245. Nakano H, Togano T, Sakaue Y, Suetaka A, Iikawa R, Nakano R, Fukuchi T. :Clinical Features of Patients with Exfoliation Glaucoma Requiring Surgical Intervention. *J Ophthalmol.* 19:2020: 9423756. 2020.
246. Igarashi R, Ochiai S, Togano T, Sakaue Y, Suetake A, Iikawa R, Honma Y, Miyamoto D, Fukuchi

- T. :Foveal Avascular Zone Measurement Via Optical Coherence Tomography Angiography and its Relationship With the Visual Field in Eyes With Open-angle Glaucoma. *J Glaucoma*. 29(6):492-497. 2020.
247. 福地 健郎：緑内障診療におけるイメージングの進歩と今後の展望. *日眼会誌* 124 : 529-530, 2020.
248. 酒井 愛, 中野 里絵子, 松田 英伸, 黒澤 史門, 佐々木 藍季子, 酒井 康弘, 福地 健郎：新潟大学病院における過去12年間の急性網膜壞死症例の検討. *臨床眼科*74 (4) : 421-427. 2020
249. 新家 真, 福地 健郎, 中村 誠, 関弥 卓郎：ブリモニジン/チモロール配合点眼液の原発開放隅角緑内障（広義）および高眼圧症を対象とした第III相臨床試験 チモロールとの比較試験. *あたらしい眼科*37 (3) : 336-344, 2020.
250. 新家 真, 福地 健郎, 中村 誠, 関弥 卓郎：ブリモニジン/チモロール配合点眼液の原発開放隅角緑内障（広義）および高眼圧症を対象とした長期投与試験. *あたらしい眼科*37 (3) : 345-352, 2020.
251. 吉野 秀昭, 福地 健郎：極低出生体重児の血漿成長因子・サイトカイン濃度の検討. *新潟医学会雑誌*134 (1) : 19-27, 2020.
252. 吉野 秀昭, 宮島 誠, 坂上 悠太, 福地 健郎：健診, ドック受診を機会に魚沼基幹病院眼科において緑内障と診断された症例の検討. *新潟医学会雑誌*134 (3) : 91-97, 2020.
253. 田沢 綾子, 植木 智志, 清河 慶, 羽入 貴子, 畑瀬 哲尚, 福地 健郎：眼球運動制限を伴わない強度近視性内斜視に対して上外直筋結合術を施行し術後約6年間経過観察を行った1例. *神経眼科*37 (3) : 317-321, 2020.
254. 黒澤 史門, 植木 智志, 清河 慶, 畑瀬 哲尚, 福地 健郎：高血圧性網膜症による乳頭腫脹と鑑別を要した特発性頭蓋内圧亢進症によるうつ血乳頭の1例. *神経眼科*37 (4) : 400-405, 2020.
255. Nakano H, Hasebe H, Murakami K, Cho H, Kondo D, Iino N, Fukuchi T. :Choroid structure analysis following initiation of hemodialysis by using swept-source optical coherence tomography in patients with and without diabetes. *PLoS One*. 11:15(9):e0239072. 2020.
256. Yoshida H, Terashima H, Ueda E, Hasebe H, Matsuoka N, Nakano H, Fukuchi T. :Relationship between morphological changes in the foveal avascular zone of the epiretinal membrane and postoperative visual function. *BMJ Open Ophthalmol*. 17:5(1):e000636. 2020.
257. Higashide T, Ohkubo S, Udagawa S, Sugiyama K, Tanihara H, Araie M, Tomita G, Matsumoto C, Fukuchi T, Tomidokoro A, Hangai M, Kawata H, Inai M, Tanaka Y:SVF Prospector Study Group. Spatial and Temporal Relationship between Structural Progression and Disc Hemorrhage in Glaucoma in a 3-Year Prospective Study. *Ophthalmol Glaucoma*. 21:S2589-4196(20)30220-9. 2020.
258. Shirone Y, Takizawa I, Kasahara T, Maruyama R, Yamana K, Tanikawa T, Hara N, Sakaue Y, Togano T, Nishiyama T, Fukuchi T, Tomita Y. :Intraoperative intraocular pressure changes during robot-assisted radical prostatectomy: associations with perioperative and clinicopathological factors. *BMC Urol*. 12:20(1):26. 2020.
259. Iikawa R, Togano T, Sakaue Y, Suetake A, Igarashi R, Miyamoto D, Yaoeda K, Seki M, Fukuchi T. :

- Estimation of the central 10-degree visual field using en-face images obtained by optical coherence tomography. PLoS One. 5;15(3):e0229867. 2020.
260. Ueki S, Suzuki Y, Kiyokawa M, Hanyu T, Fukuchi T. :Hyperopic anisometropia with a shorter axial length ipsilateral to the ptotic eye in children with congenital ptosis. BMC Ophthalmol. 9;21(1):358. 2021.
 261. Horiguchi H, Suzuki E, Kubo H, Fujikado T, Asonuma S, Fujimoto C, Tatsumoto M, Fukuchi T, Sakaue Y, Ichimura M, Kurimoto Y, Yamamoto M, Nakadomari S. :Efficient measurements for the dynamic range of human lightness perception. Jpn J Ophthalmol. 65(3):432-438. 2021.
 262. Imai K, Sawada H, Hatase T, Fukuchi T. :Iridocorneal contact as a potential cause of corneal decompensation following laser peripheral iridotomy. Jpn J Ophthalmol. 65(4):460-471. 2021.
 263. Terashima H, Okamoto F, Hasebe H, Matsuoka N, Ueda E, Yoshida H, Togano T, Fukuchi T. :Evaluation of postoperative visual function based on the preoperative inner layer structure in the epiretinal membrane. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 259(11):3251-3259. 2021.
 264. Ueki S, Hatase T, Kiyokawa M, Kawachi I, Saji E, Onodera O, Fukuchi T, Igarashi H. :Visual outcome of aquaporin-4 antibody-positive optic neuritis with maintenance therapy. Jpn J Ophthalmol. 65(5):699-703. 2021.
 265. Kiyokawa M, Ueki S, Hatase T, Hanyu T, Fukuchi T. :The Prevalence of Brain Abnormalities in Japanese Patients with Optic Nerve Hypoplasia. Neuroophthalmology. 3;45(4):265-270. 2021.
 266. Terashima H, Okamoto F, Hasebe H, Ueda E, Yoshida H, Fukuchi T. :Optical coherence tomography angiography and Humphrey field analyser for macular capillary non-perfusion evaluation in branch retinal vein occlusion. Sci Rep. 25;11(1):4583. 2021.
 267. 石井 雅子, 間 聰美, 末武 垣紀, 福地 健郎 : 2つの視野計による新しい視野障害等級判定 緑内障による検討. あたらしい眼科38 (1) : 97-101, 2021.
 268. 有松 真央, 芳野 高子, 松田 英伸, 松岡 尚氣, 黒澤 史門, 福地 健郎 : 生来健康な若年者の片眼に発症した内因性細菌性眼内炎の1例. 臨床眼科75 (3) : 308-312, 2021.
 269. 佐藤 伊将, 松田 英伸, 野崎 耀平, 黒澤 史門, 佐々木 藍季子, 福地 健郎 : 10年後に僚眼に発症しウイルス定量を行った急性網膜壊死の1例. 臨床眼科75 (4) : 549-554, 2021.
 270. 吉田 博光, 寺島 浩子, 上田 恵理子, 安藤 拓海, 長谷部 日, 福地 健郎 : 特発性黄斑円孔に対する中心窩温存内境界膜剥離術後の視機能と黄斑形態の評価. 新潟医学会雑誌135 (1-3) : 23-30, 2021.
 271. 福地 健郎 : 緑内障からQOLを守るためのストラテジー. 臨眼 75 : 425-434, 2021.
 272. Ando T, Seki M, Ueda E, Suetake A, Terashima H, Yoshida H, Hasebe H, Fukuchi T. :A case of bilateral diffuse uveal melanocytic proliferation with secondary angle closure caused by ciliary body thickening. Am J Ophthalmol Case Rep. 21;28:101729. 2022.
 273. Suga A, Yoshitake K, Minematsu N, Tsunoda K, Fujinami K, Miyake Y, Kuniyoshi K, Hayashi T,

- Mizobuchi K, Ueno S, Terasaki H, Kominami T, Nao-I N, Mawatari G, Mizota A, Shinoda K, Kondo M, Kato K, Sekiryu T, Nakamura M, Kusuhara S, Yamamoto H, Yamamoto S, Mochizuki K, Kondo H, Matsushita I, Kameya S, Fukuchi T, Hatase T, Horiguchi M, Shimada Y, Tanikawa A, Yamamoto S, Miura G, Ito N, Murakami A, Fujimaki T, Hotta Y, Tanaka K, Iwata T. : Genetic characterization of 1210 Japanese pedigrees with inherited retinal diseases by whole-exome sequencing. *Hum Mutat.* 43(12):2251-2264. 2022.
274. Ominato J, Oyama T, Cho H, Shiozaki N, Eguchi K, Fukuchi T. :Evaluation ofthe postoperative course of East Asian eyelid reconstruction with free tarsoconjunctival graft transplantation: A Japanese single-centre retrospective study. *JPRAS Open.* 28;33:6-16. 2022.
275. Hanyu T, Ueki S, Hasegawa Y, Kiyokawa M, Fukuchi T. :Posterior microphthalmos with achievement of good visual acuity and disappearance of papillomacularretinal folds: a case report. *BMC Ophthalmol.* 7;22(1):424. 2022.
276. 安藤 拓海, 上田 恵理子, 渡邊 航太, 寺島 浩子, 吉田 博光, 宮島 誠, 福地 健郎: 黃斑円孔網膜剥離に自然発症した上脈絡膜出血の1例. *臨床眼科*76 (6) : 753-758, 2022.
277. 野崎 耀平, 松田 英伸, 黒澤 史門, 福地 健郎: *Nocardia arthritidis*による播種性ノカルジア症に合併したと考えられる内因性網膜下膿瘍の1例. *臨床眼科*76 (9) : 1233-1239, 2022.
278. 安樂 晶子, 大湊 純, 塩崎 直哉, 張 大行, 福地 健郎, 他: 涡靜脈浸潤がみられたぶどう膜悪性黒色腫の2例. *臨床眼科*76 (9) : 1279-1285, 2022.
279. 福地 健郎, 相原 一, 稲谷 大, 他: 第1回緑内障診療実態調査アンケート結果・その1, 患者管理と検査の実際. *新しい眼科* 32 : 103~109, 2022.
280. 垣鍔 陽央, 稲谷 大, 福地 健郎, 他: 第1回緑内障診療実態調査アンケート結果・その2, 手術選択と術後管理. *緑内障* 32 : 110~115, 2022.
281. 飯川 龍, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀, 福地 健郎: トラベクレクトミー術後3日目に眼内炎を生じた1例. *あたらしい眼科* 39 : 529-532, 2022.
282. Igarashi R, Ochiai S, Akagi T, Miyamoto D, Sakaue Y, Iikawa R, Fukuchi T. :Parapapillary choroidal microvasculature dropout in eyes with primary open-angle glaucoma. *Sci Rep.* 23;13(1): 20601. 2023.
283. Nakano H, Hasebe H, Murakami K, Nakamura Y, Fukuchi T. :CHOROIDAL VASCULAR DENSITY IN DIABETIC RETINOPATHY ASSESSED WITH SWEPT-SOURCE OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY. *Retina.* 1;43(1):34-41. 2023.
284. Akagi T, Kato-Takano Y, Miyamoto D, Sakaue Y, Igarashi R, Iikawa R, Arimatsu M, Miyajima M, Togano T, Fukuchi T. :Relationship between Inter-Eye Asymmetries in Corneal Hysteresis and Visual Field Severity in Patients with Primary Open-Angle Glaucoma. *J Clin Med.* 12(13):4514. 2023.
285. Ueki S, Hasegawa Y, Hatase T, Kiyokawa M, Fukuchi T. :One-year recurrence rate of Graves ophthalmopathy presenting as diplopia in the primary position after varied doses of intravenous

- methylprednisolone followed by oral prednisolone with dosing based on the magnetic resonance imaging findings. *Jpn J Ophthalmol.* 67(1):91-96. 2023.
286. 宮本 大輝, 市村 美香, 落合 竣, 赤木 忠道, 福地 健郎: 広義原発開放隅角緑内障患者に対するアイフレイルチェックリストの有用性の検討. *眼科* 65 (6) : 571-578, 2023.
287. 福地 健郎: 緑内障の構造から機能へ、そしてQOLへ. *あたらしい眼科* 40 : 1047-1062, 2023.
288. 井上 賢治, 福地 健郎, 相原 一, 他: 第2回緑内障診療実態調査アンケート結果・その1, 薬物治療. *緑内障* 33 : 75~80, 2023.
289. 奥野 周蔵, 溝上 志朗, 福地 健郎, 他: 第2回緑内障診療実態アンケート結果・その2, アドヒアランス. *緑内障* 33 : 81~87, 2023.
290. Igarashi R, Ochiai S, Akagi T, Miyamoto D, Sakaue Y, Iikawa R, Fukuchi T. :Author Correction: Parapapillary choroidal microvasculature dropout in eyes with primary open-angle glaucoma. *Sci Rep.* 19:14(1):4089. 2024.
291. Akagi T, Togano T, Iikawa R, Igarashi R, Arimatsu M, Miyajima M, Sakaue Y, Fukuchi T. :A novel bleb revision technique: lining with tenon's patch graft for treatment of large, ischemic, leaking blebs with severe conjunctival scarring after trabeculectomy. *Jpn J Ophthalmol.* 68(1):32-36. 2024.
292. Wakasugi M, Yokoseki A, Wada M, Yoshino T, Momotsu T, Sato K, Kawashima H, Nakamura K, Fukuchi T, Onodera O, Narita I. :Cataract Surgery and Chronic Kidney Disease: A Hospital-based Prospective Cohort Study. *Intern Med.* 1;63(9):1207-1216. 2024.
293. Ichimura M, Ueki S, Fukuchi T. :Test-Retest of the Spot Vision Screener among Children with Ophthalmological Diseases including Strabismus. *J Ophthalmol.* 6:2024:2173860. 2024.
294. Arimatsu M, Akagi T, Suetake A, Sakaue Y, Iikawa R, Igarashi R, Togano T, Ando T, Yoshida H, Terashima H, Fukuchi T. :Intrascleral intraocular lens fixation with ab interno trabeculotomy in patients with exfoliation glaucoma with lens subluxation. *Jpn J Ophthalmol.* 68(3):200-205. 2024.
295. Ando T, Terashima H, Yoshida H, Ueda E, Ochiai S, Fukuchi T. :Relationship between long-term visual function and the ratio of foveal avascular zone area in eyes with macular hole and healthy fellow eyes. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.* 262(8):2403-2410. 2024.
296. 飯川 龍, 赤木 忠道, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 有松 真央, 福地 健郎: 線維柱帶切s除術周術期における抗菌薬使用および術野洗浄に関する多施設調査. *日本眼科学会雑誌* 128 (7) : 525-532, 2024.
297. 宮島 誠, 赤木 忠道, 田中 里佳, 田沢 綾子, 鎌田 紗子, 福地 健郎: 続発開放隅角緑内障を認めた虹彩分離症の1例. *日本眼科学会雑誌* 128 (8) : 610-615, 2024.

総説・解説

- 分子生物学 角膜と細胞外マトリックス. [臨床眼科, 51, (1997), 219-221]
澤口 昭一, 福地 健郎

2. 眼圧測定での工夫；仰臥位 小児 非協力者. [Practical Ophthalmology, 1, (1998), 28-30]
澤口 昭一, 福地 健郎
3. 小角膜・小眼球を伴う緑内障. [日本の眼科, 71 (10), (2000), 1195-1195]
福地 健郎
4. Plateau iris syndrome による慢性閉塞隅角緑内障の1例. 原発開放隅角緑内障と誤診され経過観察された症例. [Frontiers in Glaucoma, 2, (2001), 146-147]
福地 健郎, 須田 生英子
5. 毛様体・水晶体ブロック緑内障（悪性緑内障）もう悪性と呼ばせない！. [Frontiers in Glaucoma, 2 (3), (2001), 46-47]
福地 健郎, 中枝 智子, 田中 陽子
6. 眼底所見の読み方④鑑別を要する眼底所見. [Frontiers in Glaucoma, 2, (2001), 57-62]
白柏 基宏, 福地 健郎, 澤口 昭一
7. Eye Surgery バトルロイヤル緑内障手術シリーズ第1回「トラベクトミー成功の秘訣」麻酔／制御糸一. [日本眼科紀要, 52, (2001), 172-175]
福地 健郎
8. 眼底所見の読み方④鑑別を要する眼底所見. [Frontiers in Glaucoma, 2, (2001), 57-62]
白柏 基宏, 福地 健郎, 澤口 昭一, 阿部 春樹
9. Eye Surgery バトルロイヤル緑内障手術シリーズ第2回「トラベクトミー成功の秘訣」結膜切開・MMC. [日本眼科紀要, 52, (2001), 251-255]
福地 健郎
10. Eye Surgery バトルロイヤル緑内障手術シリーズ第3回「トラベクトミー成功の秘訣」強膜弁作成、軟部組織切除、および強膜弁縫合. [日本眼科紀要, 52, (2001), 341-346]
福地 健郎
11. Eye Surgery バトルロイヤル緑内障手術シリーズ第4回「トラベクトミー成功の秘訣」強膜縫合. [日本眼科紀要, 52, (2001), 449-453]
福地 健郎
12. Eye Surgery バトルロイヤル緑内障手術シリーズ第5回「トラベクトミー成功の秘訣」術後管理. [日本眼科紀要, 52, (2001), 536-540]
福地 健郎
13. Eye Surgery バトルロイヤル緑内障手術シリーズ第5回「トラベクトミー成功の秘訣」術後眼内炎対策. [日本眼科紀要, 52, (2001), 615-620]
福地 健郎
14. 緑内障性視神経障害と篩状板. [あたらしい眼科, 18 (7), (2001), 881-882]
福地 健郎
15. 緑内障と角膜内皮障害. [あたらしい眼科, 18 (8), (2001), 1025-1026]
福地 健郎

16. 原発開放隅角緑内障・正常眼圧緑内障の治療. [日本的眼科, 73 (2), (2002), 107-109]
福地 健郎
17. 緑内障治療ガイドー今日の戦略 第一選択薬としてのβ遮断薬. [臨床眼科, 56 (9), (2002), 127-131]
福地 健郎
18. 緑内障治療ガイドー今日の戦略 緑内障ガイドラインをめぐって. [臨床眼科, 56 (9), (2002), 109-119]
桑山 泰明, 杉山 和久, 谷原 秀信, 福地 健郎, 前田 秀高
19. 交感神経阻害薬β遮断薬. [眼科, 44 (11), (2002), 1458-1463]
福地 健郎
20. 毛様体破壊術に踏み切るとき－いつ濾過手術を断念して毛様体破壊術に踏み切るか－. [あたらしい眼科, 19 (11), (2002), 1441-1446]
福地 健郎
21. MMC線維柱帯切除術後のNeedling revisionによる濾過胞再建術. [Frontiers in Glaucoma, 4(1), (2003), 44-45]
福地 健郎
22. 原発開放隅角緑内障 (POAG)・中期緑内障眼の治療方針と管理について. [Frontiers in Glaucoma, 5(3), (2004), 60-61]
福地 健郎
23. 原発開放隅角緑内障 (POAG)・後期緑内障眼の手術的治療について. [Frontiers in Glaucoma, 5(3), (2004), 61-63]
福地 健郎
24. 正常眼圧緑内障 6. 管理. [Ophthalmic Foresight, 9(3), (2004), 12-13]
福地 健郎
25. 第58回日本臨床眼科学会印象記 一般講演「緑内障 検査、緑内障 GDxVCC」. [眼科, 47 (4), (2005), 499-502]
福地 健郎
26. 緑内障専門病院で行っている閉塞隅角緑内障のレーザー治療 新潟大学における実際. [あたらしい眼科, 22 (9), (2005), 1211-1212]
福島 淳志, 上田 潤, 福地 健郎
27. 緑内障の鑑別診断 (閉塞隅角). [あたらしい眼科, 22 (別巻), (2005), 75-81]
福地 健郎
28. 隅角の異常所見と鑑別診断. [あたらしい眼科, 23 (8), (2006), 993-996]
福地 健郎
29. 緑内障の手術 緑内障手術における濾過手術の現状. [Frontiers in Glaucoma, 8(1), (2007), 13-21]
福地 健郎

30. ノックアウトマウス, トランスジェニックマウスを用いた細胞生物学的眼研究. [あたらしい眼科, 24 (3), (2007), 335-337]
福地 健郎, 酒井 康弘, 松田 英伸
31. 第61回日本臨床眼科学会 一般講演「眼圧・緑内障疫学」. [眼科, 50 (4), (2008), 573-574]
福地 健郎
32. 視神経乳頭周囲網脈絡膜萎縮. [眼科, 50 (10), (2008), 1448-1448]
福地 健郎
33. 網膜神経線維層欠損. [眼科, 50 (10), (2008), 1449-1449]
福地 健郎
34. 原発開放隅角緑内障 (POAG) の治療と管理は?. [あたらしい眼科, 25 (臨増), (2008), 101-103]
福地 健郎
35. 緑内障手術のGold Standard. [Frontiers in Glaucoma, 3, (2009), 307-312]
福地 健郎
36. 緑内障治療最前線 点眼薬治療におけるアドヒアラنسの重要性. [あたらしい眼科, 26 (8), (2009), 1-7]
阿部 春樹, 福地 健郎, 高山 秀男, 新田 安紀芳, 松田 延身, 林 直樹
37. 緑内障性視神経症と鑑別の必要な後天性疾患. [臨床眼科, 63 (11), (2009), 91-97]
上田 潤, 福地 健郎
38. 治療開始後の管理の実際. [臨床眼科, 63 (11), (2009), 217-221]
福地 健郎
39. この視野は異常ですか?. [あたらしい眼科, 26 (12), (2009), 1605-1611]
福地 健郎, 芳野 高子
40. 原発開放隅角緑内障 (広義) の手術の考え方. [あたらしい眼科, 2010 (8), (2010), 1031-1036]
福地 健郎
41. 眼科最新手術：トラベルレクトミー (MMC併用) と術後管理. [眼科, 53 (10), (2011), 1531-1535]
上田 潤, 福地 健郎

著書

1. やさしい分子生物学：円錐になるわけは？：緑内障で視神経が傷害されるのは何故か?. [診断と治療社, 1998]
澤口 昭一, 福地 健郎
2. 眼圧測定での工夫：抑臥位. 小児. 非協力者 (共著). [文光堂, 1998]
沢口 昭一, 福地 健郎
3. 新図説臨床眼科講座, 緑内障:緑内障類似の視神経乳頭を呈する先天異常, 疾患. [メディカルビュー

- 社, 1998]
澤口 昭一, 福地 健郎
4. 難治緑内障のレスキュー：視神経と神経栄養因子. [文英堂, 2000]
福地 健郎
 5. 臨床薬物治療薬：白内障. [アークメディア, 2000]
澤口 昭一, 福地 健郎
 6. 眼の細胞生物学：円錐角膜. [中山書店, 2000]
澤口 昭一, 福地 健郎
 7. ダイナミックメディシン：眼科領域の薬理学. [西村書店, 2003]
福地 健郎
 8. 眼科プラクティス98：開放隅角緑内障の診断に静的視野異常は必須条件か. [文光堂, 2003]
福地 健郎
 9. 眼科プラクティス98：正常眼圧緑内障の診断名にこだわる必要があるか. [文光堂, 2003]
福地 健郎
 10. 眼科プラクティス98：真性小眼球症に伴う閉塞隅角緑内障の治療. [文光堂, 2003]
福地 健郎
 11. 緑内障：視神経乳頭の解剖と機能. [医学書院, 2004]
福地 健郎, 上田 潤
 12. 眼科インストラクションコース3：エピネフリンで視力低下. [メジカルレビュー社, 2005]
福地 健郎
 13. 眼科インストラクションコース3：白内障手術後の囊胞様黄斑浮腫. [メジカルレビュー社, 2005]
福地 健郎
 14. 眼科インストラクションコース3：炭酸脱水酵素阻害薬(CAI)の副作用. [メジカルレビュー社, 2005]
福地 健郎
 15. Eye Surgery バトルロイヤル1 白内障, Ocular Surgace, 緑内障編:緑内障手術. [メジカルレビュー社, 2006]
福地 健郎
 16. 眼科インストラクションコース10：視神経乳頭形状と対応する視神経周囲組織はどのように観察されるか. [メジカルレビュー社, 2007]
福地 健郎
 17. 今日の眼疾患治療指針（第2版）：原発開放隅角緑内障. [医学書院, 2007]
福地 健郎
 18. 眼科診療のコツと落とし穴1 手術 前眼部：MMC トラベクレクトミー 輪部基底結膜弁法と円蓋部基底結膜弁法による濾過胞性状の違い. [中山書店, 2008]

福地 健郎

19. 眼科インストラクションコース17：通常の緑内障手術で奏効しない難治例、次の一手は？. [メジカルレビュー社, 2008]
福地 健郎
20. 眼科診療のコツと落とし穴3 検査・診断：nanophthalmos（真性小眼球症）に伴う閉塞隅角症・緑内障のメカニズム. [中山書店, 2008]
福地 健郎
21. 新ES NOW 緑内障手術：標準術式概観. [メジカルビュー社, 2010]
福地 健郎, 田中 隆之
22. 新ES NOW 緑内障手術：代謝阻害薬の使い方. [メジカルビュー社, 2010]
田中 隆之, 福地 健郎
23. 眼圧を下げるとなぜ視野障害の進行が止まるのか?. [文光堂, 2010]
福地 健郎, 関 正明
24. 眼科疾患のグノーティ・セアウトン：眼底検査：緑内障に特徴的な視神経乳頭と網膜神経線維層の変化について. [シナジー, 2010]
Takeo Fukuchi, Lisandro Sakata
25. Atlas of ANGLE CLOSURE GLAUCOMA:1. Anatomy. [Newest Medicine Publication, 2010]
Takeo Fukuchi, Lisandro Sakata
26. 専門医のための眼科診療クオリファイ3 緑内障診断ガイド：クリニカル・クエスチョン「症状進行評価が疑わしいときの追加検査について教えてください」. [中山書店, 2011]
福地 健郎
27. 眼科学 第2版：緑内障の定義. [文光堂, 2011]
福地 健郎
28. Glaucoma Current Clinical and Research Aspects: Clustered Trend-Type Analysis to Detect Progression of Visual Field Defects in Patients with Open-Angle Glaucoma. [citeulike, 2011]
Takeo Fukuchi, Takaiko Yoshino, Masaaki Seki, Hideko Sawada, Tetsuya Togano and Haruki Abe

学会発表／研究発表

学会発表

1. Distribution and expression of receptors for neurotrophic factors in the normal and glaucomatous monkey optic nerve heads.
T. Fukuchi, J. Ueda, T. Hanyuu, S. Sawaguchi, B. Yue, and H. Abe
ARVO, 1998
2. サル実験緑内障眼の視神経乳頭部における神経栄養因子受容体の分布・発現.
福地 健郎, 上田 潤, 羽入 貴子, 阿部 春樹, 沢口 昭一
第9回日本緑内障学会, 1998
3. サル実験緑内障眼の視神経乳頭部における神経栄養因子の発現の変化.
福地 健郎, 上田 潤, 沢口 昭一, 羽入 貴子, 阿部 春樹
第102回日本眼科学会総会, 1998
4. 細胞外マトリックスと緑内障性視神経障害（シンポジウム）.
福地 健郎
第102回日本眼科学会総会, 1998
5. DISTRIBUTION AND EXPRESSION OF TGF- β , PDGF AND THEIR RECEPTORS IN THE NORMAL AND GLAUCOMATOUS MONKEY OPTIC NERVE HEADS.
T. Fukuchi, J. Ueda, T. Hanyuu, S. Yamamoto, K. Yaoeda, K. Hashimoto, S. Sawaguchi, B. Yue and H. Abe
ARVO, 1999
6. サル実験緑内障眼の視神経乳頭部における血小板由来増殖因子（PDGF）とその受容体の分布と発現.
福地 健郎, 橋本 薫, 関 正明, 上田 潤, 羽入 貴子, 阿部 春樹
第10回日本緑内障学会, 1999
7. 扁平角膜に伴う閉塞隅角緑内障の一例.
福地 健郎, 上田 潤, 原 浩昭, 須田 生英子, 船木 繁雄, 太田 亜紀子, 白柏 基宏,
阿部 春樹
第37回北日本眼科学会, 1999
8. サル実験緑内障眼の視神経乳頭における形質転換増殖因子（TGF）- β とその受容体の分布と発現の変化.
福地 健郎, 上田 潤, 羽入 貴子, 橋本 薫, 阿部 春樹, 沢口 昭一
第103回日本眼科学会総会, 1999
9. 非穿孔性濾過手術－非穿孔性線維柱帶切除術（NPT）をいかにコントロールするか－（シンポジウム）.
福地 健郎
第99回日本臨床眼科学会, 1999
10. COLLAGEN FIBRILS AND SULFATED PROTEOGLYCANS IN NANOPHTHALMIC

SCLERAE.

Takeo Fukuchi, Haruki Abe, and Shoichi Sawaguchi
ARVO, 2000

11. Nanophthalmos眼による閉塞隅角緑内障のメカニズム.
福地 健郎, 中枝 智子, 須田 生英子, 上田 潤, 田中 陽子, 船木 繁雄, 太田 亜紀子,
原 浩昭, 白柏 基宏, 阿部 春樹
第11回日本緑内障学会, 2000
12. Nanophthalmos眼強膜のコラーゲン線維とプロテオグリカン.
福地 健郎, 阿部 春樹, 澤口 昭一
第104回日本眼科学会総会, 2000
13. Nanophthalmosに伴う閉塞隅角緑内障のメカニズムとその治療としての水晶体摘出術.
福地 健郎, 中枝 智子, 須田 生英子, 原 浩昭, 船木繁雄, 田中 陽子, 太田亜希子,
白柏 基宏, 阿部 春樹
第39回日本白内障学会・第15回日本眼内レンズ屈折手術学会, 2000
14. VARIOUS MECHANISMS RELATED WITH ANGLE CLOSURE GLAUCOMA IN NANOPHTHALMOS.
T. Fukuchi, T. Nakatsue, K. Suda, J. Ueda, Y. Tanaka, S. Funaki, A. Ohta, H. Hara, M. Shirakashi,
H. Abe
ARVO, 2001
15. 新しい濾過手術－現状の検証と目指すべき方向性－（シンポジウム）.
福地 健郎, 阿部 春樹
第24回日本眼科手術学会, 2001
16. 緑内障性視神経障害と篩状板の細胞外マトリックス.
福地 健郎, 澤口 昭一
第13回国際眼研究会議, 2001
17. The Form and Ultrasound Biomicroscopic Findings of the Filtering Bleb after MMC/
Trabeculectomy by Limber incision.
T. Fukuchi, K. Suda, J. Ueda, Y. Tanaka, K. Yaoeda, H. Hara, M. Shirakashi, H. Abe
ARVO, 2003
18. Comparison of trabeculectomies between with limbar-incision and with fornix-incision.
T. Fukuchi, J. Ueda, K. Suda, Y. Tanaka, K. Yaoeda, H. Abe
Glaucoma in the 21st century, 2003
19. 輪部切開MMCトラベクレクトミー後の濾過胞の形状と超音波生体顕微鏡（UBM）所見.
福地 健郎, 上田 潤, 田中 陽子, 八百枝 潔, 関 正明, 須田 生英子, 原 浩昭, 白柏 基宏,
阿部 春樹
第58回日本臨床眼科学会, 2004
20. COMPARISON OF BLEB APPEARANCES AND ULTRASOUND BIOMICROSCOPIC FINDINGS

AFTER MMC TRABECULECTOMY BETWEEN WITH FORNIX-BASED AND WITH LIMBUS-BASED CONJUNCTIVAL FLAPS.

Takeo Fukuchi, Jun Ueda, Kiyoshi Yaoeda, Hiroaki Hara, Haruki Abe
AIGS, 2005

21. 血管新生緑内障の治療 – MMCレクトミーを成功させるためには – (シンポジウム).
福地 健郎
第16回日本緑内障学会, 2005
22. 緑内障治療における神経保護治療に明日はあるか? 明日はない. (シンポジウム)
福地 健郎
第59回日本臨床眼科学会, 2005
23. POAGの目標眼圧 (シンポジウム).
福地 健郎
第17回日本緑内障学会, 2005
24. 滑屑緑内障眼へのトラベクロトミートリプル, トラベクレクトミートリプル, MMCトラベクレクトミーの比較.
福地 健郎, 上田 潤, 八百枝 潔, 田中 隆之, 梅野 哲哉, 福島 淳志, 中枝 智子,
須田 生英子, 原 浩昭, 白柏 基宏, 阿部 春樹
第60回日本臨床眼科学会, 2006
25. (狭義) 原発開放隅角緑内障における眼圧と視野障害進行速度.
福地 健郎, 上田 潤, 八百枝 潔, 田中 隆之, 澤田 英子, 梅野 哲哉, 原 浩昭, 白柏 基宏,
阿部 春樹
第18回日本緑内障学会, 2007
26. シンポジウム : 「目標眼圧の考え方の変化」目標眼圧の設定 (2).
福地 健郎
第61回日本臨床眼科学会, 2007
27. (狭義) 原発開放隅角緑内障における眼圧と視野障害進行速度.
福地 健郎, 上田 潤, 八百枝 潔, 田中 隆之, 澤田 英子, 梅野 哲哉, 原 浩昭, 白柏 基宏,
阿部 春樹
第111回日本眼科学会総会, 2007
28. INTRAOCULAR PRESSURE AND THE PROGRESSIVE RATE OF VISUAL FIELD DEFECTS IN POAG.
T. Fukuchi, J. Ueda, K. Yaoeda, T. Tanaka, E. Sawada, T. Togano, H. Hara, M. Shirakashi, H. Abe
AAO, 2007
29. INTRAOCULAR PRESSURE AND PROGRESSIVE RATE OF VISUAL FIELD DEFECT IN POAG.
T. Fukuchi, J. Ueda, K. Yaoeda, T. Tanaka, E. Sawada, T. Togano, H. Hara, M. Shirakashi, H. Abe
IGS, 2007

30. THE PROGRESSIVE RATE OF UPPER AND LOWER VISUAL FIELD DEFECTS IN JAPANESE OAG PATIENTS.
T. Fukuchi, H. Sawada, T. Tanaka, K. Yaoeda, J. Ueda, H. Abe
AAO, 2008
31. Trabeculotomy Combined With Phacoemulsification and Intraocular Lens Implantation (Phacotrabeculotomy) for Pseudoexfoliation Glaucoma.
Takeo Fukuchi, M. D., Ph. D., Takayuki Tanaka, M. D., Ph. D., Tetsuya Togano, M. D., Ph. D., Hiroaki Hara, M. D., Ph. D., Haruki Abe, M. D., Ph. D.
2008 SEAGIG/AACGC Joint Congress
32. 隅角の異常所見と鑑別診断（教育セミナー）.
福地 健郎
第19回日本緑内障学会, 2008
33. シンポジウム：質の高い眼圧治療を目指して
広義・原発開放隅角緑内障の視野障害進行速度と眼圧、薬物治療と手術治療.
福地 健郎
第19回日本緑内障学会, 2008
34. 非穿孔性線維柱帯切除術（NPT）の適応は？次の一手は？（シンポジウム）.
福地 健郎
第31回日本眼科手術学会, 2008
35. シンポジウム「緑内障の早期診断と治療開始のスケジュール」.
福地 健郎, 布施 昇男
第46回北日本眼科学会
36. 落屑緑内障に対するロトミートリップル, レクトミートリップル, MMCレクトミーの比較.
福地 健郎, 原 浩昭, 上田 潤, 八百枝 潔, 須田 生英子, 中枝 智子, 田中 隆之,
白柏 基宏, 阿部 春樹
第46回北日本眼科学会
37. (広義) 原発開放隅角緑内障の視野障害進行速度.
福地 健郎, 上田 潤, 八百枝 潔, 田中 隆之, 澤田 英子, 梅野 哲哉, 原 浩昭, 白柏 基宏,
阿部 春樹
第62回日本臨床眼科学会, 2008
38. 視神経を中心とした緑内障性視神経症の臨床像と進行評価.
福地 健郎
第112回日本眼科学会総会
39. THE PROGRESSIVE RATE OF VISUAL FIELD DEFECTS AND THE RELATED FACTORS IN OAG PATIENTS.
Takeo Fukuchi, MD, PhD; Masaaki Srki, MD, PhD; Tetsuya Togano, MD, PhD; Hideko Sawada, MD; Takayuki Tanaka, MD, PhD; Jun Ueda, MD, PhD; Haruki Abe, MD, PhD

AAO, 2009

40. The Probability, Severity and Related Factors Of Drug-induced Keratopathy with Anti-glaucoma Medications.

Takeo Fukuchi, Kimiko Wakai, Kieko Suda, Tomoko Nakatsue, Hideko Sawada, Hiroaki Hara, Jun Ueda, Takayuki Tanaka, Tetsuji Mayama, Akiko Yamada, Haruki Abe
WGC, 2009

41. 眼圧下降率と（広義）原発開放隅角緑内障の視野障害進行速度、目標眼圧の設定（POAGの眼圧下降率と進行速度）。

福地 健郎, 関 正明, 梅野 哲哉, 田中 隆之, 福島 高子, 上田 潤, 原 浩昭, 白柏 基宏,
阿部 春樹, 澤田 英子
第63回日本臨床眼科学会, 2009

42. (広義) 原発開放隅角緑内障の視野障害進行速度と眼圧因子、及び諸因子に関する解析.

福地 健郎, 澤田 英子, 田中 隆之, 関 正明, 梅野 哲哉, 上田 潤, 原 浩昭, 白柏 基宏,
阿部 春樹
第113回日本眼科学会総会, 2009

43. SECTOR-BASED TREND-TYPE ANALYSIS TO DETECT THE PROGRESSION OF VISUAL FIELD DEFECT IN OAG PATIENTS.

Takeo Fukuchi

AAO, 2010

44. The progressive rate of visual field defects and the related factors in OAG patients.

Takeo Fukuchi, MD, PhD

APAO, Symposium for Glaucoma, 2010

45. 広義・原発開放隅角緑内障の眼圧管理における量と質(シンポジウム).

福地 健郎

第21回日本緑内障学会, 2010

46. 巨大なOverhanging blebの一例に対する乾燥羊膜併用濾過胞再建術.

福地 健郎, 関 正明, 芳野 高子, 末武 亜紀, 田中 隆之, 梅野 哲哉, 上田 潤, 原 浩昭,
白柏 基宏, 阿部 春樹

第33回日本眼科手術学会, 2010

47. 緑内障手術—トラブルシューティング— 2) 濾過胞再建術：濾過胞復活のための対策.

福地 健郎

第33回日本眼科手術学会, 2010

48. スペクトラルドメインOCTによる緑内障眼視神経篩状板孔の観察と計測（視神経篩状板孔の観察と計測）.

福地 健郎, 関 正明, 上田 潤, 田中 隆之, 梅野 哲哉, 阿部 春樹, 濵谷 雅博

第64回日本臨床眼科学会, 2010

49. 緑内障治療におけるPatient-Centered Medicine (PCM) とアドヒアランス（緑内障のPCMとアドヒ

アランス).

福地 健郎

第64回日本臨床眼科学会, 2010

50. Observation and Morphometry of the Glaucomatous Lamina Cribrosa Using Spectral Domain Optical Coherence Tomography(SD OCT).
Takeo Fukuchi, Masaaki Seki, Jun Ueda, Tetsuya Togano, Takayuki Tanaka, Takaiko Yoshino, Haruki Abe
WGC, 2011
51. 濾過胞再建術：濾過胞復活のための対策（シンポジウム）.
福地 健郎
第34回日本眼科手術学会, 2011
52. 円蓋部基底および輪部基底結膜弁法によるMMCトレベクレクトミーの長期成績.
福地 健郎, 関 正明, 田中 隆之, 梅野 哲哉, 芳野 高子, 上田 潤, 原 浩昭, 阿部 春樹
第34回日本眼科手術学会, 2011
53. 原発開放隅角緑内障における進行速度別クラスタ別トレンド解析による視野障害進行判定.
福地 健郎, 芳野 高子, 関 正明, 梅野 哲哉, 田中 隆之, 上田 潤, 阿部 春樹,
澤田 英子
第115回日本眼科学会総会, 2011
54. 緑内障・視神経・緑内障薬物治療のアップデート.
福地 健郎
第116回日本眼科学会総会, 2012
55. ドライビングシミュレーターでの信号・標識見落としと後期緑内障内の視野因子の関連.
福地 健郎, 国松 志保, 中澤 徹, 青木 由紀, 宇田川 さち子, 大久保 真司, 杉山 和久,
岩瀬 愛子, 小野 浩, 新家 真
第32回日本緑内障学会, 2012
56. The Relationship between the Mean Deviation(MD)Slope and Follow-up Intraocular Pressure (IOP)Reduction ratio in Treated Open-angle Glaucoma Patients.
Fukuchi T, Togano T, Sakaue Y, Yoshino T, Igarashi R, Ueda J
WGC, 2013
57. 緑内障患者の視野とQuality of Life / Quality of Vision（シンポジウム）.
福地 健郎
第33回日本緑内障学会, 2013
58. Swept-source OCTによる緑内障眼の黄斑部網膜神経線維走行の観察.
福地 健郎, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 五十嵐 遼子, 芳野 高子, 上田 潤, 本間 友里恵,
宮本 大輝
第33回日本緑内障学会, 2013
59. 原発閉塞隅角症・緑内障の治療戦略（シンポジウム）.

岡田守生, 福地 健郎

第36回日本眼科手術学会, 2013

60. ドライビングシミュレータでの信号・標識見落としと後期緑内障視野の関連.
福地 健郎, 国松 志保, 宇田川 さち子, 大久保 真司, 岩瀬 愛子, 小野 浩, 青木 由紀,
中澤 徹, 杉山 和久, 新家 真
第67回日本臨床眼科学会, 2013
61. 緑内障患者の読書能力 (シンポジウム).
福地 健郎
第25回日本緑内障学会, 2014
62. 中心窓閾値との相関に基づいたハンフリー視野10-2測定点のクラスタ分類.
福地 健郎, 本間 友里恵, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 平島みほ, 五十嵐 遼子, 芳野 高子,
宮本 大輝
第25回日本緑内障学会, 2014
63. Examination of the macular retinal nerve fiber bundles by the Swept-source Optical Coherence Tomography.
Takeo Fukuchi, Tetsuya Togano, Yuta Sakaue, Ryoko Igarashi, Takaiko Yoshino
WOC, 2014
64. Swept-source OCT のEn-face イメージによる緑内障眼網膜神経線維束の観察.
福地 健郎, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 平島みほ, 五十嵐 遼子, 芳野 高子, 本間 友里恵,
宮本 大輝
第68回日本臨床眼科学会, 2014
65. Comparison of visual field defects between HTG and NTG. (シンポジウム).
Takeo Fukuchi
Asia-ARVO
66. The Features of Glaucomatous Retinal Nerve Fiber Bundles Observed by En-face Swept-Source Optical Coherence Tomography.
Takeo Fukuchi, Tetsuya Togano, Yuuta Sakae, Miho Hirashima, Ryoko Igarashi, Takaiko Yoshino
ARVO, 2015
67. Cluster classification of HFA 10·2test points based on their correlation with the foveal threshold.
Takeo Fukuchi, Yurie Honma, Tetsuya Togano, Yuta Sakaue, Miho Hirashima, Ryoko Igarashi, Takaiko Yoshino, Daiki Miyamoto.
WGC, 2015
68. Preperimetric Glaucomaのサイエンス (シンポジウム).
中澤 徹, 福地 健郎
第119回日本眼科学会, 2015
69. QOV & ADL (シンポジウム).
福地 健郎, 庄司 信行

第26回日本緑内障学会, 2015

70. QOL/QOV維持のための広義・原発開放隅角緑内障に対する手術治療（シンポジウム）.
福地 健郎
第38回日本眼科手術学会, 2015
71. Cluster Classification of HFA 10-2 Test Points and the Relationship between Structure and Function in Glaucoma.
Takeo Fukuchi, Shun Ochiai, Yuta Sakaue, Tetsuya Togano, Ryoko Igarashi, Aki Suetake.
12th EGS Congress, 2016
72. Measurements of the Inner Macular Thickness As an Indicator to Evaluate Foveal Visual Function in Openangle Glaucoma.
Fukuchi Takeo, Ochiai Shun, Sakaue Yuta, Togano Tetsuya, Suetake Aki, Igarashi Ryoko.
ARVO, 2016
73. 広義・原発開放隅角緑内障眼の中心窓視機能の指標としての黄斑部網膜内層厚測定.
福地 健郎, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 末武 亜紀, 飯川 龍, 五十嵐 遼子, 落合 竣
第70回日本臨床眼科学会, 2016
74. 広義・原発開放隅角緑内障のOCT angiographyによる黄斑部血管密度と, 網膜内層厚, 視野感度閾値の相関.
福地 健郎, 落合 竣, 五十嵐 遼子, 飯川 龍, 梅野 哲哉, 坂上 悠太, 末武 亜紀
第27回日本緑内障学会, 2016
75. Cluster Classification of HFA 10-2 Test Points and the Relationship between Structure and Function in Glaucoma.
Takeo Fukuchi, Shun Ochiai, Yuta Sakaue, Tetsuya Togano, Ryoko Igarashi, Aki Suetake.
EGS Congress, 2016
76. 緑内障患者の視野とQOL を理解する（シンポジウム）.
福地 健郎
第71回日本臨床眼科学会, 2017
77. 緑内障の構造・視野に関する前向き観察研究におけるクラスタ別視野進行と乳頭出血.
福地 健郎, 梅野 哲哉, 谷原 秀信, 東出 朋巳, 大久保 真司, 宇田川 さち子, 杉山 和久,
新家 真, 富田剛司, 松本 長太, 富所 敦男, 板谷 正紀
第71回日本臨床眼科学会, 2017
78. Flow density and disappeared angle of the peripapillary capillaries quantified by OCT angiography might be structural indexes in OAG eyes.
Takeo Fukuchi, Ryoko Igarashi, Syun Ochiai, Tetsuya Togano, Yuta Sakaue, Ryu Iikawa, Aki Suetake, Yurie Honma
WGC, 2017
79. Asia-Japan Imaging in glaucoma（シンポジウム）.
Takeo Fukuchi, Yasuaki Kuwayama

第28回日本緑内障学会, 2017

80. Glaucoma surgeonをプロデュースする（会長特別企画）.

福地 健郎

第40回日本眼科手術学会, 2017

81. Clustered Visual Field Progression of Primary Open-angle Glaucoma with Disc Hemorrhages in a Three-year Prospective Study.

Takeo Fukuchi MD, Tetsuya Togano MD, PhD, Hidenobu Tanihara MD PhD, Makoto Araie MD, Goji Tomita MD, Chota Matsumoto MD, Shinji Ohkubo MD PhD, Atsuo Tomidokoro MD, Masanori Hangai MD, Kazuhisa Sugiyama, MD, PHD, Hisashi Kawata, Hiroshi Inoue, Maya Inai, Yuki Tanaka

AAO, 2018

82. Correlation Among Foveal Avascular Zone(FAZ)Detected by OCT Angiography and Inner Retinal Thickness, and Visual Filed Defects in POAG/NTG patients.

Takeo Fukuchi, Ryoko Igarashi, Shun Ochiai, Tetsuya Togano, Yuta Sakaue, Ryu Iikawa, Aki Suetake.

EGS, 2018

83. 緑内障の構造・視野に関する前向き観察研究におけるクラスタ別視野進行と乳頭出血.

福地 健郎, 梅野 哲哉, 谷原 秀信, 東出 朋巳, 大久保 真司, 宇田川 さち子, 杉山 和久, 新家 真, 富田 剛司, 松本 長太, 富所 敦男, 板谷 正紀

第72回日本臨床眼科学会, 2018

84. ハンフリー視野測定と進行判定（教育セミナー）.

福地 健郎

第7回日本視野画像学会, 2018

85. Clustered Visual Field Progression of Primary Open-angle Glaucoma with Disc Hemorrhages in a Three-year Prospective Study, 2nd report.

Takeo Fukuchi MD, Tetsuya Togano, Hidenobu Tanihara MD PhD, Makoto Araie MD, Shinji Ohkubo MD PhD, Tomomi Higashide MD PhD, Kazuhisa Sugiyama, MD, PHD, Goji Tomita MD, Chota Matsumoto MD, Atsuo Tomidokoro MD, Masanori Hangai MD, Hisashi Kawata, Hiroshi Inoue, Maya Inai, Yuki Tanaka

AAO, 2019

86. 前視野緑内障の診断と治療（シンポジウム）.

福地 健郎

第123回日本眼科学会総会, 2019

87. 視野と生活を語る（シンポジウム）.

鈴村 弘隆, 福地 健郎

第8回日本視野画像学会, 2019

88. 新規ブリモニジン／チモロール配合点眼剤の第III相長期投与試験.

福地 健郎, 新家 眞, 関弥 卓郎

第73回日本臨床眼科学会, 2019

89. シンポジウム 3 :「視野と生活を語る」.

鈴村 弘隆, 福地 健郎

第 8 回日本視野画像学会, 2019

90. 緑内障からQOLを守るためのストラテジー – EBMからPCMへ – (特別講演).

福地 健郎

第74回日本眼科学会総会, 2020

91. 原発開放隅角緑内障の10年以上の長期経過と進行の危険因子 (シンポジウム).

福地 健郎

第31回日本緑内障学会, 2020

92. 緑内障長期管理の現状：第 1 回アンケート調査結果から (JGS special session).

福地 健郎

第32回日本緑内障学会, 2021

93. 『緑内障の構造から機能へ、そしてQOLへ』 (須田記念講演).

福地 健郎

第33回日本緑内障学会, 2022

94. 今こそトラベクレクトミーを理解し、術後管理を極める.

福地 健郎, 三木 篤也, 原 岳, 中元 兼二, 飯川 龍

第76回日本臨床眼科学会, 2022

95. 教育セミナー 匠の技②「患者のQOL」緑内障患者のQOL.

福地 健郎

第34回日本緑内障学会, 2023

96. 今こそトラベクレクトミーを理解し、術後管理を極める.

福地 健郎, 三木 篤也, 原 岳, 中元 兼二, 有松 真央

第77回日本臨床眼科学会, 2023

97. インストラクションコース初級～中級向け トラベクレクトミーを理解し、術後管理を極める.

福地 健郎

第78回日本臨床眼科学会, 2024

研究発表

1. The changes of the extracellular matrices in the optic nerve head od experimentally induced monkey glaucoma. [Association for Research in Vision and Ophthalmology annual meeting] (1990年4月某日 - 1990年4月某日)
2. Sulfated proteoglycans in the lamina cribrosa of the optic nerve head in mormal and laser-induced glaucomatous monkey eyes. [Association for Research in Vision and Ophthalmology annual

- meeting]
(1991年5月某日－1991年5月某日)
3. サル実験慢性緑内障眼における視神経篩状板のSulfated proteoglyについて[第2回日本緑内障学会]
(1991年8月31日－1991年9月1日)
 4. Sulfated proteoglycans in the alkali-injured rabbit corneas. [Association for Research in Vision and Ophthalmology annual meeting]
(1992年5月某日－1992年5月某日)
 5. Abnormal Lysosomal enzyme activity in conjunctival tissues of patients with keratoconus.
[Association for Research in Vision and Ophthalmology annual meeting]
(1993年5月某日－1993年5月某日)
 6. Expression of cathepsin G and α 1-proteinase inhibitor in keratoconus corneas. [Association for Research in Vision and Ophthalmology annual meeting]
(1994年5月某日－1994年5月某日)
 7. ヒト眼視神経乳頭部におけるインテグリンの分布と緑内障眼における変化 [第99回日本眼科学会総会]
(1995年4月20日－1995年4月22日)
 8. Expression of collagen types I, III, IV, V, VI and VII in the normal human trabecular meshwork.
[Association for Research in Vision and Ophthalmology annual meeting]
(1995年5月某日－1995年5月某日)
 9. ヒト眼の視神経篩状板における細胞接着性グリコプロテインの分布 [第6回日本緑内障学会]
(1995年9月15日－1995年9月16日)
 10. Expression of proteinase inhibitors in the human ciliary body[Association for Research in Vision and Ophthalmology annual meeting]
(1996年5月某日－1996年5月某日)
 11. ヒト眼の毛様態・線維柱帶における蛋白分解酵素抑制因子の発現 [第100回日本眼科学会総会]
(1996年5月15日－1996年5月19日)
 12. Collagern _brils and sulfated proteoglycans in the nanophthalmic sclere. [ICER(International Congress for Eye Research)Meeting]
(1996年9月某日－1996年9月某日)
 13. マイトマイシンCを併用した線維柱帶切除術後に可逆性の角膜実質混濁を生じた2例 [第7回日本緑内障学会]
(1996年9月6日－1996年9月8日)
 14. Expression of Glycoproteins in the Optic Nerve Head of Human and Monkey Glaucomatous Eyes. [Association for Research in Vision and Ophthalmology(ARVO)1997]
(1997年5月11日－1997年5月16日)
 15. サル緑内障眼の視神経乳頭部における細胞接着性グリコプロテインの変化 [第8回日本緑内障学会]
(1997年7月4日－1997年7月6日)
 16. 小角膜に伴う緑内障 [第51回日本臨床眼科学会]
(1997年10月17日－1997年10月19日)
 17. サル実験緑内障眼の視神経乳頭部における神経栄養因子の発現変化 [第102回日本眼科学会総会]
(1998年4月某日－1998年4月某日)

18. 細胞外マトリックスと緑内障性視神経障害 [第102回日本眼科学会総会]
(1998年4月2日－1998年4月4日)
19. サル実験緑内障眼の視神経乳頭部における神経栄養因子の発現の変化 [第102回日本眼科学会総会]
(1998年4月2日－1998年4月4日)
20. Distribution and Expression of Receptors for Neurotrophic Factors in the Normal and Glaucomatous Monkey
Optic Nerve Heads. [Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) 1998]
(1998年5月10日－1998年5月15日)
21. サル実験緑内障眼の視神経乳頭部における神経栄養因子受容体の分布・発現 [第9回日本緑内障学会]
(1998年9月某日－1998年9月某日)
22. サル実験緑内障眼の視神経乳頭部における神経栄養因子受容体の分布・発現 [第9回日本緑内障学会]
(1998年9月11日－1998年9月13日)
23. サル実験緑内障眼の視神経乳頭における形質転換増殖因子 (TGF)- β とその受容体の分布と発現の変化 [第103回日本眼科学会総会]
(1999年4月21日－1999年4月24日)
24. DISTRIBUTION AND EXPRESSION OF TGF- β , PDGF AND THEIR RECEPTORS IN THE NORMAL AND GLAUCOMATOUS MONKEY OPTIC NERVE HEADS. [Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) 1999]
(1999年5月9日－1999年5月14日)
25. サル実験緑内障眼の視神経乳頭部における血小板由来増殖因子 (PDGF) とその受容体の分布と発現 [第10回日本緑内障学会]
(1999年9月3日－1999年9月5日)
26. 非穿孔性濾過手術_非穿孔性線維柱帯切除術 (NPT) をいかにコントロールするか－ [第53回日本臨床眼科学会]
(1999年10月7日－1999年10月10日)
27. Nanophthalmos 眼強膜のコラーゲン線維とプロテオグリカン [第104回日本眼科学会総会]
(2000年4月6日－2000年4月8日)
28. COLLAGEN FIBRILS AND SULFATED PROTEOGLYCANS IN NANOPHTHALMIC SCLEROSIS. [Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) 2000]
(2000年4月30日－2000年5月5日)
29. Nanophthalmos眼による閉塞隅角緑内障のメカニズム [第11回日本緑内障学会]
(2000年9月1日－2000年9月3日)
30. 「正常眼圧緑内障の成因とマネージメント」緑内障眼における組織・細胞生物学的変化 [第11回日本緑内障学会]
(2000年9月1日－2000年9月3日)
31. 新しい濾過手術－現状の検証と目指すべき方向性－ [第24回日本眼科手術学会]
(2001年1月26日－2001年1月28日)
32. VARIOUS MECHANISMS RELATED WITH ANGLE CLOSURE GLAUCOMA IN NANOPHTHALMOS. [Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) 2001]

- (2001年4月29日－2001年5月4日、米国)
33. サル眼の視神経乳頭部・網膜におけるグルタミン酸トランスポーターの分布と実験緑内障眼での変化 [第105回日本眼科学会総会]
 (2001年5月某日－2001年5月某日)
34. 緑内障性視神経障害と細胞外マトリックス [ICER (International Congress for Eye Research) 日本部会・日本眼薬理学会]
 (2001年9月某日－2001年9月某日)
35. 「病期別の緑内障治療方針の決定」中期緑内障眼に対する治療方針 [第12回日本緑内障学会]
 (2001年9月某日－2001年9月某日)
36. "Neuroprotection in glaucoma" Some Neuroprotective Evidences in the Mechanisms of Glaucomatous Optic Neuropathy [Asia Oseania Glaucoma Society]
 (2001年10月某日－2001年10月某日)
37. 繊維柱帯切除術は穿孔性か？非穿孔性か？ [第19回関東眼科学会・第38回関東甲信越眼科学会合同学会]
 (2002年6月某日－2002年6月某日)
38. 「明日からの緑内障戦略」非接触型眼圧計と緑内障診療 [第13回日本緑内障学会]
 (2002年9月某日－2002年9月某日)
39. 「緑内障薬物治療Updabe」房水産生抑制薬 [第13回日本緑内障学会]
 (2002年9月某日－2002年9月某日)
40. 繊維柱帯切除術の必要性と新たな工夫 [第56回日本臨床眼科学会]
 (2002年10月某日－2002年10月某日)
41. 「徹底解剖、MMCレクトミー」 [第26回日本眼科手術学会]
 (2003年1月某日－2003年1月某日)
42. Various mechanisms related with angle-closure glaucoma in nanophthalmos. [IGS (International Glaucoma Symposium)]
 (2003年3月某日－2003年3月某日)
43. The Form and Ultrasound Biomicroscopic Findings of the Filtering Bleb after MMC/Trabeculectomy by Limbar Lncision [ARVO 2003]
 (2003年5月4日－2003年5月9日、米国)
44. Comparison of trabeculectomies between with limbar-incision and with fornix-incision. [Glaucoma in the 21st century]
 (2003年6月19日－2003年6月22日)
45. 「緑内障手術の評価」MMCレクトミーのバリエーションと術後評価 [第14回日本緑内障学会]
 (2003年9月某日－2003年9月某日)
46. ランチョンセミナー：既存薬、および新たな薬剤、-B遮断剤、PG製剤－ [第14回日本緑内障学会]
 (2003年9月某日－2003年9月某日)
47. インストラクションコース：「隅角の見方」、超音波生体顕微鏡(UBM)によって明かされた閉塞隅角緑内障の病態 [第57回日本臨床眼科学会]
 (2003年10月31日－2003年11月1日)
48. 「問題点から見た緑内障手術の評価」NPT in 日本 [第15回日本緑内障学会]
 (2004年9月某日－2004年9月某日)

49. 輪部切開MMCトラベクレクトミー後の濾過胞の形状と超音波生体顕微鏡（UBM）所見 [第58回日本臨床眼科学会]
(2004年11月11日－2004年11月14日)
50. インストラクションコース：隅角の見方を勉強しよう [第58回日本臨床眼科学会]
(2004年11月11日－2004年11月14日)
51. 「近未来の緑内障診療」緑内障性視神経症からみた近未来の緑内障診療 [第109回日本眼科学会総会]
(2005年3月某日－2005年3月某日)
52. COMPARISON OF BLEB APPEARANCES AND ULTRASOUND BIOMICROSCOPIC FINDINGS AFTER MMC TRABECULECTOMY BETWEEN WITH FORNIX-BASED AND WITH LIMBUS-BASED CONJUNCTIVAL FLAPS. [World Glaucoma Congress 2005]
(2005年7月6日－2005年7月9日)
53. 「血管新生緑内障」血管新生緑内障の診断と治療 [第16回日本緑内障学会]
(2005年9月某日－2005年9月某日)
54. 血管新生緑内障の治療－MMCレクトミーを成功させるためには－ [第16回日本緑内障学会]
(2005年9月16日－2005年9月18日, 熊本市)
55. 「緑内障治療のPro and Con」緑内障における神経保護治療 [第59回日本臨床眼科学会]
(2005年10月某日－2005年10月某日)
56. 緑内障治療における神経保護治療に明日はあるか？ 明日はない. [第59回日本臨床眼科学会]
(2005年10月7日－2005年10月10日)
57. インストラクションコース：隅角の見方を勉強しよう [第59回日本臨床眼科学会]
(2005年10月7日－2005年10月10日)
58. 緑内障性視神経障害・病理 [眼病理セミナー]
(2005年11月某日－2005年11月某日)
59. POAG の目標眼圧 [第17回日本緑内障学会]
(2006年9月8日－2006年9月10日)
60. 落屑緑内障眼へのトラベクロトミートリプル, トラベクレクトミートリプル, MMCトラベルレクトミーの比較 [第60回日本臨床眼科学会]
(2006年10月5日－2006年10月8日, 京都市)
61. インストラクションコース：「隅角の見方を勉強しよう」, 隅角の異常所見と鑑別診断 [第60回日本臨床眼科学会]
(2006年10月5日－2006年10月8日)
62. INTRAOCULAR PRESSURE AND PROGRESSIVE RATE OF VISUAL FIELD DEFECT IN POAG[6th International Glaucoma Symposium]
(2007年3月28日－2007年3月31日, アテネ)
63. (狭義) 原発開放隅角緑内障における眼圧と視野障害進行速度 [第111回日本眼科学会総会]
(2007年4月19日－2007年4月22日, 大阪市)
64. ランチョンセミナー：私がβ遮断剤を使う理由－ゲル剤の有用性から－ [第111回日本眼科学会総会]
(2007年4月19日－2007年4月22日)
65. イブニングセミナー：PG誘導体の可能性－臨床を中心に [第45回北日本眼科学会]
(2007年7月28日－2007年7月29日)
66. (広義) 原発開放隅角緑内障の視野障害進行速度 [第45回北日本眼科学会]

- (2007年7月28日－2007年7月29日)
67. (狭義) 原発開放隅角緑内障における眼圧と視野障害進行速度 [第18回日本緑内障学会]
(2007年9月14日－2007年9月14日, 岐阜市)
68. 緑内障オールスター：視神経乳頭の構築と緑内障性視神経症のメカニズム・再考 [第18回日本緑内障学会]
(2007年9月14日－2007年9月14日)
69. シンポジウム：「目標眼圧の考え方の変化」 目標眼圧の設定（2） [第61回日本臨床眼科学会]
(2007年10月11日－2007年10月14日)
70. モーニングクルーズ：『視神経乳頭観察のコツ, 応用編』, 緑内障とまぎらわしい症例と鑑別のコツ
[第61回日本臨床眼科学会]
(2007年10月11日－2007年10月14日)
71. INTRAOCULAR PRESSURE AND THE PROGRESSIVE RATE OF VISUAL FIELD DEFECTS
IN POAG [第11回米国眼科学会議(AAO)]
(2007年11月10日－2007年11月13日)
72. シンポジウム：「緑内障手術, 次の一歩は？」, 非穿孔性纖維柱帶切除術 (NPT) の適応は？ 次の一
手は？ [第31回日本眼科手術学会総会]
(2008年1月某日－2008年1月某日)
73. 視神経を中心とした緑内障性視神経症の臨床像と進行評価 [第112回日本眼科学会総会]
(2008年4月17日－2008年4月20日)
74. 落屑緑内障に対するロトミートリプル, レクトミートリプル, MMCレクトミーの比較 [第46回北日
本眼科学会]
(2008年7月12日－2008年7月13日, 盛岡市)
75. 緑内障点眼薬による角膜障害の現状 [第19回日本緑内障学会]
(2008年9月12日－2008年9月14日)
76. 緑内障点眼薬による角膜上皮障害 [第19回日本緑内障学会]
(2008年9月12日－2008年9月14日)
77. 隅角の異常所見と鑑別診断 [第19回日本緑内障学会]
(2008年9月12日－2008年9月14日)
78. シンポジウム：質の高い眼圧治療を目指して広義・原発開放隅角緑内障の視野障害進行速度と眼圧,
薬物治療と手術治療 [第19回日本緑内障学会]
(2008年9月12日－2008年9月14日)
79. Trabeculotomy Combined With Phacoemulsification and Intraocular Lens Implantation
(Phacotrabeculotomy) for Pseudoexfoliation Glaucoma [2008 SEAGIG / AACGC Joint Congress]
(2008年9月25日－2008年9月27日)
80. (広義) 原発開放隅角緑内障の視野障害進行速度 [第62回日本臨床眼科学会]
(2008年10月23日－2008年10月26日)
81. THE PROGRESSIVE RATE OF UPPER AND LOWER VISUAL FIELD DEFECT IN
JAPANESE OAG PATIENTS. [AAO Joint meeting with the European Society of Ophthalmology
(SOE)]
(2008年11月8日－2008年11月11日)
82. 教育セミナー：「緑内障手術」, 濾過胞再建術 [第32回日本眼科手術学会総会]

- (2009年1月23日－2009年1月25日)
83. ランチョンセミナー：NTGの治療戦略、薬物治療によるアプローチ [第32回日本眼科手術学会総会]
(2009年1月23日－2009年1月25日)
84. (広義) 原発開放隅角緑内障の視野障害進行速度と眼圧因子、及び諸因子に関する解析 [第113回日本眼科学会総会]
(2009年4月16日－2009年4月19日、東京都)
85. どうしていますか？ 緑内障薬物治療「PG+B：まずはB遮断薬」 [第113回日本眼科学会総会]
(2009年4月16日－2009年4月19日、東京都)
86. The probability, the severity and the related factors of drug-induced keratopathy with anti-glaucoma Medications[WGC 2009]
(2009年7月8日－2009年7月11日)
87. Corneal damage following appropriate laser iridotomy is negligible[World Glaucoma Congress 2009]
(2009年7月8日－2009年7月11日、Boston, Massachusetts, USA)
88. 眼圧下降率と(広義)原発開放隅角緑内障の視野障害進行速度、目標眼圧の設定(POAGの眼圧下降率と進行速度) [第63回日本臨床眼科学会]
(2009年10月9日－2009年10月12日、福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ)
89. Bevacizumab併用硝子体手術による血管新生緑内障の治療成績 [第63回日本臨床眼科学会]
(2009年10月9日－2009年10月12日、福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ)
90. 角膜周辺部の肥厚による両眼の閉塞隅角緑内障を来たした1例(周辺角膜の肥厚によるSACG) [第63回日本臨床眼科学会]
(2009年10月9日－2009年10月12日、福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ)
91. 緑内障患者におけるVisual Field Index (VFI)とQuality of Vision (QOV)の相関 ショートタイトル：VFIとQOVの相関 [第63回日本臨床眼科学会]
(2009年10月9日－2009年10月12日、福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ)
92. 増殖糖尿病性網膜症に対するbevacizumab併用硝子体手術前後の眼圧変化 [第63回日本臨床眼科学会]
(2009年10月9日－2009年10月12日、福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ)
93. THE PROGRESSIVE RATE OF VISUAL FIELD DEFECTS AND THE RELATED FACTORS IN OAG PATIENTS[AAO2009]
(2009年10月24日－2009年10月27日、サンフランシスコ、米国)
94. 緑内障手術－トラブルシューティング－2) 濾過胞再建術：濾過胞復活のための対策 [第33回日本眼科手術学会総会]
(2010年1月22日－2010年1月24日)
95. 巨大なOverhanging blebの一例に対する乾燥羊膜併用濾過胞再建術 [第33回日本眼科手術学会総会]
(2010年1月22日－2010年1月24日)
96. Overhanging Blebに対する濾過胞再建術の角膜乱視および矯正視力の検討 [第33回日本眼科手術学会総会]
(2010年1月22日－2010年1月24日)
97. 広義・原発開放隅角緑内障眼に対する上下別、セクター別トレンド解析による進行判定 [第114回日本眼科学会総会]

- (2010年4月15日－2010年4月18日)
98. 強度近視を伴う広義・原発開放隅角緑内障眼の視野障害進行速度 [第114回日本眼科学会総会]
(2010年4月15日－2010年4月18日)
99. The progressive rate of visual field defects and the related factors in OAG patients. [The 25th Asia-Pacific Academy of Ophthalmology Congress 2010]
(2010年9月16日－2010年9月20日)
100. 広義・原発開放隅角緑内障の眼圧管理における量と質 [第21回日本緑内障学会]
(2010年9月24日－2010年9月26日)
101. 虹彩角膜内皮症候群に伴う続発緑内障の治療成績 [第21回日本緑内障学会]
(2010年9月24日－2010年9月26日)
102. 「眼圧の基礎と臨床」 [第21回日本緑内障学会]
(2010年9月24日－2010年9月26日)
103. 緑内障患者の読書評価 – MNREAD-Jによる検討 – [第21回日本緑内障学会]
(2010年9月24日－2010年9月26日)
104. SECTOR- BASED TREND-TYPE ANALYSIS TO DETECT THE PROGRESSION OF VISUAL FIELD DEFECT IN OAG PATIENTS [Annual Meeting: American Academy of Ophthalmology 2010]
(2010年10月16日－2010年10月19日)
105. 広義・原発開放隅角緑内障眼のセクター別トレンド解析の進行判定、病期・病型の違い [第64回日本臨床眼科学会]
(2010年11月11日－2010年11月14日)
106. 緑内障治療におけるPatient-Centered Medicine (PCM) とアドヒアランス (緑内障のPCM とアドヒアランス) [第64回日本臨床眼科学会]
(2010年11月11日－2010年11月14日)
107. スペクトラルドメインOCTによる緑内障眼視神経篩状板孔の観察と計測 [第64回日本臨床眼科学会]
(2010年11月11日－2010年11月14日)
108. 円蓋部基底および輪部基底結膜弁法によるMMCトレベクレクトミーの長期成績 [第34回日本眼科手術学会総会]
(2011年1月28日－2011年1月30日、国立京都国際会館)
109. 濾過胞再建術：濾過胞復活のための対策 [第34回日本眼科手術学会総会]
(2011年1月28日－2011年1月30日、国立京都国際会館)
110. 原発開放隅角緑内障における進行速度別クラスタ別トレンド解析による視野障害進行判定 [第115回日本眼科学会]
(2011年5月12日－2011年5月15日、東京国際フォーラム)
111. 読書困難の自覚と視野障害との関係 – 緑内障による検討 – [第12回日本ロービジョン学会学術総会]
(2011年6月3日－2011年6月5日、北九州国際会議場)
112. Observation and Morphometry of the Glaucomatous Lamina Cribrosa Using Spectral Domain Optical Coherence Tomography (SD-OCT). [World Glaucoma Congress 2011]
(2011年6月29日－2011年7月2日、Paris, France)

113. A case of subacute bilateral angle-closure glaucoma caused by congenital peripheral corneal thickening
Ing[World Glaucoma Congress2011]
(2011年6月29日－2011年7月2日, Paris, France)
114. SD-OCTにおいて網膜内層に分離所見が観察されたPOAGの3症例 [第22回日本緑内障学会]
(2011年9月23日－2011年9月25日, 秋田ビューホテル)
115. 新潟大ロービジョン外来における緑内障患者の受診状況 [第22回日本緑内障学会]
(2011年9月23日－2011年9月25日, 秋田ビューホテル)
116. インストラクションコース：もっと医療コミュニケーション8 [第65回日本臨床眼科学会]
(2011年10月7日－2011年10月10日, 東京国際フォーラム)

科学研究費獲得実績

1. (代表) 1996. 文部科学省科学研究費補助金・奨励研究 (A). 緑内障による視神経障害とアポトーシスについて. 福地 健郎. 1,100千円.
2. (代表) 2002~2003. 文部科学省科学研究補助金・萌芽研究. 網膜神経節細胞蛍光発色マウスの作製と網膜神経節細胞死の新たな評価系の確立. 福地 健郎, 他. 3,200千円.
3. (代表) 2011~2013. 文部科学省科学研究費助成金・基盤研究 (C). 緑内障眼の視神経乳頭部における細胞・細胞外マトリックス構造のインターアクション. 福地 健郎, 他. 2,600千円
4. (代表) 2015~2017. 文部科学省科学研究費助成金・基盤研究 (C). 緑内障患者の視覚的QOL維持のための形態・機能解析と個別化治療. 福地 健郎, 他. 4,160千円
5. (代表) 2018~2020, 文部科学省科学研究費助成金・基盤研究 (C). 緑内障から生涯の視覚的QOLを守るためのストラテジー. 福地 健郎, 他. 4,290千円
6. (代表) 2022~2024, 文部科学省科学研究費助成金・基盤研究 (C). 緑内障による構造と機能の変化はどのように患者のQOLを障害するのか? 福地 健郎, 他. 3,200千円
7. (分担) 1998~1999. 文部科学省科学研究補助金・基盤研究 (C). 緑内障眼による視神経細胞死の病態機構解明のための臨床的・細胞生物学的研究. 阿部 春樹, 福地 健郎, 他. 3,600千円.
8. (分担) 2000~2001. 文部科学省科学研究補助金・基盤研究 (C). 緑内障の視神経細胞死の病態機構解明と新しい治療法の確立に関する細胞生物学的研究. 3,500千円.
9. (分担) 2003~2004. 文部科学省科学研究費補助金・萌芽研究. 線維柱帯への遺伝子導入と細胞外マトリックスの動態. 原 浩昭, 福地 健郎, 他. 3,300千円.
10. (分担) 2003~2004. 文部科学省科学研究補助金・基盤研究 (B). 緑内障の視神経障害と神経細胞死の病態機構の解明に関する研究. 阿部 春樹, 福地 健郎, 他. 16,700千円.
11. (分担) 2004~2005. 文部科学省科学研究補助金・萌芽研究. 虚血・眼圧負荷モデルによる正常眼圧緑内障の病態解明. 阿部 春樹, 福地 健郎, 他. 3,200千円
12. (分担) 2005~2006. 文部科学省科学研究補助金・基盤研究 (B). 緑内障性視神経障害の分子機構の解明と治療に関する研究. 阿部 春樹, 福地 健郎, 他. 15,700千円.
13. (分担) 2014~2017. 文部科学省科学研究補助金・基盤研究 (C). 高度視野狭窄患者の視野障害が自動車運転能力に与える危険性の評価と運転支援. 國松 志保, 福地 健郎, 他. 4,940千円
14. (分担) 2022~2024. 文部科学省科学研究補助金・基盤研究 (C). 房水造影法と光干渉断層血管造影を用いた緑内障眼の房水主流出路機能評価法の確立. 赤木 忠道, 福地 健郎, 他. 4,160千円
15. (分担) 2000~2002. 厚生省科学研究費補助金. 神経科学的アプローチによる緑内障の病態解明と治療法の開発に関する研究. 阿部 春樹, 福地 健郎, 他. 33,000千円.
16. (分担) 2003. 厚生科学研究費補助金. 網膜ニューロンの緑内障性障害 - それに対する保護と再生 -. 阿部 春樹, 福地 健郎, 他. 6,000千円.

17. (分担) 2006~2007. 厚生科学研究費補助金. 日本人の緑内障に対するより有効な予防と治療 臨床的・基礎的エビデンスの確立 (1). 阿部 春樹, 福地 健郎, 他. 10,000千円.
18. (分担) 2008~2009. 厚生科学研究費補助金. 日本人の緑内障に対するより有効な予防と治療 臨床的・基礎的エビデンスの確立 (2). 阿部 春樹, 福地 健郎, 他. 5,000千円.

競争的研究資金

1. (代表) 日本眼球銀行・海外研究助成, 1993 : 円錐角膜における器質分解酵素とその抑制因子の遺伝子発現
2. (代表) 新潟県成人病等治療研究, 1996 : 緑内障における視神経障害の発症機構解明, および新たな治療法の可能性の追求
3. (代表) 日本失明予防協会研究助成, 1999 : 緑内障性視神経障害に対する神経栄養因子欠乏とグルタミン酸毒性の関与について
4. (代表) 今井記念緑内障研究助成, 2002 : 緑内障眼の視神経乳頭部における視神経障害機構への神経保護的観点からのアプローチ
5. (代表) 新潟県受託研究2012 : 水俣病, 緑内障, 中枢神経疾患患者の視機能がQOLに与える影響に関する研究, 特に読書能力, 運動能力について
6. (代表) 新潟県受託研究2013 : 水俣病, 緑内障, 中枢神経疾患眼における網膜・視神経乳頭構造と視機能との関連
7. (代表) 新潟県受託研究2014 : 水俣病, 緑内障, 中枢神経疾患眼における視力と中心視野障害および黄斑部網膜内層菲薄化の関連
8. (代表) 新潟県受託研究2015 : 水俣病, 緑内障眼における中心視野機能と構造変化の関係性 (クラスタ化による検討)
9. (代表) 新潟県受託研究2016 : 水俣病, 緑内障眼のビッグデータ解析に向けた, 施設内データベース構築
10. (代表) 新潟県受託研究2017 : 水俣病, 緑内障眼のSwept Source OCTを用いた視野推定
11. (代表) 新潟県受託研究2018 : 水俣病, 緑内障眼におけるヘッドマウント型視野計を用いた両眼開放視野に関する研究
12. (分担) 難治性疾患実用化研究事業 2018~現在進行中 : 先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の原因となる難病の診療向上に向けた, 疾患横断的な全国多施設レジストリ研究
13. (代表) 新潟県受託研究2019 : 水俣病, 緑内障眼におけるヘッドマウント型視野計を用いた両眼開放視野に関する研究
14. (代表) 新潟県受託研究2020 : 水俣病, 緑内障眼における視野及び光干渉断層計 (OCT) 網膜内層構造と視覚の質 (QOV) の関係
15. (代表) 新潟県受託研究2021 : 水俣病, 緑内障眼におけるコントラスト感度と視覚の質 (QOV) の関係
16. (代表) 新潟県受託研究2022 : 水俣病, 緑内障眼における各種角膜パラメータの視機能に与える影響の検討
17. (代表) 新潟県受託研究2023 : AIによる水俣病, 緑内障患者のquality of vision (QOV) スコア予測

モデルの検討

18. (代表) 新潟県受託研究2024：水俣病、緑内障患者のquality of vision (QOV) スコアの経時変化

第4章

主催学会の記録

主催学会の記録

第31回真鶴セミナー（神経眼科宿泊勉強会）

会期：2015年8月29日（土）～8月30日（日）

会場：1日目 新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター6階セミナーホール

2日目 ホテルラングウッド新潟

形式：現地開催

司話人：植木 智志（新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター）

第17回日本ロービジョン学会学術総会

会期：2016年8月26日（金）～8月28日（日）

会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

形式：現地開催

会長：石井 雅子（新潟医療福祉大学）

名誉会長：福地 健郎（新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授）

第29回日本緑内障学会

会期：2018年9月14日（金）～9月16日（日）

会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

形式：現地開催

会長：福地 健郎（新潟大学大学院医歯学総合研究科視覚病態学分野 教授）



第34回日本眼窩疾患シンポジウム

会期：2019年11月9日（土）

会場：新潟医療人育成センター

形式：現地開催

会長：張 大行（新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野）

第13回日本視野画像学会学術集会

会期：2024年6月1日（土）～6月2日（日）
会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
形式：現地開催
会長：福地 健郎（新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授）



東日本神経眼科勉強会～第39回真鶴セミナー～

会期：2024年8月3日（土）～8月4日（日）
会場：伊香保温泉 ホテル天坊
形式：現地開催
司話人：植木 智志（新潟大学医歯学総合病院眼科）

第129回日本眼科学会総会2025年4月17日（木）～4月20日（日）

会期：2025年4月17日（木）～4月20日（日）
会場：東京国際フォーラム
形式：ハイブリッド開催・オンデマンド配信
会長：福地 健郎（新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授）



福地健郎教授就任記念祝賀会

会期：2013年2月23日（土）

会場：ホテルイタリア軒 三階「サンマルコ」



新潟大学医学部眼科学教室 福地健郎教授就任記念祝賀会 平成25年2月23日 於 ホテルイタリア軒



新潟大学医学部眼科学教室 福地健郎教授就任記念祝賀会 平成25年2月23日 於 ホテルイタリア軒



新潟大学医学部眼科学教室 福地健郎教授就任記念祝賀会 平成25年2月23日 於 ホテルイタリア軒

福地健郎教授退任記念祝賀会

会期：2025年3月1日（土）

会場：ホテルオークラ新潟 四階「コンチネンタル」





新潟大学医学部眼科学分野
福地健郎教授退任記念祝賀会

令和7年3月1日

Leofoto
NIPPON

第6章

歴代総括医長 寄稿文

初代医局長の思い出

2011年4月～2014年3月 総括医長

済生会新潟病院 長谷部 日（1992年入局）

福地教授がついに退任を迎えられました。就任されてから12年以上の歳月が過ぎましたが、あっと言う間だったような気がします。この間、国内における緑内障の臨床と研究の拠点として新潟大学をリードしてこられた福地教授の業績は讃えきれません。そして数々の悪条件が重なり続けた中でも新潟県の眼科医療を維持できたことは、福地教授と眼科学教室が一体となって成し遂げた最大の成果の一つです。福地先生のご尽力に心から感謝申し上げたいと思います。

福地教授就任時に医局長（現在は総括医長という名称）だった私は、教授選の日の事を今も覚えています。結果の知らせを受けたのは'12年10月9日、医局長室においてでした。その週は休暇をとっていたのですが、同日は医局長室で溜まった事務仕事をしながら教授選の結果を待つことにしました。遅くても夏までには新教授が決まりますよ、と学内の各所から聞かされていたのに結局10月。医局長は所詮医局員の代表に過ぎず実際には教室外に対して何の権限も持っていないのです。言わば情報弱者の私は教授選がまさかその時期までずれこむとは思っておらず、翌日から家族でディズニーランドにでかける計画をたてていました。旅行中は晴れやかな気分で過ごしたいと願っていましたが果たしてどうなるか…

同日夕方に某教授から「間もなく眼科の教授選が行われます」というメールが届きました。4月から教授も准教授も不在となり取り残された医局長を不憫に思ったのか、私のことを気にかけてくださり春から色々とご支援をいただいていました。

その後はただ結果を待つしかありません。何とも言えない気分で過ごしていると30分ほど経って再びメールの着信があり、そこには一言「福地先生が選出されました」と書かれていました。それだけの短い文面でしたが何度も何度も見返したこと覚えています。すぐに事務局に行き第一報を伝え一同胸を撫で下ろしました。学務係からも間もなく正式な知らせが医局に届き、半年間医局が置かれていた教室責任者不在というカオスな状況がようやく終わりを迎えるました。

教授選が終われば新たにやることもあったと思いますが、旅行計画をキャンセルにするのは家族に申し訳ない（流石に私も休みくらいは取りたかった）ので副医局長の田中隆之先生に留守をさせて予定通り旅行に出発しました。道中をいい気分で過ごし、翌日ディズニーランドの花火を「祝賀会だぞー」と言いながら一人浮かれて眺めていたのを思い出します。

当然ながら旅行から戻るとまた仕事の山が待っていました。最優先事項は翌月に控えた新外来棟（今の外来棟）のオープンという一大イベントの準備でした。移転準備のため暇さえあれば新旧の外来を行き来する日々が続きました。福地先生の正式な就任はまだ先でしたが、それまで医局長判断になっていた用件を諸々引き受けただけたのはとても有難かったです。当時のメールを見ると、県病院局と進めていた魚沼基幹病院の開設準備の話し合いを早速福地先生にお願いした形跡があります。そんな事まで自分がやっていた（やらざるを得なかった）とは驚きです。そして12月、教授選の結果次第ではどうしたものかと悩んでいた集談会は福地新教授の講演で無事に締めることができ、岩田名誉教授も大変に嬉しそうにされていました。同窓会忘年会、そして年末の医局忘年会は新教授就任祝賀会となり、新しい教室のスタートに向けて医局員一同で大いに盛り上がりました。

おめでたムードに溢れた年末が明けてからは教授就任祝賀会の準備が進んでいきました。これも大き

なイベントでしたが、阿部教授の退任祝賀会を経験していたお陰で準備と運営の大筋は把握しておりあまり負担は感じずに済みました。このような稀有な経験を活かす機会は私にはもうありませんので、記録を作成して医局に残してあります。

2月末に就任祝賀会が盛会で終了し、いよいよ新教授の新年度が始まろうとしていた頃、福地先生のご要望でもう一年医局長業務を継続することが決まりました。

12月の教授就任から既に様々な改変や調整が始まっており、教室のハード面、ソフト面の至る所が変わっていました。医局では検討会室の刷新を始めましたが、病院と学部の両者の手続きが必要でしかも簡単な話では済まないことが分かりいきなり頓挫しました。いかにも大学らしいトラブルでした。外来では診療体制や予約システムの整理と改変が進んで現在に続く外来運営方法の基盤ができ、これに合わせて関連病院への出張も整理を進めました。研修制度の変更の影響で医局員が減少し関連病院の維持がいよいよ難しくなってきた時期でもありましたので、人のやり繩りはややこしい問題だらけでした。さらに社会情勢も鑑みて職員の雇用方法もいろいろと改変されました。丁度病院も雇用体系を刷新しようとしている時期であることが分かり、部分的にはありましたがその流れに乗ったというところです。病院の事務といろいろやりとりをしているうちに有益な情報も流れてくるようになり助かりました。こうして医局は日々様変わりしていき、内部にいた私ですらそのスピードに驚きを隠せませんでした。

新外来がオープンして半年以上経った6月、使われずにいた外来手術室で硝子体注射を開始しました。これで硝子体注射をわざわざ中央手術室で行う必要がなくなり件数を一気に増やすことができましたが、外来手術室への移行は手術部への提案から実際の稼働まで実に一年以上を要しました。その間は様々な部署を相手に説明と交渉、さらに様々な調整が連続し予想外に苦労することになりました。

学生教育においても福地先生の意向で実習方法を大きく変更することになりました。その後は頻繁に改変を加えながら試行錯誤が続いていくのですが、人手が少なくなっていく中で臨床業務の合間に医局員が教育活動にまで時間を割くのはなかなか厳しかったと思います。手間を惜しまず協力していただいた皆さんには感謝するしかありません。（その後コロナ禍で積み上げてきたものがリセットされてしまったのは実に無念でした）

こんな具合に多種多様の医局長業務が毎日毎日続きました。当時のメールを見ると医局内、学内、病院そして学外の様々な方々と折衝しながら明け暮らしていたようです。その合間に医局にありがちなアクシデントも色々と生じていましたから、三年目の医局長生活は一年目二年目の比ではなくまさに怒涛の如く過ぎ去って行きました。具体的にどんな仕事をしていたか？と考えてみたのですが、これと言った事がむしろ思い浮かびません。しかし福地先生の新しい教室づくりに関わることに大きなやり甲斐を感じていましたので、あまり苦しさを感じることなく、どちらかと言えばテンション高い今まで過ごしていたような気がします。メールを見ると、年度後半には教室整備が一段落して通常の医局長業務に戻っていました。自己満足に過ぎないかもしれません、自分が手を出せる所は全て片付けたつもりで一年後に医局長の仕事はなんとか終わりを迎えることができました。医局長室では副医局長（兼病棟長）および外来長だった田中隆之先生、松田英伸先生、松岡尚氣先生に沢山助けていただきました。改めて感謝申し上げます。

さて、私が眼科に入局したのは'92年の岩田教授時代最後の年でした。翌年の阿部新教授の就任の時を学内で迎えましたが、後に自分が医局長として阿部教授の退任を見届けるとは思いもしませんでした。さらに教授が代替わりして福地新教授の下で数年間を過ごし'21年に大学医局生活を終えました。そしてこの度、福地教授の退任です。阿部教授と福地教授お二人の時代を学内の至近距離で見ていた私にとっては、冒頭にも述べましたが長い年月でありながらあっと言う間に過ぎ去って行った気がします。教授

は退任までの限られた期間に着実に業績を蓄積し続けなければなりませんし、さらに新しい知見を世に発信する義務までも負っています。そして教室だけでなく大学も、さらに学会をも前進させなければなりません。さらに地域医療の要としての采配を振るうことも求められます。教授というのは並外れた推進力と統率力を發揮し続けなければならない大変な立場にあると改めて感じます。

福地先生は私が教室に入局して間もなく留学から戻されました。ある時、当時新人だった我々の前に見慣れない背の高い先生がふらりと現れそれが福地先生でした。以来私にとっては数年上の医局の先輩という存在でした。教授に就任された当初も同じように接していたのですが、その後は教授として活躍される中でどんどん風格を帯びていき、最早顔見知りの先輩などではなく一段も二段も高いステージに上っていくように感じられました。教室のメンバーとして私はそれを誇るべき事だと感じていましたし、その福地教授が率いる眼科学教室を是非支えたいという意思を持ちながら大学時代を過ごしていたと思います。しかし医局にいる時は福地教授はやはり長年の先輩であることに変わりはなく（と私が勝手に思っていただけかもしれません）、教授室で仕事の相談をもちかけたり時に雑談したり、気軽に接することができたのは大学在籍中のよい思い出になっています。

現在の私はどういうわけか四月から済生会病院で11年ぶりに医局長を務めています。今更…と不安を感じながら着任してみると、業務はかつて経験したものとは比較にならないほど少なく特に負担は感じられません。これも大学の医局長室で日夜鍛えられたお陰なのでしょう。教室の過渡期に三年間の医局長を務めたことは私の人生において貴重な経験であったと思います。

長くなりましたが、最後に福地先生のご健勝と今後も変わらぬご活躍を、そして新潟大学眼科学教室がこれからも発展し続けることを祈念して結びにしたいと思います。

ご退官の祝辞

2014年4月～2017年3月 総括医長

松 田 英 伸 (1998年入局)

福地先生、ご退官おめでとうございます。歴代総括医長として原稿依頼を受けましたので、経時に懐かしく思い出しながら記させていただきます。

福地先生から本格的にご指導いただきましたのは、入局3年目で大学院に入つてからでした。当時の大学院は基礎研究室に配属し、診療は週1・2回の外勤のみでしたので勤務環境が全く変わり困惑しておりました。研究の方向性もわからなかつた私に毎月直接対面でご指導いただき、その後無事に博士号を取得できましたのは先生のおかげと感謝しております。また大学院時にフロリダのARVOに同行させて頂きました。当時、上田潤先生がアメリカにご留学をされており、先生方のlaboの見学やいろいろな行きつけのお店でローストビーフやストーンクラブなど素晴らしいお食事をご一緒できました。学会のことはほとんど忘れていますが、このような楽しい思い出は昨日のように覚えております。

時代は下りまして2012年11月、教授にご就任されました。私は福地教授時代の第2代総括医長として3年、副医局長として3年、医局の草創期を務めさせていただきました。2012年当時、私は副医局長・病棟長で、毎週水曜の検討会の司会は病棟長が務めるよう指示がありました。先生は検討会で活発な討論をするよう、多くの人が発言できるようにご配慮されておりました。私は引っ込み思案で発言することが苦手ですのであまりお力になれず歯がゆい思いをしておりましたが、先生自ら私や若手に意見を求めたり質問をされるご様子を拝見して些細なことではありますが新しい医局の風を感じおりました。また、医局員の確保は喫緊の課題でした。そのため先生は学生講義や臨床実習の改革を率先して行っておられました。私が総括医長のとき、眼科独自の勧誘セミナーとして“新潟大学眼科セミナー”を企画するよう指示がありました。第1回が2014年の秋で参加者は6名でしたが、このうち3名が、飯川龍先生、田沢綾子先生、鎌田絹子先生と現在も医局でご活躍されている先生方が参加されておりました。視能訓練士の待遇改善にもご尽力いただきました。他大学の雇用状況や眼科収益における検査料の割合をdataとして収集し、一緒に病院長に直談判をさせていただきました。これにより常勤枠の増加と新しく非常勤フルタイムという枠で雇用を拡大することができました。厳密にいうと視能訓練士は診療支援部で診療部とは配属部が異なるのですが、同じ眼科診療に携わる者としてその待遇改善に尽力されたことは先生の寛大なご性格が表れていることと思いますし、またしっかりとdataを示して成果を勝ち取ることは先生の今までの臨床研究やご経験に通じることなんだろうと感じ入っておりました。

また先生は2013年より財団法人（2014年より公益財団法人）新潟県臓器移植推進財団理事にご就任されました。それと並行し先生のご指導の下、2013年7月より、SeattleのSlight lifeと東京歯科大角膜センターAIバンクの斡旋協力を得て海外ドナーを用いた角膜移植術を始めることができました。先生と一緒に病院長や病院事務に移植医療の社会貢献度を説明し、斡旋にかかる費用は、新潟大学医歯学総合病院が負担するという素晴らしい条件でシステムを構築することができました。そのおかげで移植件数は倍増し、2016年度以降は術式も半数以上がDSAEKを占めることになりました。この功績で先生は2022年度、厚生労働大臣より臓器移植対策推進功労者に対する感謝状を贈呈されました。その受賞に一翼を担えたことは私としても大変誇らしく思っております。

歴代総括医長としての原稿依頼でしたので昔の医局会のスライドを見ておりましたが総括医長というのは人事権もあり皆がhappyというわけにはいきません。なかなか大変だったことも思い出しましたが福地先生の下だからこそ自分でもできたんだろうと思っています。この経験は自院の従業員の雇用や対応、経営にも大きな経験となっており、得難いものと感謝しております。

福地先生、大学や医局では退官ということですが、関連病院での診療や県外の病院でも手術の指導をされているとお聞きしております。先生のご性格上、今後もゆっくりと、なんてことはないと思いますが、お体にお気をつけてますますのご活躍を祈念しております。

福地健郎教授ご退任に寄せて

2017年4月～2019年3月 総括医長

松 岡 尚 気 (1999年入局)

私が総括医長を務めさせていただいたのは2017年4月から2019年3月の期間になります。

2020年3月に新潟大学眼科学教室を離れて以来すでに五年余りを経て、様々な記憶が定かではなくなっております。在職中には新潟大学のメールシステムを使用して教授はもちろん、医局員他、対外的な連絡もとっておりましたので、そのアドレスにおける内容を確認することができなくなってしまった今、福地先生との詳細なやりとりに関するエピソードを見つけ出せないのは非常に残念ですが、PCなどに残るわずかなデータから、当時の思い出を引っ張り出して述べさせていただきます。曖昧なものばかりになることをどうかご容赦お願いしたく存じます。

私の中の“教授”といえば、まずは入局当時の教授であられた阿部春樹先生となります。臨床的なご指導をいただいたり、各方面との折衝の姿を拝見したりする中で、もっとも現実的な教授像となる先生でした。そして、その時すでに医局を退官され、名誉教授の立場におられた岩田和雄先生は、出張先の海谷眼科や集談会、時々医局などでお会いするうちに、常に背筋の伸びた姿勢の良さと若い我々の模範となるべき永遠の探求心をもたれた姿も相まって、私にとってはまさに世間の皆さんのが想像するような“the教授”的存在となっていました。翻って福地教授は、もちろん多方面で偉大なる教授でありましたが、晩年、医局運営側としての繋がりがメインになった私の中では、立場変わってむしろ（私にとって）非常に大変だった医局仕事を長年一緒にこなしてきたチームのリーダー、というイメージがもっとも強く残っているかもしれません。

福地先生との出会いは、もちろん私の入局1年目です。その頃の先生といえば、阿部先生の右腕として緑内障班のエースといったご様子で臨床に研究にバリバリとご活躍されており、一年目の緑内障班、太田（A）G、須田Gでなくせくと働く私には雲の上の存在でした。その後二年目からずっと外病院に赴任、留学に出ていた私は2010年によく大学に戻って再会を果たすこととなりますが、2012年に教授就任された先生に助教に指名していただいた頃から、一介の医局員としてのんびり過ごしていた私の生活がどんどんと多忙になっていったように感じています。2015年、私が外来長の際には、福地教授が新病院の外来移転に合わせて外部コンサルタントを依頼され、外来の導線や予約調整、待ち時間対策などの改良に共に取り組みました。電子カルテの導入と合わせ、私にとってそれは、そこはかとなく新しい新潟大学眼科学教室の時代の訪れを感じた時となりました。

2017年4月からの私の総括医長時代に医局として力を入れたのは、まずは新入局者の獲得でした。眼科セミナーでも体験手術を白内障だけでなく、硝子体手術、角膜移植などにまで広げたり、勧誘の会を含めて様々な企画を行ったり、ぎりぎりのコンプライアンスさえ守っていれば、福地教授は自由にやらせてくださいました。その他、県央基幹病院外来の設計、大学とのインセンティブの交渉、眼科の売り上げや方針、人事に関する点などを頻繁にご相談したことを覚えています。大きなイベントとしては、まず2018年5月20日に『第54回関東甲信越眼科学会』がありました。新潟グランドホテルに於きまして、新潟県眼科医会に協力して各都県眼科医、コメディカルからの多くのご出席をいただき、円滑に盛況のもと終了することができました。そして同年引き続き、福地教授時代の集大成ともいえる『第29回緑内障学会』が9月14日～16日に朱鷺メッセで開催されました。東京、大阪以外の都市での三回目の開催、また新潟大学という単独施設による三回目の開催は、学会の歴史上初めてということでしたが、1600名を超える出席者を無事にお迎えし、盛大に成功裏に終えることができました。私はプログラム関連や海

外ゲストの対応といった表立ったものではなく、一般懇親会の企画進行、花火、お酒、ドリンク、おもてなし、などお楽しみの部を主に担当させていただきましたが、新潟での開催が決定して以降、長い時間かけて綿密な準備を行われてきた福地教授御自身はもちろん、私以前の医長である松田先生や長谷部先生、新潟大学眼科同窓会、新潟県眼科医会の皆様の努力が多いに報われる実りあるものになりました。学会のメインであった“Legendary Lecture”の一人として登壇された岩田和雄名誉教授へのスタンディング・オベーションは、会のハイライトとして皆さんの中にも熱く焼きついていることと存じます。しかしながら、岩田先生はその講演を最期にわずか3ヶ月の後にご逝去、その伝説を完結されて、2019年3月17日に福地教授のリードのもと、医局、新潟大学眼科同窓会、新潟県眼科医会、喪主の皆様と共に“お別れの会”を執り行う運びとなりました。こちらは、日本の緑内障研究を牽引してこられた岩田先生、阿部先生、福地先生と脈々と繋がる新潟大学の伝統を、我々も引き継いで今後も尽力していくなければならないと心に刻まれる会がありました。

基本的に福地教授のスタンスは、その容姿の如くスマートに仕事を割り振り、細かい口出しあはず、各々を信頼して任せてくれていたような印象があります。特に後からあれやこれやと仰ることもなく、そういう点では在職中の総括医長の皆さんは（仕事量は別にして）やりやすい環境だったのではないかと個人的には思っております。検討会や集談会、学会でのコメントは常に的を射て秀逸で、この辺を突っ込まれたら困るなあという点をしっかりと指摘されてしまい、この先生は（失礼ながら）やはり優秀なのだなあといった私の福地先生への感覚には、きっと皆さんも同意されることでしょう。

夜の会合の後、家の方向が同じということで（先生が先に降りられるのですが）何をお話ししようか緊張しながら何度かタクシーをご一緒させていただいたことは個人的な思い出ですが、それこそ先生の駆け出し時代のお話などをお伺いしておけばよかったです。実は、先生の趣味や好きな食べ物といったプライベートのことは全然存じ上げていなかったことにこれを書いているうちに気が付きました。教授退職後も他施設で臨床を続けられておりますが、これからはお仕事だけでなく、プライベートでも本当にやりたいことだけをおやりになって、これまで我々後輩や患者さんに注いでくださったエネルギーを、ご自身やご家族に向けていただければと願います。福地教授、長い間、大変お疲れさまでした。そしてありがとうございました。

「クロニクル：1999～2022」

2019年4月～2021年3月 総括医長

梅野哲哉（1999年入局）

私は1999年の春に医学部を卒業し2022年の春に自院を開業するまで、23年間という人生の多くの時間を新潟大学眼科の医局員として過ごしました。退局時の寄稿をスルーしてしまったこともあり、一時代のクロニクルとしてここに残したいと思います。なお、内容には自分語りの恥ずかしいポエムを含みます。

医局員時代をおよそ二分するとすれば、それは福地先生の教授就任前後になると思います。医学部で6年間学んでも医者としてのビジョンが特になかった私は、都会への憧れや束縛への嫌悪という青臭いところが残っていたこともあります。卒後は都内の某病院でスーパーローテートをしながらゆっくり専門を考える予定でした。しかし色々考えた結果、国家試験直前という最終コーナーで急ハンドルを切って、一度も説明会に参加したことの無かった眼科学教室の門を叩いたのでした。

4月になり当時医局長をされていた白柏先生に召集されると、総勢11名もの新入局者が顔を合わせました。当時の医局は大所帯で、医局員名簿には100名を超える眼科医が名を連ねていました。各専門班には少なくとも数名の医師が配属され、各班のボスは風格を漂わせていました。緑内障班には常時10名近くの先生がおり、研究・診療・教育に穴のない鉄壁の布陣が築かれていました。他大学の状況を見聞きし、この頃ほど広範な領域にエキスパートが揃っている大学はほぼ皆無であると知ったのは何年も後のことです。思えば若手が研鑽を積むには大変恵まれた環境であったと思います。慢性的に医師不足の現在からはうらやむ状況ですが、当時のスタッフの先生方は人事に関して別の意味で苦労されたことでしょう。新潟にいれば大概のことが解決できてしまう一方で、「井の中の蛙大海を知らず」状態が生まれ易い環境もありました。ボスであった先生方はそうならぬよう私達の知らないところで並々ならぬ努力をされていたのだと思います。その中でも学会講演や執筆を活発に行い、他大学の先生方とのパイプをたくさん持っていたのが福地先生でした。田舎育ちの私には外の世界との繋がりがとても輝いて見えました。やがて、緑内障を学び続ければいつかは自分の世界が広がるに違いないと心の片隅で思い始めたのでした。

阿部教授の退官が近くなるころ、医局の状況には逆らえぬ変化が現れています。研修医制度の定着、医療に対する期待と責任の増大、医局員のライフステージの変化、これらの小さな流れが合わさり、医局員の激減という奔流となっていました。特に緑内障班では白柏先生、原先生、さらには上田先生といった主力メンバーが退職され、最終的に福地先生と私、市中病院での研修を終えてきたばかりの坂上先生が残されるという「鬼滅の刃」状態でした。

このような体制での福地教授就任でしたが、今でも記憶に残るのはしんどかった日々です。朝は7時半に出勤し病棟患者を20人ほど診察します。続いて午前の緑内障外来と午後はフルで手術、それが終われば新入院患者の診察とインフォームドコンセントを行います。外勤の日はさらに早く病棟に出向き朝食中の前日のオペ患者を病室から引っ張り出して診察し、夕方医局に戻っては残りの診察とカルテ準備等々。オーベンとネーベンを一人二役でこなし帰るのはいつも20時以降でした。若い先生に仕事を託すうにも彼らはとっくに疲弊しており、末武先生からは「パワハラ上司！」と飲み会で内部告発されたことは数知れずなのです。しかし、年寄りが繰り返す苦労話ではありませんが、この頃の経験がなければ

今の自分は無いと思っています。緑内障の道を選んだからには「毒を食らわば皿まで」精神で食らいついた結果、世間に通じる臨床能力を短期間で身につけることができました。また、「過去の慣例には疑いを持つこと。経験則は覆されるべきもの。よって改革を恐れるべからず。」という悟りを開いて、効率化という名のもとに次々に業務をスリム化していきました。そうした苦勞を気遣ってくれたのか、福地先生よりイギリスに留学しないかという提案があり、40歳を過ぎた井の中の蛙は、ついに大海を渡ることができたのでした。

イギリス留学から帰国後1年近くが経過し、自身の研究に励んでいる矢先でした。医局員による投票で私が2019年度の総括医長に選出され、マニフェストで公表した通り「地獄の総括医長」を2年間演じることになったのです。

就任早々「眼内レンズ」と「硝子体注射」に関する重大インシデントが立て続けに起きました。毎月行われる総括医長会議（正確には医科系連絡会議）への初出席では、自己紹介と共に皆に謝罪するという貴重な経験をし、以後「デカい顔はしないでおこう」と誓ったのでした。新たに就任された富田病院長が熱弁を振るわれる刺激的な会議でした。冒頭に強調されたのが「うちの大学病院にはお金がない！」という事実でした。経営観念など皆無だった末端勤務医でしたが、「眼科として病院に貢献するには何をすべきか？」という問い合わせに答えることが自分に与えられた使命だと感じました。

最初に手を付けたのが、連絡事項のEメール配信義務化でした。自分に集まる情報を迅速に過不足なく医局員に伝達する手段が必要でしたが、どういうわけかEメールを日常的に利用していない者が多かったのです。そのため、わざわざ印刷したものを見局の机に配布していましたが、医局に来るのが週に1回未満という者も少なからずいました（書類が雪崩を起こしそうになって目を通し始める）。そこで、毎日メールを確認することを義務とし、重要な連絡に対しては確認した旨返信してもらうようにしました。さらに繰り返されるインシデントを減らすため、春と秋の人事異動後に開かれる初めての検討会を「ガバナンス」に変更し、病棟や医局に関するルールの周知、再確認をするための時間としました。なおこれは留学先のMoorfields Eye Hospitalが年に一度行っていた全体集会である“Governance”から名付けたものです。とはいえ本家は、参加スタッフが2千人だったり、会場がバービカンホールという大劇場だったり、オープニングは病院上層部による演劇仕立てのプレゼンだったりで、細かいルール周知よりも「組織としての意思決定と確認の場」というかなり違ったものでした。

次に外来手術室の本格稼働プロジェクトです。2012年に新外来棟に移転した時点で手術室は存在していたのですが、電源設備上の問題から医療機器を設置できないという致命的な欠陥があり、専ら硝子体注射の部屋として使われていました。中央手術室の手術枠を整理して少しでも他の診療科に配分を増やしたい病院側の思惑もあり、部屋の改修費と手術機器一式を購入するための予算を付けてくれることになりプロジェクトは始まりました。

マイトイシンCの回収騒動、病院機能評価、銀海への掲載準備など、諸々の案件が片付き、総括医長の任期も残り半分になろうとしたある日、総括医長会議の締めくくりで富田病院長から静かにこう伝えられました。「中国の武漢で起きている感染症ですが、今後SARSやMERSなどと比べても桁違いの事態が起きることも想定していただきたい。」コロナ禍の幕開けでした。

その後に何が起きたかについてはここに記す必要は無いと思います。当時のメールや連絡事項を見返してみると、次のような言葉が目に入ります。「COVID-19」「ロックダウン」「3密」「濃厚接触者」「不要不急」「ソーシャルディスタンス」「エッセンシャルワーカー」「クラスター」「オミクロン株」「黙食」「zoom」「ワクチン副反応」。既に懐かしいと思えることであれば、一般化した言葉もあります。私にとっては、昨日までは元気だった医局員が次々に倒れていく状況に「本当にどうなってしまうのだろう」と

戦慄を覚えた記憶をよみがえらせる言葉なのです。

人は、非常事態においては強い不安を感じ、時にパニックに陥ることがあります。特に我々医療従事者としては、メディアやSNSに翻弄されず正確な情報を迅速に得ることが重要です。手前味噌ながら初年度にメール文化を浸透させていたことが功を奏し、いくつもの波を無事に乗り切ることができました。また、コロナ患者受け入れのために入院抑制や中央手術室の稼働が制約され、新患受け入れも一時的に制限が必要になりました。しかし、総括医長を退く頃には外来手術室の稼働に漕ぎ付けることができ一部の手術を日帰りへ移行することが可能になりました。結果的に大きく手術件数を減らすことなくパフォーマンスを維持できたと考えています。

歴代の総括医長（医局長）が医局員に優しく、嫌なことはなるべくさせず、トラブルさえ抱えてくれる「仏」のような存在だったのに対して、私は規律を重んじるやや独善的な「鬼」だったと思います。それでも従ってくれた皆さんには感謝の言葉しかありません。そんな訳でこれまで食った毒をあらかた吐き出し、地獄の総括医長としての役割を終えたのでした。

任期を終えて気がつけば40代の出口が見えていました。人生において「何を得るか」よりも「何を残せるか」を意識する年代に差し掛かっていました。「何を残せるか」という観点で日本の緑内障を牽引されてきた先輩を見回すと、開業医という選択肢もあるのだと知り、今日に至ります。

物事に心底没頭することの無かった私が、時に寝食を忘れるほど一つのテーマにのめり込むことができたのは、この医局に入り深淵な「緑内障」の世界を知る機会があったからです。そして福地先生という緑内障マスターに従事できることで、ある時は地べたを這いつくばり、またある時は学会での講演や留学といった高所からの眺めというものを経験することができました。現在、いち開業医として平場を歩み始めたばかりですが、緑内障診療がクリニックの柱であり、今後の眼科医人生におけるゆるぎない原動力でもあります。

大学時代、緑内障外来に御紹介いただいた患者を拝見しながらたびたび感じていたのが、県内の先生方の緑内障診療力の高さです。根拠となるデータはありませんが、診断、治療、紹介のタイミング、いずれも他県に比べて高いレベルを維持していると思います。先生方のたゆまぬ研鑽があってのことですが、集談会や臨床研究会、患者のやり取りを通じた知識のアップデートが絶えず行われていたからではないでしょうか。

新潟県といえば故・岩田名誉教授時代に興った緑内障王国として有名です。私が考える真の王国とは国民のためのものであり、為政者が富を占有するがあれば市民はこれを否定するでしょう。これは喻えです。カリスマである岩田名誉教授を神とすれば、福地先生は神託を言語化した預言者、緑内障班門下生は教えを広める伝道師。一応私は仏教徒なので、あくまでも喻えです。福地先生はフワッとした緑内障診療の本質を「型」として定義し、私達門下生に授けてくれました。また、「一般化と個別化」など、全ての臨床医学に通じる「概念」もいち早く取り入れられました。門下生と県内の先生方が水路となり、こうした「型」や「概念」が国土に浸透することで、豊かな王国へと発展できたのではないでしょうか。

大学でやりたいこと、すべきこともまだ多くあり、福地先生の援護射撃も十分出来ぬまま医局を去ることになりましたが、開業医の視点に立って見えてくるのは「新潟県眼科医の高い診療力」でした。これこそが福地教授時代が「残したもの」だと今更ながら実感する日々です。

いくつかのささやかで個人的な思い出など *a few quiet, personal moments*

2021年4月～2022年3月 総括医長

張 大 行 (2006年入局)

2025年3月末をもちまして、新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野の教授職をご退官なさる福地健郎先生に、心からの感謝と敬意を込めて、この寄稿文を記します。

私は2006年4月に新潟大学眼科に入局しました。当時は新研修制度の開始直後で、その影響により入局者が2年間不在という状況が続いていました。私が最初に配属されたのは緑内障G、いわゆる福地先生のグループ（通称：福地G）であり、その時以来、講師時代の先生、そして2012年11月に第6代眼科学主任教授に昇任されてからのご活躍を間近で拝見し、少なからず影響を受けてきました。

教授は、新潟大学眼科が長年培ってきた「新潟といえば緑内障」という伝統をさらに発展させられました。基礎研究、治療研究、観察研究と幅広く臨床と研究を推進され、特に緑内障の早期発見や治療、そして患者様のQuality of Life (QOL) 向上に尽力されました。ResearchGateのプロフィールによれば、230本を超える論文を発表あるいは共著され、閲覧数は15,000回以上、引用数は3,600件を超えており、その研究成果が広く国際的に認められていることを示しています。また、教授の発案で再開し、毎年開催されるようになった「雪明・新潟眼科フォーラム」は、地域医療の発展、ひいては新潟における眼科診療の水準向上に大きく寄与されました。

福地教授時代を語る上で欠かせない出来事として、2018年の第29回日本緑内障学会（岩田先生による“Legendary Lecture”は今や伝説となっています）、さらに退官を目前に控えた2025年4月の第129回日本眼科学会総会が挙げられます。しかし、私は当時大学を離れており深く関わることはできませんでした。医局長を務めさせていただいたのも2022年4月から2023年3月までのわずか1年間で、例のない短い任期でした。そうした経緯から、教授時代の医局員たちが共有する苦労話や印象的なエピソードを残念ながら多くは持ち合わせていません。それでも長く医局に身を置いた者として、いくつかの思い出をここに記したいと思います。いずれも教授が覚えておられるかどうか分からぬ些細な出来事や、医局の日常にまつわる話です。

痩せっぽちのサックス弾き

2008年頃のことだったと思います。福地教授が私にAAOのお土産として手渡してくださったのが、この写真の小さな金属の置物でした。当時、緑内障班に属していた私は学会に同行せず、大学で留守番をしていました。そのお礼としていただいた品です。痩せた体は銅線で作られ、頭部は六角ナットひとつ。頭が空っぽのようにも見えます。造形はきわめてシンプルで、サックスを携えた姿はいかにもジャズマンですが、どこかアメリカ的でない不思議さを漂わせています。雑な溶接の跡がありながら、装飾を排したその姿にはむしろ禅的な静けさがあり、眺めているとビートニクの熱狂を重ねてしまうほどです。おそらく高価な芸術品ではなく、鉄と銅の寄せ集めにすぎないのでしょう。けれども私は十五年以上、この像を机の片隅に飾り続けてきました。視界に入るたび、気持ちが静まり、そして少し熱くなる。教授からの一見何気ない贈り物ですが、その余白のような存在感こそが、私にとって大切なものになっています。

デュークエルダーの思い出

学会発表の準備だったのか、教科書執筆だったのかは定かではありません。ただ、文献をたどるうちにどうしてもデュークエルダーに行き着いた日のことは、今も鮮明に覚えています。所在を調べると「眼科医局図書館」とありましたが、在局以来一度も目にしたことはありません。不思議に思い事務室に尋ねると、教授室にあるとのこと。緊張しながら扉を叩くと、重厚な背表紙をもつその大著が分冊で鎮座していました。福地先生が書棚から抜き出し、机に置いてくださったあの瞬間を今も忘れません。

手にしたデュークエルダーは古びた手触りと重みを持ちながら、不思議と新鮮に感じられました。頁をめくると、臨床の記述に加えて病態の歴史や周辺領域への広がりまで緻密に綴られています。先生は「これは単なる教科書ではなく、眼科の百科全書のようなものだ」と語り、出版から半世紀を経た今なお新しい発見があることを教えてくださいました。静かな午後の教授室、窓から射す光の中で抱えたあの書物の重みは、私にとって単なる文献検索を超えて、眼科学の記憶そのものに触れた体験でした。

第34回眼窩疾患シンポジウム

第34回眼窩疾患シンポジウムで学会長を務めた際には、新潟大学福地教授ならびに眼科医局の先生方から、惜しみないご協力をいただきました。とりわけ福地教授には、ご専門の縫内障からは少し離れた腫瘍・形成分野の学会にもかかわらず、特別講演の座長や懇親会でのご挨拶など、さまざまな場面で関わっていただきました。このようなご厚意は、私の経験した新潟での同分野の学会としては極めて珍しく、大きな支えとなりました。

思い返せば、教授は常に専門の枠を超え、縫内障以外のテーマに挑戦する医局員にも温かい眼差しを向けてくださいました。その励ましのおかげで、多くの若手が安心して挑戦できたのではないかと思います。私にとってあの学会での経験は忘れないものであり、今も心に残っています。この場を借りて、改めて感謝を申し上げます。



福地先生と歩んだ日々

2022年4月～2024年3月 総括医長

坂 上 悠 太 (2009年入局)

福地先生、このたびはご退任、誠におめでとうございます。長年にわたり眼科医療の第一線に立ち、私たちを導いてくださったこと、心より感謝申し上げます。

私が入局したのは2009年ですが、それ以前の研修医時代から眼科への入局を決めており、選択期間には新潟大学眼科を選び、数か月間研修をさせていただきました。当時の文書フォルダを見返すと、私が初めて検討会に携わったと思われるファイルがありました。

「眼科症例検討会 2007年9月26日 福地G 三浦、坂上」

入局前後の三浦先生とともに、福地グループの一員として、初めて検討会で発表をしていたようです。入局前からすでに福地先生のご指導を受けていたことに、今あらためて深い感慨を覚えます。ファイルを少し読み進めますと、

「CRVOによる続発緑内障は血管新生緑内障が一般的である。

～中略～ 血管新生緑内障でPASを形成し閉塞隅角となることもあります。

では、CRVOで血管新生を伴わない続発閉塞隅角緑内障は起こるのか？」

といった記載がありました。研修医が扱うにはなかなか骨のあるテーマだったと思います。おそらく、福地先生をはじめグループの先生方にたくさん質問しながら、何とか発表にこぎつけたのでしょう。

その後、無事に入局した私は各班をローテートしたのち、10月から新潟市民病院に赴任することになりました。福地先生から「早めに学会発表を経験し、論文を書いておいたほうが良い」とのお言葉をいただき、その年の緑内障学会で落屑緑内障と角膜内皮細胞についての発表を行いました。初めての学会発表で当然緊張していた私は、何とか原稿どおりに口頭発表を終えたものの、その後の質疑応答では頭が真っ白になり、曖昧な返答をしていました。そのとき、福地先生がスッと手を挙げられ、「共同演者ですが…」から、すべてに明快な回答をしてくださいました。福地先生が後ろにいる、という圧倒的な安心感と頼もしさを、あのとき痛感しました。福地先生のおかげで発表を乗り切った私は身体が軽くなつたように感じ、開催地の那覇を満喫することができました。また学会後の論文作成でも御指導いただき、無事に初めての論文がアクセプトされました。

新潟市民病院での1年間を終えると、再び私は大学病院に配属されました。最初の3か月は網膜班で学び、その後は緑内障班でいつの間にか固定となっていました。専門分野を選ぶ際、入局時から希望があったり、市中病院勤務を経て決断したりするのですが、私はいずれのパターンにも当てはまらず、特に「これがやりたい」という分野も決められず、言われるままにローテートしていました。ただ消去法的に、網膜班で硝子体手術をバリバリやる姿は想像できないな…、腫瘍分野は苦手だな…、など徐々に候補が絞られてきていました。

緑内障班に所属しながら過ごしていたそんな折、毎年恒例の海開きがやってきました。いつもの浜茶屋でバーベキューをしながら、酔った勢いもありましたが、私は福地先生にこう宣言をしました。

「福地先生！僕は緑内障を専門にやっていきたいと思います！」

「おお、そうか！」

福地先生は多くは語らずとも、嬉しそうにされていたのを今でも覚えています。

緑内障班に所属が決まった私はその後の数年間、緑内障班の下っ端としてひたすら研鑽を積んでいきました。手術を担当させていただく症例もどんどん増え、緑内障班のほぼ全ての患者の入院準備、総

括の作成も行っていました。体力的にも一番大変な時期だったと記憶しています。検査入院の方針決定では、まず私が診断や治療計画を立て、それを緑内障班回診（グラ回診）でプレゼンし、議論のうえ最終決定をするという流れが定着していました。福地先生はグラ回診に必ずご参加くださいり、毎回のように的確な指導をいただきました。

福地先生の指導から学んだことを端的に表すなら「原因と結果を常に論理的に考えること。その上で根拠に基づいた治療を行うこと。」です。なぜ眼圧が上がっているのか、なぜMD値が下がっているのか、などその事象の原因をきちんと考えないと、根拠をもった治療はできません。このプレゼンを何年も続けてきたことが私の緑内障診療の考え方を形成し、今現在の診療にも大きく活かされています。福地先生は教授に就任された後も、退任されるまで、この検査入院の方針決めには参加し続けて下さいました。緑内障班での診療における責任感の強さを感じられると同時に、論理的に考え、根拠をもって治療を行うという「福地イズム」を我々に示し続けてくれたのだと思います。

緑内障班で何年も働いていると、構成員としては一番下ながらも自分が担っている仕事も多く、やりがいを感じると同時に、「自分はもう外病院には出られないのではないか」と考えていました。そんな中、魚沼基幹病院が開院することが決まり、私が初代医長として赴任することとなりました。叶わないだらうと思いながらも外病院に出たい希望はあったので、とても嬉しかったです。梅野先生の留学に備えて、おそらく福地先生は私を一度外に出て鍛え直そうと考えてくださったのではないかと思います。

魚沼基幹病院での1年半の勤務の後、私は再び大学病院に戻りました。その後、梅野先生が留学に出られると、緑内障班は福地先生を除けば私の学年が一番上となりました。一応、形式上は坂上グループということとなり、同期の末武先生からは（そんな称号は正式にはないのですが）「チーフ」と呼ばれ始めました。この時期は単純にオペレーターの人数が減ったことによる一人ひとりの負担の増加、グループトップとなったことでこじれた症例が回ってきやすい、など臨床面で大変だったと記憶しています。

臨床が忙しいと、なかなか研究にまで手が回らなくなるのですが、福地先生から適切なタイミング



2014年 韓国から来られたLee先生の送別会にて

で研究テーマをいただき、ご指導いただけたことで、集談会や学会に合わせて研究活動を行うことができました。福地先生のおかげで、日本眼科学会や緑内障学会のシンポジウムで講演を行ったり、眼科雑誌の対談企画に参加したり、教科書の執筆を担当したりするなど多くの貴重な経験を積むことが出来ました。これらの機会はすべて、福地先生の実績と人徳によってもたらされたものであり、改めて緑内障の世界における福地先生の偉大さを実感しました。

その後に私は医局長（総括医長）となりました。これは本当に大変な2年間でした。日々の診療業務を終えると毎日50通ほどのメールが来ており、それに全部目を通して重要なメールを見逃さないようにしないとなりません。医局運営・病院運営に携わる業務が如何に大変か、これは経験した者にしかわからない苦しみがあります。福地先生は教授となる以前も含めて、ずっとこのような業務をやり続けてきたことを考えますと、その苦労は計り知れません。臨床・研究・教育だけではない業務がそこにはあるのです。我々医局員が日々の仕事を普通に行えるのも、誰かがその運営をしっかりとしているからこそであり、2年間ではありますが運営の一端を担えたことで、その重要性を知ることができました。ある日、私にとってとても腹立たしいメールが送られてきたことがあります。そのイライラで私はその日眠れなくなったりました。翌日にそのことを福地先生に話すと、医局長は誰もが悩み、体調を崩す人も多いこと、自分も例外ではなかったこと、などを教えてくれました。妙に優しかったのを覚えていました。医局長は教授とやりとりをすることが多いため、福地教授の運営力を知り、優しさに触れることもできた2年間でした。

私が医局長を終えたところで、いよいよ福地先生の教授任期も残り1年となりました。教授退官後に医局を離れる予定となった私に最後に託されたのが「福地健郎教授退任記念事業」でした。退任記念祝賀会の実施と記念誌の発行という大きな仕事を、準備委員会代表として担当することになりました。様々な準備と打ち合わせを重ね、2025年3月1日、ホテルオークラ新潟にて「福地健郎教授退任記念祝賀会」が盛大に開催されました。来賓の先生方、新旧医局員の先生方、参加された皆様から「素晴らしい会だった」とお声がけいただき、何とかその責務を果たせたのではないかと思います。福地先生からも感謝の



2019年 AAO サンフランシスコにて

言葉をいただきました。そして本稿が掲載される「福地健郎教授退任記念誌」も、福地先生のこれまでの功績を称えるとともに、皆様からの福地教授への想いがあふれた記念誌になるものと確信しています。このような記念事業に代表として最後に携われたことは、とても光栄がありました。

これまでの私の眼科医人生を振り返りながら綴ってまいりましたが、その道中では常に福地先生が関わってくださいり、私を育ててくださったことを改めて実感いたしました。そしてこれからも、福地先生から学んだ「福地イズム」を胸に診療を続けていきたいと思います。

また折に触れて、ご指導を賜れますと幸いです。

福地先生、本当にありがとうございました。

そして、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします！

最後の1年を振り返る

2024年4月～2025年3月 総括医長

大 妊 紗 (2009年入局)

福地先生、ご退官おめでとうございます。教授退官の年に総括医長を務めるという非常に栄誉ある仕事をさせていただきました。個人的理由にも関わらず総括医長は1年限定という我儘をお許しいただきありがとうございました。自分の中では「おまけの1年」と呼んでおります。おまけの1年¹⁾、さりとてするべき事も無く、なんとなく日々は過ぎ、捲られるカレンダーを見ながら、「あ～僕の大学でのキャリアこそおまけのようなものだったな」と書くのも憚られるので、この1年および在任中に福地先生が取り組まれた教室行事や学会の中で、微力ながらもご協力できたかなと思えるものをいくつかピックアップして書いていきたいと思います。

【新潟大学眼科セミナー】

某会社がバックアップしてくれて毎年行っている、眼科に興味がある学生や研修医を対象にしたセミナー。眼科の魅力がはち切れんばかりに詰まった迷講演+ウェットラボ+外来機械体験+飲み会を盛り込んでなるべく眼科に入局してもらうように仕向けている。最初は2015年頃?新入局員獲得のための新しい取り組みとして福地先生が始められたと記憶している。当時は松岡先生や松田先生が音頭を取っていたような。2020年からのコロナ騒ぎで一旦中止やリモートとなつたが自分が副総括医長になったタイミングで、以前のような飲み会付きの対面形式を復活させるようにという命を受けた。3年ほどブランクがあり当時の開催ノウハウを持ち合わせている医局員はすでに存在せず某社のバックアップを受けながら手探りでの開催となった。申し込みにformsを取り入れてみたり、マイクロ縫合体験を加えてみたりと自分なりに工夫もしてみたが盛況であったと思う。うまいこと医局員もゲットできだし福地先生の要望には応えられたのではないかと自負している。初開催から早10年、医局員獲得のため今後も重要なセミナーになっていくと思う。

【通称 病診連携の会】

正式名称は忘れてしまったが2023年から新しく開催となった、どうやったら病診連携がスムーズにいくかを考える会。福地先生がどこかで病診連携に関する講演を聴講され、これは新潟でもやろう!と立ち上げたと記憶している。あと2年でご退官ですがまだ新しいことに取り組まれるのですね!と顔では笑い心では泣いた。立ち上げの年は当時総括医長の坂上先生が担当で色々苦労があったかと思う。翌年、自分が某社とのやりとりの窓口となったがある程度ノウハウはできていたので助かった。講演後のアンケートでは多くの先生からとても参考になったとの感想をいただいた。このような会の立ち上げを発案された福地先生の着眼点に改めて深い敬意を抱いた。ただ、準備する側はそれなりに大変である。

【第13回 日本視野画像学会学術集会】

2024年6月1日・2日に朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにおいて第13回日本視野画像学会学術集会が開催され、福地先生が大会長を務められた。学会の名称である「視野と画像」、言い換えれば「機能と構造」、さらに「研究と臨床」、「医療者と患者」の融合を目指し、学会のテーマは「FUSION」が掲げられた。福地先生のネーミングセンスが光るテーマである。特に本学会における論点の一つ、「視野と運転」の話題は学会場の様子を含め当日のNHK全国ニュースで取り上げられ、社会的な関心の高さを伺

うことができた。懇親会では新潟B級グルメ・郷土料理を集めた「新潟グルメづくし」、さらに新潟全土から30銘柄の大吟醸酒をかき集めて「大吟醸祭り」を開催した。参加者には「学びと遊び」を上手く融合してもらえた学術集会であったと思う。当時の総括医長としてグルメづくしの予算交渉と大吟醸のかき集めと懇親会のくじ引きの景品選びというおよそ学術とはかけ離れた仕事を拝命した。グルメづくしの予算交渉の際、「おまけの1日」¹⁾と云ふ言葉がまたりかけたところで「飲み放題にしてもこちらが損をするだけだから抜栓した分しか払わん！」とご意見をいただき再交渉となった。予算が余っていようと余計な金は払わないという福地先生の着眼点に改めて深い敬意を抱いた。ただ、準備する側はそれなりに大変である。

【第129回 日本眼科学会総会】

2025年4月17日-20日に東京国際フォーラムにおいて第129回日本眼科学会総会が開催され、福地先生が大会長を務められた。自分が所属する医局の教授が大会長を務める日眼、総括医長としてさぞかし大変かと思いきや自分はさほどやることは無かった。関連病院に大学の休診案内を出すくらい。そして年度が変わり、学会が開催される時には総括医長は次の吉田博光先生に代わっていた。学会期間は天候も味方して会場は大盛況であった。個人的にはポスター座長、シンポジウムとセミナーでの登壇があり充実した時間を過ごした。さらに会長招宴にも出席させて頂いた。日本の眼科を先導する偉大な眼科医が勢揃い、場違い感を肌で感じながらの貴重な経験であった。会長招宴の挨拶で北海道大学の石田先生が本学会のテーマ「科学は美しい」について言及されていたのが印象的であった。やはり福地先生のネーミングセンスは多くの人に刺さるのだと改めて深い敬意を抱いた。

福地先生にお世話になったことを振り返ってみると、海外学会への出席を後押しして頂いたことが一番に思い出される。コロナ前になるが海外学会への出席に対しては、専門分野が違うにも関わらず本当に手厚く補助をして頂いた。福地先生と一緒に出席させて頂いた海外学会としてはARVO 2回、AAO 1回だった。普段、医局でお話する機会は限られていたが、海外での食事の席では普段聞くことができないような話も伺うことができpricelessな時間であったと思う。

福地先生、改めてご退官おめでとうございます。そして長い間お世話になり大変ありがとうございました。

1) 「おまけの1日」words by 大槻ケンヂ より改変



2016年ARVO@Seattle 京都府立医大の先生方と会食後の一枚



2016年ARVO@Seattle Safeco Field（当時）にてマリナーズ戦観戦時の一枚

編集後記

福地健郎教授退任記念事業・準備委員会は2024年春に発足し、「福地健郎教授退任記念祝賀会」の開催と「福地健郎教授退任記念誌」の発刊を二大事業として進めてまいりました。

2025年3月1日にホテルオークラ新潟で開催された退任記念祝賀会は、多くの皆様にご臨席いただき、盛大かつ心温まる会となりました。福地健郎教授をはじめ、参加された先生方からもお褒めの言葉を頂戴し、私どもとしても意義深いひとときをご用意できたものと自負しております。

本記念誌には、福地教授の数多くの業績や主催学会の記録を通じて、新潟大学眼科と教授の歩みを振り返ることができる内容を収めております。また、祝辞や歴代総括医長の寄稿からは、福地教授のお人柄や、各世代の医局員に与えられた影響を感じ取っていただけることと思います。本誌が、皆様の思い出を共有する一助となれば幸いです。

この退任記念誌の発刊をもって、福地健郎教授退任記念事業・準備委員会は、長きにわたる準備の役目を終えることとなります。最後に、このような形で福地教授の退任に花を添える機会をいただけたことは、私にとって大変光栄なことでした。

末筆ながら、ご祝辞・ご寄稿を賜りました皆様、そして編集に際しご協力くださいました多くの皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

福地健郎教授退任記念事業 準備委員会代表

坂上 悠太

